KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub 163f

ユーザーズガイド



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、bizhub 163f の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこのユーザーズガイドを最後までお読みください。お読みになったあとは必ずユーザーズガイドホルダーに入れて保管してください。ご使用中わからないことや、不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

ユーザーズガイド内で使用しているイラスト等は、実際の機械とは異なる場合があります。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

■ エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号　第 05 117 011 号

bizhub 163f は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

■ エコマーク Version2.0 とは？

環境省の指導のもとに環境にやさしい社会の実現に向けて、財団法人日本環境協会が 2005 年 8 月 1 日（Version2.0）に制定した規準です。「製品の製造、使用、廃棄等による環境への負荷が相対的に少ない商品」、また、「この製品を利用することにより、環境への負荷を極力抑えることができる商品」に認定されます。

■ 商標、著作権等について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Netscape は、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。
- Novell、および NetWare は、米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標［または］商標です。
- Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat および PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。
- PCL は、米国 Hewlett-Packard Company Limited の登録商標です。
- 本ユーザーズガイドに記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標または商標です。

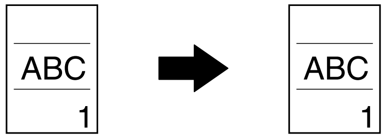
もくじ

こんなコピーがとれます

本機のおもなコピー機能を簡単に紹介します。操作方法については、参照ページをごらんください。

■ コピー

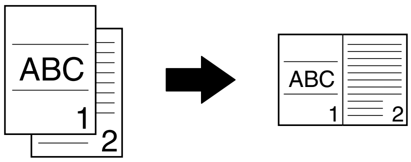
片面コピー



参照

詳しくは、p. 4-2 をごらんください。

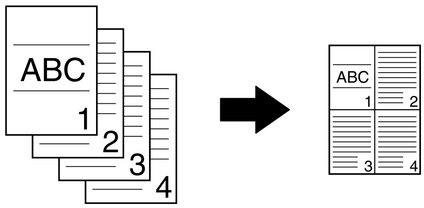
2in1 コピー



参照

詳しくは、p. 5-8 をごらんください。

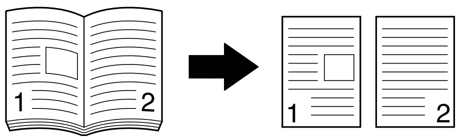
4in1 コピー



参照

詳しくは、p. 5-8 をごらんください。

ブック分割コピー

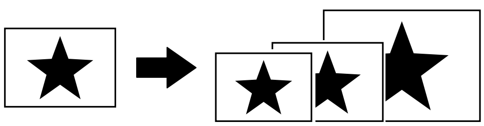


参照

詳しくは、p. 5-13 をごらんください。

■ 倍率

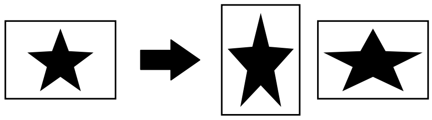
縮小／等倍／拡大



参照

詳しくは、p. 4-56 をごらんください。

縦横変倍

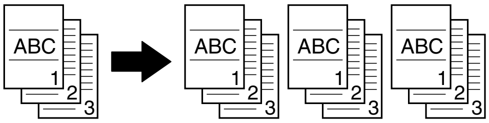


参照

詳しくは、p. 4-60 をごらんください。

■ 仕上り

ソート



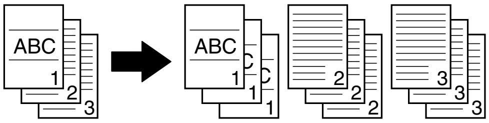
ひとこと

コピー機能により、必要な装着オプションが異なります。

参照

詳しくは、p. 5-2 をごらんください。

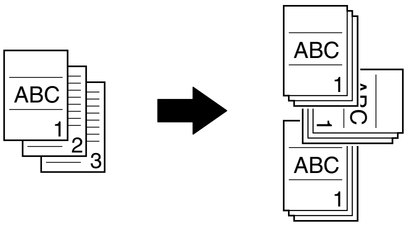
グループ



参照

詳しくは、p. 5-2 をごらんください。

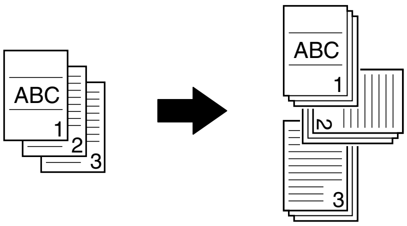
交互ソート



参照

詳しくは、p. 5-2 をごらんください。

交互グループ

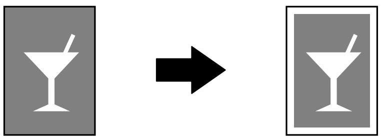


参照

詳しくは、p. 5-2 をごらんください。

■ 応用

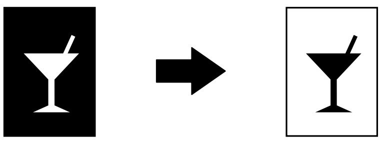
イレース



参照

詳しくは、p. 5-16 をごらんください。

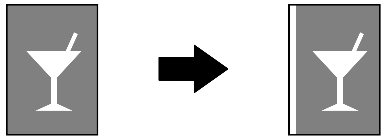
ネガポジ反転



参照

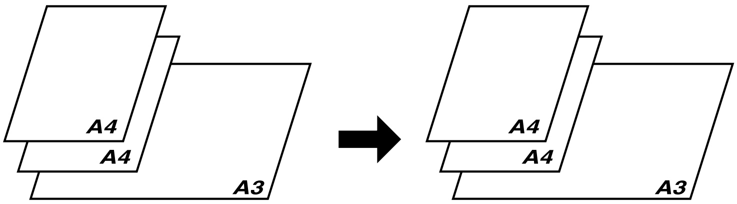
詳しくは、p. 5-19 をごらんください。

とじ代



■ 原稿

混載原稿

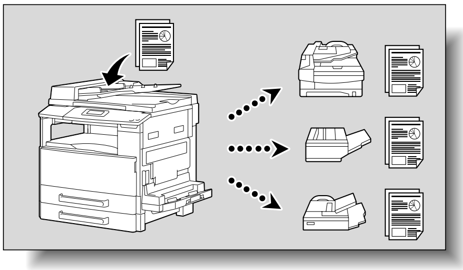


参照
詳しくは、p. 5-21 をごらんください。

参照
詳しくは、p. 3-23 をごらんください。

■ 送信

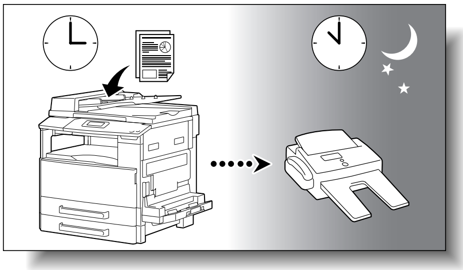
順次同報送信



参照

詳しくは、p. 6-20 をごらんください。

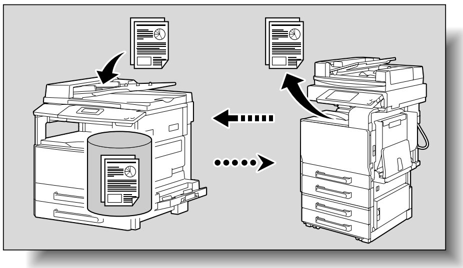
時刻指定送信



参照

詳しくは、p. 6-35 をごらんください。

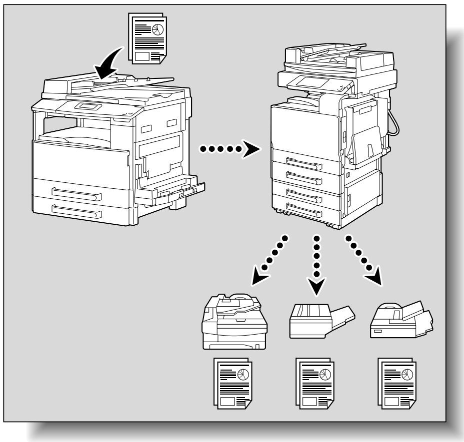
ポーリング送信



参照

詳しくは、p. 7-10 をごらんください。

中継指示送信



参照

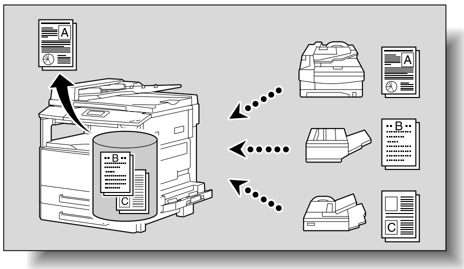
詳しくは、p. 7-17 をごらんください。

必ず守ってください

中継局には、F コード通信に対応した機種を指定してください。

■ 受信

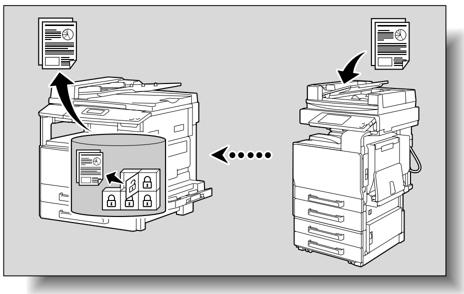
メモリー受信



参照

詳しくは、p. 6-38 をごらんください。

親展受信



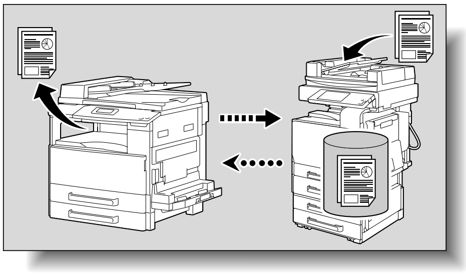
参照

詳しくは、p. 7-6 をごらんください。

ひとこと

親展受信は、F コード通信に対応した機能です。

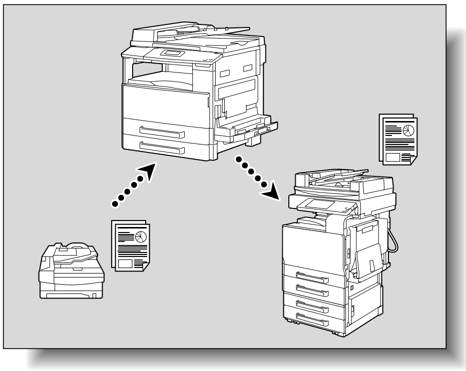
ポーリング受信



参照

詳しくは、p. 7-15 をごらんください。

転送



参照

詳しくは、p. 7-21 をごらんください。

ページの見かた

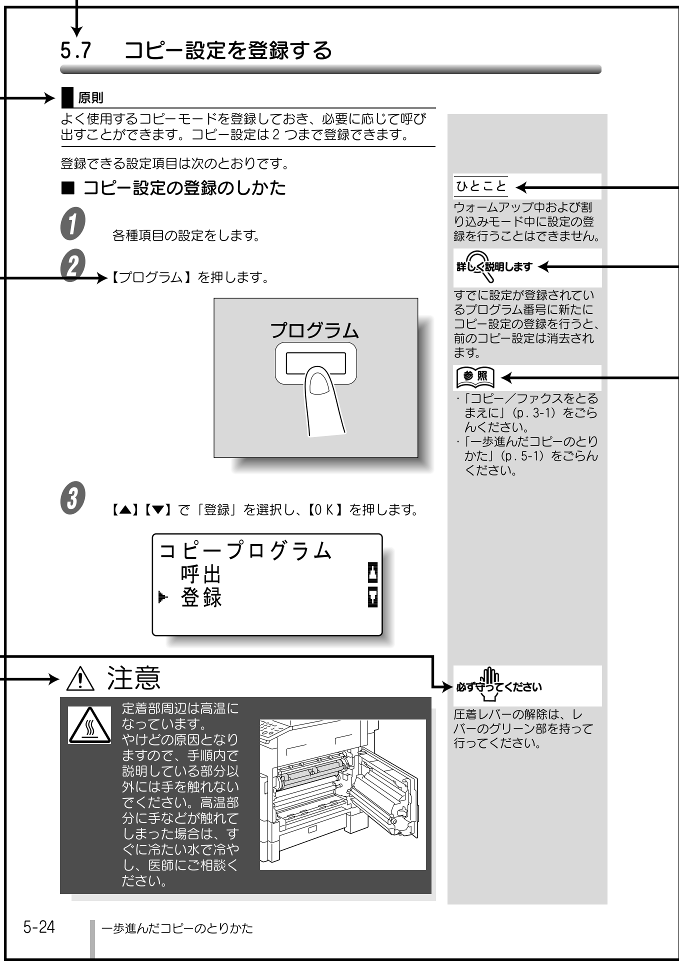
ひとこと

作業手順や内容に関して、参考となることや補足事項などが書かれています。お読みになることをおすすめします。

項目のタイトルで説明されている内容を確認します。

原則

機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。



5.7　コピー設定を登録する

原則

よく使用するコピーモードを登録しておき、必要に応じて呼び出すことができます。コピー設定は 2 つまで登録できます。

登録できる設定項目は次のとおりです。

■ コピー設定の登録のしかた

1 各種項目の設定をします。

2 【プログラム】を押します。

3 【▲】【▼】で「登録」を選択し、【O K】を押します。

⚠ 注意

定着部周辺は高温になっています。やけどの原因となりますので、手順内で説明している部分以外には手を触れないでください。高温部分に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ひとこと

ウォームアップ中および割り込みモード中に設定の登録を行うことはできません。

詳しく説明します

すでに設定が登録されているプログラム番号に新たにコピー設定の登録を行うと、前のコピー設定は消去されます。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

必ず守ってください

圧着レバーの解除は、レバーのグリーン部を持って行ってください。

5-24　一歩進んだコピーのとりかた

【　　】

操作パネルのキー名称、電源スイッチなどを示します。

必ず守ってください

操作上の注意事項です。指示内容をよく読んで、必ず行ってください。

⚠ 警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項です。警告は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。注意は、表示を無視して誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害のみを負う可能性が想定される内容を示しています。

参照

参照先を指示します。必要に応じてごらんください。

詳しく説明します

操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

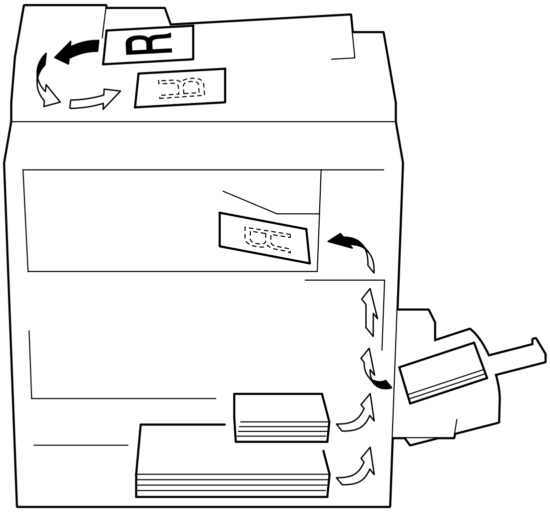
（このページは実際には存在しません。）

原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

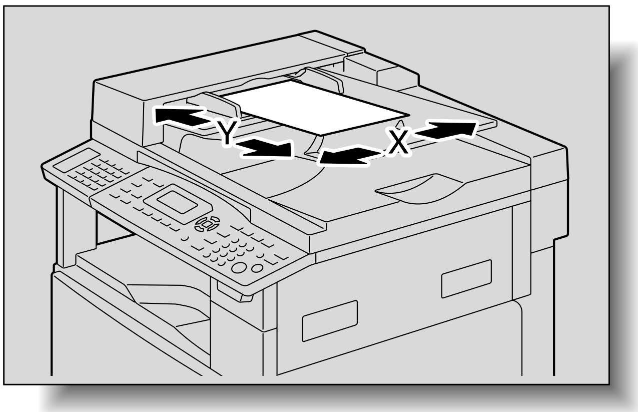
■ 排出面と通紙方向

本機は用紙を右側から給紙し、コピー／プリントした面を下に向けて上側の排紙トレイへ排出します。下図の矢印で示された、用紙の送られる方向のことを通紙方向と呼びます。



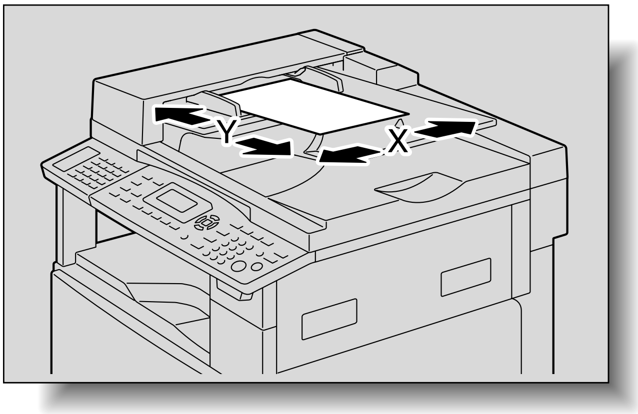
■ 幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、X 辺を幅と呼び、Y 辺を長さと呼びます。



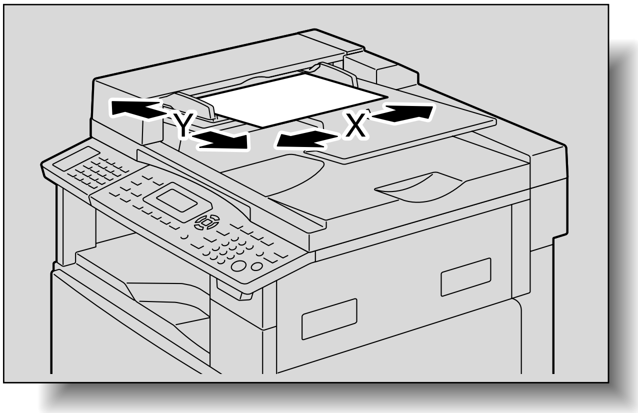
■ ▭

幅（X）よりも長さ（Y）のほうが大きいものを ▭ と表示します。



■ ▯

幅（X）よりも長さ（Y）のほうが小さいものを ▯ と表示します。



コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

特に法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■ 法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
- 外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、官製はがき類
- 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証券類

＜関係法律＞

通貨及証券模造取締法

外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

■ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■ 注意を必要とするもの

- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

詳しく説明します

本機が搭載している「部門管理」機能で「暗証番号登録」を設定すると、コピー使用時に暗証番号を入力しないと本機が使用できなくなるため、不正使用を防止することができます。
また、「部門管理」機能でコピーの「許可／禁止」を設定することにより、コピー機能に制限を加えることもできます。

機械・消耗品のリサイクル／リユース

■ 機械・消耗品のリサイクル／リユース

弊社の環境基準に従い回収された機械やトナーボトルなどは、リサイクル、リユースされています。今後も資源の保護に取り組み、人と環境に調和した活動を行ってまいります。

使用済みのトナーボトル、感光体は、再使用、マテリアルリサイクル、再資源化など適正に処理するため、回収にはご協力を御願い致します。

使用済みのトナーボトル

- 使用済みのトナーボトルは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。
  回収したトナーボトルは、再資源化しています。

使用済みのドラム（感光体）

- 使用済みのドラムは、サービス技術者が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。
  回収したドラムは、再資源化しています。

機械の廃棄について

- 機械を廃棄するときは、サービス実施店もしくは、最寄りの販売店にご連絡ください。
  機械を直接お引取りするか、または指定のお引取り場所をお知らせします。
  回収した機械は、再資源化しています。

■ 2 次電池（充電式バッテリー）の使用について

- 本機は 2 次電池（充電式ニッケル水素電池）を使用しております。
  本機を廃棄するときは、2 次電池も回収いたします。お客様が 2 次電池を取り外す必要はありません。また、故障時の 2 次電池の交換は、お客様が行う必要はありません。サービス実施店にご相談ください。

ご使用にあたってのお願い

NTT 東日本、NTT 西日本（以下 NTT と言う）のキャッチホンサービスをご利用の場合、ファクシミリ画像の乱れや回線異常を起こすことがあります。キャッチホンサービスとファクシミリ通信の併用はしないでください。

本機をご使用になるにあたって、NTT のレンタル電話機が不要になる場合は、NTT へご連絡ください。

ご連絡いただく日をもって「機器使用料」は不要になります。詳しくは、局番無しの 116 番へお問い合わせください。

電話料金の内訳

1. 回線使用料：
   ご契約者名義等により住宅用と事務用に区別され、回線使用料が異なります。
2. 屋内配線使用料：
   保安器から屋内の電話機のさしこみ口までの屋内配線を NTT からレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
3. 機器使用料：
   NTT の電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
4. 付加機能使用料：
   プッシュ回線、キャッチホン、クレジット通話などをご利用いただいている場合の付加機能の使用料金です。

第 1 章
設置・取扱いの注意

設置や取扱いの注意について説明します。

1.1　安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。

- このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。
- ユーザーズガイド本文内に書かれている注意事項も必ずお守りください。

KM_Ver. 01J_F

※ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

■ 絵表示の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例

	この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容が描かれています。 例）「高温注意」を示す図記号
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。 例）「分解禁止」を表わす図記号
	この記号は必ず行わなければならない行為を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容が描かれています。 例）「電源プラグを抜く」を表わす図記号

分解・改造について

⚠警告

・本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。

・本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。

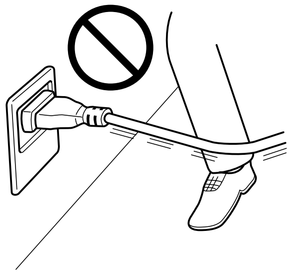
電源コードについて

⚠警告

・同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。

・この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。

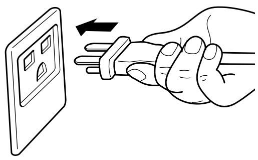
・電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。



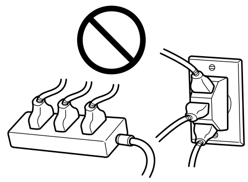
電源について

⚠警告

・製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。

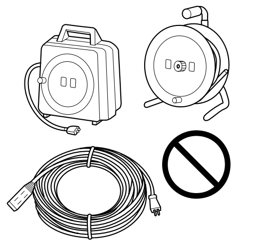


・プラグの形状とコンセントが合わない場合に変換アダプタを使用しないでください。コンセントの形状は電圧や流せる電流で決まっているため、これを守らないと火災の危険があります。また、アース接続の不良により、感電の危険もあります。プラグの形状に合うコンセントの設置を電気工事士にご依頼ください。



・コンセントが 2 口以上あって、この製品と他の電気製品を同時に使う場合は、事前に担当サービス技術者にご相談ください。コンセントの容量を超えて使用すると、火災の危険があります。

・原則的に延長コードは使用しないで下さい。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービス技術者にご相談ください。



⚠注意

・コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

電源プラグについて

⚠警告

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

・電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

⚠注意

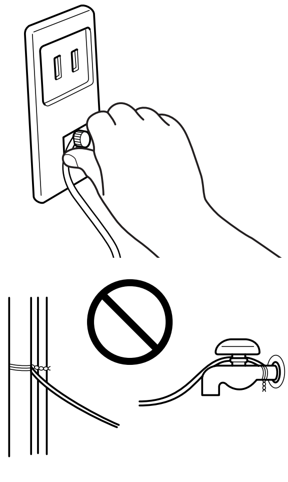
・プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

・電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アース接続について

⚠警告

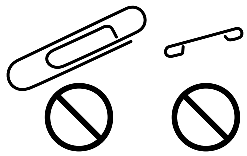
・必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。
※ アース線の接続は電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。
アース線は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。
・コンセントのアース端子
・接地工事を施してある接地端子（第 D 種）
次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。
・ガス管（ガス爆発の原因になります）
・電話専用アース線および避雷針のアース線（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
・水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）



設置について

⚠ 警告

・本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



⚠ 注意

・本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。（床置き型製品の場合）

・本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

・本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

・本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

・本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。

換気について

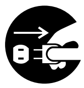
⚠ 注意

・本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。

異常が見られたら

⚠ 警告

・本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



・本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。



⚠ 注意

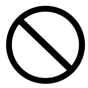
・本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。



消耗品について

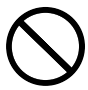
⚠ 警告

・トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

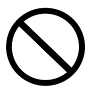


⚠ 注意

・トナーボトルや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。



・トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。



製品を移動させるときは

⚠ 注意

・本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



・本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。



1.2　適合宣言文

■ レーザーの安全性

本機は、レーザーを使用するデジタル機器です。本マニュアルに記載の指示事項を守って動作させる限り、レーザーの危険にさらされることはありません。

レーザー光放射は、保護カバーの中に完全に遮蔽されていますので、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。

本機はクラス 1 レーザー製品として認定されています。従って、本機が危険なレーザー放射を発生させることはありません。

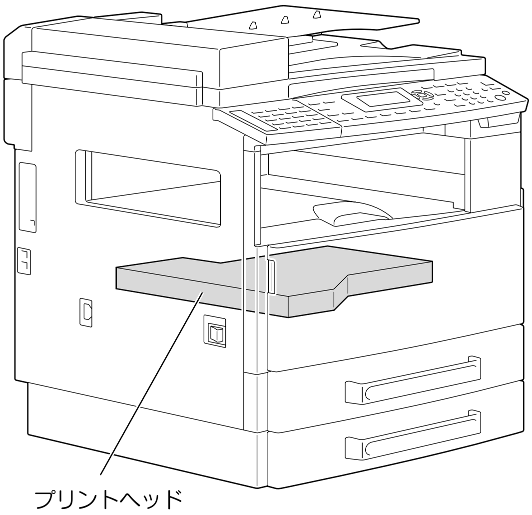
■ 内部レーザー放射

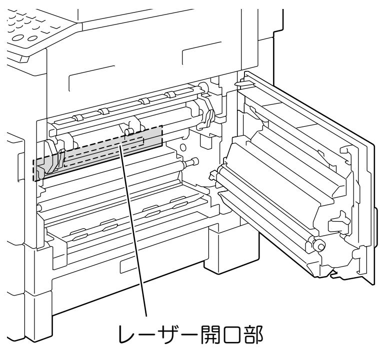
最大平均放射パワー：プリントヘッドのレーザー開口部で 6.32 μW

波長：770-795 nm

本機は、クラス 3b のレーザーダイオードを使用し、不可視のレーザー光を放射します。

プリントヘッド部には、このレーザーダイオードと読み取り用ポリゴンミラーが組み込まれています。プリントヘッド部は市場保守調整品目ではありません。したがって、プリントヘッド部は、どのような状況でも開けないでください。





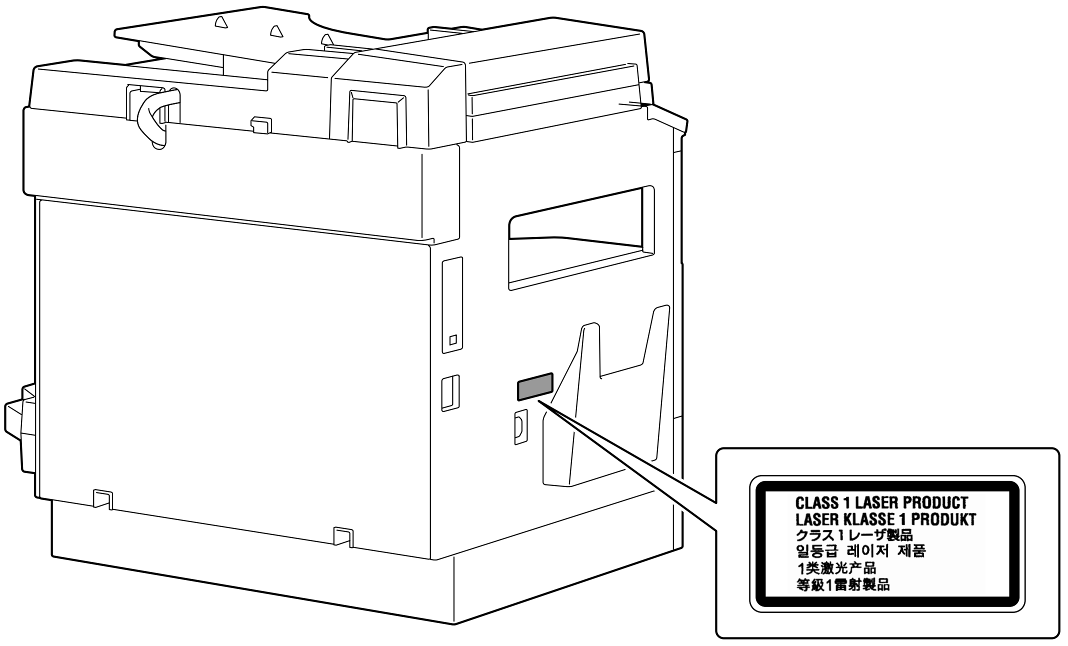
注意

ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらす恐れがあります。

これは半導体レーザーです。このレーザーダイオードの最大出力は 5 mW で波長は 770-795 nm です。

■ レーザー安全ラベル

次に示すように、レーザー安全ラベルが本機の外側に貼り付けられています。



■ オゾン放出

本機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。

ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピー／プリントを行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために部屋の換気をおすすめします。

■ 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

本説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

この装置は、シールドタイプのインターフェースケーブルを使用して下さい。ノンシールドインターフェースケーブルを使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあり、VCCI で禁止されています。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エミッション放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用の推奨純正品を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2003 の付録 4 に基づき試験を実施しました。）

1.3　設置上のご注意

■ 設置環境

次のような場所への設置は安全上好ましくありません。また本機の故障の原因になりますので、避けて設置してください。

- カーテンなどの燃えやすいものが近くにあるところ。
- 水などが飛び散り、漏電を起こす危険性のあるところ。
- 直射日光のあたるところ。
- エアコンや暖房器具の風が直接あたるような、温度や湿度が急激にかわるところ。
- 通気性、換気性の悪いところ。
- 湿気の多いところ。
- ほこりの多いところ。
- 振動の激しいところ。
- 水平でないところ。
- アンモニア等の有機ガスが発生するところ。
- 機械の排気が直接人体に当たるところ。
- 石油ストーブ等の発熱機器に近いところ。

■ 設置電源

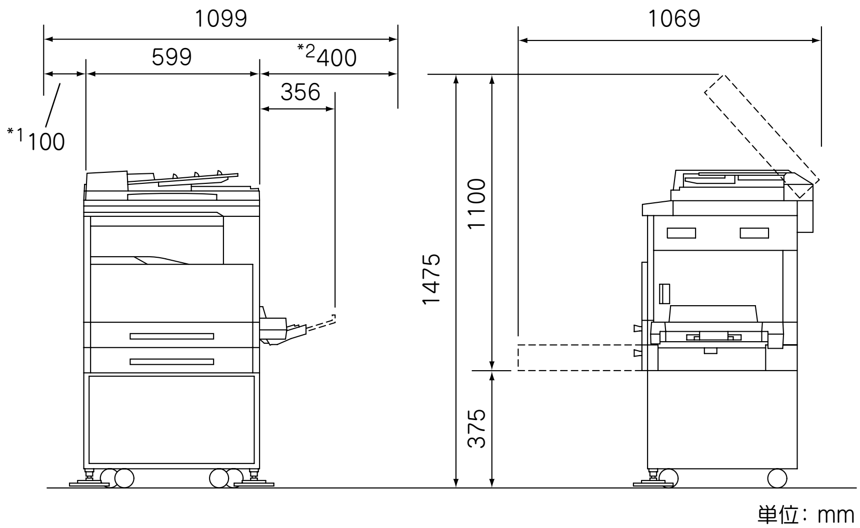
設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。

電圧変動率：AC 100 V ± 10% 以内
周波数変動：50 Hz/60 Hz ± 3 Hz 以内

■ 設置スペース

コピー操作、ファクス操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、次に示す設置スペースを確保してください。





*1: 本機の左側面には排熱用の排気ダクトがあるため、左側面は必ず 100 mm 以上あけてください。
*2: 本機の右側面は右扉の開閉用に 400 mm 以上あけてください。

1.4　使用上のご注意

■ 使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 気温 10 ℃～ 30 ℃ 温度変化率 10 ℃ /h 以下
- 湿度 15% ～ 85% 湿度変化率 10%/h 以下

■ 本機使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 原稿ガラスの上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。
- コピー／プリント中に、各種ドアを開けたり、メインスイッチをオフにしたりしないでください。紙づまりをおこします。
- 本機に磁石や燃えやすいガス、または液体を近づけないでください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。
- 電源プラグを差し込んだコンセントが、本機などの陰に隠れてしまわないようにしてください。
- 長い休みなどで長期間本機を使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 連続して多量のコピー／プリントを行う場合には、部屋の換気を行ってください。

⚠ 注意

本機の左側面にある排気ダクトがふさがれると、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となります。
排気ダクトの左側面は 100 mm 以上あけてください。

⚠ 注意

定着部周辺は高温となっています。
火傷の原因となりますので、ユーザーズガイド中で指定された箇所以外には手を触れないように注意してください。特に、「注意 やけどのおそれあり さわらないでください」という表示のある箇所、およびその周辺には手を触れないでください。
高温部分に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

■ 転居、移動

引越しなどで本機を移転させる場合には、サービス実施店にご相談ください。

■ 消耗品の取り扱い上のご注意

消耗品（トナーボトル、用紙）の取り扱いには以下の点にご注意ください。

- 消耗品を以下のような場所で保管しないでください。
  - ❍ 直射日光の当るところ
  - ❍ 火気のある暑いところ
  - ❍ 湿気の多いところ
  - ❍ ほこりの多いところ
- 包みから取り出した用紙は、ポリ袋に入れ必ず冷暗所に保管してください。
- トナーは本機専用のトナーを使用してください。他のトナーは絶対に使用しないでください。
- 幼児や子供の手の届く所には置かないようにしてください。

■ トナーボトルの取り扱いについて

トナーボトルを取り扱う場合、以下の項目をよく読み取り扱いには十分に注意してください。

- トナーボトルは、無理に開けたりしないでください。
  トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手に付いた場合
  石鹸を使って水で良く洗い流してください。
- トナーを吸入した場合
  新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。
  咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合
  直ちに流水で 15 分以上よく洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合
  口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナーボトルは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

■ コピー／プリントの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当らないところに保管してください。
- コピー／プリントされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。

■ 再生紙の使用について

本機は、古紙パルプ 100% 再生紙で、エコマーク認定商品である「コニカミノルタ NR-A100」がご使用できます。

■ 各種運転モードにおけるエネルギー消費および省エネルギー機能

各種運転モード時のエネルギー消費値は以下の通りです。

スリープモードの消費電力	スリープモードへの移行時間	スリープモードからの復帰時間
17.2 W	15 分	30 秒

省エネルギー機能には、以下を搭載しています。

- スリープ機能
  スリープ機能は、本機の消費電力を節約するため、本機を操作しなくなってから設定した時間が経過すると、操作パネルのディスプレイ表示を消すなど、自動的に節電状態にする機能です。待機中の消費電力を 17.2 W 以下に抑えることができ、電気料金の節約にも寄与しています。出荷時設定では、無操作時間が 15 分を経過すると、自動的にスリープ機能が働き消費電力を節約します。スリープ機能は、1 分～ 240 分の間で 1 分単位の設定ができます。

スリープ機能設定時間	出荷時設定
1 分～ 240 分	15 分

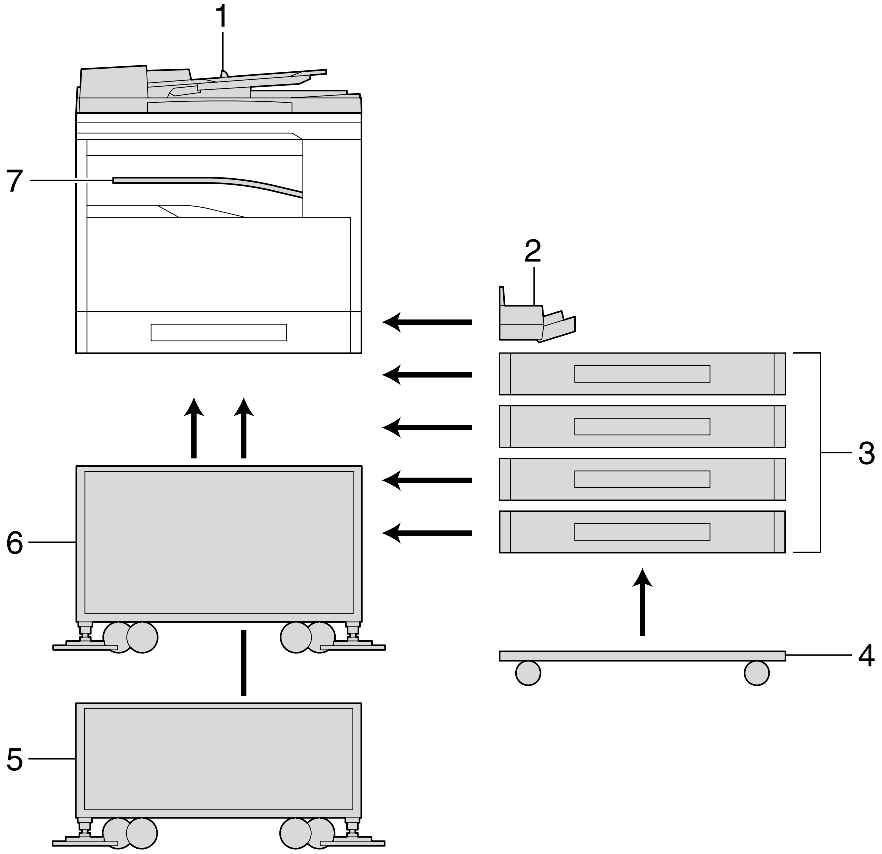
■ 換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量のコピーを行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス環境が保てない原因となります。また、複写動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

第 2 章
おつかいになるまえに

おつかいになるまえに知っておきたいことについて説明します。

2.1　装置全体の構成とはたらき



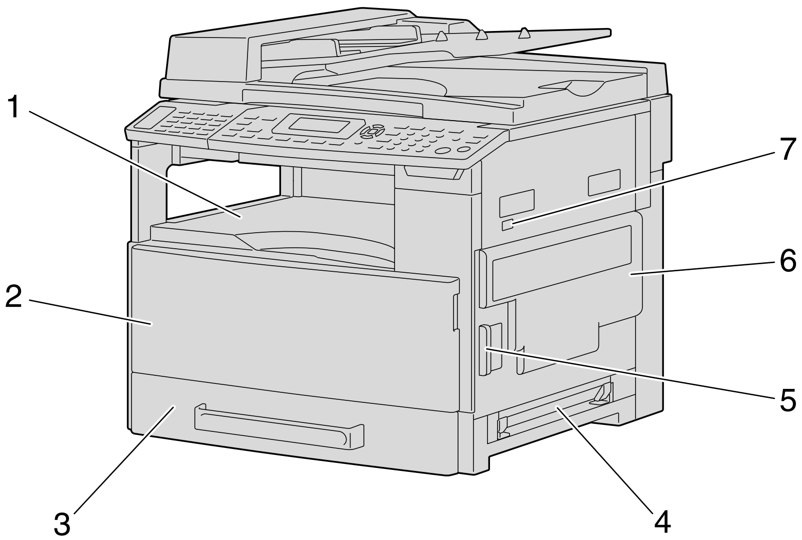
No.	名称	説明
1	自動原稿送り装置 DF-502	自動的に原稿を 1 枚ずつ送り出し、読込みます。 以降本文中では原稿送り装置と呼びます。
2	マルチ手差し給紙ユニット MB-501（オプション）	用紙を最大 100 枚までセットできます。 以降本文中ではマルチ手差しトレイと呼びます。
3	ペーパーフィーダーユニット PF-502（オプション）	用紙を 300 枚セットできるペーパーフィーダーユニットです。 本機には 4 段まで増設できます。 以降本文中では第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイと呼びます。
4	専用デスク DK-703（オプション）	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 このデスクの上に、トレイを最大 4 段増設できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
5	専用デスク DK-702（オプション）	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 このデスクの上に、トレイを最大 2 段増設できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。

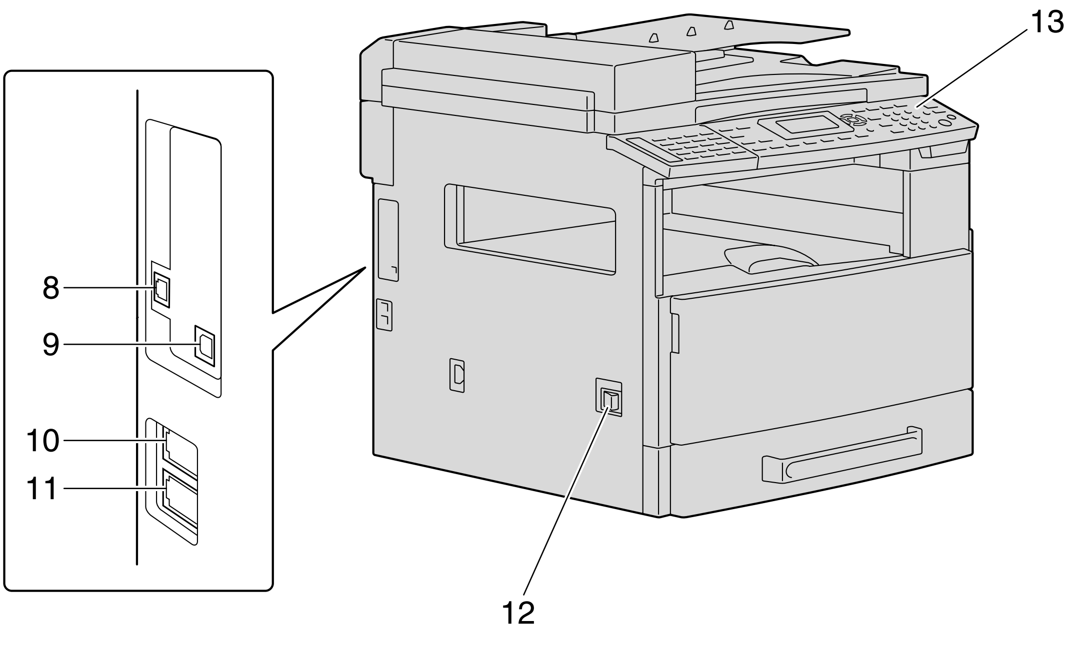
No.	名称	説明
6	専用デスク DK-701（オプション）	本機を専用デスクの上に設置できます。 専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 このデスクの上に、トレイを 1 段増設できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
7	セパレータ JS-503（オプション）	プリントされた用紙を仕分けることができます（PC プリント時のみ有効）。 以降本文中ではセパレーターと呼びます。
8	イメージコントローラ IC-206*（オプション）	内蔵型のプリンタコントローラです。 ・本機を PC プリンター（PCL）として使用できます。 ・Windows および NetWare ネットワーク環境でのネットワークプリントができます。 ・原稿をスキャンして、データをコンピューターに送ったりメールに添付できます。 詳しくは、イメージコントローラ IC-206 のユーザーズガイドをごらんください。
9	ネットワークカード NC-503*（オプション）	内蔵型のネットワークカードです。 ・Windows および NetWare ネットワーク環境でのネットワークプリントができます。 ・原稿をスキャンして、データをコンピューターに送ったりメールに添付できます。 詳しくは、ネットワークカード NC-503 のユーザーズガイドをごらんください。
10	拡張メモリ EM-103*（オプション）	128MB の拡張メモリです。本機で処理できる原稿枚数を増やすことができます。 以降本文中では拡張メモリーと呼びます。
11	防湿ヒータ HT-502*（オプション）	給紙キャビネットまたは専用デスクに取付け、用紙の湿気を防止します。

* 内蔵系オプションのため、図解してありません。

2.2 各部の名称とはたらき

■ 本体

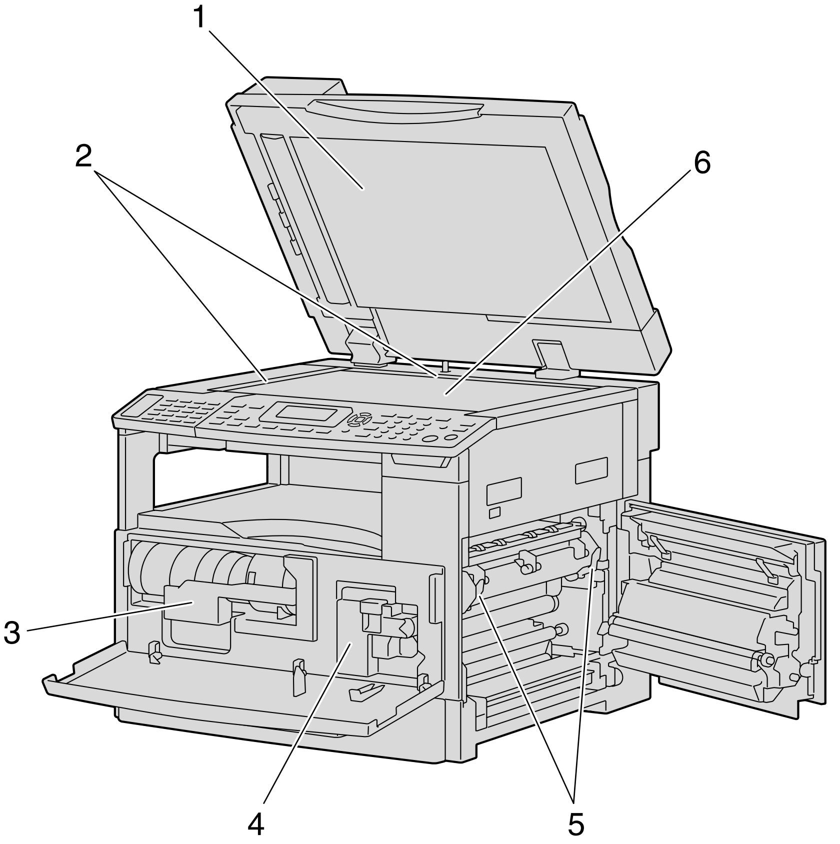




No.	名称	説明
1	コピートレイ	コピー／プリントされた用紙がコピー／プリント面を下にして排出されます。
2	前扉	トナーボトルを交換するときに開きます（p. 11-2）。

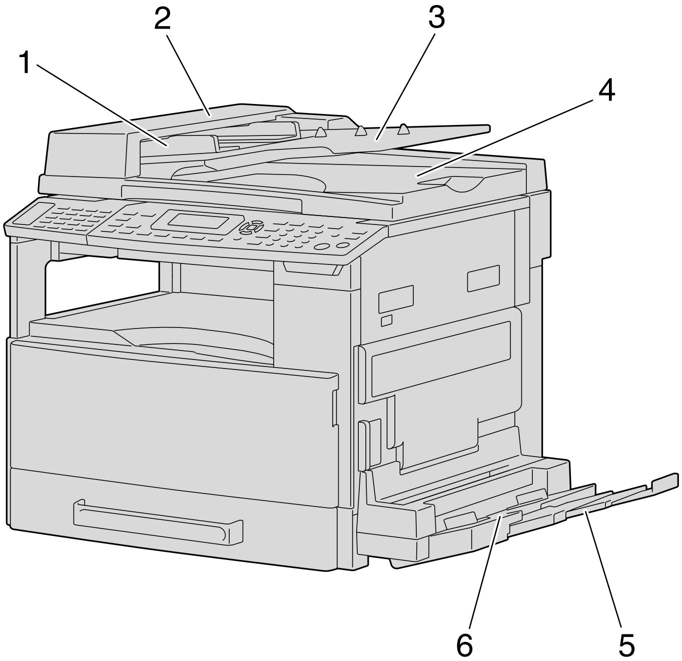
No.	名称	説明
3	第 1 トレイ	· 300 枚までの用紙をセットできます。 · 用紙サイズを自由に変更できます。 · 特殊紙を使用できます（p. 9-25）。
4	シングル手差しトレイ	· 手差しコピーをするときに使用します。 · 用紙は 1 枚ずつ差し込みます。 · 特殊紙を使用できます（p. 4-26）。
5	ロック解除レバー	右扉を開閉するときに使用します。
6	右扉	紙づまりの処理をするときに開きます。
7	メカカウンタ	コピー／プリントされたトータル枚数を表示します。
8	ネットワーク用コネクタ RJ45（オプション）	本機をネットワークプリンターとして使用するときにネットワークケーブルを接続します。
9	USB コネクター	USB ケーブルでコンピューターと本機を接続するときに使用します。
10	回線コネクター（LINE）	回線コードを接続します。
11	外付け電話機接続コネクター（TEL）	外付け電話機のコードを接続します。
12	メインスイッチ	本機の電源をオン／オフします（p. 2-19）。
13	操作パネル	コピー動作、送信動作や各種の設定を行う場合に使用します（p. 2-10）。

■ 本体内部



No.	名称	説明
1	原稿カバー	セットされた原稿を押さえます。
2	原稿スケール	スケールの表示に合わせて原稿をセットします（p. 3-19）。
3	トナーボトルホルダー	トナーボトルを交換するときに開きます。
4	感光体ユニット	プリントイメージを生成します。 感光体ユニットの交換はサービス実施店で行います。
5	圧着レバー	定着部の紙づまり処理をするときに使用します（p. 11-7）。
6	原稿ガラス	原稿をここにセットし、原稿を読込みます。 原稿面を下側に向けてセットします（p. 3-19）。

■ 自動原稿送り装置／マルチ手差し給紙ユニット（オプション）



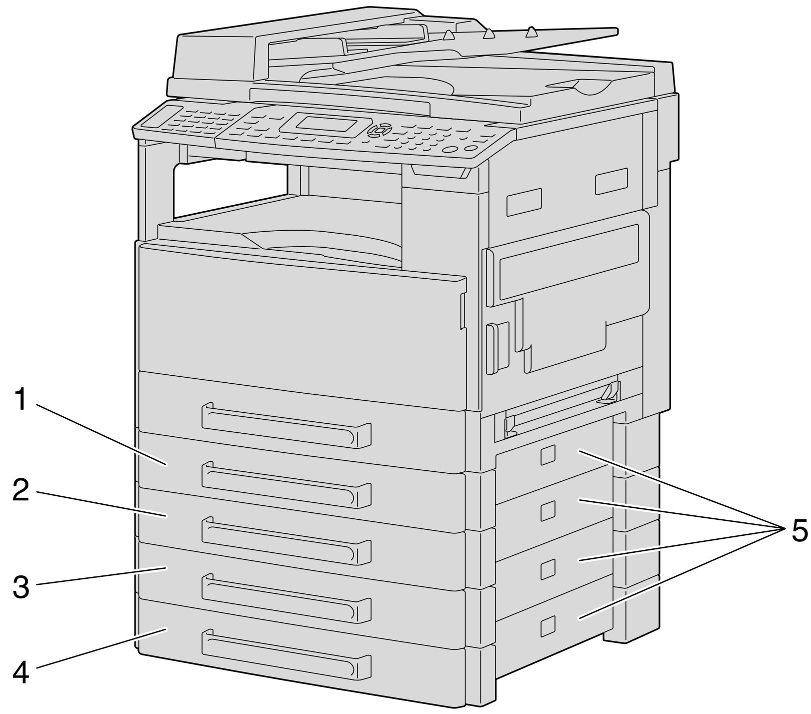
自動原稿送り装置

No.	名称	説明
1	原稿セットガイド	原稿の幅に合わせてガイドを調整します。（p. 3-17）
2	給紙カバー	紙づまりの処理をするときに開きます。（p. 11-19）
3	原稿給紙トレイ	コピー / 送信する原稿を上向きにセットします。（p. 3-17）
4	原稿排出トレイ	読込みの終わった原稿が排出されます。

マルチ手差し給紙ユニット

No.	名称	説明
5	補助トレイ	大きなサイズの用紙をセットするときに引き出します。
6	手差しトレイ	100 枚（普通紙）、20 枚（特殊紙）、10 枚（封筒）までの用紙をセットできます。（p. 4-15）

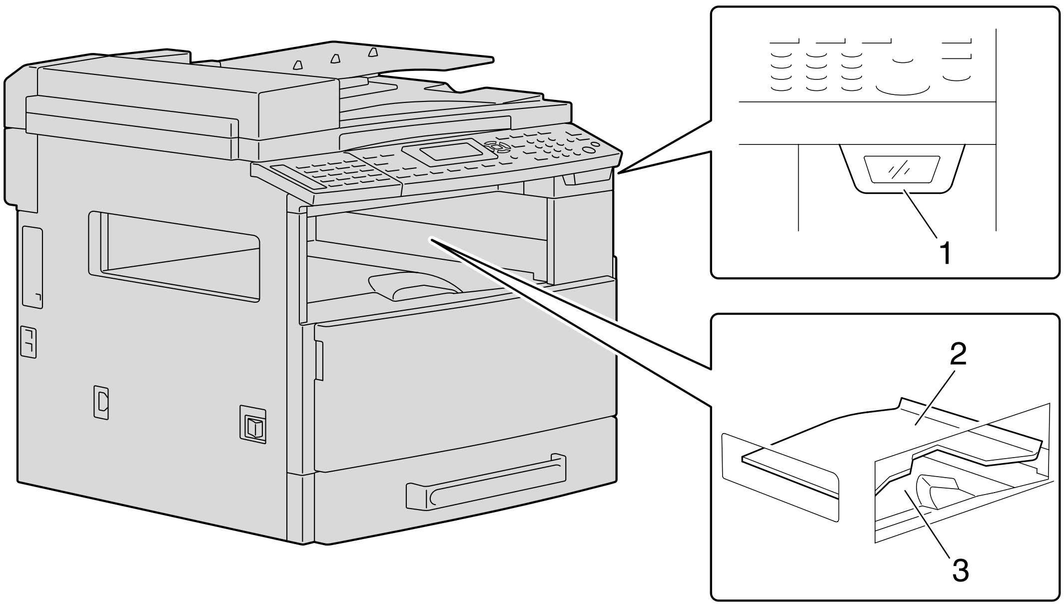
■ ペーパーフィーダーユニット（オプション）



ペーパーフィーダーユニット

No.	名称	説明
1 ～ 4	第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ	· 300 枚（普通紙）までの用紙をセットできます。 · 4 段のペーパーフィーダーユニットを増設できます。
5	右扉	紙づまりの処理をするときに開きます。（p. 11-13）

■ セパレーター（オプション）

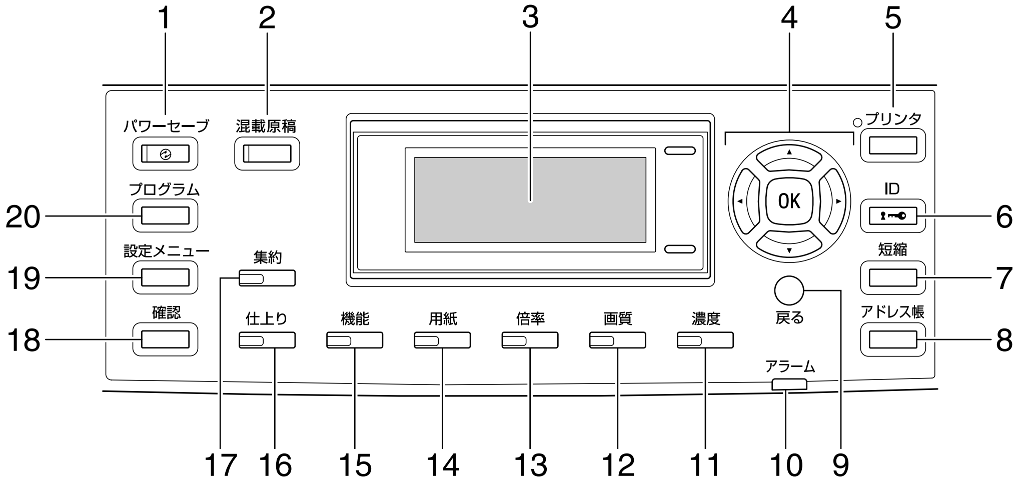


セパレーター

No.	名称	説明
1	用紙排出ランプ	上段排出トレイが上部に移動している状態で、トレイに用紙が残っているときにランプが点灯します。
2	上段排出トレイ	PC プリントまたはファクス受信された用紙が排出されます。
3	下段排出トレイ	コピーされた用紙がここに排出されます。

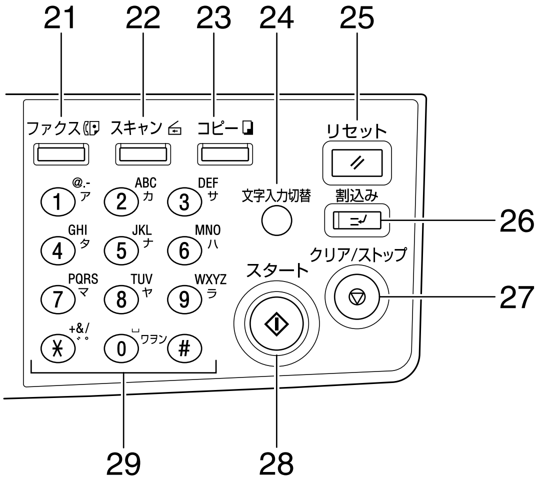
2.3　操作パネル部の名称とはたらき

■ 操作パネル部の名称とはたらき



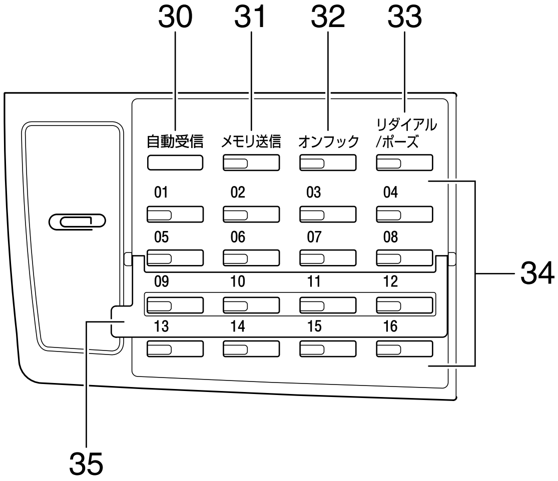
No.	名称	機能
1	パワーセーブキー／ランプ	スリープモードに切替わります（p. 2-20）。
2	混載原稿キー／ランプ	混載原稿を選択します。
3	ディスプレイ	コピー枚数や倍率、ファクスモード、設定メニュー、エラーメッセージを表示します。
4	▲、▼、◀、▶キー OK キー	▲、▼、◀、▶キーで、ディスプレイ上の選択項目を移動したり設定値を変更します。 OK キーで、各種設定値を決定します。
5	プリンタキー／ランプ	PC からのプリント中はランプが点灯し、データの転送中はランプが点滅します。詳しくは、プリンタドライバユーザーズガイドをごらんください。
6	ID キー	部門管理をしているときに使用します（p. 5-27）。
7	短縮キー	よく使うファクス番号やアドレスを登録して、送信時に呼び出します。
8	アドレス帳キー	ワンタッチダイアル、グループダイアル、短縮ダイアルに登録されている内容が表示されます。
9	戻るキー	前の画面に戻ります。
10	アラームランプ	エラーが発生したときに点灯または点滅します。詳しくは、「第 11 章　こんなメッセージが 表示されたら」をごらんください。
11	濃度キー	コピーやファクス原稿の読み取り濃度を選択します。
12	画質キー	原稿の画質を選択します。 コピーモード時は「文字」「写真」「文字／写真」から選択します。 ファクスモード時は「文字」「写真」から 1 つと、「普通」「精細」「高精細」から 1 つとの組み合わせから選択します。
13	倍率キー	コピー時の画像の拡大／縮小を設定します（p. 4-54）。

No.	名称	機能
14	用紙キー	使用する用紙トレイを選択します。
15	機能キー／ランプ	とじ代をつけてコピーする、親展通信するなど、一歩進んだコピーや便利なファクスの送受信の設定ができます。
16	仕上りキー／ランプ	コピーの仕上りモードを選択します。
17	集約キー／ランプ	2in1、4in1 の設定をします。
18	確認キー	カウンタの確認、通信結果の確認、レポート出力を行います。
19	設定メニューキー	設定メニュー画面で各種の設定を行います。 本体設定、トレイ設定、不定形サイズ登録、ユーザー保守、管理者設定、コピー設定 1、2、宛先登録、ファクス登録、ファクス送信設定、ファクス受信設定、レポート設定
20	プログラムキー	設定したコピー機能を登録したり、呼び出したりします。



No.	名称	機能
21	ファクスキー／ランプ	ファクスモードを使用するときに押します。ランプがグリーン点灯し、ファクスモードであることを示します。
22	スキャンキー／ランプ	スキャンモードを使用するときに押します。ランプがグリーン点灯し、スキャンモードであることを示します。(ネットワークカード NC-503 またはイメージコントローラ IC-206 装着時のみ有効です。)
23	コピーキー／ランプ	コピーモードを使用するときに押します。ランプがグリーン色に点灯し、コピーモードであることを示します。
24	文字入力切替キー	数字入力モードと文字入力モードが切替わります。
25	リセットキー	・ 操作パネルで入力したすべての設定を解除します。(登録した設定は除きます。) ・ 設定中のジョブを消去します。(コピーモード、ファクスモードへの切替えはできません。)
26	割込みキー／ランプ	割込みモードを使用するときに押します。ランプがグリーン色に点灯し、割込みモードであることを示します。もう一度キーを押すと、割込みモードを解除し、割込みモードに入る前のモードに戻ります (p. 4-65)。 ファクス受信／ PC プリント中にこのキーを押すと、プリントが停止し割込みコピーできます。もう一度キーを押すと、ファクス受信／ PC プリントを再開します。
27	クリア／ストップキー	・ 入力中の文字や数字を消去します。 ・ 連続コピー動作を停止させます。 ・ ファクス送受信を停止させます。 ・ PC プリントを停止させます。
28	スタートキー／ランプ	・ コピー動作を開始します。 ・ ファクス送信を開始します。 ・ ウォームアップ中に押すと、予約コピー機能がはたらきます (p. 2-20)。 ・ グリーン色に点灯しているときはコピー受け付け可能なことを示し、オレンジ色に点灯しているときはコピー開始の準備ができないことを示しています。

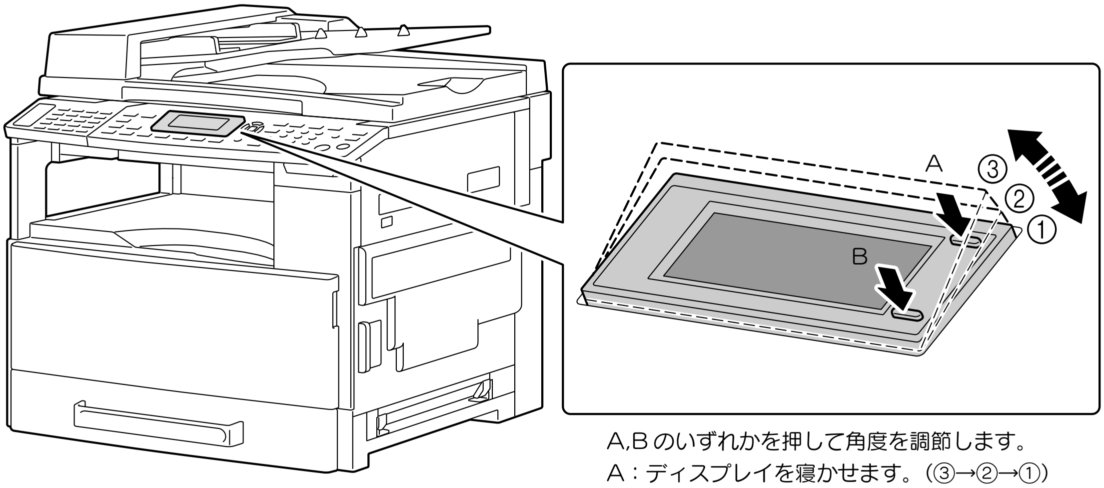
No.	名称	機能
29	テンキー	・ コピー部数を設定します。 ・ 各種設定値を入力します。 ・ ファクス番号を入力します。 ・ 短縮番号や文字を入力します。 ・ ファクスモードではトーン送信（ダイアル回線）用に ＊キーを使用し、外線のアクセス用に # キーを使用します。



No.	名称	機能
30	自動受信ランプ	自動受信モードに設定されているときに点灯します。
31	メモリ送信キー／ランプ	メモリ送信を設定します。メモリ送信モードに設定されているときはランプがグリーン色に点灯します。
32	オンフックキー	受話器をとった状態にします。もう一度キーを押すと、受話器を置いた状態に戻ります。
33	リダイアル / ポーズキー	・ 最後にかけた相手先にダイアルします。 ・ ダイアル時、内線から外線への発信、情報サービスを受けるときの待ち時間に利用します。
34	ワンタッチダイアルキー	・ あらかじめ登録されている相手先にダイアルします。 ・ ワンタッチダイアルとグループダイアルの設定には、【01】～【32】を使用します。 ・ プログラムダイアルの設定には、【29】～【32】を使用します。
35	切替え板	ワンタッチダイアルキーの番号を切替えます。切替え板を下に閉じているときは【01】～【16】になり、上に開いているときは【17】～【32】になります。

■ ディスプレイの角度の変えかた

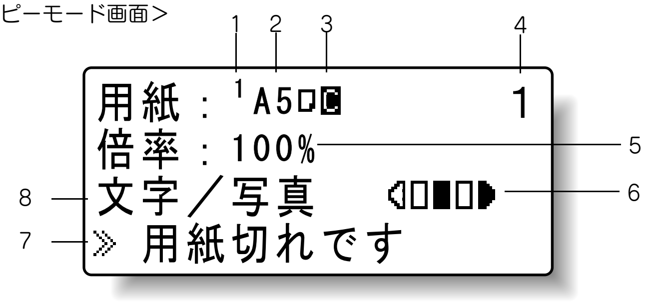
ディスプレイ部分を押して角度を 3 段階に調節できます。
使いやすい角度を選んでご使用ください。



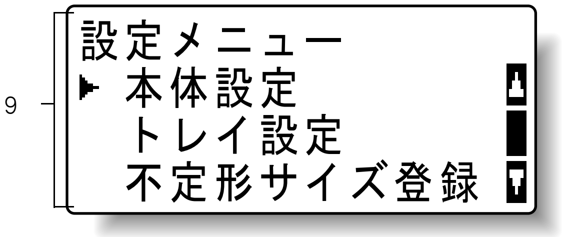
A,B のいずれかを押して角度を調節します。
A：ディスプレイを寝かせます。（③→②→①）
B：ディスプレイを立てます。（①→②→③）

■ ディスプレイ表示について

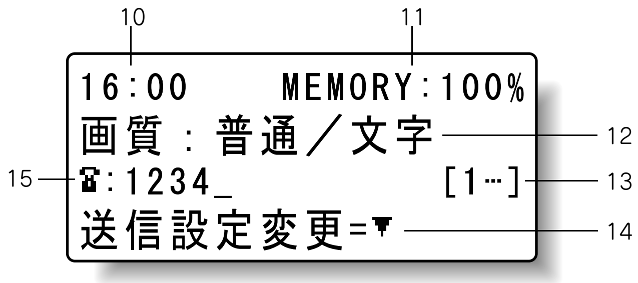
＜コピーモード画面＞



＜設定メニュー画面＞



＜ファクスモード画面＞

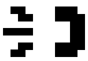
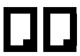


No.	ディスプレイ表示		説明
1	給紙トレイ		選択されている給紙トレイを表示します。
		1	第 1 トレイが選択されています。
		2	第 2 トレイが選択されています。
		3	第 3 トレイが選択されています。
		4	第 4 トレイが選択されています。
		5	第 5 トレイが選択されています。
			シングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイが選択されています。
2	用紙サイズ		選択されている用紙サイズを表示します。
		[X/Y]	フリーサイズの用紙が設定されています。

No.	ディスプレイ表示		説明
3	用紙種類		選択されている用紙種類を表示します。
			普通紙が選択されています。
			再生紙が選択されています。
			専用紙が選択されています。
			厚紙が選択されています。
			OHP フィルムが選択されています。
			封筒または官製はがきが選択されています。
4	コピー枚数		コピー枚数を表示します。 1 ～ 99 枚まで設定可能です。
5	コピー倍率		設定されているコピー倍率を表示します。
		自動	自動倍率が選択されています。 原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。
		100%	等倍（100%）が選択されています。 原稿と同じ大きさでコピーします。
		[X/Y]	縦横変倍が選択されています。 原稿の縦方向と横方向を異なった倍率でコピーします。
6	コピー濃度		コピー濃度設定での濃度設定状態を表示します。 コピーモード画面上では 3 段階で表示します。
7	メッセージ表示		本機の状態や、コピーモード中における、ファクス、PC プリントなどの状態を表示します。
8	原稿画質		原稿の画質設定状態を表示します。
		文字／写真	文字 / 写真画質が選択されています。 文字と写真が混在する新聞や雑誌などの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。 自動濃度モードと組合わせて設定できます。
		写真	写真画質が選択されています。 パンフレットやカタログなどの印刷された原稿から、コピーするのに適したモードです。文字画質では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能なかぎり再現します。
		文字	文字画質が選択されています。 文字だけで構成された原稿からコピーするのに適したモードです。コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像がえられます。 自動濃度モードと組合わせて設定できます。
9	モード／機能		各種設定メニュー、選択肢を表示します。
10	時刻		本機に設定されている現在時刻を表示します。
11	メモリー残量		メモリーの使用されていない割合を表示します。0% に近い状態になると、メモリー不足により新しく原稿を読込めなくなる場合があります。

No.	ディスプレイ表示		説明
12	画質		原稿の画質設定状態を表示します。
		普通／文字	「普通／文字」が選択されています。
		精細／文字	「精細／文字」が選択されています。
		高精細／文字	「高精細／文字」が選択されています。
		普通／写真	「普通／写真」が選択されています。
		精細／写真	「精細／写真」が選択されています。
		高精細／写真	「高精細／写真」が選択されています。
13	入力モード		現在設定されている入力モードを表示します。
		[1…]	数字入力モードが選択されています。
		[A…]	英字／記号入力モードが選択されています。
		[ｱ…]	カタカナ入力モードが選択されています。
14	メッセージ		「その他の設定」への誘導や、ファクスモード時における、PC プリントなどの状態を表示します。
15	ファクス番号／ E メールアドレス		入力中のファクス番号や E メールアドレスを表示します。

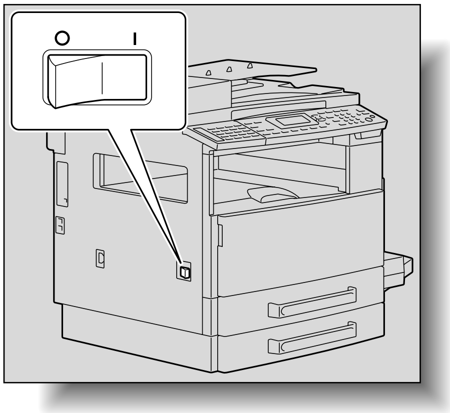
<ファクスモード時の絵文字一覧>

絵文字		説明
	ダイアル中	ダイアル中です。
	着信中	呼び出し（着信）を受けています。
	送信中	原稿を送信中です。
	受信中	原稿を受信中です。
	時刻指定送信待機中	時刻指定送信待ちの文書があります。
	ポーリング送信待機中	ポーリング送信待ちの文書があります。
	親展受信待機中	親展受信プリント待ちの文書があります。
	メモリ受信	メモリ受信中または、メモリ受信した文書があります。

2.4 電源について

■ 電源をオンにする

メインスイッチの【｜】を押します。



【スタート】がオレンジ色に点灯し、ディスプレイに「暫くお待ちください」と表示されます。

ひとこと

・ウォームアップタイムは室温 23 ℃で 30 秒以内です。
・ウォームアップ時でもコピーを予約することができます。（p. 2-20）

■ 電源をオフにする

1 すべてのジョブが終了したことを確認します。

2 メインスイッチの【○】を押します。

■ 初期モード

本機の電源をオンにしたときやリセットしたときの設定を初期モードと呼びます。初期モードは、すべての操作を行うときの基本となります。

コピーモード

- コピー枚数：1
- コピー濃度：自動
- 倍率：等倍（100%）
- 用紙：自動用紙
- 仕上り：ノンソート

ファクスモード

- 画質：文字
- 濃度：普通
- 送信設定：メモリ送信
- 受信設定：自動受信

参照

設定メニューで初期モードを変更できます。（p. 9-1）（p. 10-1）

■ オートリセット

オートリセットとはコピー終了後、または本機を操作しなくなってから一定時間が経過すると、初期モードに戻る機能です。（工場出荷時の設定：1 分）

参照

オートリセット機能が有効になるまでの時間を 30 秒、または 1 分から 5 分の間で設定できます。
またオートリセット機能を無効にすることもできます。詳しくは p. 9-8 をごらんください。

■ 低電力（スリープ）モード

低電力モードは電源をオフするかわりに本機を節電状態にする機能です。

低電力モード中は【スタート】がグリーン色に点灯し、操作パネルのディスプレイ表示はオフになります。

低電力モードになる条件

- 【パワーセーブ】を押したとき
- 本機を操作しなくなってから一定時間が経過したとき（工場出荷時の設定：15 分）

詳しく説明します

低電力モード中でもオートパワーオフ機能が有効になると、本機の電源はオフになります。

参照

低電力モードが有効になるまでの時間を 1 分から 240 分の間で設定できます。詳しくは p. 9-9 をごらんください。

■ オートパワーオフ

オートパワーオフとは、本機を操作しなくなってから一定時間が経過すると、節電のために自動で電源がオフになる機能です。（工場出荷時の設定：しない）

参照

自動的にオートパワーオフがはたらくまでの時間を、15 分～ 240 分の間で設定できます（p. 9-10）。

■ 予約コピー

予約コピーとは、ディスプレイの 4 行目に「>> ウォームアップ中」と表示されているときに原稿をセットし、【スタート】を押すと、コピーを予約できる機能です。

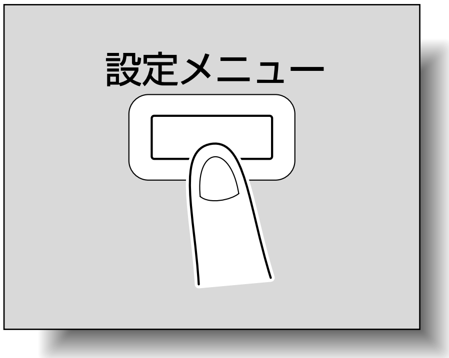
ウォームアップ表示が消えると、セットされた原稿の読込みを開始してコピーを行います。

2.5　電気を節約するには

省エネルギーのために電気を節約したいときは、「低電力（スリープ）モード」や「オートパワーオフモード」を使うと便利です。
ここでは自動的に低電力（スリープ）モード、オートパワーオフに切替える方法を説明します。

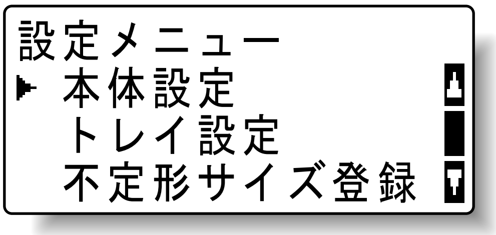
■ 低電力（スリープ）モードを設定する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

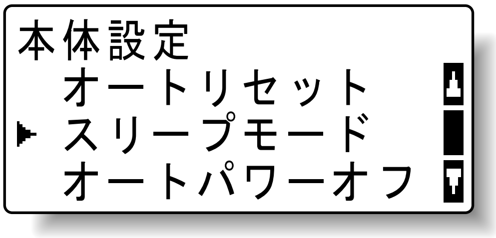
2 【▲】【▼】で「本体設定」を選択し、【OK】を押します。



本体設定メニューが表示されます。

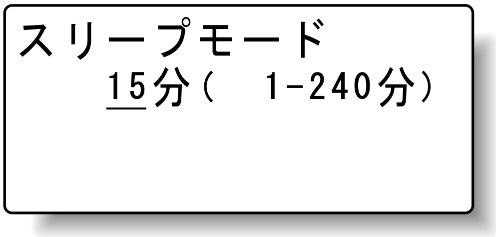
3

【▲】【▼】で「スリープモード」を選択し、【OK】を押します。



4

テンキーで、機能が有効になるまでの時間を入力し、【OK】を押します。

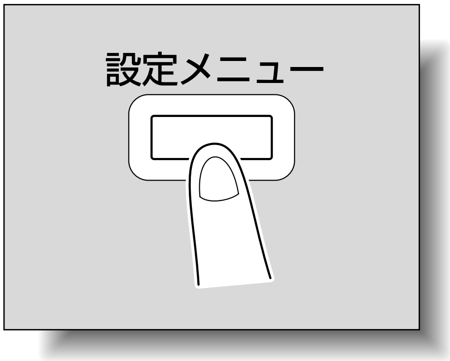


詳しく説明します

- タイマー設定は、1 分〜240 分の間で設定できます。
- 数値を訂正したい場合は、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

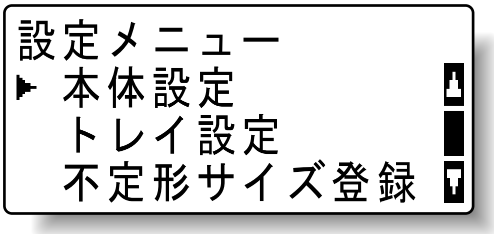
■ オートパワーオフを設定する

1 【設定メニュー】を押します。



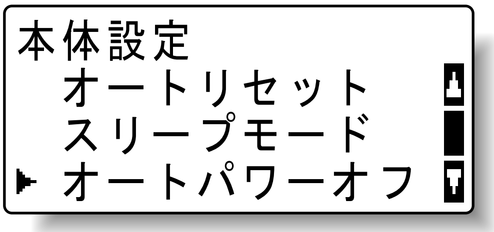
設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「本体設定」を選択し、【OK】を押します。



本体設定メニューが表示されます。

3 【▲】【▼】で「オートパワーオフ」を選択し、【OK】を押します。



必ず守ってください

オートパワーオフの設定は、管理者設定でオートパワーオフの設定が許可されている必要があります。詳しくは、p. 9-39 をごらんください。

4

【▲】【▼】で「する」を選択した後、テンキーで、機能が有効になるまでの時間を入力します。

```
オートパワーオフ
  しない
▶ する
    30分( 15-240分)
```

5

【OK】を押します。

詳しく説明します

- タイマー設定は、15 分〜240 分の間で設定できます。
- 数値を訂正したい場合は、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

第 3 章
コピー／ファクスをとるまえに

コピー／ファクスをとる前に知っておくと便利なことについて説明します。

3.1 用紙について

以下の表に示す条件を満たす用紙を使用してください。

■ 用紙種類

用紙種類 / 坪量（g/m^2） / 給紙口／その他	普通紙	厚紙	再生紙
	60 ～ 90 g/m^2	91 ～ 157 g/m^2	60 ～ 90 g/m^2
シングル手差しトレイ	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○
第 1 トレイ	○	○	○
第 2 トレイ	○	—	○
第 3 トレイ	○	—	○
第 4 トレイ	○	—	○
第 5 トレイ	○	—	○

用紙種類 / 給紙口／その他	特殊紙			
	官製はがき	OHP フィルム	ラベル用紙	封筒
シングル手差しトレイ	○	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○	○
第 1 トレイ	○※	○	○	○
第 2 トレイ	—	—	—	—
第 3 トレイ	—	—	—	—
第 4 トレイ	—	—	—	—
第 5 トレイ	—	—	—	—

○：セット可
—：セット不可
※第 1 トレイにはがきをセットする場合、設定メニューで第 1 トレイの設定をしてください。また、コンピューターから第 1 トレイのはがきにプリントする場合にも、本機の操作パネルで第 1 トレイの設定をする必要があります。設定のしかたについては、「官製はがきにコピーする（第 1 トレイ使用）」（p. 4-50）をごらんください。

ひとこと

第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。

■ 用紙サイズ

不定形紙

給紙口	用紙幅	用紙長
シングル手差しトレイ	90 mm ～ 297 mm	140 mm ～ 432 mm
マルチ手差しトレイ	90 mm ～ 297 mm	140 mm ～ 432 mm
第 1 トレイ	90 mm ～ 297 mm	140 mm ～ 432 mm
第 2 トレイ	182 mm ～ 297 mm	140 mm ～ 432 mm
第 3 トレイ	182 mm ～ 297 mm	140 mm ～ 432 mm
第 4 トレイ	182 mm ～ 297 mm	140 mm ～ 432 mm
第 5 トレイ	182 mm ～ 297 mm	140 mm ～ 432 mm

定形紙

用紙サイズ 給紙口／その他	A3	B4	A4	A4	B5	B5	A5	A5
シングル手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
マルチ手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
第 1 トレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
第 2 トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第 3 トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第 4 トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○
第 5 トレイ	○	○	○	○	○	○	—	○

○：セット可
—：セット不可

ひとこと

第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。
第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイの用紙サイズ設定を変更したい場合は、担当サービス技術者にお問い合わせください。

3

■ 用紙セット枚数

用紙種類 / 坪量（g/m²） / 給紙口／その他	普通紙	厚紙	再生紙
	60 ～ 90 g/m²	91 ～ 157 g/m²	60 ～ 90 g/m²
シングル手差しトレイ	1 枚	1 枚	1 枚
マルチ手差しトレイ	100 枚	20 枚	100 枚
第 1 トレイ	300 枚	20 枚	300 枚
第 2 トレイ	300 枚	—	300 枚
第 3 トレイ	300 枚	—	300 枚
第 4 トレイ	300 枚	—	300 枚
第 5 トレイ	300 枚	—	300 枚

用紙種類 / 給紙口／その他	特殊紙			
	官製はがき	OHP フィルム	ラベル用紙	封筒
シングル手差しトレイ	1 枚	1 枚	1 枚	1 枚
マルチ手差しトレイ	20 枚	20 枚	20 枚	10 枚
第 1 トレイ	20 枚	20 枚	20 枚	10 枚
第 2 トレイ	—	—	—	—
第 3 トレイ	—	—	—	—
第 4 トレイ	—	—	—	—
第 5 トレイ	—	—	—	—

—：セット不可

ひとこと

第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ、マルチ手差しトレイはオプションです。

3

■ コピー／プリントに適さない用紙

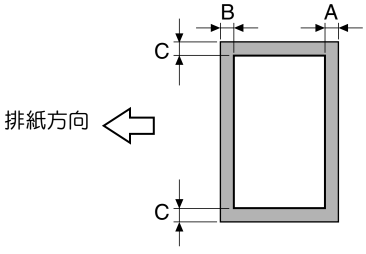
以下に示す用紙は使用しないでください。コピー／プリント品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 一度通紙した OHP フィルム
  白紙状態で排出された OHP フィルムであっても再使用できません
- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターでプリントされた用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後に長期経過した用紙
- 吸湿した用紙
- バインダー用の穴があいている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボス等の加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどで綴じられている用紙
- ラベルが貼ってある用紙
- リボンやフック、ボタン等の付いている用紙

3.2　画像コピー／プリント領域

次に示す領域の画像はコピー／プリントされませんので注意してください。

- 用紙の後端より 4 mm（等倍時）のエリア（A）
- 用紙の先端より 4 mm（等倍時）のエリア（B）
- 用紙の端より 4 mm（等倍時）のエリア（C）



A, B, C: 4 mm（等倍時）

参照

コンピューターからプリントする場合については、「プリンタドライバユーザーズガイド」をごらんください。
オプションのイメージコントローラ IC-206 を装着している場合は、「イメージコントローラ IC-206 ユーザーズガイド」をごらんください。

3.3 用紙の保管

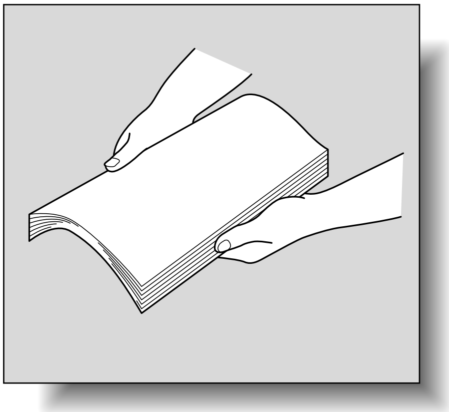
用紙は以下の注意点を守って取り扱ってください。

- 用紙を保管するときには、次のような場所は避けてください。
  - 直射日光の当たるところ
  - 火気のあるところ
  - 湿気のあるところ
  - ほこりのあるところ
- 包みから取り出した用紙はポリ袋に入れ、必ず冷暗所で保管してください。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

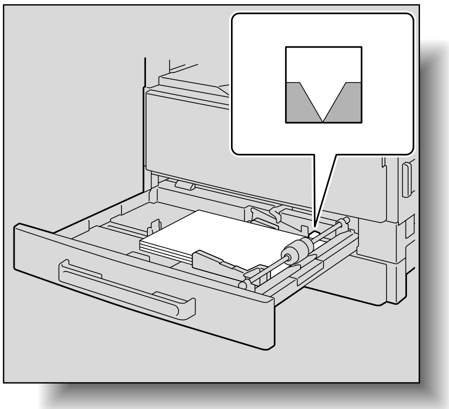
3.4 用紙のセットのしかた

用紙をセットするときに、以下の注意事項を必ず守ってください。

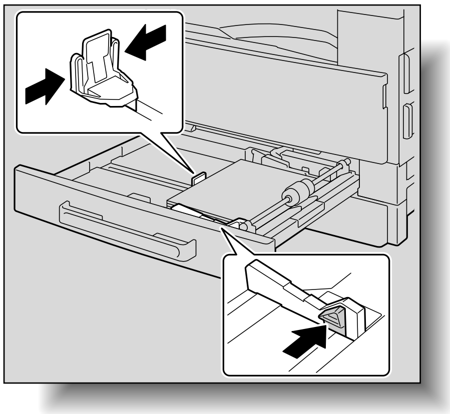
- 用紙がカールしている（反っている）場合は、用紙のカール（反り）をなおしてからセットしてください。



- 用紙は▼マークまたは規定枚数を超えないようにセットしてください。

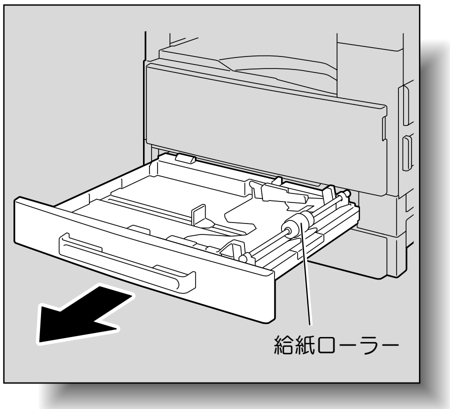


- ガイド板を確実に用紙の端面にあわせてください。



■ 第 1 トレイに用紙をセットする

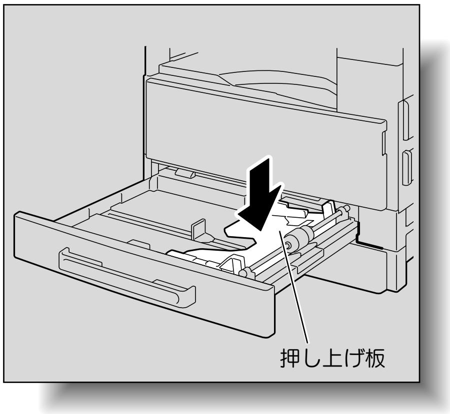
1 第 1 トレイを引き出します。



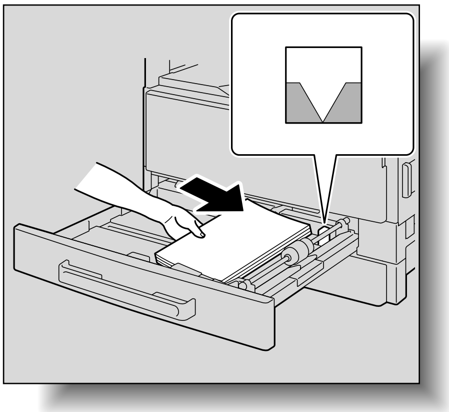


給紙ローラーの表面には手を触れないように注意してください。

2 押し上げ板を“カチッ”と音がするまで押し下げます。



3 用紙をセットします。



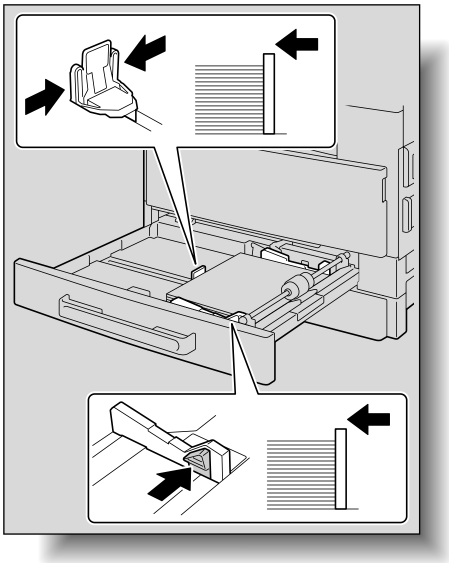


用紙は▼マークをこえないようにセットしてください。

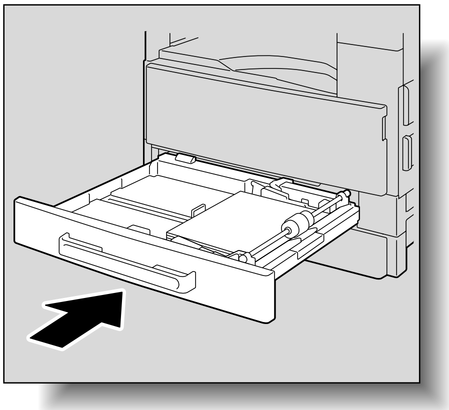


ガイド板は、必ず用紙の端面にあわせてください。

4 用紙のサイズにあわせ、ガイド板を調整します。

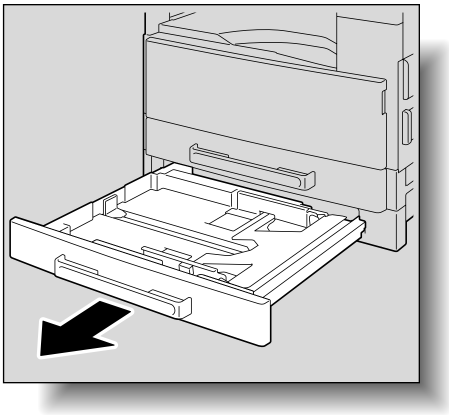


5 第 1 トレイをもとに戻します。

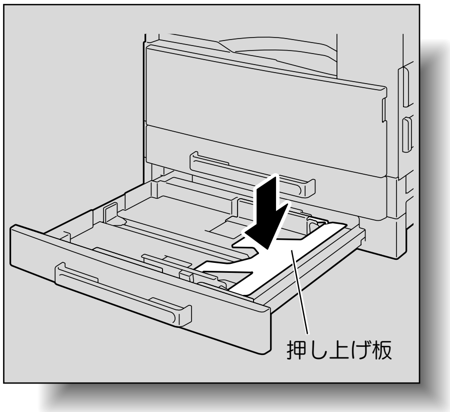


■ 第2/第3/第4/第5トレイに用紙をセットする

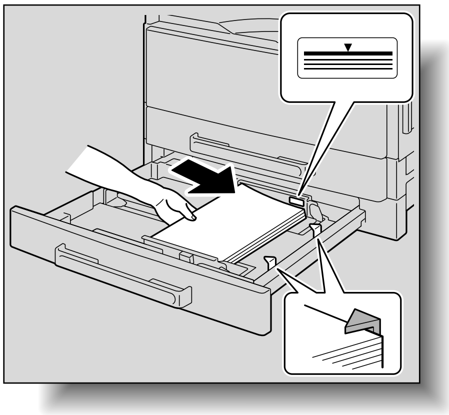
1 トレイを引き出します。



2 押し上げ板を“カチッ”と音がするまで押し下げます。



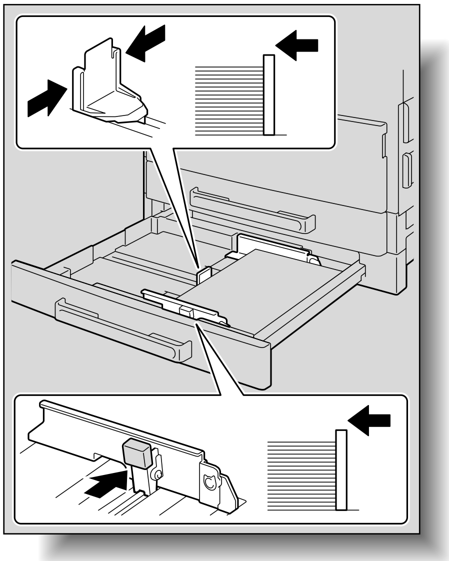
3 用紙をセットします。



必ず守ってください

用紙は▼マークをこえないように、ツメの下にセットしてください。

4 用紙のサイズに合わせ、ガイド板を調整します。

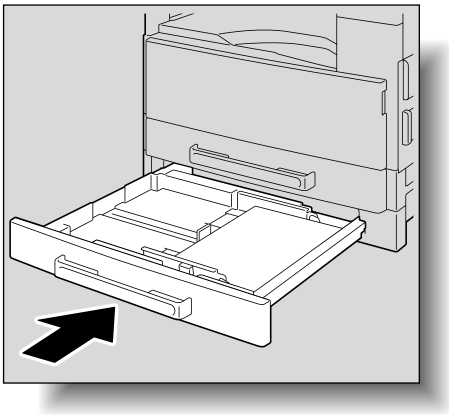


必ず守ってください

ガイド板は、必ず用紙の端面にあわせてください。

3

5 トレイをもとに戻します。



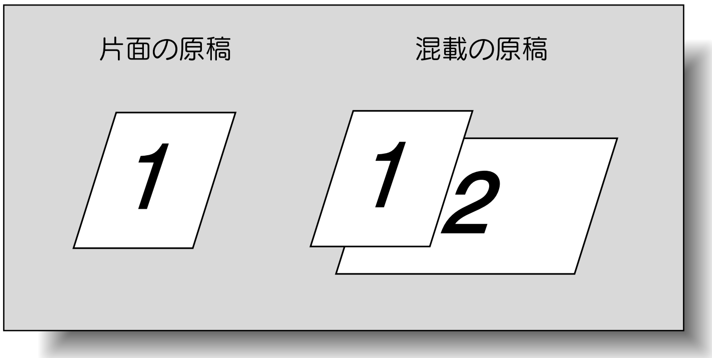
3.5　原稿について

■ 原稿送り装置を使用する場合

原稿送り装置は、多数の原稿を 1 枚ずつ送り出して読込み、読込み終わると自動的に排出する装置です。この装置の機能を十分発揮させるために、適正な原稿をご使用ください。

適正な原稿を使用しないと、原稿づまりや原稿破損、本機の故障の原因となります。

■ 原稿のタイプ



原稿セット方法	原稿種類	原稿サイズ
原稿送り装置の場合	シート原稿 片面原稿 (50 g/m^2 ～ 110 g/m^2) 混載原稿 (60 g/m^2 ～ 90 g/m^2)	A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯ 原稿幅：90 mm ～ 297 mm 原稿長さ：210 mm ～ 420 mm ファクス送信の場合、原稿の長さは 1,000 mm まで読み取りできます。ただし A3 幅を高精細で読み取る場合は 900 mm までです。 混載原稿の場合以下の組み合わせができます。 A3 ▭ と A4 ▯ B4 ▭ と B5 ▯
原稿ガラスの場合	シート原稿、 ブック原稿、 立体物 最大質量 3 kg	A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯ 原稿幅：297 mm まで 原稿長さ：432 mm まで

■ 原稿についての注意

以下のような原稿は原稿づまりや原稿破損、本機の故障の原因になるため、原稿送り装置に適していません。原稿ガラス上に原稿をセットしてください。

- 折り目のついた原稿（2 つ折り、Z 折りなど）
- 第 2 原図などの透明度の高い原稿
- とじ穴のあいた原稿（とじ穴の数が 2 個～ 4 個）
- ルーズリーフなどの、とじ穴が多い原稿
- 感熱紙やカーボン紙など、原稿表面にコーティング処理されている原稿
- インクジェットプリンター用の用紙
- 本機でコピー／プリントした直後の用紙
- 反り返った原稿
- しわや破れのある原稿
- OHP フィルム

詳しく説明します

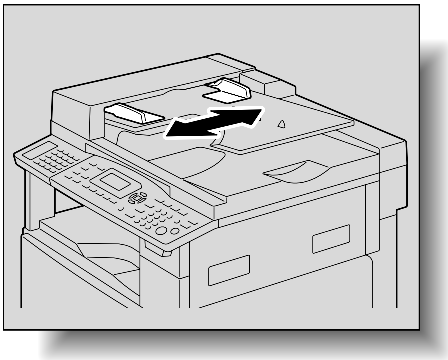
原稿ガラス上に、不定形サイズの原稿をセットしたときは、自動用紙、自動倍率機能が使用できません。
不定形サイズの原稿をセットしたときは、【用紙】を押してコピーする用紙を選択するか（p. 4-11）、【倍率】を押してコピー倍率を選択してください。（p. 4-54）

3.6 原稿のセットのしかた

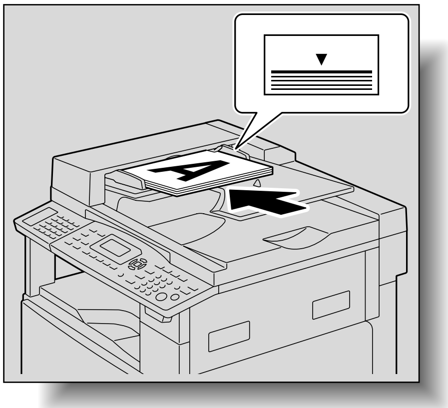
原稿のセットのしかたには、原稿送り装置にセットする方法と、原稿ガラス上にセットする方法があります。原稿の種類にあわせて最適な方法で原稿をセットしてください。

■ 原稿送り装置に原稿をセットする

1 原稿セットガイドを開きます。



2 原稿のコピーする面を上に向けてセットします。



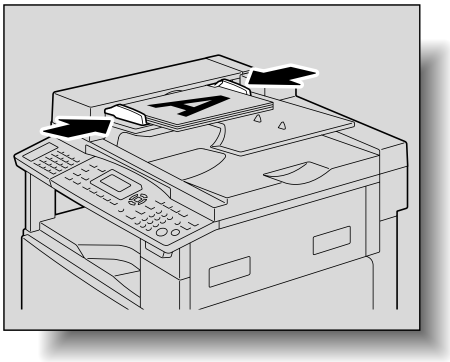
必ず守ってください

- 原稿のセット枚数は最大 50 枚までです。
- 原稿は ▼ マークをこえないようにセットしてください。

3

3

原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。



必ず守ってください

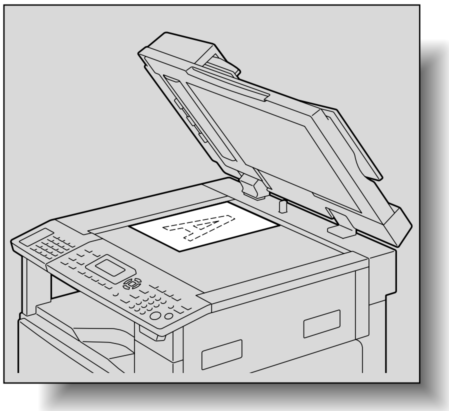
原稿を正しくセットしないと、原稿が斜め送りされる原因になります。

■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

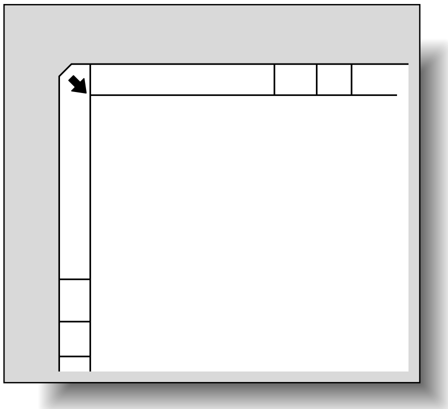
普通紙や原稿送り装置に適さない原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

1 原稿送り装置を開きます。

2 原稿のコピーする面を下に向けてセットします。



❍ 原稿は原稿ガラス左側と上側にある原稿スケールにあわせます。



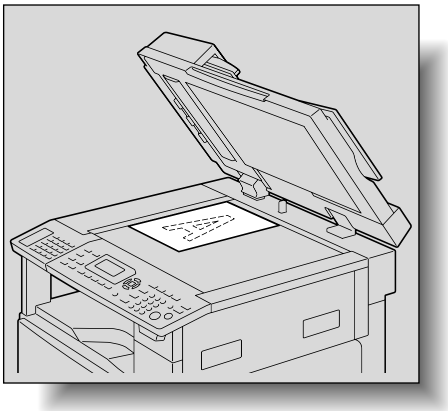
3 原稿送り装置を静かに閉じます。

■ 透明度の高い原稿をセットする

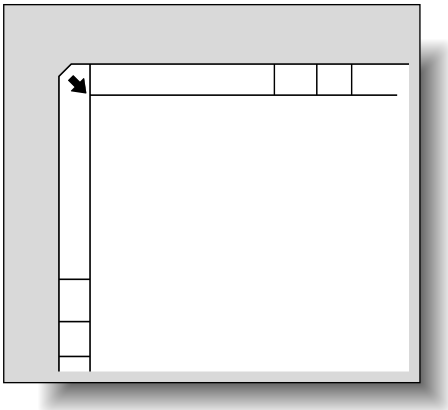
OHP フィルム、トレーシングペーパー、第 2 原図などの透明度の高い原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

1. 原稿送り装置を開きます。

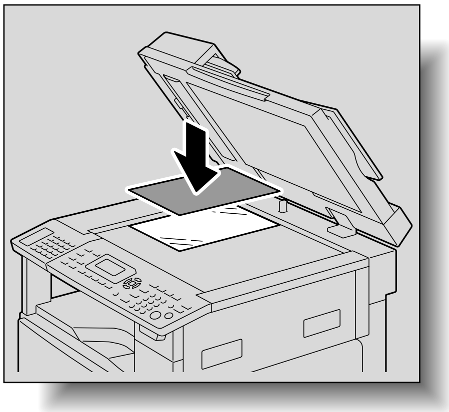
2. 原稿のコピーする面を下に向けてセットします。



❍ 原稿は原稿ガラス左側と上側にある原稿スケールにあわせます。



3 原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。



4 原稿送り装置を静かに閉じます。

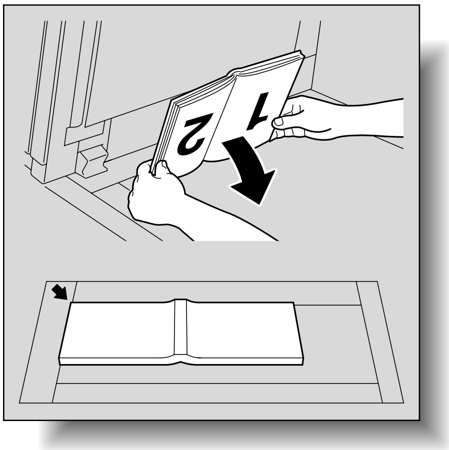
■ ブック原稿をセットする

本や雑誌など、綴じてある見開き原稿をセットする場合は、以下の手順でセットしてください。

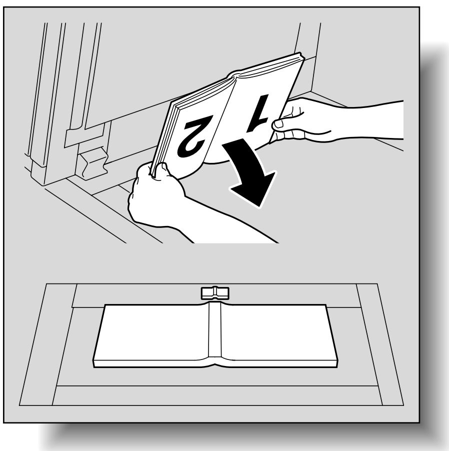
1 原稿送り装置を開きます。

2 ブック原稿を原稿ガラスにセットします。

- 見開きコピーの場合、原稿スケール左奥側の （矢印）マークにあわせます。



- ブック分割コピーの場合、原稿の天部（上側）を奥側にし、ブック原稿の中央を奥側にある原稿スケールの マークにあわせます。



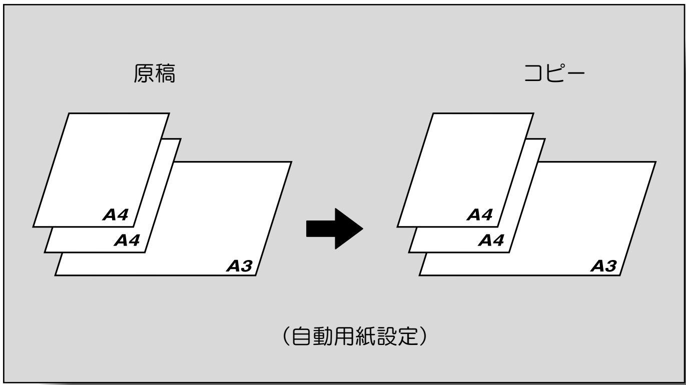
3 原稿送り装置を静かに閉じます。

必ず守ってください

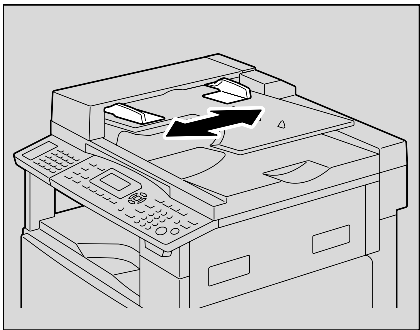
原稿ガラスの上には 3 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また、ブック原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。

■ サイズが異なる原稿をセットする（混載原稿）

混載原稿とは、原稿送り装置にサイズの異なる原稿を一度にセットしてコピーをとる機能です。



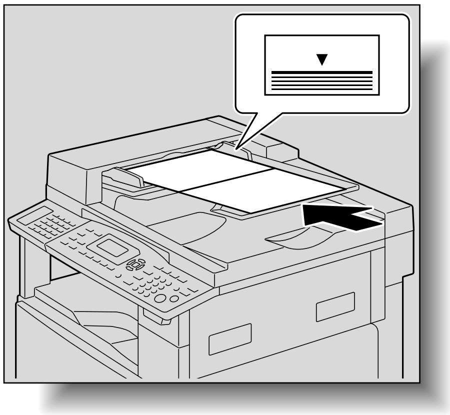
1 原稿セットガイドを開きます。



詳しく説明します

原稿の幅が同じ場合のみ混載原稿コピーができます。原稿の組み合わせは以下のとおりです。
A3 と A4 、B4 と
B5

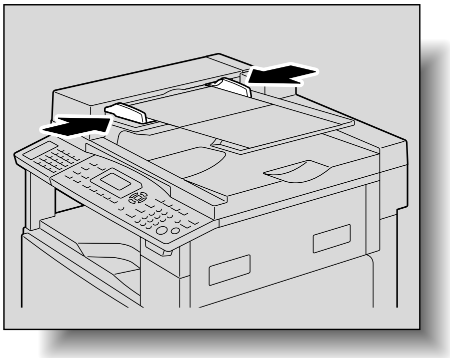
2 原稿のコピーする面を上に向けてセットします。



必ず守ってください

- 原稿のセット枚数は最大 50 枚までです。
- 原稿は ▼ マークをこえないようにセットしてください。

3 原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。

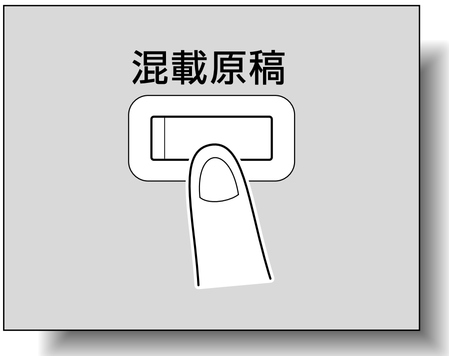


必ず守ってください

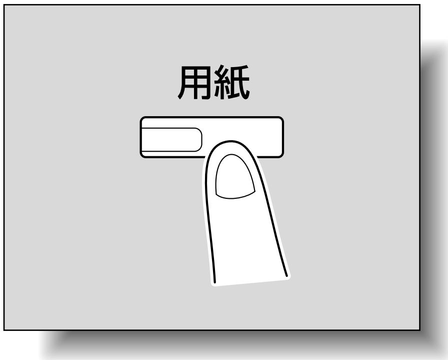
原稿を正しくセットしないと原稿が斜め送りされる原因となります。

4 【混載原稿】を押します。

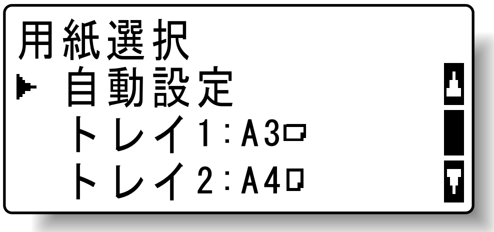
混載原稿ランプが点灯します。



5 【用紙】を押します。



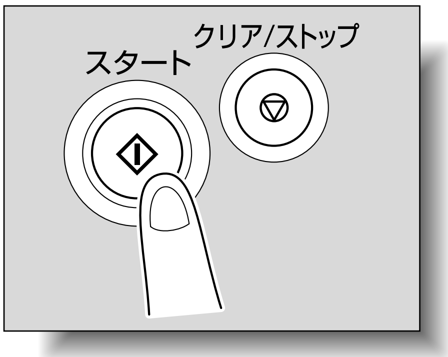
6 【▲】【▼】で「自動設定」を選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

❍ ディスプレイの1行目に「自動」が表示されているのを確認します。

7 【スタート】を押します。



3.7　文字の入力のしかた

発信元を登録したり、ワンタッチダイアルキーなどに相手先の名前を登録したりするときの、文字の入力のしかたについて説明します。

■ 入力モードの変更

【文字入力切替】を押すたびに、数字入力モード、英字／記号入力モード、カタカナ入力モードが切替わります。

［1…］：数字を入力できます。

［A…］：アルファベット、記号を入力できます。

［ｱ…］：カタカナを入力できます。

■ キー操作

テンキーで数字、カタカナ、英字、記号を入力します。

数字、英字／記号とカタカナの入力切り換えは【文字入力切替】で行います。

数字入力時は、［1…］がディスプレイに表示されます。

英字／記号入力時は、［A…］がディスプレイに表示されます。

カタカナ入力時は［ｱ…］がディスプレイに表示されます。

テンキーの各キーで使用できる文字は、以下の表のようになっています。

＜テンキー入力文字列一覧＞

テンキー	入力文字列		
	［1…］	［A…］	［ｱ…］
1	1	.（ピリオド）@ _（アンダーバー）-（ハイフン）1	アイウエオ ｧｨｩｪｫ
2	2	ABC2abc	カキクケコ
3	3	DEF3def	サシスセソ
4	4	GHI4ghi	タチツテトｯ
5	5	JKL5jkl	ナニヌネノ
6	6	MNO6mno	ハヒフヘホ
7	7	PQRS7pqrs	マミムメモ
8	8	TUV8tuv	ヤユヨｬｭｮ
9	9	WXYZ9wxyz	ラリルレロ
0	0	（スペース）0	ワヲン（スペース）
＊	*	+ & / ∗ = ! ? ( ) % [ ] ^ ’ ‘ { } ¦ ˜ $, : ; < > ˵	ﾞ ﾟ
#	#	#	#

詳しく説明します

テンキーを繰り返し押すと、文字・記号が各欄に記されている順番でディスプレイに表示されます。

■ 入力例

名前を入力する場合の例：エイギョウブ
【文字入力切替】を押して入力モード［ア］を選択します。
※ ディスプレイ上のカーソル（_）は、その位置の文字と交互に表示されます。

ワンタッチ 01
相手先名
：_ ［ｱ…］

【1】× 4 回

ワンタッチ 01
相手先名
：ｴ ［ｱ…］

【▶】

ワンタッチ 01
相手先名
：ｴ_ ［ｱ…］

【1】× 2 回

ワンタッチ 01
相手先名
：ｴｲ ［ｱ…］

【2】× 2 回

3

```
ワンタッチ 01
  相手先名
 :ｴｲｷ              [ｱ…]
```

【＊】×1回

```
ワンタッチ 01
  相手先名
 :ｴｲｷﾞ             [ｱ…]
```

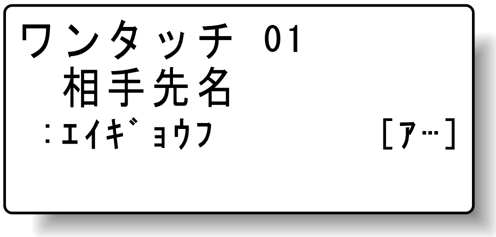
【8】×6回

```
ワンタッチ 01
  相手先名
 :ｴｲｷﾞｮ            [ｱ…]
```

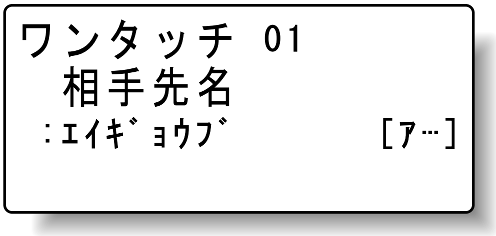
【1】×3回

```
ワンタッチ 01
  相手先名
 :ｴｲｷﾞｮｳ           [ｱ…]
```

【6】×3回



【＊】×1回



■ 文字列の訂正のしかたと入力時の注意

- 入力済みの文字を削除したい場合：
  【◀】【▶】で削除したい文字にカーソル（_）を合わせ、【クリア / ストップ】を押します。
- 文字列に文字を追加したい場合：
  【◀】【▶】で追加したい場所の文字にカーソル（_）を合わせ、文字を入力します。（カーソル位置の文字の前に、入力した文字が挿入されます。）
- テンキーで文字を入力する場合：
  直前に入力した文字と次に入力する文字で同じキーを使う場合は、次の文字を入力する前に【▶】を押します。（「入力例」（p. 3-27）をごらんください。）
- スペースを入力したい場合：
  【文字入力切替】を押して［A…］を表示し、テンキーの【0】を押します。
- すべての入力、登録をキャンセルしたい場合：
  【リセット】を押します。

3.8 最初に必要な登録と設定の確認

本機の持っている機能を十分に活用していただくために、ここで説明している時刻やワンタッチダイアルキーなどをあらかじめ登録してください。

また、各種レポートのプリントのしかたなどは、工場出荷時に設定してありますが、利用状況に応じて変更できます。本機の操作に入る前に、これらをご確認ください。

3

■ 必要な登録

はじめてお使いになるときは、必ず以下の登録を行ってください。

- 現在の日付／時刻
- 自局ファクス番号
- 回線種別の設定
- 通信回線（外線／内線）の設定

以下の登録をしておくと、本機を有効に利用できます。登録することをおすすめします。

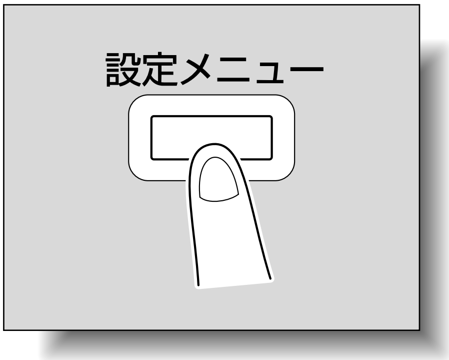
- 発信元（こちらの名前や番号）
- ワンタッチダイアル
- 短縮ダイアル
- プログラムダイアル

■ 初期設定の確認

各種機能の設定状態は、工場出荷時にあらかじめ設定されています。お買い上げいただいたときの設定内容を確認し、利用状況に合わせて変更してください。（「第 9 章 設定メニュー／コピー設定」、「第 10 章 設定メニュー／ファクス設定」をごらんください。）

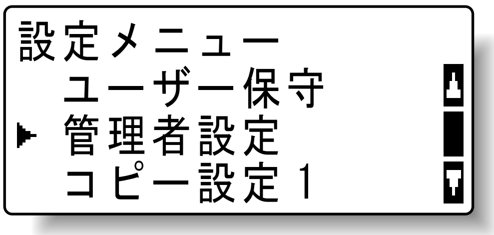
■ 現在の日付／時刻を設定する

1 【設定メニュー】を押します。

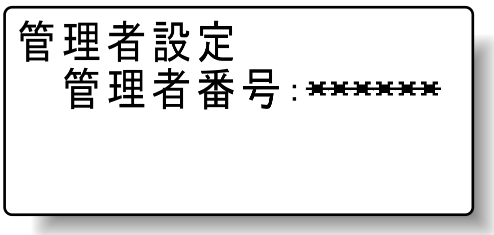


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで管理者番号を入力し、【OK】を押します。

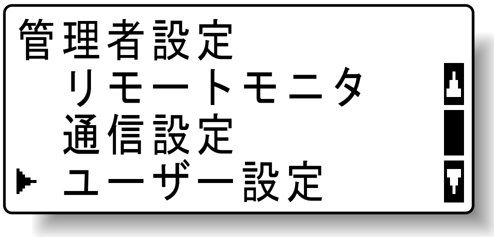


管理者設定メニューが表示されます。

3

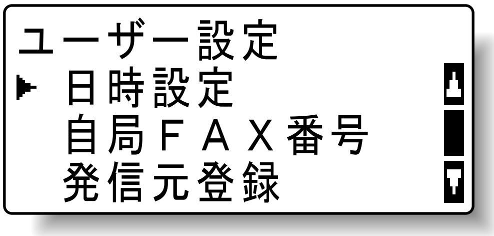
4

【▲】【▼】で「ユーザー設定」を選択し、【OK】を押します。



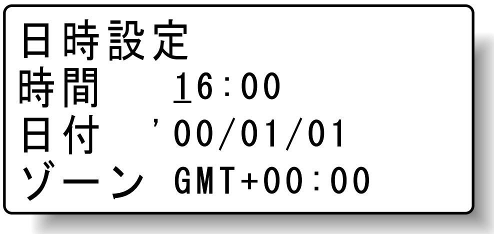
5

【▲】【▼】で「日時設定」を選択し、【OK】を押します。



6

テンキーで時間と日付を入力し、【OK】を押します。

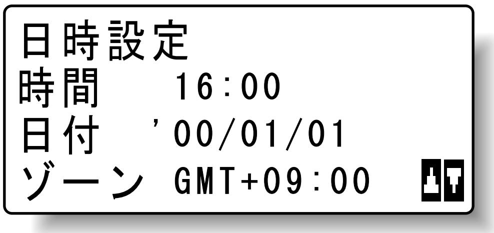


詳しく説明します

・時刻は 24 時間制で入力します。
・年は西暦の下 2 桁を入力します。

7

【▲】【▼】でタイムゾーンを選択し、【OK】を押します。



ユーザー設定画面に戻ります。

❍【リセット】を押すと基本画面に戻ります。

ひとこと

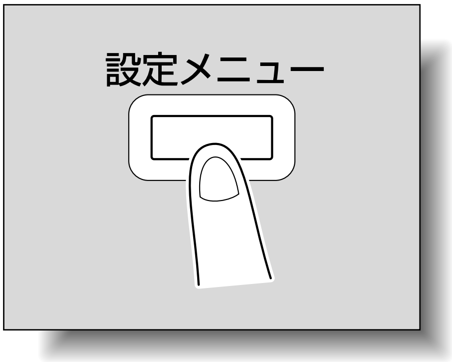
オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が装着されているときのみ、この設定が必要です。

詳しく説明します

日本国内の場合は、+9:00 が標準です。

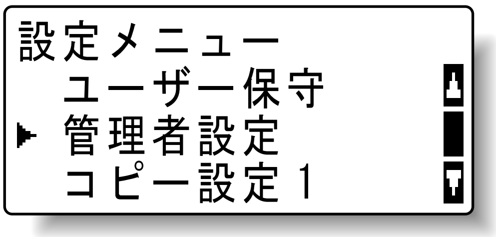
■ 自局のファクス番号を登録する

1 【設定メニュー】を押します。

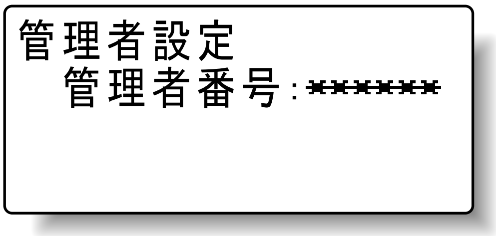


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



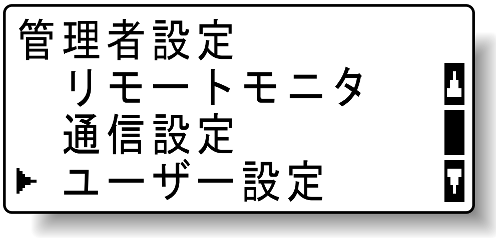
3 テンキーで管理者番号を入力し、【OK】を押します。



管理者設定メニューが表示されます。

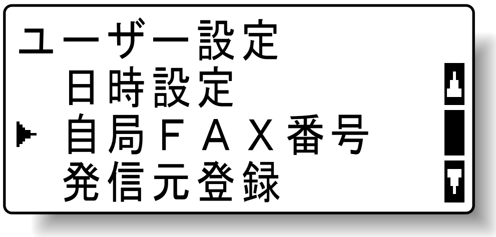
4

【▲】【▼】で「ユーザー設定」を選択し、【OK】を押します。



5

【▲】【▼】で「自局 FAX 番号」を選択し、【OK】を押します。



6

テンキーでファクス番号を入力し、【OK】を押します。



ユーザー設定画面に戻ります。

参照

文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」（p. 3-26）をごらんください。

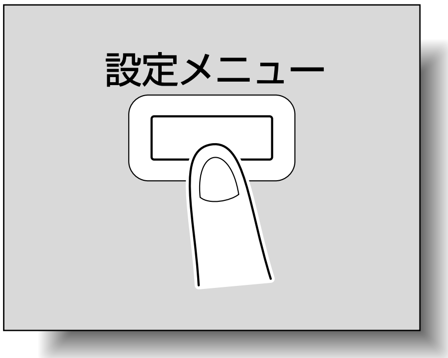
詳しく説明します

- ファクス番号は最大 20 桁まで入力できます。
- 入力可能な文字：数字（0 ～ 9）、スペース、+、-

■ 発信元名を登録する

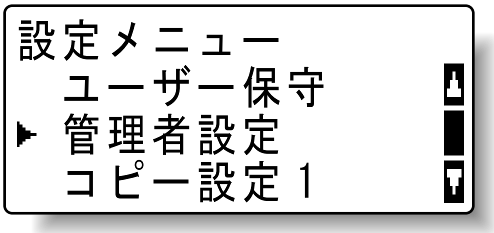
送信原稿のヘッダーに付ける発信元名を登録します。

1 【設定メニュー】を押します。

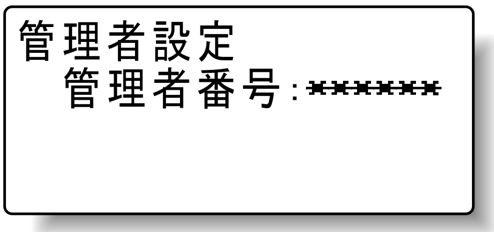


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで管理者番号を入力し、【OK】を押します。

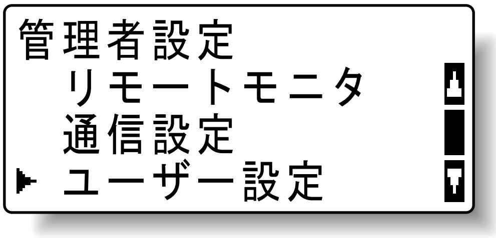


管理者設定メニューが表示されます。

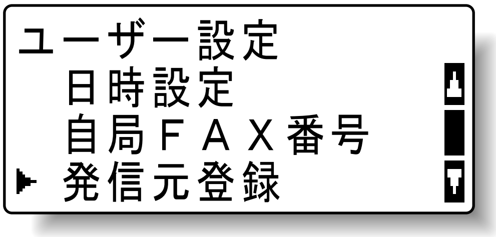
詳しく説明します

発信元は、送信した原稿の先端にプリントされます。発信元を付けずに送信することもできます。

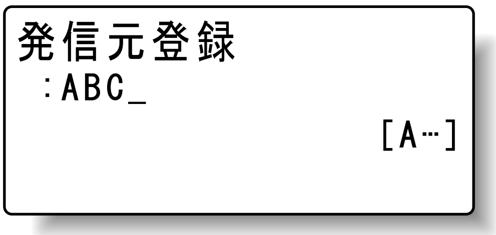
4 【▲】【▼】で「ユーザー設定」を選択し、【OK】を押します。



5 【▲】【▼】で「発信元登録」を選択し、【OK】を押します。



6 テンキーで発信元名を入力し、【OK】を押します。



ユーザー設定画面に戻ります。

参照

文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-26)をごらんください。

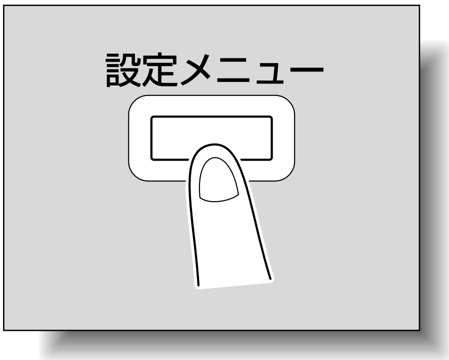
詳しく説明します

発信元名は最大 32 文字まで入力できます。

■ 回線種別を設定する

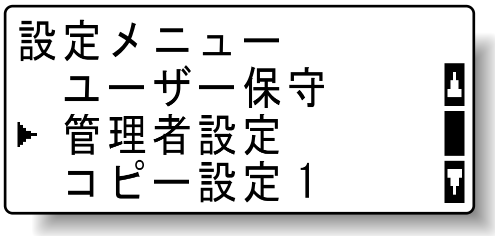
電話回線には、プッシュ回線（PB）とダイアル回線（DP10pps、DP20pps）があります。ご使用の電話回線の種別と本機の設定を合わせないと送信できません。ご使用の電話回線の種別をご確認のうえ、回線種別を設定してください。ご使用の回線種別がわからない場合は、最寄りのNTT窓口へお問い合わせください。

1 【設定メニュー】を押します。

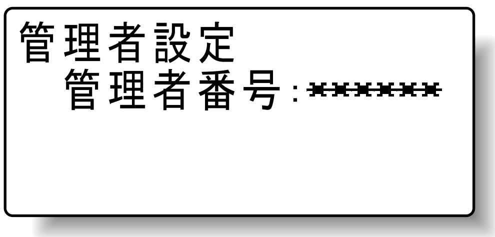


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。

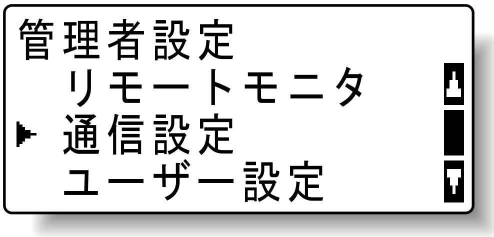


3 テンキーで管理者番号を入力し、【OK】を押します。

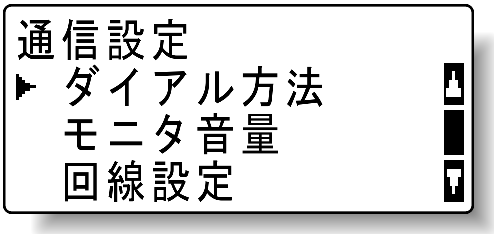


管理者設定メニューが表示されます。

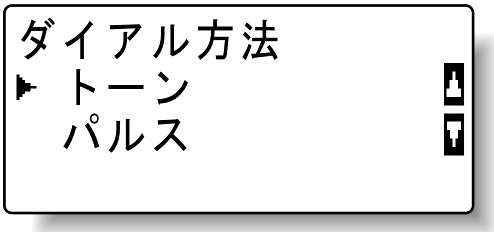
4 【▲】【▼】で「通信設定」を選択し、【OK】を押します。



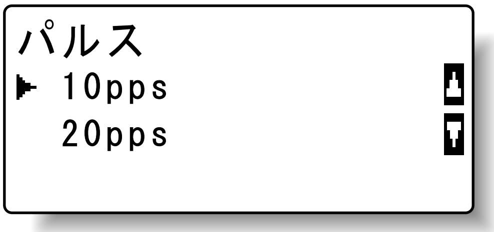
5 【▲】【▼】で「ダイアル方法」を選択し、【OK】を押します。



6 【▲】【▼】で「トーン」「パルス」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



- 「パルス」を選択した場合は、次の画面で「10pps」「20pps」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

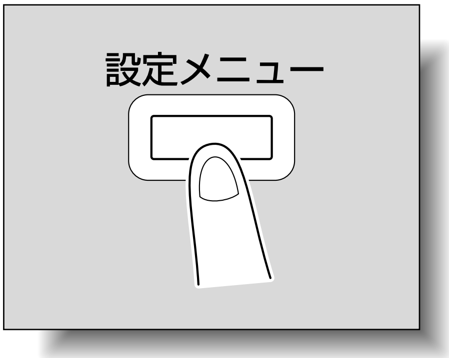


通信設定画面に戻ります。

■ 通信回線を設定する

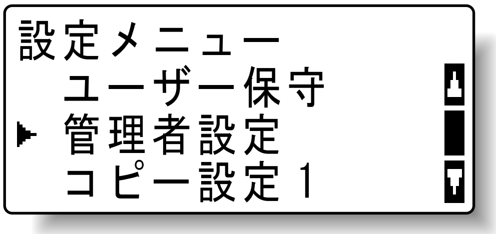
接続している通信回線が、「PSTN（公衆網電話線）」か「PBX（構内電話交換機）」かを設定します。「PBX」の場合、外線接続（または内線接続）のダイアル番号を登録します。外線接続（内線接続）のダイアル番号は【#】に登録されます。

1 【設定メニュー】を押します。

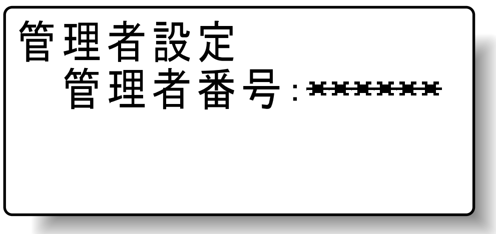


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



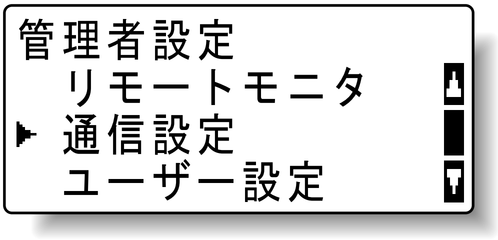
3 テンキーで管理者番号を入力し、【OK】を押します。



管理者設定メニューが表示されます。

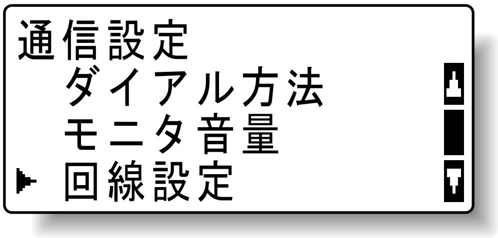
4

【▲】【▼】で「通信設定」を選択し、【OK】を押します。



5

【▲】【▼】で「回線設定」を選択し、【OK】を押します。

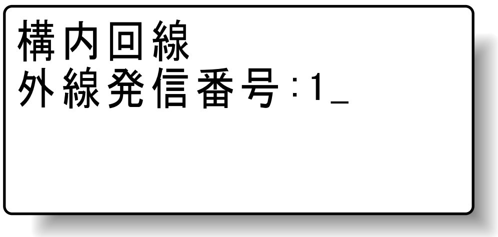


6

【▲】【▼】で「公衆回線」「構内回線」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



❍「構内回線」を選択した場合は、次の画面で外線発信番号を入力し、【OK】を押します。



通信設定画面に戻ります。

第 4 章
コピーのとりかた

4

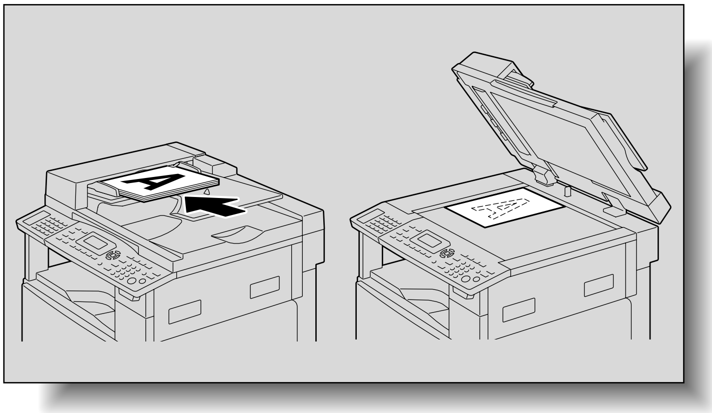
基本的なコピーのとりかたについて説明します。

4.1 コピーする

原稿をセットし、コピーをとるための基本的な操作手順を説明します。

■ コピーの基本的なとりかた

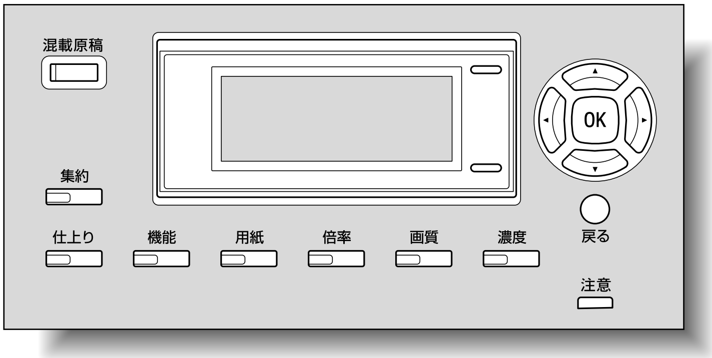
1 原稿をセットします。



参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

2 操作パネルで、必要な機能を設定します。

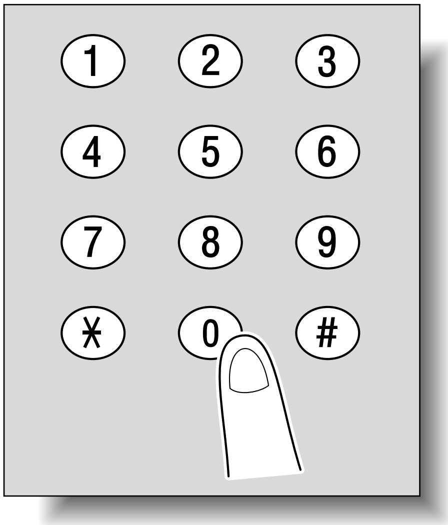


参照

・「用紙の選択のしかた」（p. 4-11）をごらんください。
・「倍率を指定してコピーする」（p. 4-54）をごらんください。
・「コピー濃度を変更してコピーする」（p. 4-62）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

3

テンキーでコピー部数を設定します。



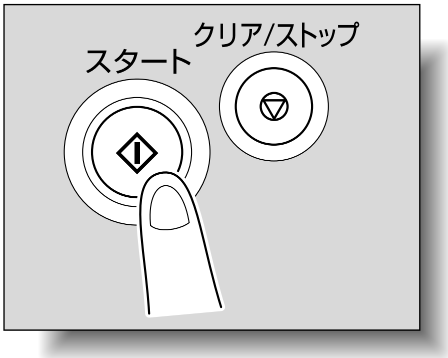
詳しく説明します

- コピー部数は、1 枚から 99 枚までの間で設定します。
- 【クリア / ストップ】を押すと設定した部数はクリアされます。

4

【スタート】を押します。

コピーが開始されます。



詳しく説明します

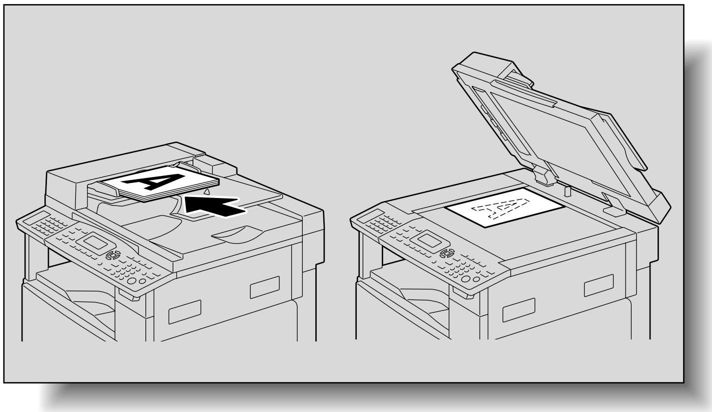
コピーを途中で中断する場合は、【クリア / ストップ】を押してください。

4

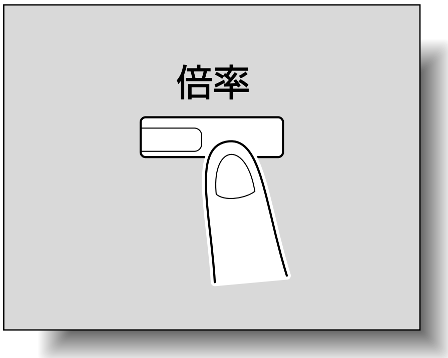
■ 定形サイズの原稿を異なる定形サイズに縮小／拡大する

ここでは A4 サイズの原稿を B4 サイズに拡大してコピーする例を説明します。

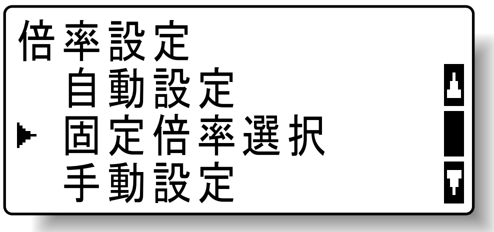
1 原稿をセットします。



2 【倍率】を押します。



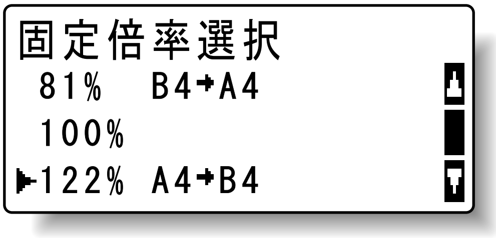
3 【▲】【▼】で「固定倍率選択」を選択し、【OK】を押します。



参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

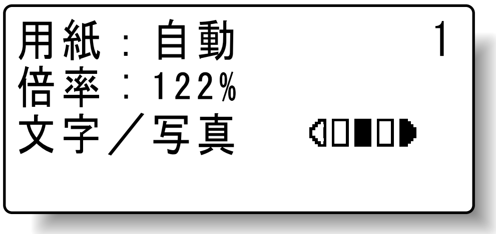
4 【▲】【▼】で「122% A4 → B4」を選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

5 コピーする用紙のサイズを確認します。

- 「自動」と表示されているときは、トレイに B4 の用紙がセットされていることを確認します。
- 「自動」と表示されないときは、【用紙】を押して B4 の用紙がセットされているトレイを選択してください。



6 必要に応じてその他の項目を設定します。

7 【スタート】を押します。

参照

トレイを選択するには「用紙の選択のしかた」(p. 4-11) をごらんください。

参照

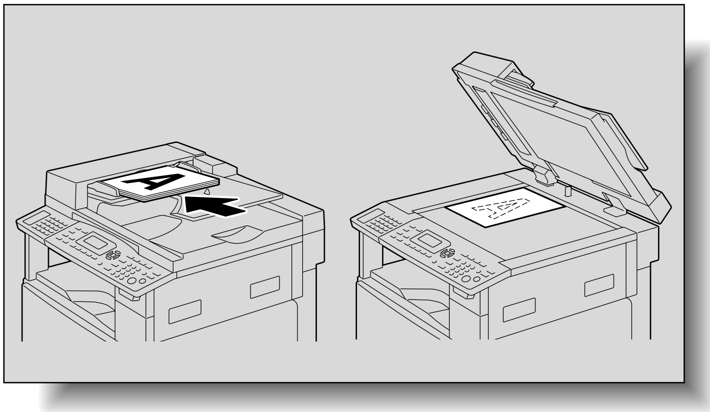
・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

4

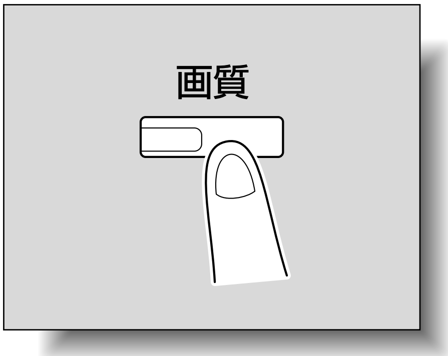
■ 原稿に合った画質を設定する

コピーする原稿にあわせて、「文字」、「写真」、「文字／写真」を指定すると、原稿を鮮明にコピーできます。

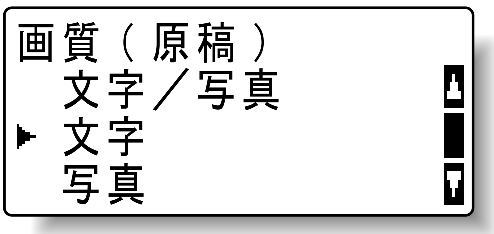
1 原稿をセットします。



2 【画質】を押します。



3 【▲】【▼】で「文字／写真」「文字」「写真」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

4 必要に応じてその他の項目を設定します。

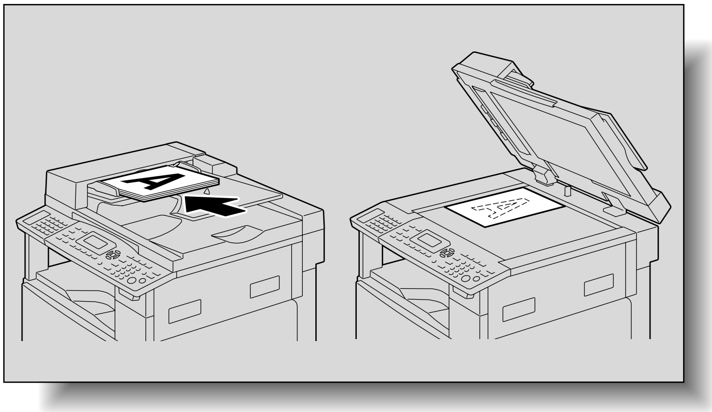
5 【スタート】を押します。

参照

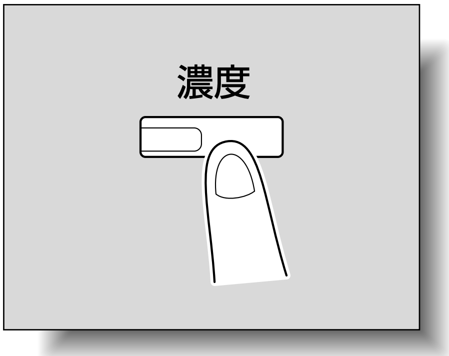
・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

■ 濃度を設定する

1 原稿をセットします。



2 【濃度】を押します。

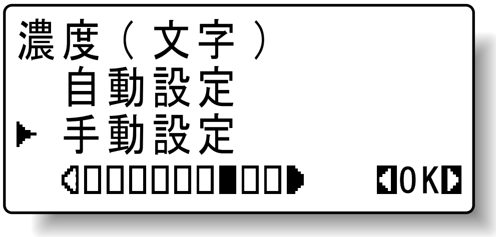


参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

3 【▲】【▼】で「自動設定」「手動設定」のいずれかを選択します。

- 「自動設定」を選択した場合、【OK】を押します。
- 「手動設定」を選択した場合、【◀】【▶】で濃度を 9 段階から選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

4 必要に応じてその他の項目を設定します。

5 【スタート】を押します。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

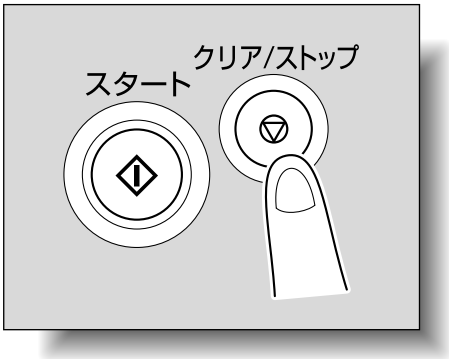
4.2 コピーの停止／再開／消去について

コピー中のジョブは、以下の手順で中断できます。

1 コピーの設定をし【スタート】を押します。

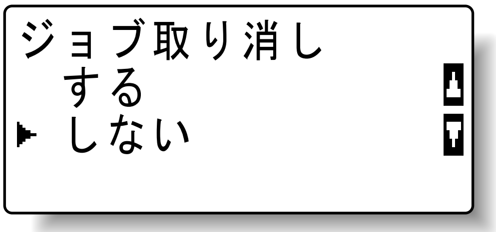
コピーが開始されます。

2 コピー中に【クリア / ストップ】を押します。

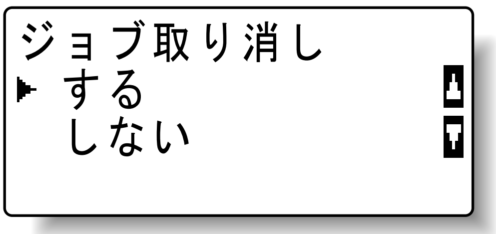


「>> 暫くお待ちください」と表示され、ジョブが停止します。

❍ 停止中のジョブを再開する場合は、「しない」を選択し、【OK】を押します。



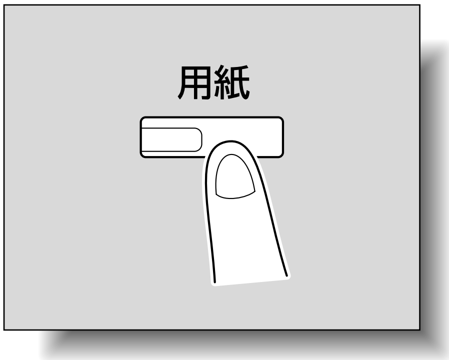
❍ 停止中のジョブを消去する場合は、「する」を選択し、【OK】を押します。



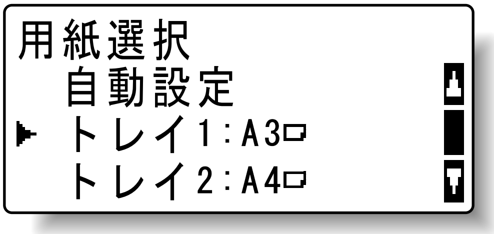
4.3 用紙の選択のしかた

1 原稿をセットします。

2 【用紙】を選択します。



3 【▲】【▼】で「自動設定」または各トレイのいずれかを選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

4 必要に応じてその他の項目を設定します。

参照

「原稿のセットのしかた」(p. 3-17)をごらんください。

参照

・「倍率を指定してコピーする」(p. 4-54)をごらんください。
・「コピー濃度を変更してコピーする」(p. 4-62)をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1)をごらんください。

4

5 【スタート】を押します。

詳しく説明します

「自動設定」を選択して【スタート】を押したときに、ディスプレイに「最適用紙がありません」と表示された場合は、トレイに適切な用紙がセットされていません。適切なサイズの用紙をセットするか、いずれかのトレイを選択し、再度【スタート】を押してください。

■ オートトレイチェンジ機能

オートトレイチェンジ機能とは、コピー／プリント中に現在選択中のトレイに用紙がなくなった場合、他のトレイに自動的に切替えてコピー／プリントを続ける機能です。

現在選択中のトレイとは別のトレイ（シングル手差しトレイを除く）が次の条件のとき、オートトレイチェンジがはたらきます。

- 同じサイズの用紙がセットされているとき
- 同じ種類の用紙がセットされているとき
- 用紙が同じ向きにセットされているとき
- 各トレイにセットされている用紙の種類が「普通紙」、「再生紙」のとき

詳しく説明します

- ・シングル手差しトレイに用紙がセットされているときは、オートトレイチェンジは機能しません。
- ・オプションのマルチ手差しトレイと第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイを装着すれば、最大で 1,600 枚の連続コピー／プリントができます。大量の連続コピー／プリントをする場合は、全てのトレイ（シングル手差しトレイを除く）で左記の条件をそろえて用紙をセットしてください。
- ・すべてのトレイに用紙がなくなった場合、画面の表示にしたがって用紙を補給してください。画面表示されたトレイ以外のトレイに用紙をセットしても、コピー／プリントが再開されないことがあります。

■ トレイチェンジの順序

オートトレイチェンジ機能が動作する場合、以下の優先順位でトレイが選択されます。

第 1 トレイ ⇒ 第 2 トレイ ⇒ 第 3 トレイ ⇒ 第 4 トレイ ⇒ 第 5 トレイ⇒ マルチ手差しトレイ

詳しく説明します

- 第 1 トレイ、またはマルチ手差しトレイに特殊紙（OHP フィルム、ラベル用紙など）の設定をしている場合は、そのトレイはオートトレイチェンジ機能の対象になりません。特殊紙の設定方法については、それぞれ「「第 1 トレイ用紙の設定をする」（p. 9-25）、「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」（p. 4-29）をごらんください。
- 専用紙に設定されているトレイは、オートトレイチェンジ機能の対象になりません。専用紙の設定方法については、「トレイの特殊紙設定をする」（p. 9-27）をごらんください。
- 設定メニューで優先トレイの設定をすると、そのトレイが優先的に選択されます。設定方法については、「優先トレイの設定をする」（p. 9-56）をごらんください。

4

4.4 手差しでコピーする

トレイにセットされていないサイズの用紙にコピーする場合や、OHP フィルム、官製はがき、厚紙などの特殊紙にコピーする場合に手差しトレイを使用します。

■ 手差しコピーできる用紙

種類：

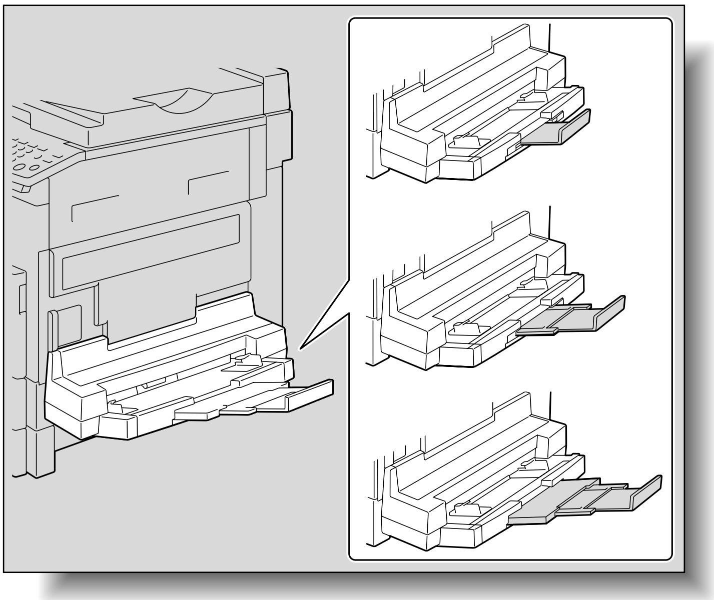
- 普通紙、再生紙（紙厚：60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）
- 特殊紙
  - 厚紙（紙厚：91 g/m^2 ～ 157 g/m^2）
  - OHP フィルム
  - 官製はがき
  - ラベル用紙
  - 封筒

サイズ：

- 最大サイズ：297 mm × 432 mm
- 最小サイズ：90 mm × 140 mm

■ マルチ手差しトレイの調整について

用紙サイズにあわせて、補助トレイを以下のように調整できます。



必ず守ってください

シングル手差しトレイを使ってコピーをするときは、用紙を 1 枚ずつセットしてください。

参照

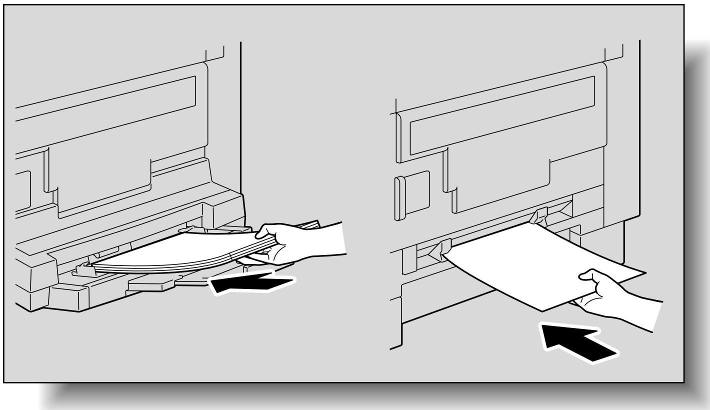
マルチ手差しトレイ（オプション）装着時の用紙セット枚数については、p. 3-4 をごらんください。

■ 手差しトレイに普通紙をセットする

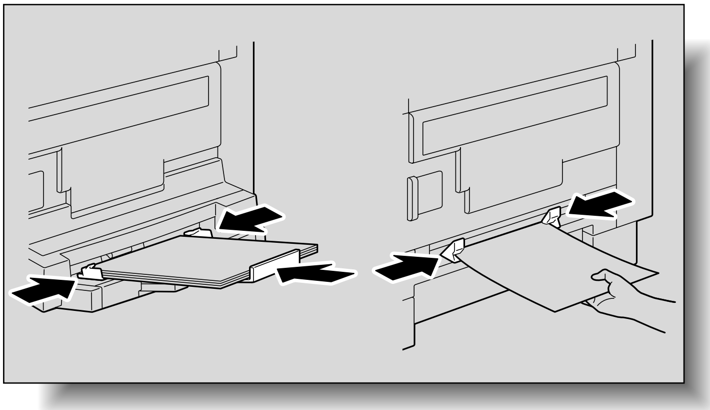
シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。

マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 100 枚までです。▼マークをこえないようにセットしてください。

1 手差しトレイに用紙をセットします。



2 用紙サイズにあわせ、ガイドと補助トレイを調整します。



詳しく説明します

普通紙以外の用紙をセットしたときは、操作パネルで用紙種類の設定が必要です。

必ず守ってください

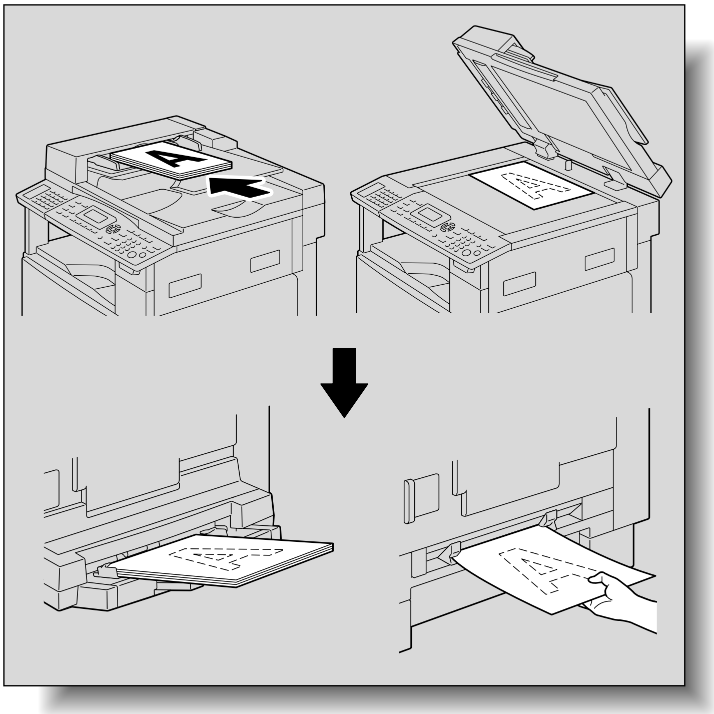
- コピーする面を下に向けて用紙をセットしてください。
- 必ず用紙のカール（反り）をなおしてからセットしてください。

参照

用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」（p. 4-26）または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」（p. 4-29）の手順 4 ～ 7 をごらんください。

4

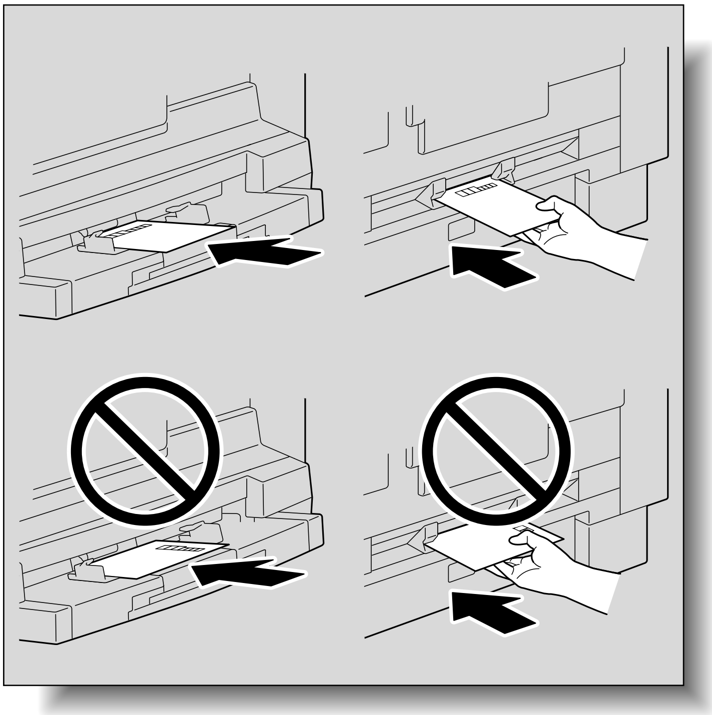
原稿画像の向きと、用紙に印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようになります。



■ 手差しトレイに官製はがきをセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。
マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 20 枚までです。

1 図のように ▭ 方向にし、コピーする面を下向きにセットします。



必ず守ってください

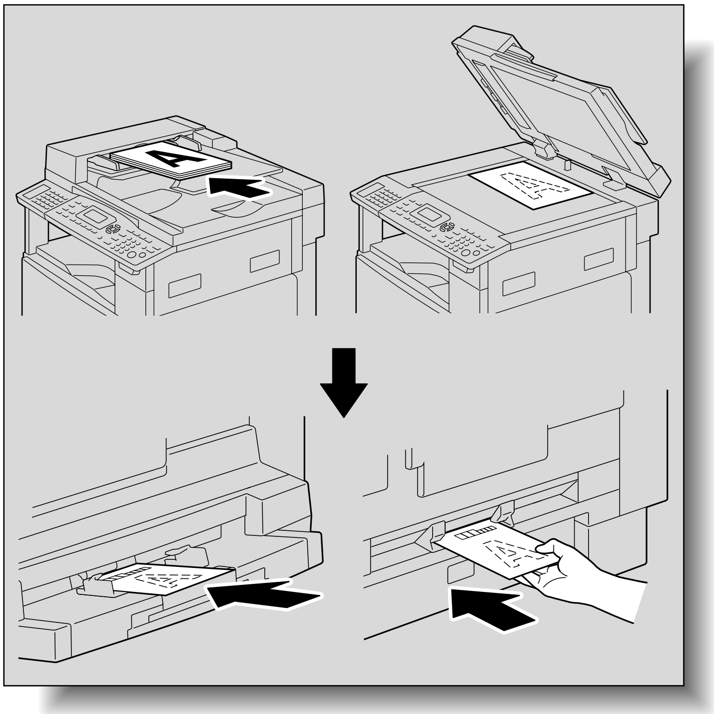
・官製はがきは、▯ 方向にセットしないでください。
・官製はがきをセットした後は、操作パネルで用紙種類を設定してください。

参照

用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」（p. 4-26）または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」（p. 4-29）の手順 4 〜 7 をごらんください。

4

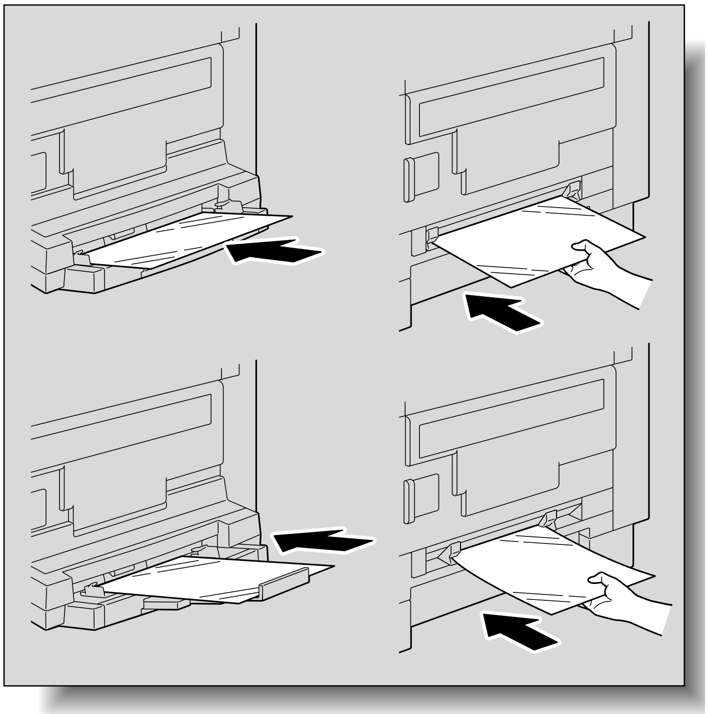
原稿画像の向きと、ハガキに印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようになります。



■ 手差しトレイに OHP フィルムをセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。
マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 20 枚までです。

1 原稿にあわせ ▭ 方向または ▯ 方向にセットします。



必ず守ってください

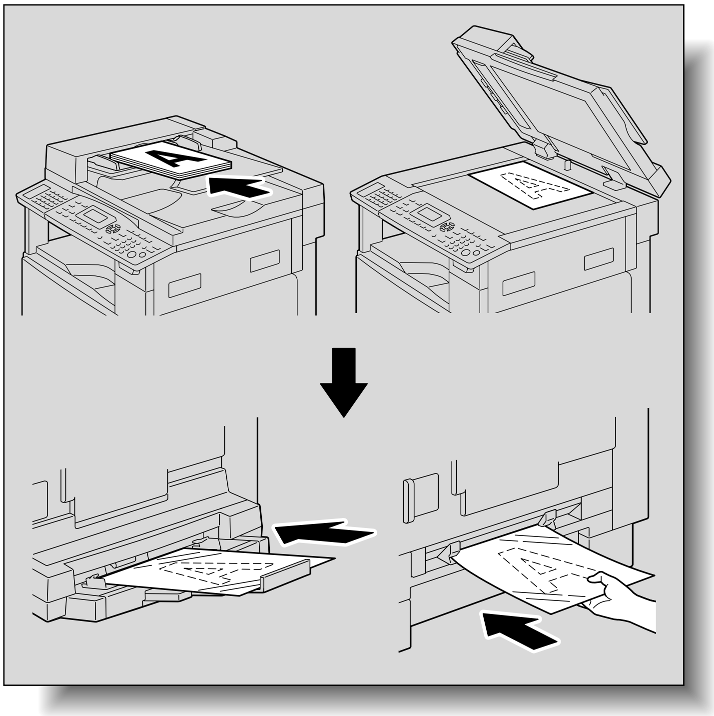
OHP フィルムをセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。

参照

用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」（p. 4-26）または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」（p. 4-29）の手順 4 ～ 7 をごらんください。

4

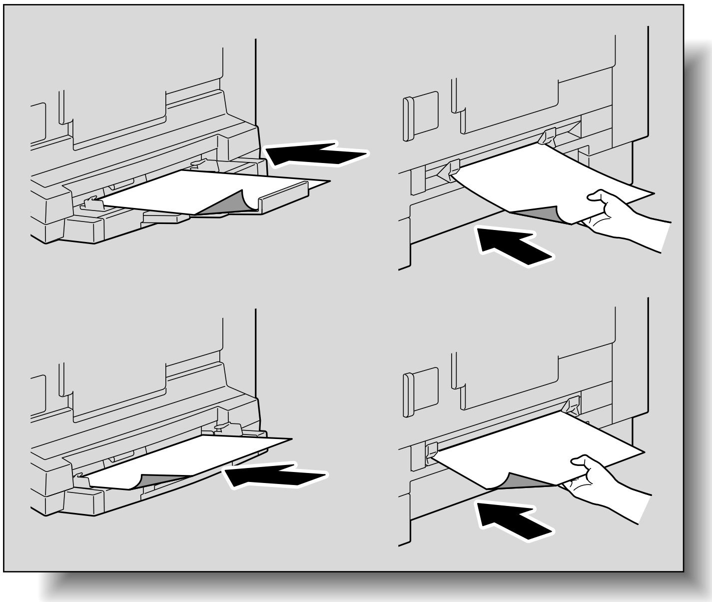
原稿画像の向きと、OHP に印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようになります。



■ 手差しトレイにラベル用紙をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。
マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 20 枚までです。

1 原稿にあわせ方向または方向にし、コピーする面を下向きにセットします。



必ず守ってください

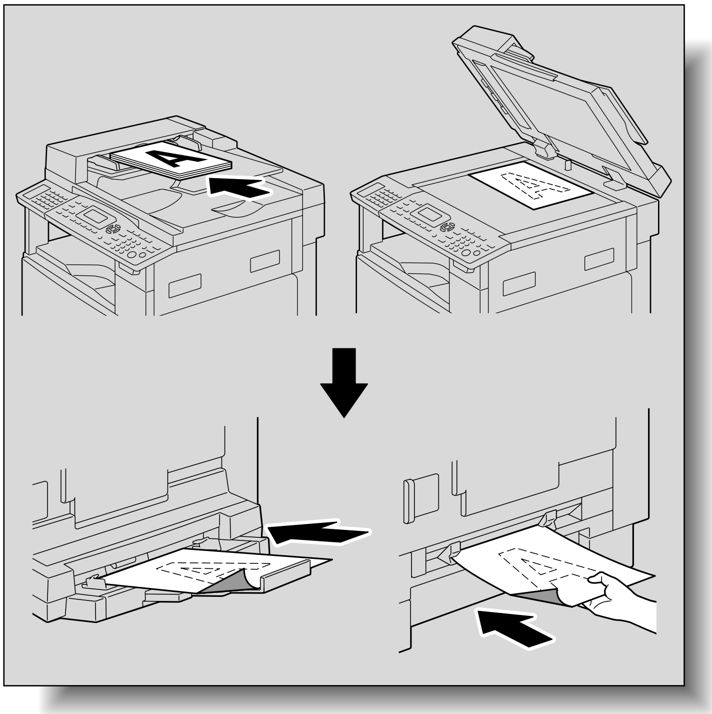
ラベル用紙をセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。

参照

用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」（p. 4-26）または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」（p. 4-29）の手順 4 ～ 7 をごらんください。

4

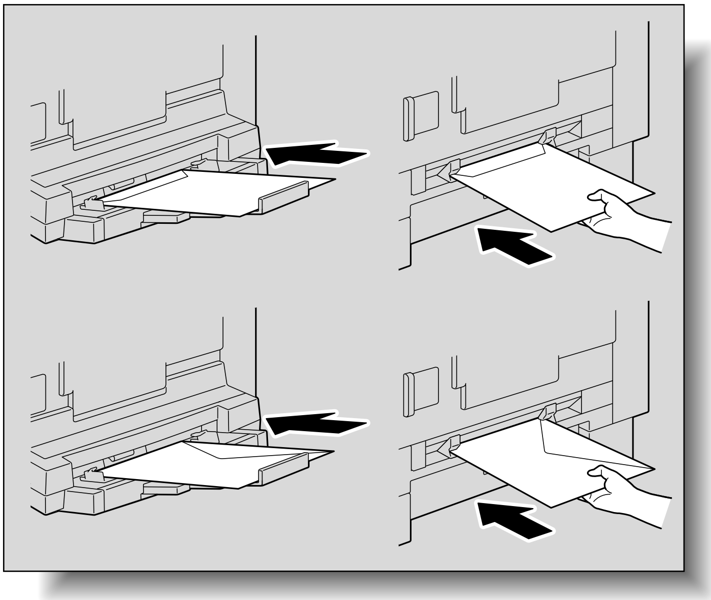
原稿画像の向きと、ラベル用紙に印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようになります。



■ 手差しトレイに封筒をセットする

シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。
マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 10 枚までです。

1 図のように封印部を上向きにしてセットします。



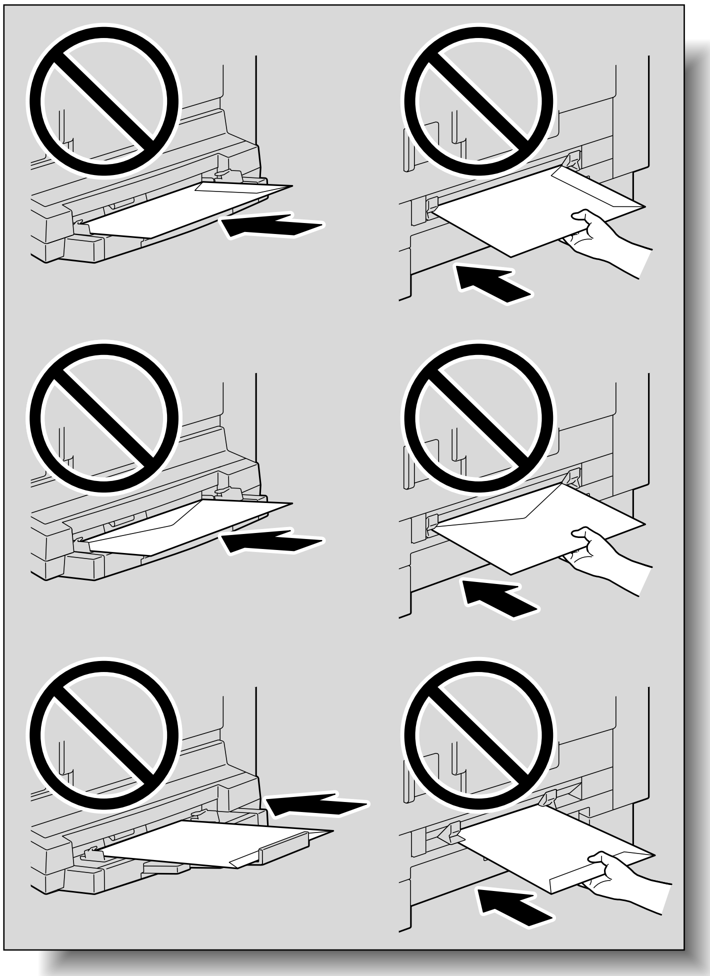
必ず守ってください

- 封筒をセットする場合は、封筒内部の空気を押し出し封筒の折り目をしっかり押さえてください。
  空気が残っていたり、折り目がしっかり押さえられていないと、しわになったり、紙づまりの原因になります。
- 封筒をセットした後は、操作パネルで用紙サイズや用紙種類を設定してください。

参照

用紙のサイズと種類の設定については、「手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）」（p. 4-26）または「手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）」（p. 4-29）の手順 4 〜 7 をごらんください。

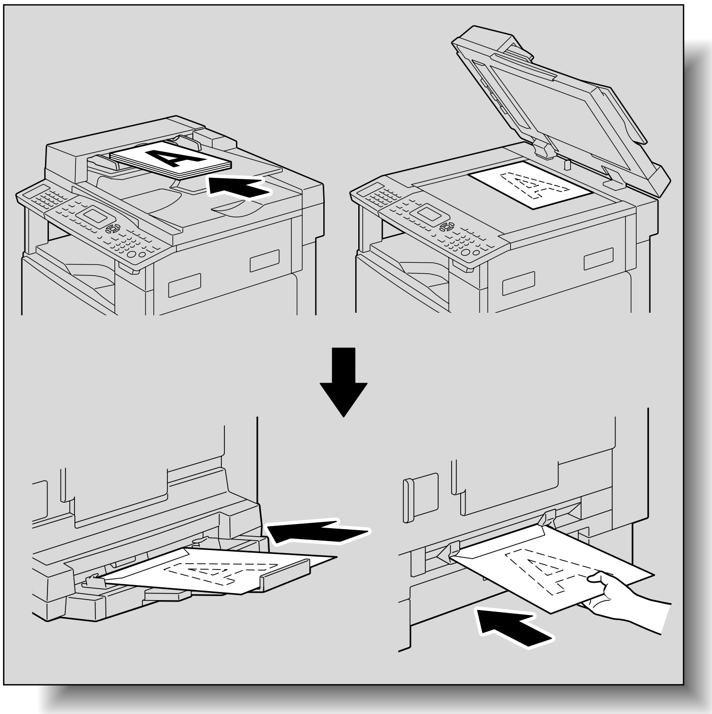
4



必ず守ってください

- 封筒は 方向にセットしないでください。
- 封印部を下側に向けてセットしないでください。
- 封印部を後端にしてセットしないでください。

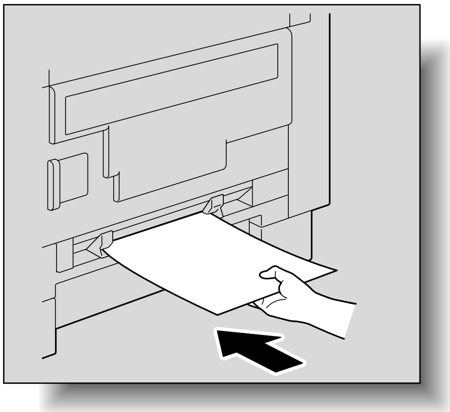
原稿画像の向きと、封筒に印刷されるコピー画像の向きの関係は、次のようになります。



■ 手差しコピーのとりかた（シングル手差しトレイ）

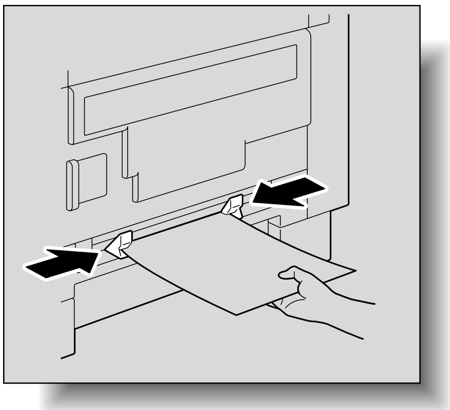
1 原稿をセットします。

2 用紙（1 枚）はコピーする面を下に向け、用紙が止まる位置まで軽く差し込みます。



手差し用紙設定画面が表示されます。

3 ガイドを用紙サイズにあわせて調整します。



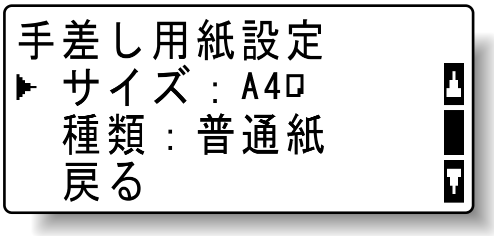
参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

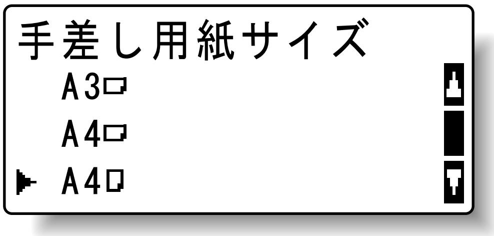
必ず守ってください

厚紙、官製はがきをセットする場合は、必ずカール（反り）をなおしてからセットしてください。

4 【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。

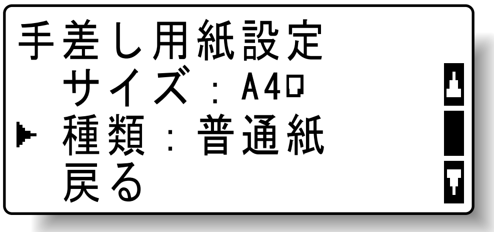


5 【▲】【▼】で適切な用紙サイズを選択し、【OK】を押します。



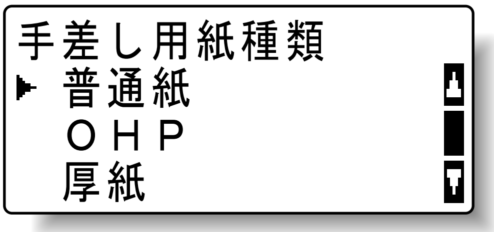
手差し用紙設定画面に戻ります。

6 【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



7 【▲】【▼】で適切な用紙種類を選択し、【OK】を押します。

- 用紙種類は、「普通紙」「OHP」「厚紙」「封筒 / ﾊｶﾞｷ」から選択できます。



手差し用紙設定画面に戻ります。

8 「戻る」を選択します。

基本画面が表示されます。

9 必要に応じてその他の項目を設定します。

10 【スタート】を押します。

ひとこと

サイズ、種類の設定を変更したい場合は、セットした用紙を取り出し、再度手順 2 ～ 8 の作業を行ってください。

参照

・「倍率を指定してコピーする」（p. 4-54）をごらんください。
・「コピー濃度を変更してコピーする」（p. 4-62）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

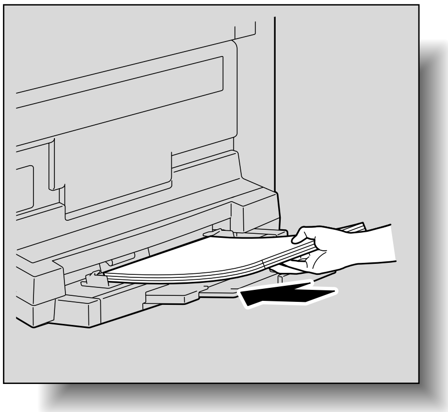
詳しく説明します

・同じ条件で 2 枚目以降のコピーをする場合、用紙をシングル手差しトレイにセットすると自動的にコピーを開始します。
・厚紙、官製はがき、OHP フィルム、封筒に連続してコピーしたい場合は、第 1 トレイに用紙をセットしてください。

■ 手差しコピーのとりかた（マルチ手差しトレイ）

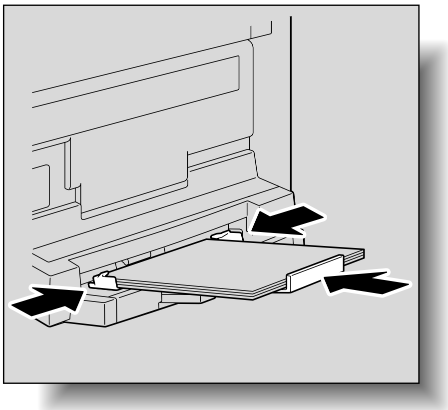
1. 原稿をセットします。

2. 用紙はコピーする面を下に向け、用紙が止まる位置まで軽く差し込みます。



手差し用紙設定画面が表示されます。

3. ガイドと補助トレイを用紙サイズにあわせて調整します。



参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

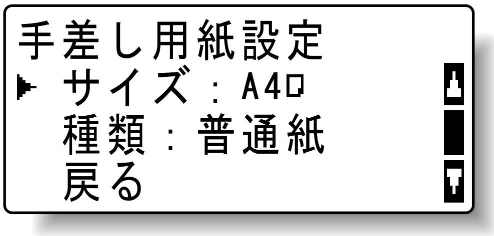
必ず守ってください

厚紙、官製はがきをセットする場合は、必ずカール（反り）をなおしてからセットしてください。

4

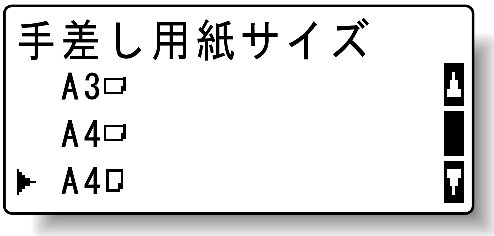
4

【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。



5

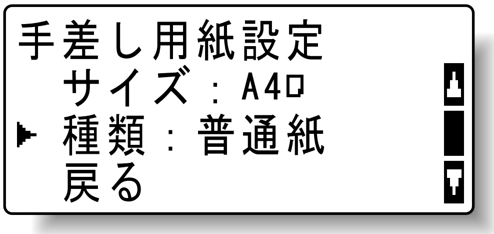
【▲】【▼】で適切な用紙サイズを選択し、【OK】を押します。



手差し用紙設定画面に戻ります。

6

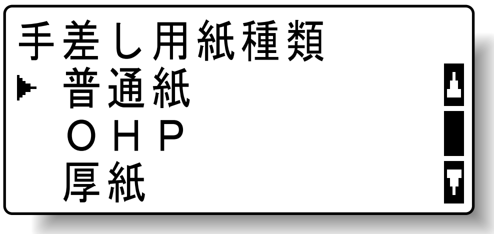
【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



7

【▲】【▼】で適切な用紙種類を選択し、【OK】を押します。

- 用紙種類は、「普通紙」「OHP」「厚紙」「封筒 / ﾊｶﾞｷ」から選択できます。



手差し用紙設定画面に戻ります。

8 「戻る」を選択します。

基本画面が表示されます。

9 必要に応じてその他の項目を設定します。

10 【スタート】を押します。

ひとこと

サイズ、種類の設定を変更したい場合は、セットした用紙を取り出し、再度手順2～8の作業を行ってください

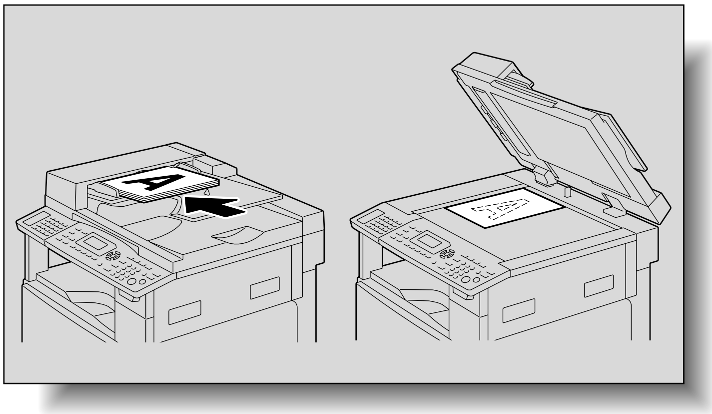
参照

・「倍率を指定してコピーする」（p. 4-54）をごらんください。
・「コピー濃度を変更してコピーする」（p. 4-62）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

■ OHP フィルムにコピーする

ここでは第 1 トレイに OHP フィルムをセットしてコピーする例を説明します。

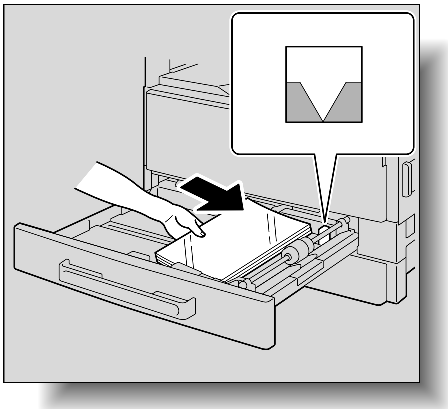
1　A4 サイズの原稿をセットします。



参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

2　第 1 トレイのガイドを調整し、OHP フィルムをセットします。



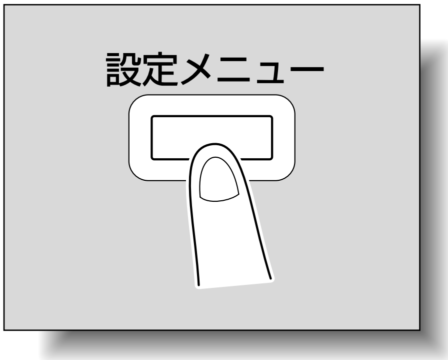
詳しく説明します

OHP フィルムをセットするときは、原稿にあわせ 方向、または 方向にセットします。

必ず守ってください

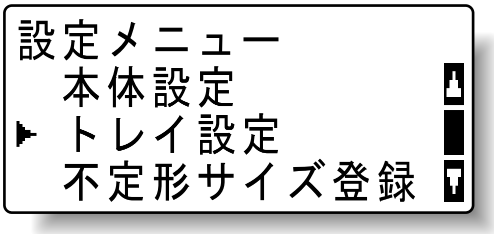
OHP フィルムは 20 枚までセットできます。

3 【設定メニュー】を押します。

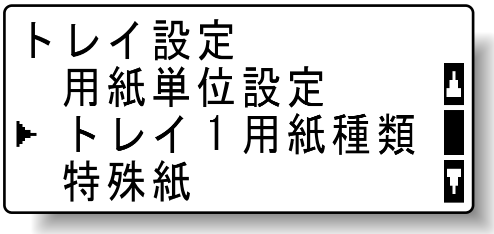


設定メニュー画面が表示されます。

4 【▲】【▼】で「トレイ設定」を選択し、【OK】を押します。



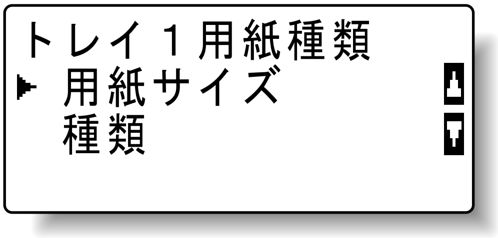
5 【▲】【▼】で「トレイ 1 用紙種類」を選択し、【OK】を押します。



4

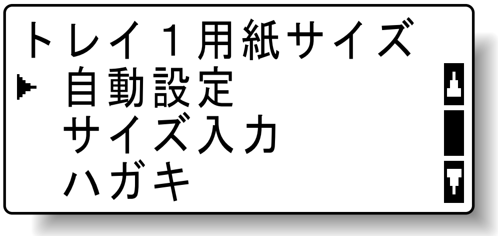
6

【▲】【▼】で「用紙サイズ」を選択し、【OK】を押します。



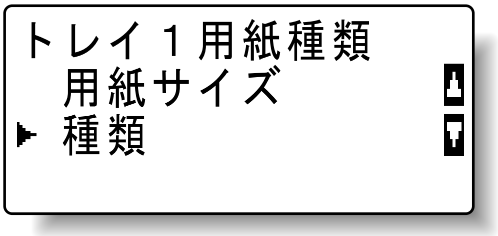
7

【▲】【▼】で「自動設定」を選択し、【OK】を押します。



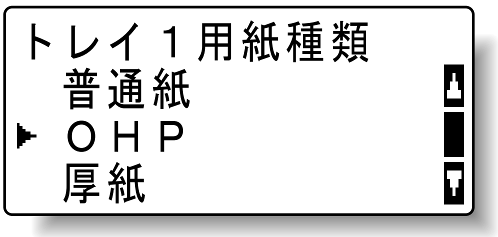
8

【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



9

【▲】【▼】で「OHP」を選択し、【OK】を押します。



10

【戻る】を 2 回押します。

11 必要に応じてその他の項目を設定します。

12 【スタート】を押します。

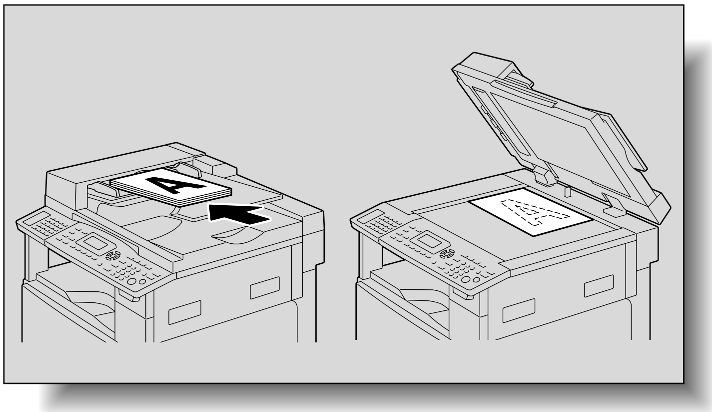
参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

■ ラベル用紙にコピーする

ここでは第 1 トレイに 200 mm × 250 mm のラベル用紙をセットしてコピーする例を説明します。

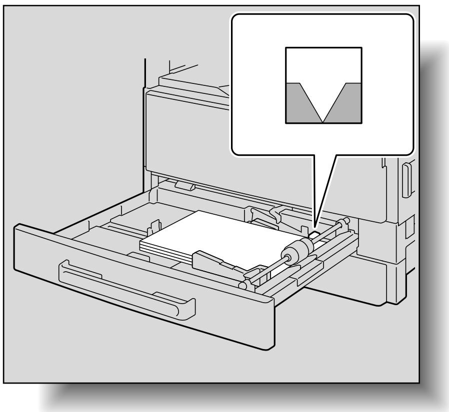
1 原稿をセットします。



参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

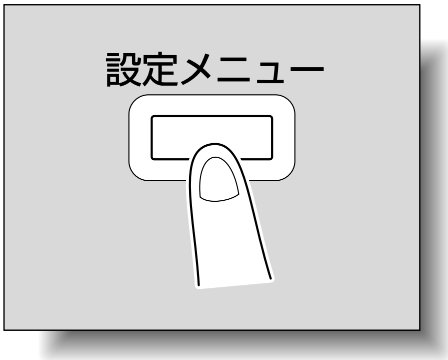
2 第 1 トレイのガイドを調整し､ラベル用紙をセットします。



必ず守ってください

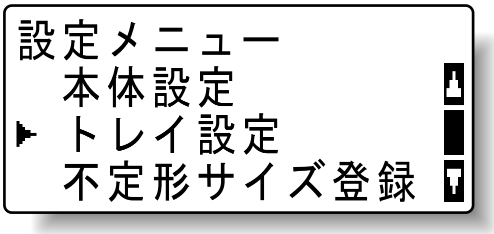
ラベル用紙をセットするときは、図のようにコピーする面を上に向けてセットしてください。

3 【設定メニュー】を押します。

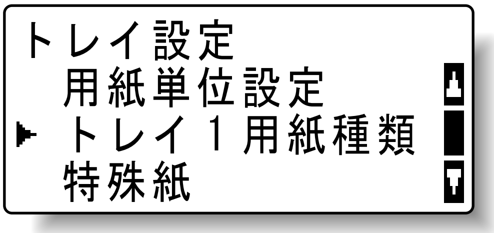


設定メニュー画面が表示されます。

4 【▲】【▼】で「トレイ設定」を選択し、【OK】を押します。

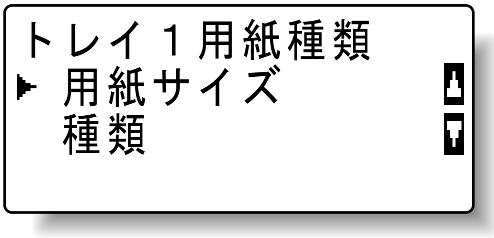


5 【▲】【▼】で「トレイ 1 用紙種類」を選択し、【OK】を押します。

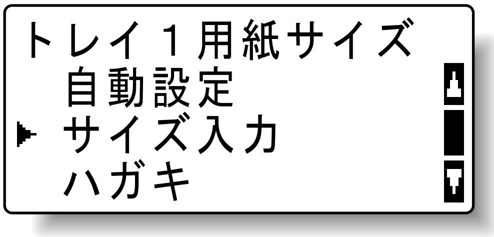


4

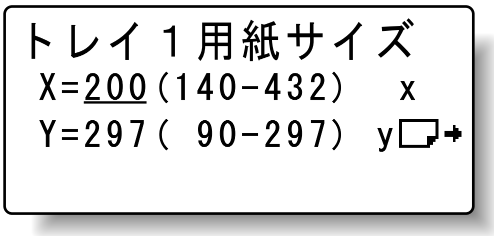
6 【▲】【▼】で「用紙サイズ」を選択し、【OK】を押します。



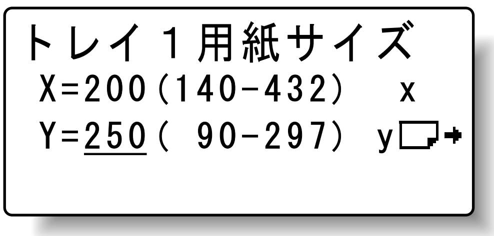
7 【▲】【▼】で「サイズ入力」を選択し、【OK】を押します。



8 テンキーで長さ（X）を「200」と入力し、【OK】を押します。

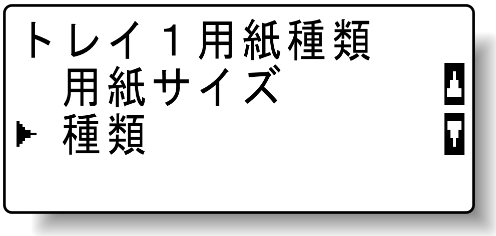


9 テンキーで幅（Y）を「250」と入力し、【OK】を押します。

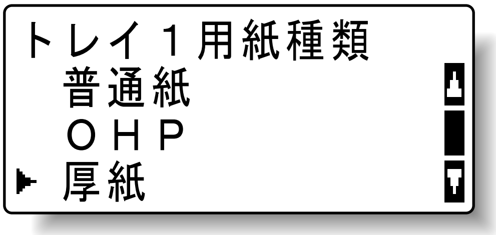


トレイ設定画面に戻ります。

10 【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



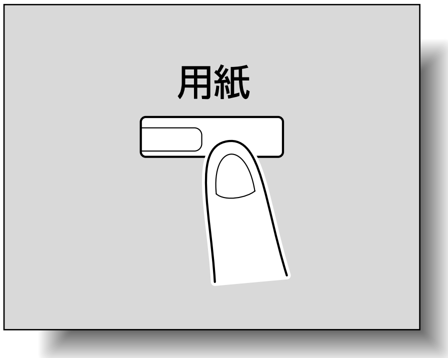
11 【▲】【▼】で「厚紙」を選択し、【OK】を押します。



12 【戻る】を 2 回押します。

基本画面に戻ります。

13 【用紙】を押し、第 1 トレイを選択します。



14 必要に応じてその他の項目を設定します。

15 【スタート】を押します。

参照

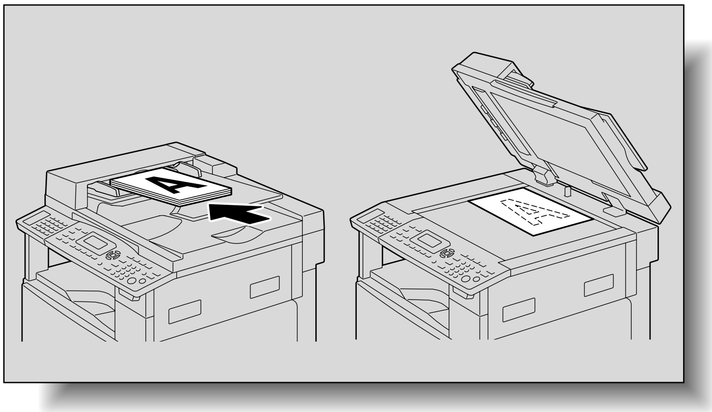
・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

4

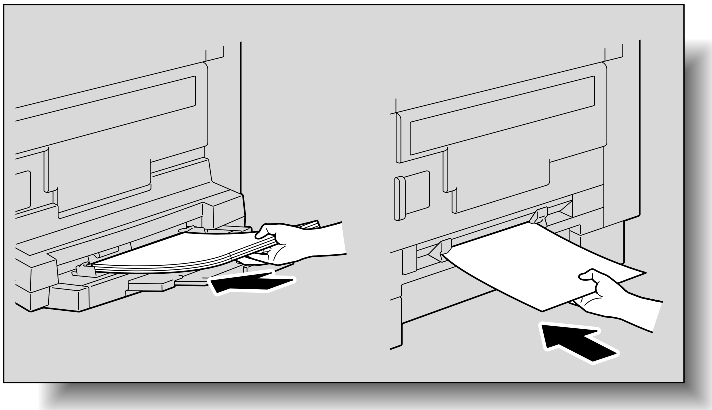
■ 不定形サイズの用紙にコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに250 mm × 180 mm の不定形サイズの用紙をセットしてコピーする例を説明します。

1 原稿をセットします。



2 手差しトレイのガイドを調整し、用紙をセットします。



手差し用紙設定画面が表示されます。

ひとこと

定形サイズ以外の原稿や用紙をセットするときは、あらかじめサイズを測っておいてください。
原稿ガラスのスケールを利用すると便利です。

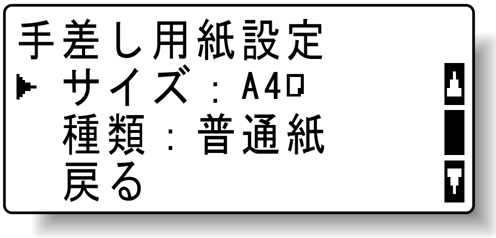
参照

「原稿のセットのしかた」(p. 3-17)をごらんください。

必ず守ってください

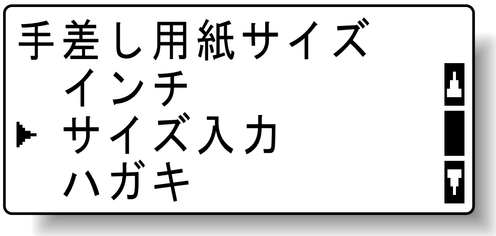
- コピーする面を下に向けて用紙をセットしてください。
- シングル手差しトレイにセットできる用紙は 1 枚です。
- マルチ手差しトレイにセットできる用紙は 100 枚までです。
▼マークをこえないようにセットしてください。

3 【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。

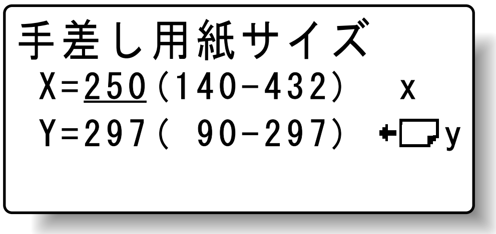


設定メニュー画面が表示されます。

4 【▲】【▼】で「サイズ入力」を選択し、【OK】を押します。



5 テンキーで長さ（X）を「250」と入力し、【OK】を押します。

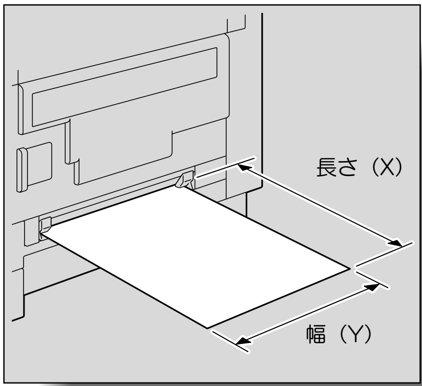


詳しく説明します

- 用紙の長さ（X）は140mm から 432mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

4

用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。



6 テンキーで幅（Y）を「180」と入力し、【OK】を押します。

```
手差し用紙サイズ
 X=250(140-432)   x
 Y=180( 90-297)  y
```

手差し用紙設定画面に戻ります。

7 3 行目に「種類：普通紙」と表示されていることを確認します。

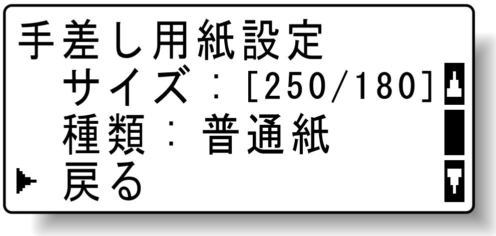
❍ 用紙種類が普通紙以外に設定されている場合は、「種類」を選択し、「普通紙」を選択してください。

```
手差し用紙種類
▶ 普通紙
  OHP
  厚紙
```

詳しく説明します

- 用紙の幅（Y）は 90mm から 297mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

8 【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。



基本画面が表示されます。

9 必要に応じてその他の項目を設定します。

10 【スタート】を押します。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1)をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1)をごらんください。

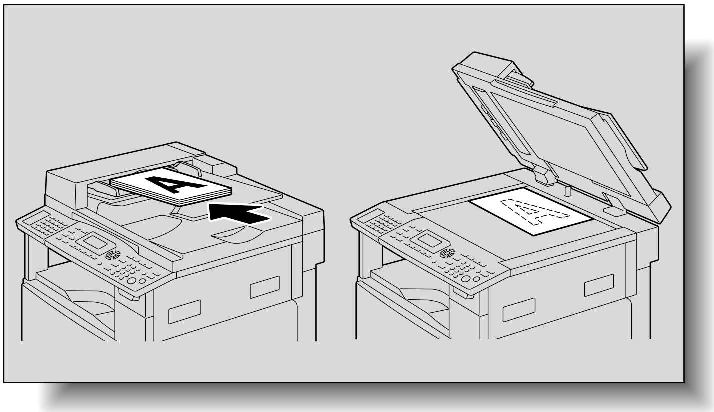
ひとこと

シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

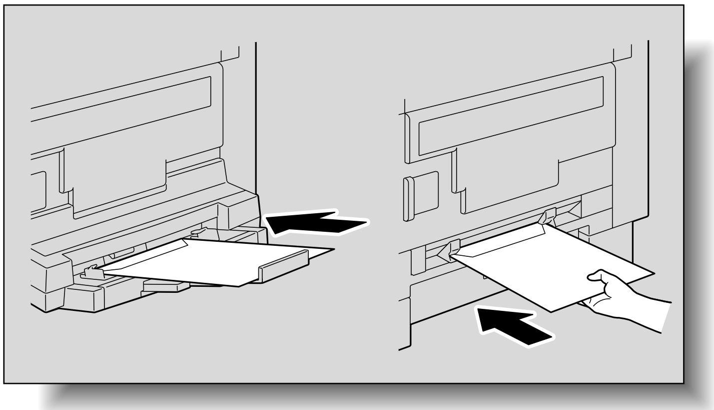
■ 封筒にコピーする

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに 200 mm × 150 mm の封筒をセットしてコピーする例を説明します。

1 原稿をセットします。



2 手差しトレイのガイドを調整し、封筒をセットします。



手差し用紙設定画面が表示されます。

ひとこと

定形サイズ以外の原稿や用紙をセットするときは、あらかじめサイズを測っておいてください。
原稿ガラスのスケールを利用すると便利です。

参照

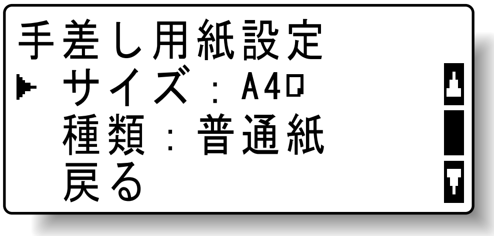
「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

必ず守ってください

- 封筒をセットするときは、コピーする面が下向きになるよう図のように封印部を上に向けてセットします。
- 封筒をセットするときは、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折り目をしっかり押さえてください。
- シングル手差しトレイにセットできる封筒は 1 枚です。
- マルチ手差しトレイにセットできる封筒は 10 枚までです。
  ▼ マークをこえないようにセットしてください。

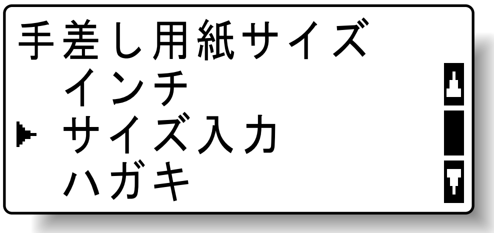
3

【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。



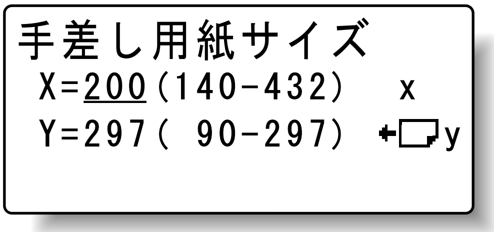
4

【▲】【▼】で「サイズ入力」を選択し、【OK】を押します。



5

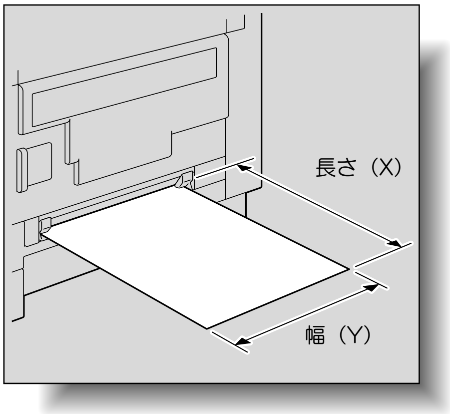
テンキーで長さ（X）を「200」と入力し、【OK】を押します。



詳しく説明します

- 用紙の長さ（X）は 140mm から 432mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

❍ 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。

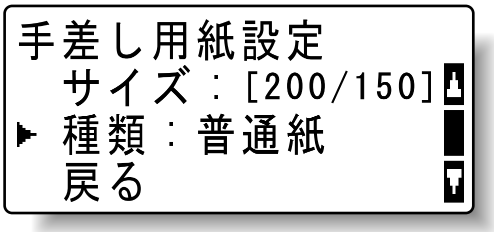


6 テンキーで幅（Y）を「150」と入力し、【OK】を押します。



手差し用紙設定画面に戻ります。

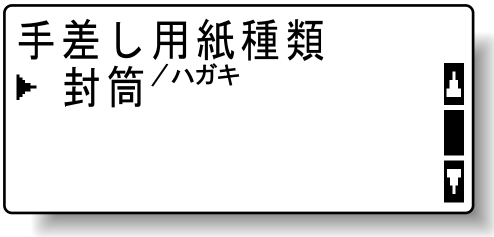
7 【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



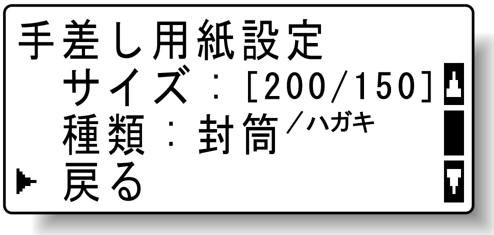
詳しく説明します

- 用紙の幅（Y）は 90mm から 297mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

8 【▲】【▼】で「封筒 / ﾊｶﾞｷ」を選択し、【OK】を押します。



9 【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。



基本画面が表示されます。

10 必要に応じてその他の項目を設定します。

11 【スタート】を押します。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」(p. 3-1) をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」(p. 5-1) をごらんください。

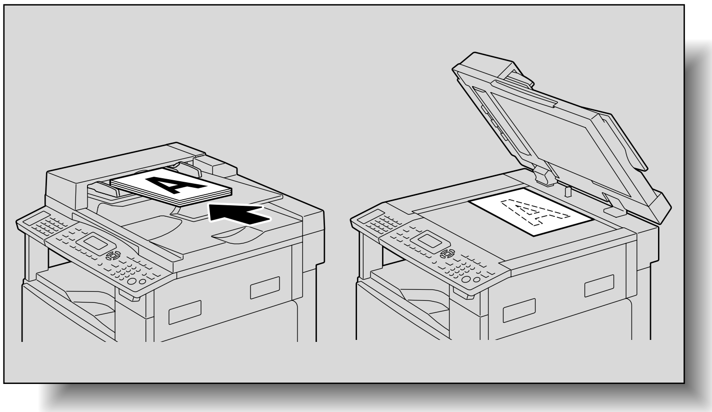
ひとこと

シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

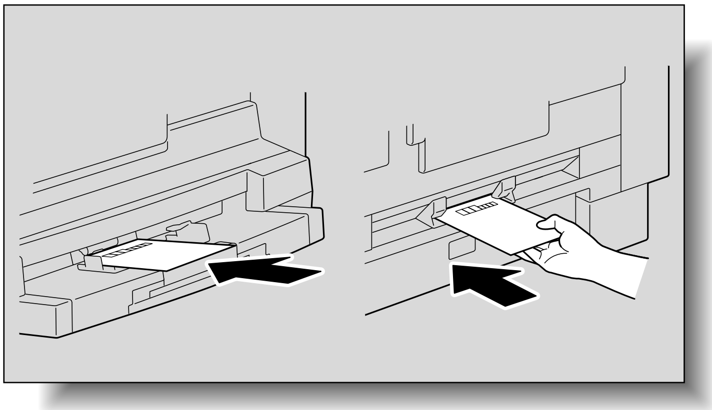
■ 官製はがきにコピーする（手差しトレイ使用）

ここではシングル手差しトレイまたはマルチ手差しトレイに 148 mm × 100 mm の官製はがきをセットしてコピーする例を説明します。

1 原稿をセットします。



2 手差しトレイのガイドを調整し、官製はがきをセットします。



手差し用紙設定画面が表示されます。

参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

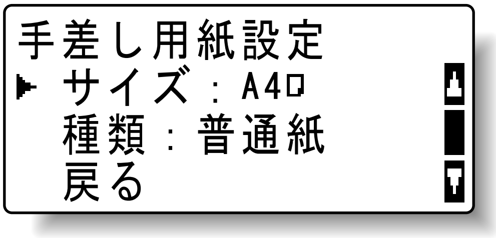
詳しく説明します

- 官製はがきは、原稿ガラス上にセットします。本機の原稿送り装置には、はがき（厚紙）をセットできません。
- ハガキサイズの原稿は、原稿ガラス上に ▭ 方向にセットしてください。

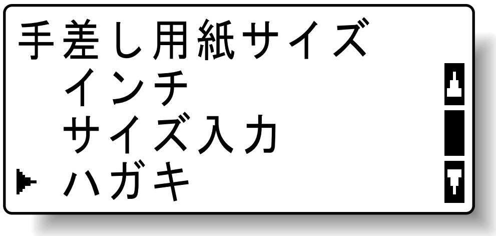
必ず守ってください

- 官製はがきをセットするときは、図のように ▭ 方向にセットします。
- 印刷する面を下に向けてセットしてください。
- シングル手差しトレイにセットできる官製はがきは 1 枚です。
- マルチ手差しトレイにセットできる官製はがきは 20 枚までです。▼ マークをこえないようにセットしてください。

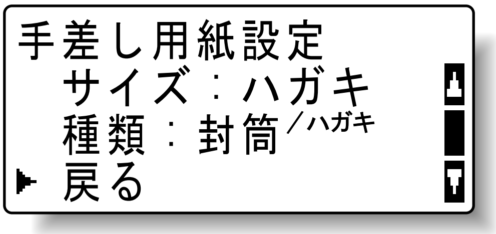
3 【▲】【▼】で「サイズ」を選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で「ハガキ」を選択し、【OK】を押します。



5 【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。



基本画面が表示されます。

6 必要に応じてその他の項目を設定します。

7 【スタート】を押します。

ひとこと

「用紙サイズ」で「ハガキ」を選択すると、「種類」は自動で「封筒 / ハガキ」になります。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

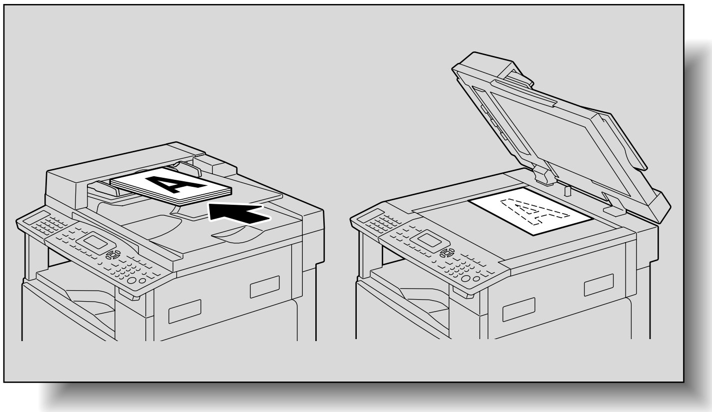
ひとこと

シングル手差しトレイで続けてコピーをとるときは、新しい用紙をシングル手差しトレイにセットします。

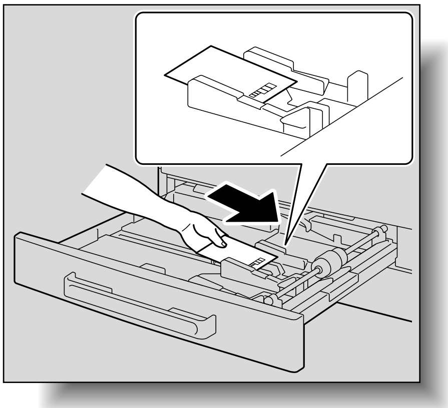
■ 官製はがきにコピーする（第 1 トレイ使用）

ここでは第 1 トレイに 148 mm × 100 mm の官製はがきをセットしてコピーする例を説明します。

1 原稿をセットします。



2 第 1 トレイのガイドを調整し、官製はがきをセットします。



参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

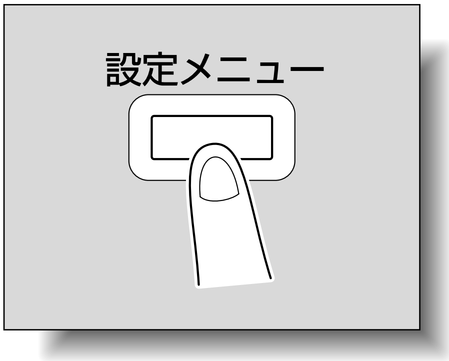
詳しく説明します

- 官製はがきは、原稿ガラス上にセットします。本機の原稿送り装置には、はがき（厚紙）をセットできません。
- ハガキサイズの原稿は、原稿ガラス上に 方向にセットしてください。

必ず守ってください

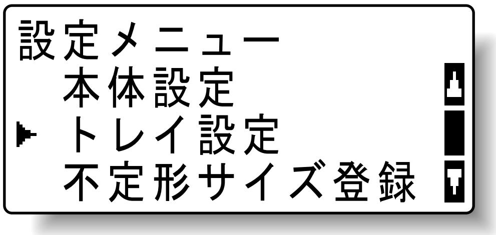
- 官製はがきをセットするときは、図のように 方向にセットします。
- 印刷する面を上に向けてセットしてください。
- 官製はがきは 20 枚までセットできます。

3 【設定メニュー】を押します。

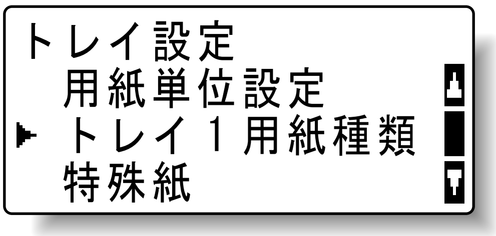


設定メニュー画面が表示されます。

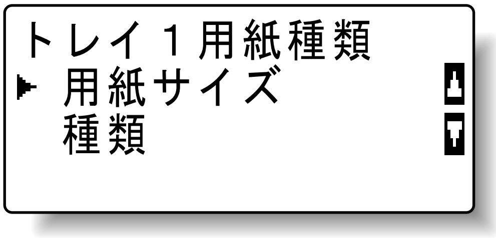
4 【▲】【▼】で「トレイ設定」を選択し、【OK】を押します。



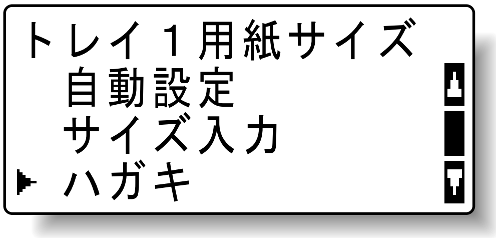
5 【▲】【▼】で「トレイ 1 用紙種類」を選択し、【OK】を押します。



6 【▲】【▼】で「用紙サイズ」を選択し、【OK】を押します。



7 【▲】【▼】で「ハガキ」を選択し、【OK】を押します。

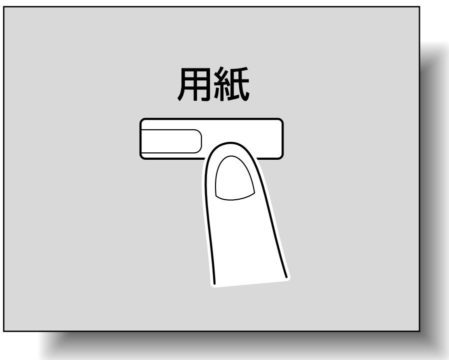


トレイ 1 用紙種類画面に戻ります。

8 【戻る】を 2 回押します。

基本画面に戻ります。

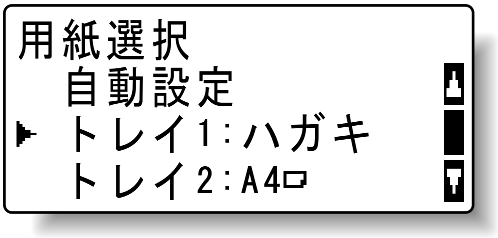
9 【用紙】を押します。



ひとこと

「用紙サイズ」で「ハガキ」を選択すると、「種類」は自動で「封筒 / ﾊｶﾞｷ」になります。

10 【▲】【▼】で「トレイ 1」を選択し、【OK】を押します。



11 必要に応じてその他の項目を設定します。

12 【スタート】を押します。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

4.6 倍率を指定してコピーする

倍率を指定することにより、コピーの拡大や縮小ができます。

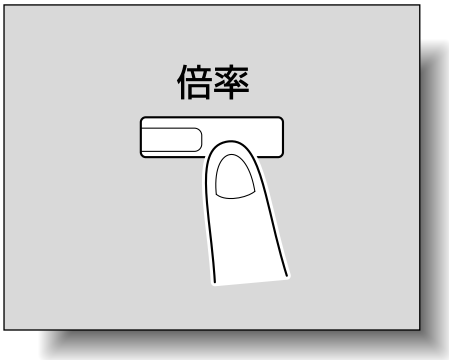
■ 倍率設定の種類

倍率の種類	説明
等倍	原稿と同じ大きさ（100%）でコピーします。
自動設定	セットされた原稿と選択した用紙をもとに、最適なコピー倍率が自動選択されます。
固定倍率	通常よく使用する、定形サイズの原稿から異なる定形サイズの用紙にコピーする場合の、最適な倍率が設定されています。 25% 50% 70%（A3 → A4、B4 → B5） 81%（B4 → A4、B5 → A5） 122%（A4 → B4、A5 → B5） 141%（A4 → A3、B5 → B4） 200% 400%
手動設定	倍率を 25 ～ 400% の範囲で設定できます。 テンキーで倍率を直接入力できます。【▲】【▼】を押すと、1% 刻みで倍率が増減します。
縦横変倍	原稿の幅方向と長さ方向を異なった倍率でコピーします。 幅方向：50% ～ 200% の範囲で設定できます。 長さ方向：50% ～ 100% の範囲で設定できます。 テンキーで倍率を直接入力できます。

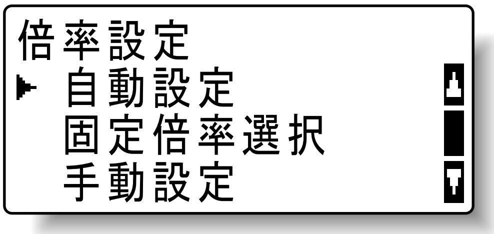
■ 自動倍率の設定のしかた

1 原稿をセットします。

2 【倍率】を押します。



3 【▲】【▼】で「自動設定」を選択し、【OK】を押します。



4 必要に応じてその他の項目を設定します。

5 【スタート】を押します。

参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

参照

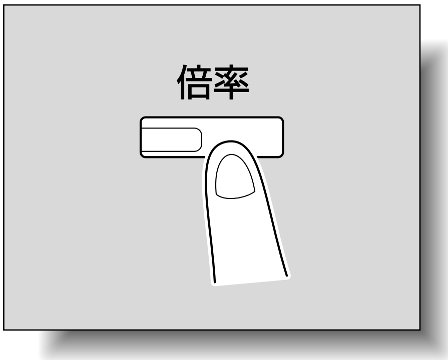
・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

4

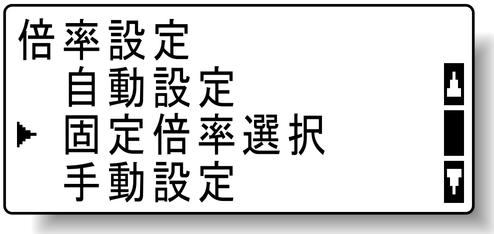
■ 固定倍率の設定のしかた

1. 原稿をセットします。

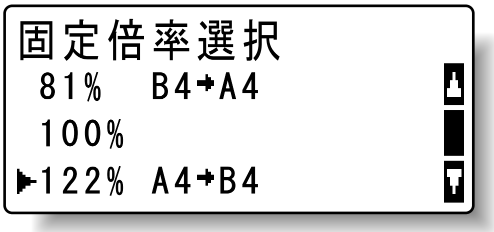
2. 【倍率】を押します。



3. 【▲】【▼】で「固定倍率選択」を選択し、【OK】を押します。



4. 【▲】【▼】で倍率を選択し、【OK】を押します。



参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

5 必要に応じてその他の項目を設定します。

6 【スタート】を押します。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

4

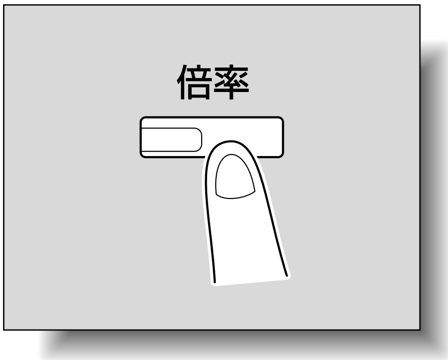
■ 手動倍率の設定のしかた

1 原稿をセットします。

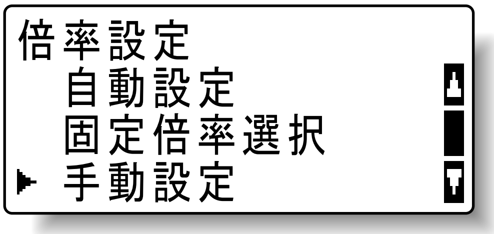
参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

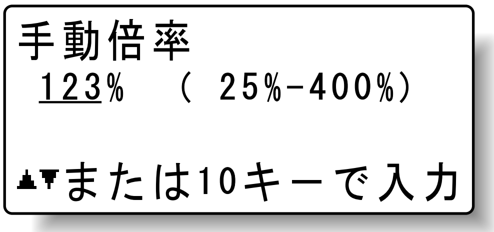
2 【倍率】を押します。



3 【▲】【▼】で「手動設定」を選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】またはテンキーで倍率を設定し、【OK】を押します。



詳しく説明します

【▲】【▼】で設定する場合、1% 刻みで設定できます。

5 必要に応じてその他の項目を設定します。

6 【スタート】を押します。

参照

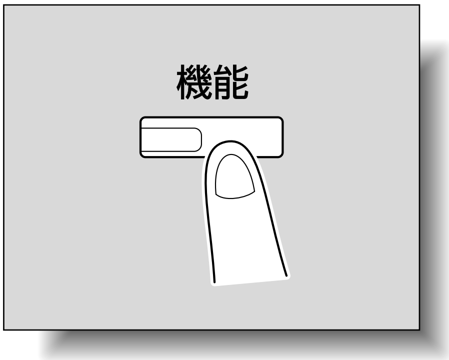
・「用紙の選択のしかた」（p. 4-11）をごらんください。
・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

■ 縦横変倍の設定のしかた

1 原稿をセットします。

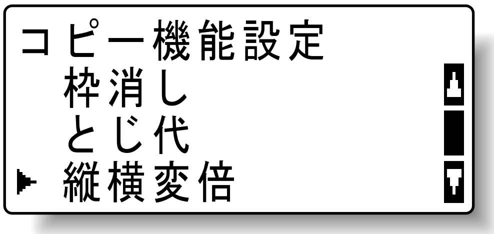
参照
「原稿のセットのしかた」(p. 3-17)をごらんください。

2 【機能】を押します。

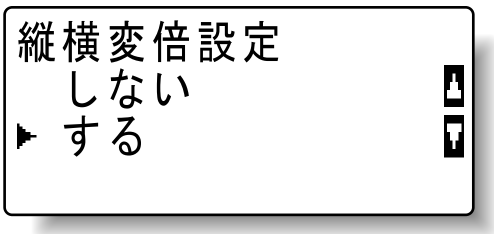


コピー機能設定画面が表示されます。

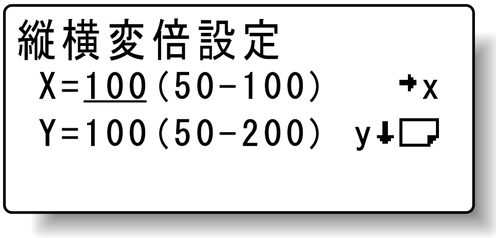
3 【▲】【▼】で「縦横変倍」を選択し、【OK】を押します。



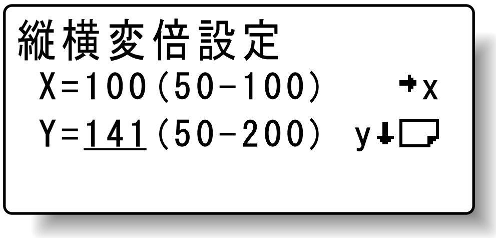
4 【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



5 テンキーで長さ方向（X）の倍率を設定し、【OK】を押します。



6 テンキーで幅方向（Y）の倍率を設定し、【OK】を押します。



7 【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

8 必要に応じてその他の項目を設定します。

9 【スタート】を押します。

ひとこと

設定した倍率を訂正するときは【クリア / ストップ】を押し、設定しなおします。

ひとこと

設定した倍率を訂正するときは【クリア / ストップ】を押し、設定しなおします。

参照

・「用紙の選択のしかた」（p. 4-11）をごらんください。
・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

4

4.7 コピー濃度を変更してコピーする

原稿種類とコピー濃度の設定

- 文字モード：
  文字原稿のときに選択します。輪郭を強調し、文字原稿をくっきり表現します。
  自動濃度調整と 9 段階の手動濃度調整ができます。
  - 自動濃度調整：コピーする原稿に合わせて自動的に濃度調整します。
  - 手動濃度調整：コピーする原稿に合わせて【◀】（うすく）、【▶】（こく）を使用して調整します。
- 写真モード：
  写真などのハーフトーン（中間色）部の多い原稿をコピーする場合に選択します。
  写真モードのときは自動濃度調整はできません。
- 文字／写真モード：
  文字と写真の混在する原稿の場合に選択します。
  自動濃度調整と 9 段階の手動濃度調整ができます。
  - 自動濃度調整：コピーする原稿に合わせて自動的に濃度調整します。
  - 手動濃度調整：新聞や雑誌などをコピーするときの裏写りを防止したい場合は、【◀】（うすく）を使用して調整します。画像の明るい部分の淡い色を再現したい場合は、【▶】（こく）を使用して調整します。

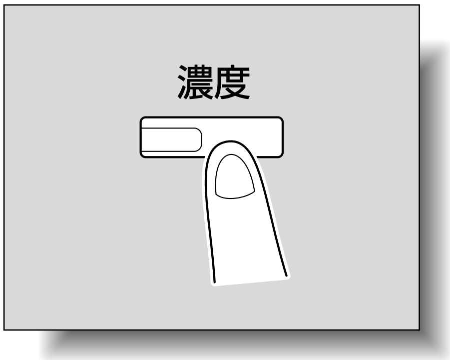
ひとこと

手動濃度調整のときに「こい」側に設定すると、下地の色までコピーしてしまったり、「うすい」側に設定すると、コピー自体が薄くなってしまうことがありますので、原稿にあわせて適切なレベルを設定してください。

■ コピー濃度の設定のしかた

1 原稿をセットします。

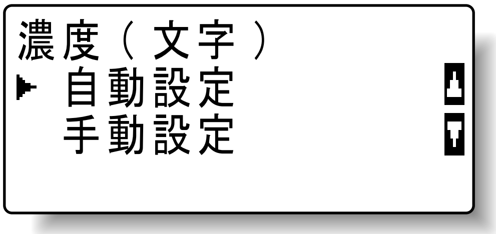
2 【濃度】を押します。



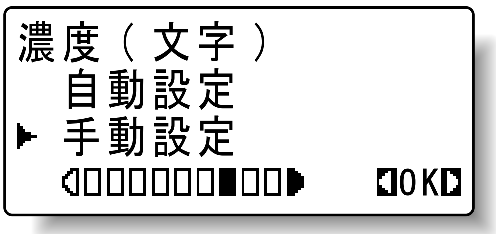
濃度画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「自動設定」「手動設定」を選択します。

❍「自動設定」を選択した場合、【OK】を押します。



❍「手動設定」を選択した場合、【◀】【▶】で濃度を 9 段階から選択し、【OK】を押します。



基本画面に戻ります。

参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

ひとこと

画質を「写真」に設定している場合は、自動設定を選択できません。

4 必要に応じてその他の項目を設定します。

5 【スタート】を押します。

参照

・「用紙の選択のしかた」（p. 4-11）をごらんください。
・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

4.8　割込んでコピーする

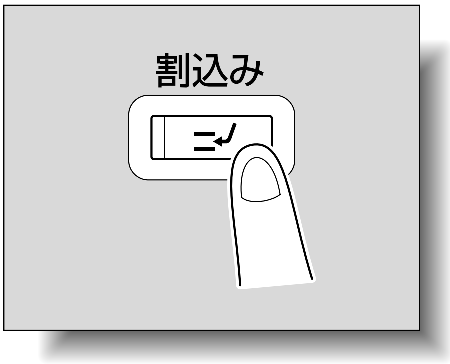
連続コピー、ファクス受信プリント、PC プリント中に【割込み】を押すことにより、急ぎのコピーをとることができます。

■ 割込み設定のしかた

1

【割込み】を押します。

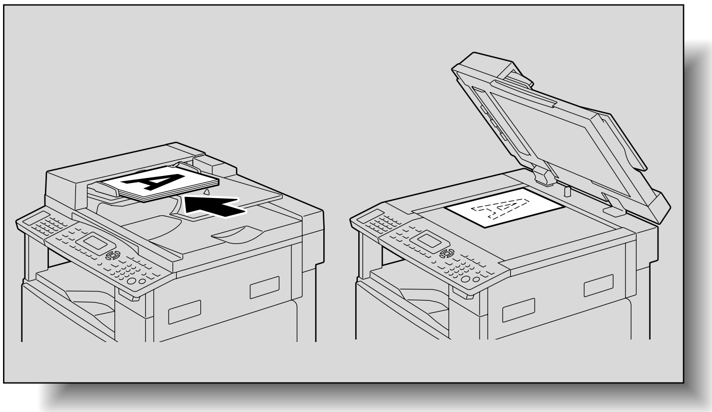
割込みランプが点灯し、コピー／プリント動作は停止します。



2

原稿を入れ替えます。

- ファクス受信プリント、PC プリント中は、原稿をセットします。



詳しく説明します

割込み前のコピーモードにより、割込みコピーができないことがあります。また、割込み設定中は組み合わせできない機能があります。詳しくは、「おもな機能の組み合わせ一覧表」（p. 13-8）をごらんください。
原稿ガラスを使用して 2in1、4in1 を行っているときは、割込みコピーはできません。

ひとこと

【割込み】を押すと、パネルの設定は初期モードになります。

4

3 必要に応じてその他の項目を設定します。

4 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

割込みコピーを開始します。

5 割込みコピー終了後、【割込み】を押します。

割込みランプが消灯し、割込み前のモードに戻ります。

ファクス受信プリント、PC プリント中の場合は、自動的にプリントが再開されます。

❍ コピーの場合は、手順 6 に進みます。

6 手順 2 で入れ替えた原稿をセットしなおします。

7 【スタート】を押します。

中断したコピーが再開されます。

参照

・「用紙の選択のしかた」（p. 4-11）をごらんください。
・「倍率を指定してコピーする」（p. 4-54）をごらんください。
・「コピー濃度を変更してコピーする」（p. 4-62）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

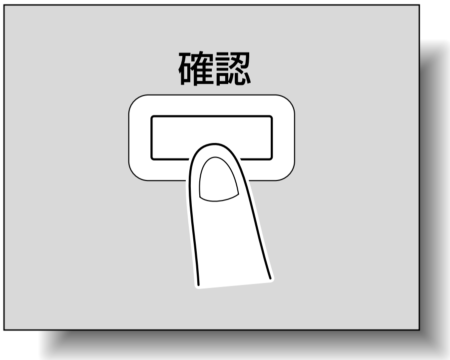
4.9　マシンカウンタを確認する

本機を設置した時点からの累積プリント枚数を、【確認】から確認できます。

■ マシンカウンタで確認できる項目

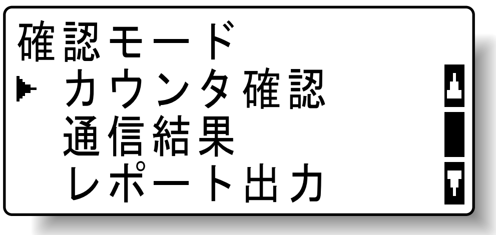
マシンカウンタ	内容
トータル	本機の設置時からの総プリント枚数が表示されます。
サイズ	サイズカウントとして設定された用紙サイズの総コピー／プリント枚数が表示されます。 （どの用紙サイズをカウントするかはサービス技術者が設定します。）
スキャン	本機の設置時からの総読み取り回数が表示されます。 （コピー時の読み取り回数は含みません。）
送信枚数	本機の設置時からのファクス送信枚数が表示されます。
受信枚数	本機の設置時からのファクス受信枚数が表示されます。

1　基本画面で【確認】を押します。



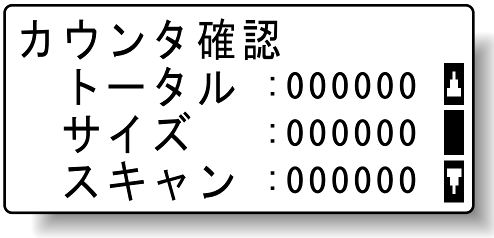
確認モード画面が表示されます。

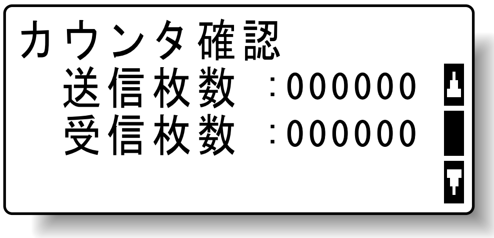
2　【▲】【▼】で「カウンタ確認」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で各カウント値を確認します。





4

【OK】を押します。

確認モード画面に戻ります。

5

【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

第 5 章
一歩進んだコピーのとりかた

5

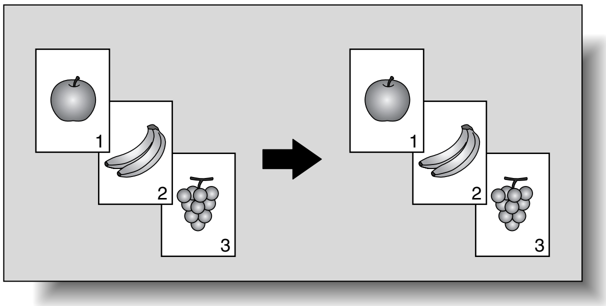
仕上がりの設定や、コピーモードの登録などさまざまなコピーのとりかたについて説明します。

5.1　仕上り設定について（ソート、グループ）

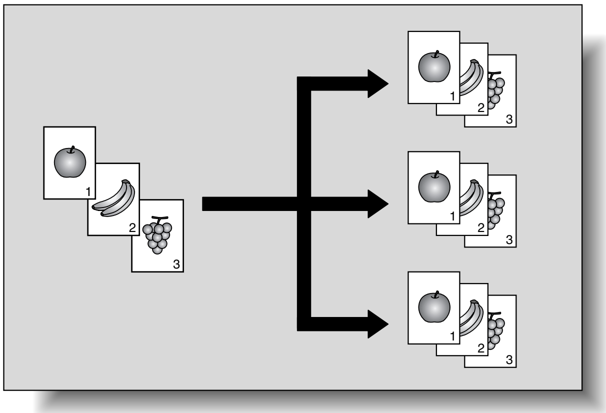
2 部以上のコピー／プリントを行うときに、1 部ずつをページ順にコピー（ソート）したり、ページごとにまとめてコピー（グループ）したりできます。

■ 仕上りの種類

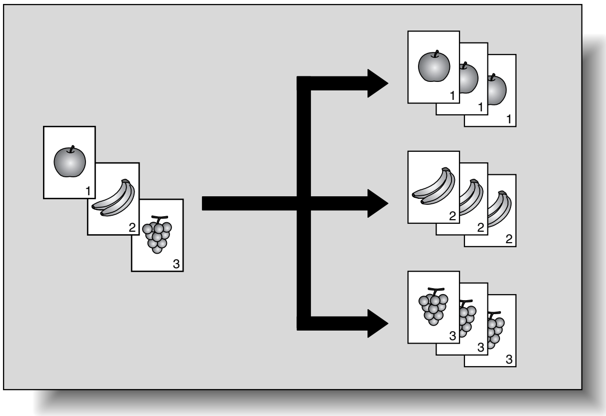
- ノンソート：
  仕分けを行わずにコピーします。



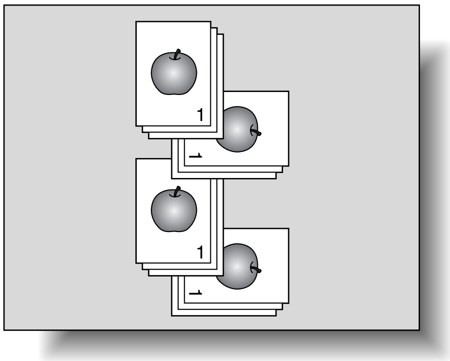
- ソート：
  複数の原稿を自動的に 1 部ずつ仕分けをして、コピーします。



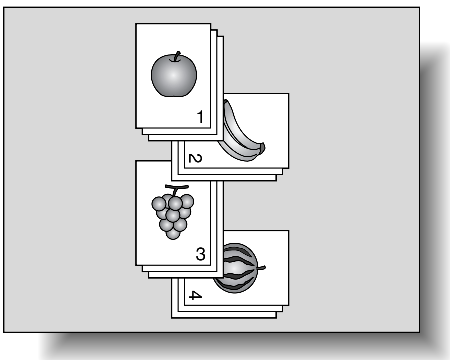
- グループ：
  複数枚の原稿をページ単位に仕分けしてコピーします。



- 交互ソート：
  1 部ごとに ▭ と ▯ の用紙を交互に給紙して仕分けします。



- 交互グループ：
  ページごとに ▭ と ▯ の用紙を交互に給紙して仕分けします。



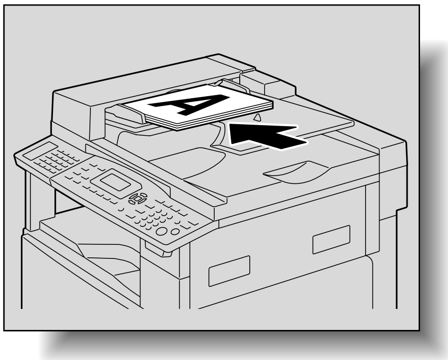
詳しく説明します

交互に排出する場合は以下の条件が必要です。
- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を ▭ 方向と ▯ 方向にセットする
- 自動用紙に設定する
- 混載原稿を設定しない
- 設定メニューの「交互排紙許可」を「する」に設定する（p. 9-72）

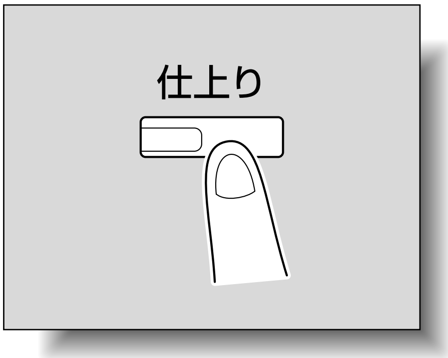
5

■ 仕上り設定のしかた（原稿送り装置に原稿をセット）

1 原稿送り装置に原稿をセットします。

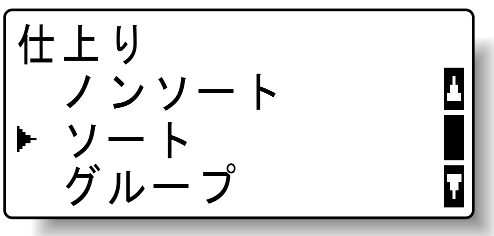


2 【仕上り】を押します。



仕上り設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「ソート」「グループ」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



仕上りランプが点灯します。

参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

ひとこと

仕上りを設定していない場合、ランプは点灯しません。

4 必要に応じその他の項目を設定します。

5 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

参照

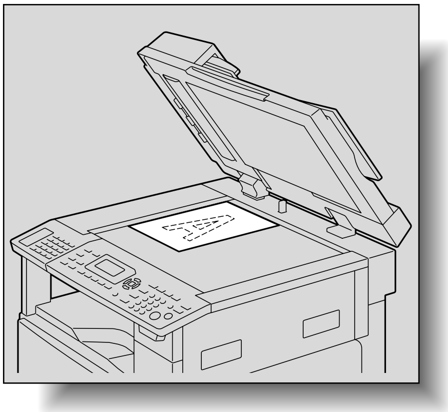
・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

5

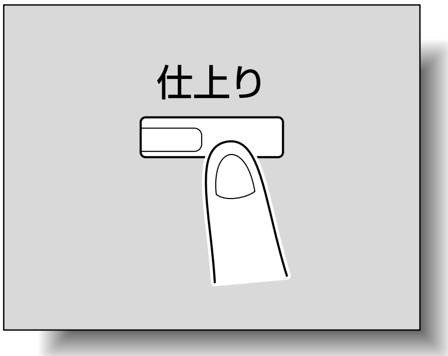
■ 仕上り設定のしかた（原稿ガラスに原稿をセット）

1 原稿送り装置を開きます。

2 原稿ガラスに原稿をセットします。



3 【仕上り】を押します。



仕上り設定画面が表示されます。

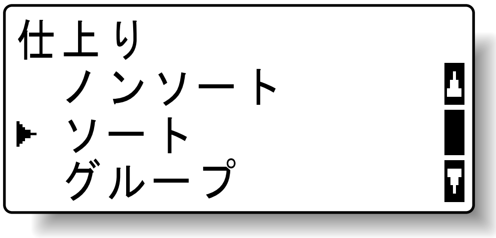
参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

ひとこと

仕上りを設定していない場合、ランプは点灯しません。

4 【▲】【▼】で「ソート」「グループ」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



仕上りランプが点灯します。

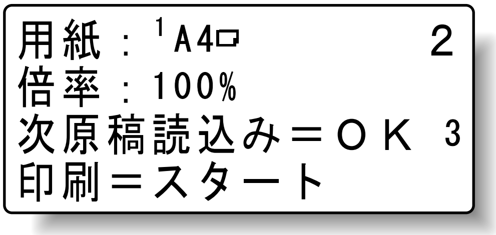
5 必要に応じその他の項目を設定します。

6 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

7 次の原稿を原稿ガラスにセットして【OK】を押します。

❍原稿の枚数分、この操作を繰り返します。

読込み原稿枚数が表示されます。



8 【スタート】を押します。

ひとこと

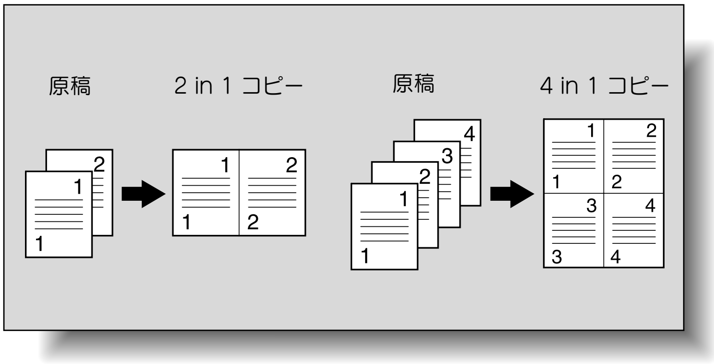
自動原稿送り装置が装着されていない場合は、「グループ」は表示されません。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

5

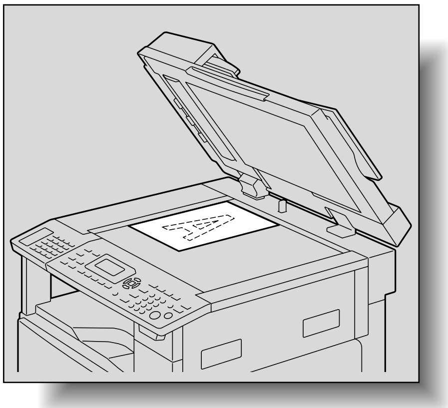
5.2　2in1、4in1 コピーの設定について



■ 原稿ガラスの場合

1. 原稿送り装置を開きます。

2. 原稿ガラスに 1 枚目の原稿をセットします。



詳しく説明します

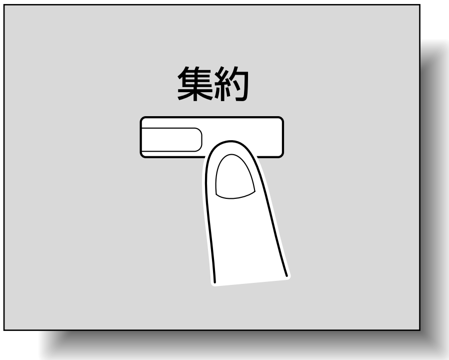
原稿ガラスを使用して 2in1、4in1 コピーを行っているときは、割込みコピーはできません。

参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

3

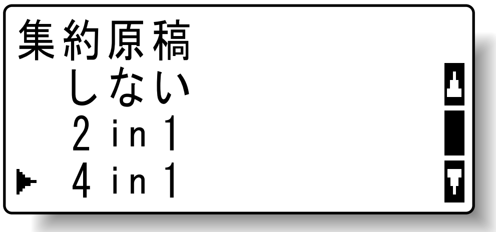
【集約】を押します。



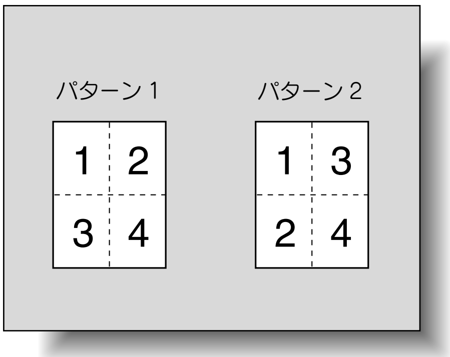
集約原稿画面が表示されます。

4

【▲】【▼】で「2in1」「4in1」のいずれかを選択し、
【OK】を押します。



❍4in1 コピーではコピー順序を下図の 2 つから選択できます。
工場出荷時の設定は「パターン 1」です。



集約ランプが点灯します。

参 照

設定のしかたについては、設定メニューの「4in1 ページ順の設定をする」（p. 9-69）をごらんください。

5

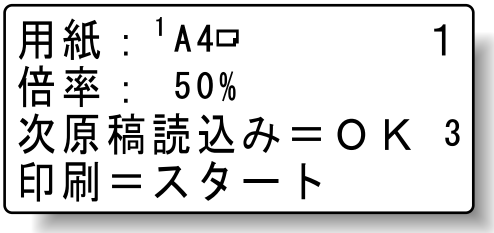
5 必要に応じてその他の項目を設定します。

6 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

7 次の原稿を原稿ガラスにセットして【OK】を押します。

❍ 原稿の枚数分、この操作を繰り返します。

読込み原稿枚数が表示されます。



8 すべての原稿の読込みが終了したら【スタート】を押します。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

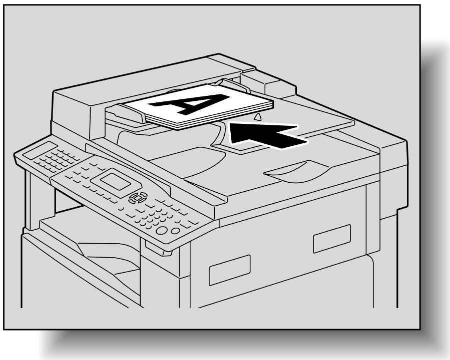
詳しく説明します

複数部設定した場合は【仕上り】を押し［ソート］を選択してください。

■ 原稿送り装置の場合

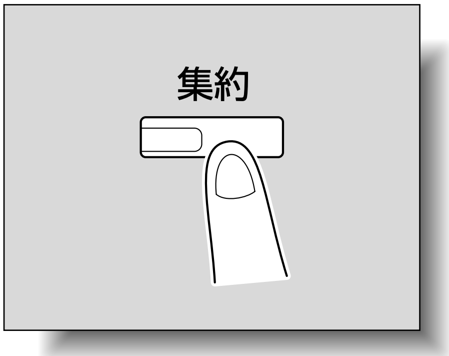
1

原稿送り装置に原稿をセットします。



2

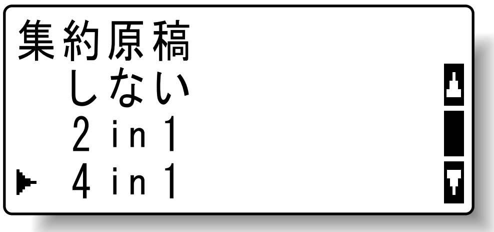
【集約】を押します。



集約原稿画面が表示されます。

3

【▲】【▼】で「2in1」「4in1」を選択し、【OK】を押します。

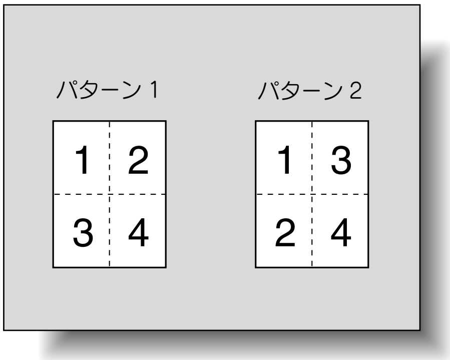


参照

「原稿のセットのしかた」(p. 3-17)をごらんください。

5

❍ 4in1 コピーではコピー順序を下図の2つから選択できます。
工場出荷時の設定は「パターン 1」です。



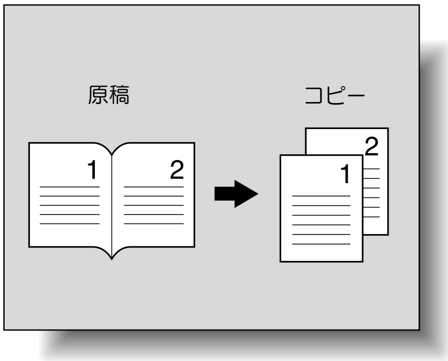
集約ランプが点灯します。

4 必要に応じてその他の項目を設定します。

5 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

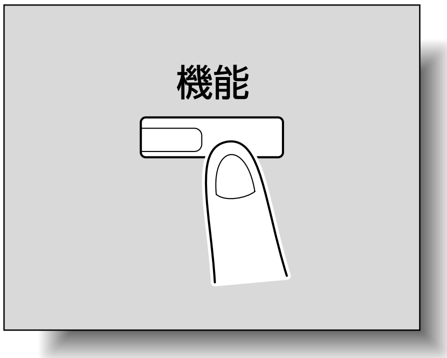
参照
・設定のしかたについては設定メニューの「4in1 ページ順の設定をする」（p. 9-69）をごらんください。

参照
・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。



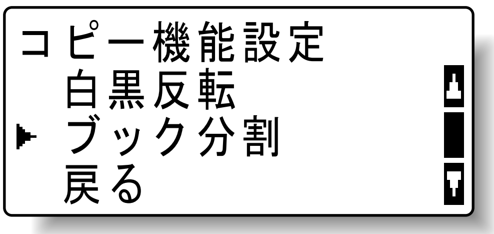
1 原稿をセットします。

2 【機能】を押します。



コピー機能設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「ブック分割」を選択し、【OK】を押します。



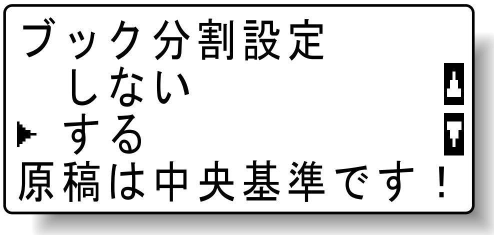
参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

5

4

【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。

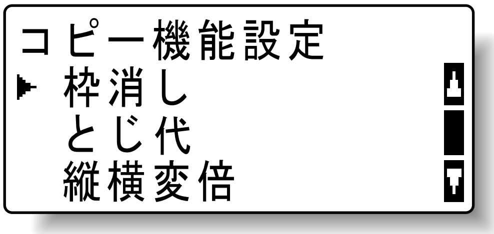


コピー機能設定画面の「ブック分割」に「✓」がつきます。

5

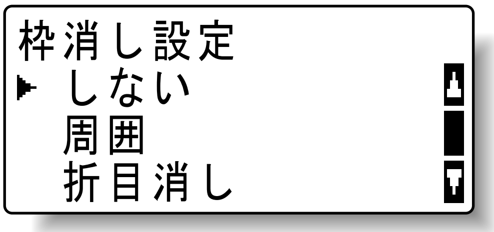
原稿の周囲や中央部を消去したいときは、コピー機能設定画面で「枠消し」を選択し、【OK】を押します。

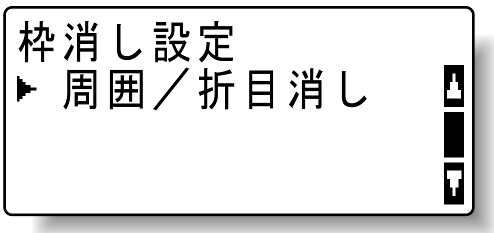
❍ コピーを開始するときは手順 7 に進みます。



6

【▲】【▼】で「周囲」「折目消し」「周囲／折目消し」のいずれかを選択し、【OK】を押します。





コピー機能設定画面の「枠消し」に「✓」がつきます。

詳しく説明します

設定メニューで原稿タイプを変更できます。工場出荷時は、原稿が左とじに設定されています。右とじの原稿をコピーする場合は、設定メニューの「ブックとじ位置を選択する」（p. 9-61）で設定を変更してください。

参照

枠消しの種類は、次のページの表を参考にしてください。

詳しく説明します

- 枠イレース幅（消去する幅）は 5mm ～ 20mm の間を 1mm 単位で設定できます。工場出荷時の設定は 10mm です。
- 折目イレース幅は 10mm 固定です。
- 枠イレース幅を変更したい場合は、設定メニューの「イレース幅の調整をする」（p. 9-63）で変更してください

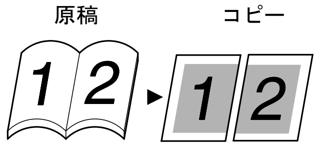
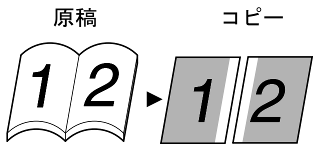
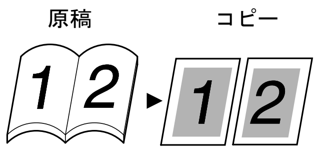
7 【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

8 必要に応じてその他の項目を設定します。

9 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

■ 枠／折目消しの種類について

イレースの種類	説明	仕上がり
周囲（ブックフレームイレース）	原稿の周囲を消去してコピーします。	
折目消し（ブックセンターイレース）	原稿のセンターを消去してコピーします。	
周囲／折目消し（ブックフレーム＋センターイレース）	原稿の周囲と中央部を消去してコピーします。	

参照

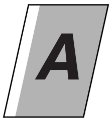
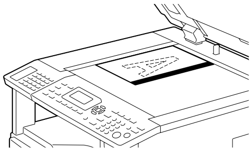
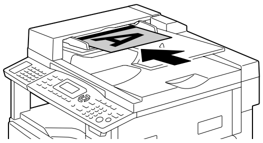
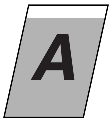
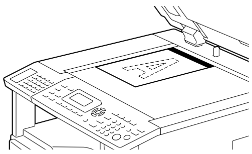
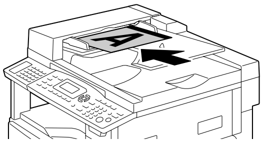
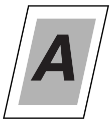
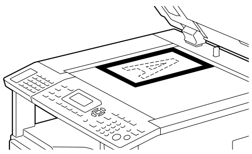
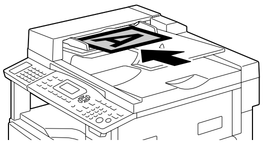
・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

5.4　原稿の一部を消してコピーする（イレース）

原稿の縁の汚れなどを消去してコピーできます。

■ イレース位置でのご注意

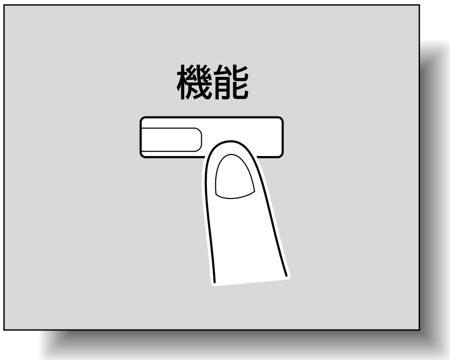
イレースモードでコピーを行う場合は原稿をセットする方向に注意してください。

仕上がり	原稿ガラス	原稿送り装置
左イレース 		
上イレース 		
枠イレース 		

■ イレース設定のしかた

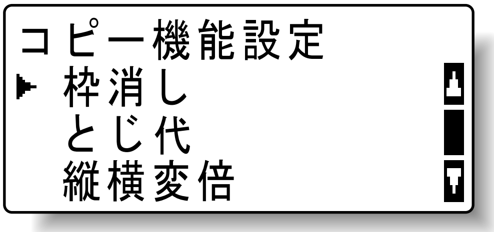
1 原稿をセットします。

2 【機能】を押します。

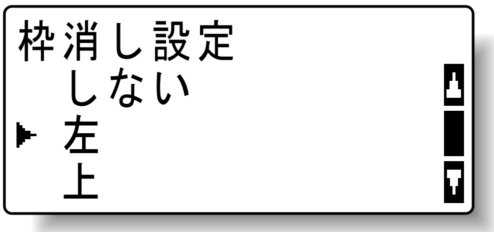


コピー機能設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「枠消し」を選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で「左」「上」「周囲」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



コピー機能設定画面の「枠消し」に「✓」がつきます。

参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

ひとこと

ブック分割設定が「する」になっているときは、「しない」「周囲」「折目消し」「周囲／折目消し」が表示されます。

5 【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

6 必要に応じその他の項目を設定します。

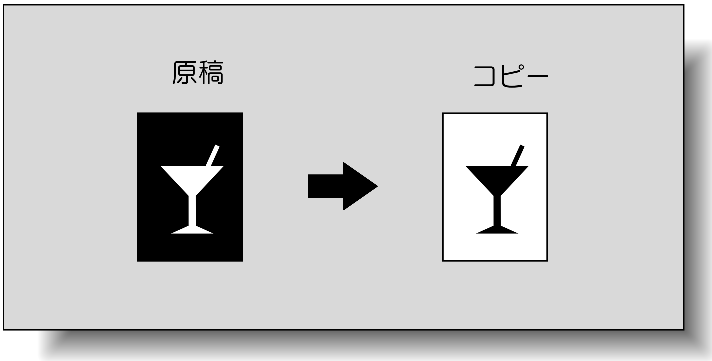
7 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

5.5　白黒反転コピーをする（ネガポジ反転）

原稿の白色部（下地）と黒色部（文字）を反転してコピーできます。

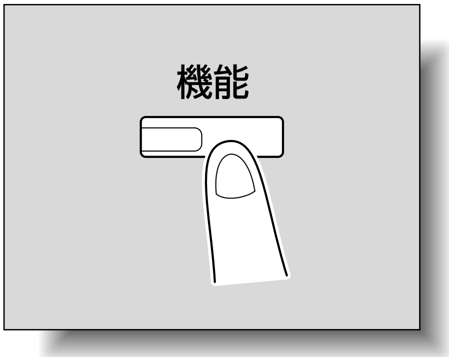


■ ネガポジ反転の設定のしかた

1 原稿をセットします。

> 参照
> 「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

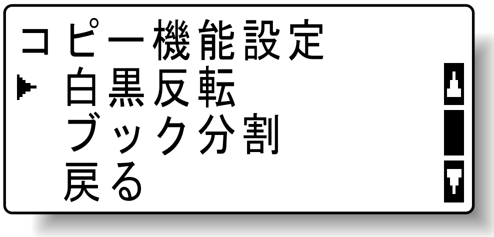
2 【機能】を押します。



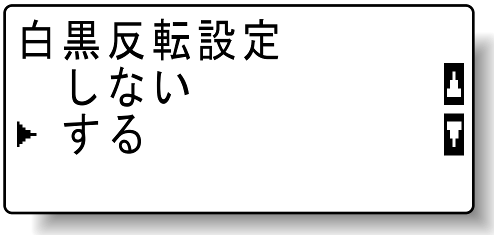
コピー機能設定画面が表示されます。

5

3 【▲】【▼】で「白黒反転」を選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



コピー機能設定画面の「白黒反転」に「✓」がつきます。

5 【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

6 必要に応じその他の項目を設定します。

7 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

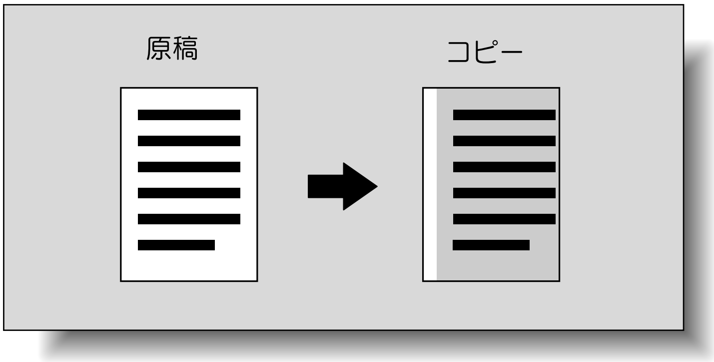
参照

- 「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
- 「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

5.6　とじ代をつけてコピーする

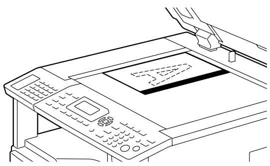
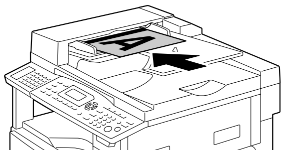
ファイリングしやすいように、用紙にとじ代（余白）をつけてコピーできます。

- 左とじ代：原稿の画像を右方向にずらして（シフトさせて）左側にとじ代をつくりコピーします。



■ とじ代位置のご注意

とじ代をつけてコピーする場合は原稿をセットする方向に注意してください。

原稿ガラス	自動原稿送り装置
	

■ とじ代の設定のしかた

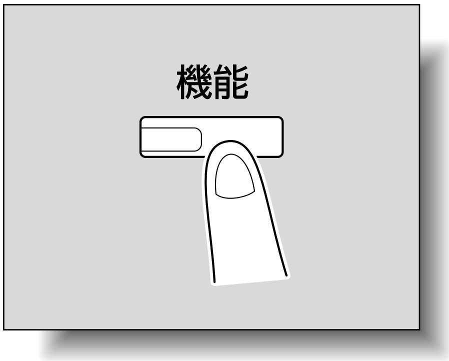
1　原稿をセットします。

参照

「原稿のセットのしかた」（p. 3-17）をごらんください。

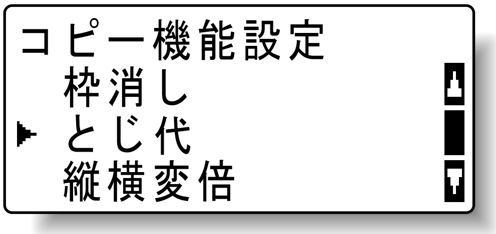
5

2 【機能】を押します。

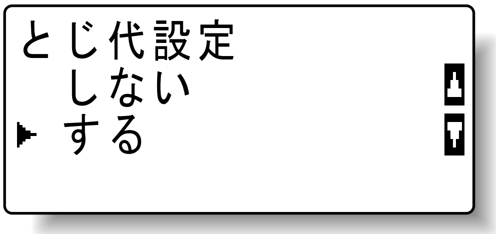


コピー機能設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「とじ代」を選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



コピー機能設定画面の「とじ代」に「✓」がつきます。

5 【戻る】を押します。

基本画面に戻ります。

機能ランプが点灯します。

詳しく説明します

- とじ代幅は、0mm ～ 20mm の範囲で 1mm 単位の設定ができます。工場出荷時の設定は 10mm です。
- とじ代幅を変更したい場合は、設定メニューの「とじ代幅の調整をする」（p. 9-62）をごらんください。

6 必要に応じその他の項目を設定します。

7 テンキーでコピー部数を設定し、【スタート】を押します。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

5

5.7　コピー設定を登録する

よく使用するコピー設定を登録しておき、必要に応じて呼び出すことができます。コピー設定は 2 つまで登録できます。

登録できる設定項目は次のとおりです。

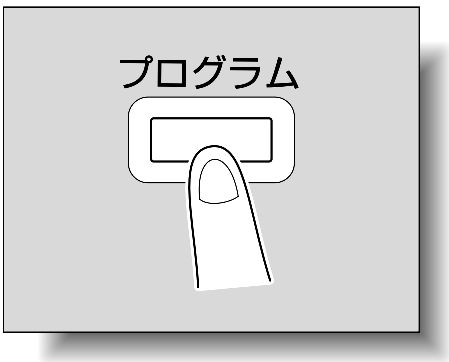
- コピー枚数
- 選択トレイ（「自動」含む）
- 画質
- 濃度（「自動」含む）
- 【機能】各項目（枠消し、とじ代、縦横変倍、白黒反転、ブック分割）
- 混載原稿
- 集約

トレイに設定された用紙が不定形の場合、不定形サイズは登録されません。不定形サイズの登録については、「不定形サイズ登録」（p. 9-28）をごらんください。

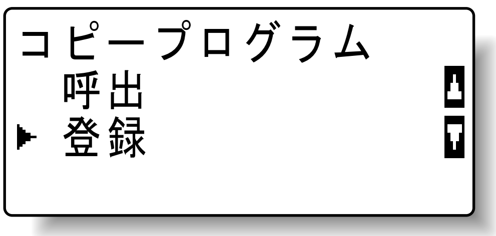
■ コピー設定の登録のしかた

1 各種項目の設定をします。

2 【プログラム】を押します。



3 【▲】【▼】で「登録」を選択し、【OK】を押します。



詳しく説明します

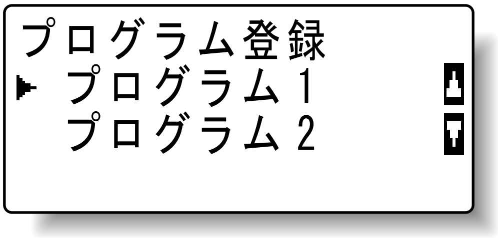
ウォームアップ中および割込みモード中に設定の登録を行うことはできません。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

4

【▲】【▼】で登録するプログラム番号を選択し、【OK】を押します。



現在のコピー設定が登録されます。

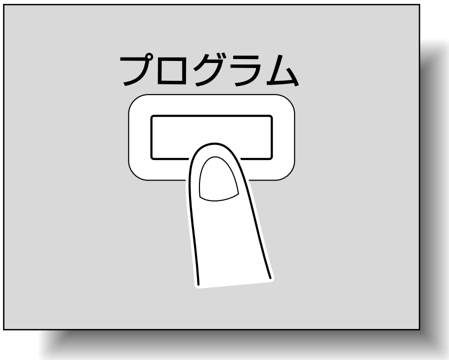
詳しく説明します

すでに設定が登録されているプログラム番号に新たにコピー設定の登録を行うと、前のコピー設定は消去されます。

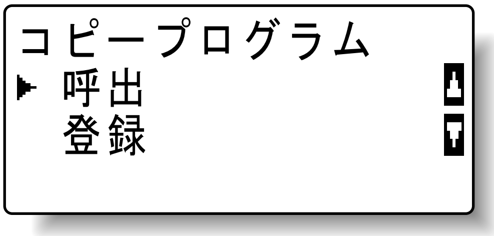
■ コピー設定を呼び出してコピーする

1. 原稿をセットします。

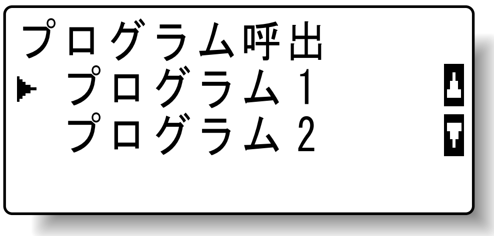
2. 【プログラム】を押します。



3. 【▲】【▼】で「呼出」を選択し、【OK】を押します。



4. 【▲】【▼】で登録するプログラム番号を選択し、【OK】を押します。



5. 【スタート】を押します。

参照

「原稿のセットのしかた」(p. 3-17) をごらんください。

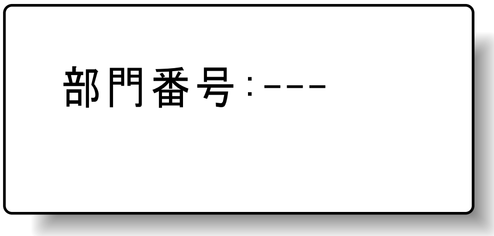
5.8　ID（部門）番号を使ってコピーする

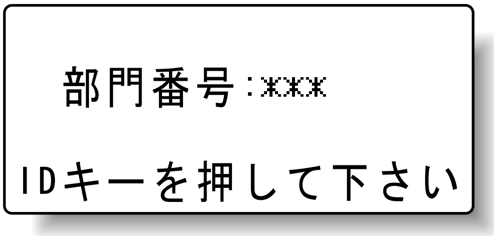
ID（部門）番号を登録しておくと、特定の人だけが本機を使えるように設定したり、部門ごとにコピー枚数を管理したりできます。

ここでは ID（部門）番号を入力し、コピーする方法を説明します。

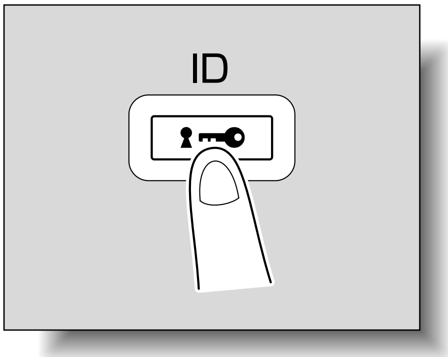
■ ID（部門）番号の入力のしかた

1　3 桁の ID（部門）番号をテンキーで入力します。





2　【ID】を押します。



画面が ID 入力画面から基本画面に切替わり、コピー可能となります。

詳しく説明します

ID（部門）番号が登録されている場合は、本機を使用する前に ID（部門）番号を入力しないと使用できません。
この機能を使用する場合は、設定メニューの管理者設定で部門管理の設定をしてください。詳しくは p. 9-41 をごらんください。

ひとこと

ID（部門）番号を訂正する場合は、【クリア / ストップ】を押してから入力しなおしてください。

3 原稿をセットし、コピーの設定をします。

4 【スタート】を押します。

5 コピーが終了したら、再度【ID】を押します。

参照

・「コピー／ファクスをとるまえに」（p. 3-1）をごらんください。
・「一歩進んだコピーのとりかた」（p. 5-1）をごらんください。

第 6 章
ファクスの使いかた

6

ファクスの送信方法や受信方法について説明します。

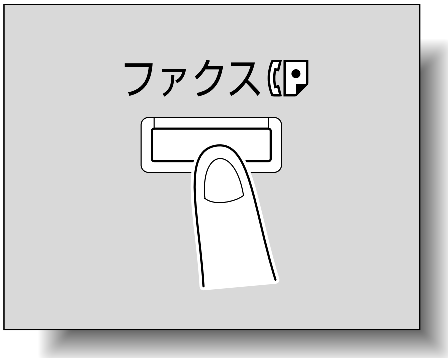
6.1 送信時の操作のながれ

ファクスを送るときの操作の流れを説明します。

1

【ファクス】を押します。

ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。

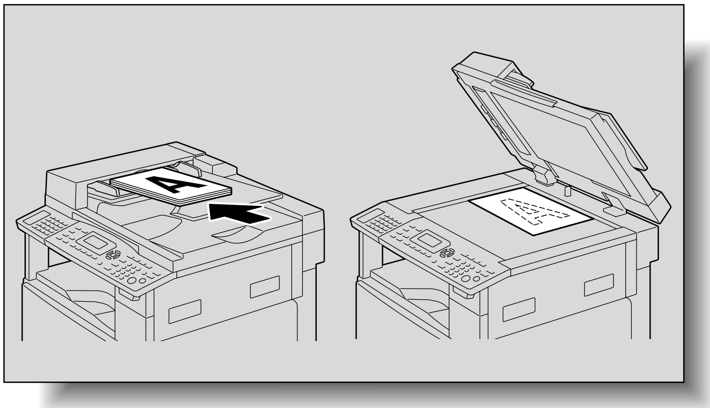


ひとこと

本機は G3 ファクスです。本機で送受信できるのは、相手機も G3 規格に対応したファクスに限られます。

2

原稿をセットします。



参照

原稿セット方法については「原稿をセットする」(p. 6-5) をごらんください。

3

画質を設定します。

参照

画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-8) をごらんください。

4

相手先のファクス番号を入力します。

```
16:00     MEMORY:100%
画質 : 普通／文字
☎:1234_          [1…]
送信設定変更=▼
```

参照

相手先の指定方法については「送信先を指定する」(p. 6-9) をごらんください。

5

【スタート】を押します。

❍ 原稿送り装置に原稿をセットした場合は、読込み・送信が開始されます。

送信が終了すると“ピー”という発信音が鳴ります。

❍ 送信を途中で中止したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択します。

❍ 原稿ガラスに原稿をセットした場合は、手順 6 に進みます。

参照

送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。詳しくは、「通信結果を確認する（レポート／リスト）」(p. 6-29) をごらんください。

6

【▲】【▼】で「自動検出」「手動」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
原稿ガラス面読取
▶ 自動検出          ▲
  手動:A3▭          ▼
```

❍「手動」を選択した場合は、用紙サイズを設定します。

7

読込みを開始する場合は【OK】を押します。

読込む用紙サイズを変更する場合は、【▼】を押してサイズを設定しなおします。

```
16:00     MEMORY:100%
画質 : 普通／文字
読取サイズ (A3▭ )
読取=OK  (サイズ=▼)
```

6

8

続けて原稿を読込ませる場合は、次の原稿をセットし、【OK】を押します。

原稿の読込みが終了するまで、この手順を繰り返します。

```
16:00     MEMORY:100%
画質：普通／文字
次原稿読取＝ＯＫ □1
送信＝スタート
```

9

すべての原稿の読込みが終了したら、【スタート】を押します。

送信が開始されます。

送信が終了すると " ピー " という発信音が鳴ります。

- 送信を途中で中止するときは、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択します。

参照

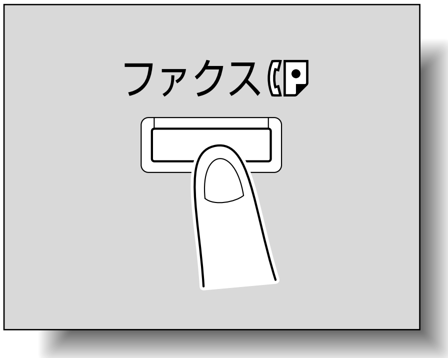
- 読込まれた文書の送信を取り消したい場合は、「送信予約をキャンセル（削除）する」（p. 6-27）をごらんください。
- 送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。詳しくは、「通信結果を確認する（レポート／リスト）」（p. 6-29）をごらんください。

原稿送り装置に原稿をセットする

1

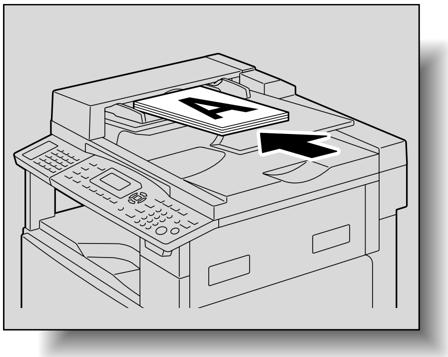
【ファクス】を押します。

ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。



2

原稿送り装置に読込む面を上向きにして原稿をセットします。



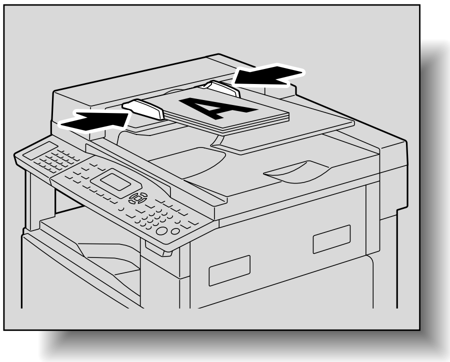
必ず守ってください

ステープル針やクリップなどのついた原稿は故障の原因となります。原稿をセットする前に、必ずステープル針やクリップなどを取り外してください。

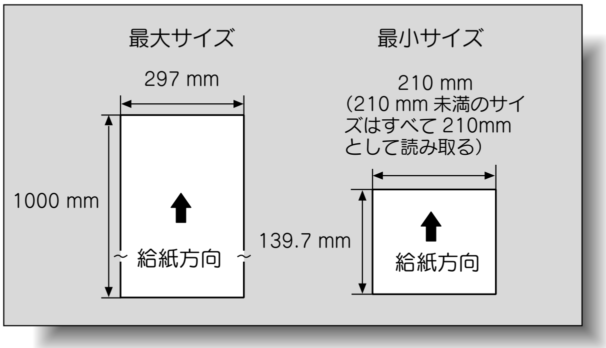
詳しく説明します

- A3 サイズの普通紙を 50 枚までセットできます。
- 長さが 432 mm 以上の原稿は 1 枚のみセットできます。

3 原稿セットガイドを原稿サイズにあわせます。



❍ 不定形サイズの原稿は、以下のサイズの原稿まで読み取ることができます。



メモリーに受信データ、ポーリング受信データなどがないとき、メモリーに一度に読込める原稿枚数は、A4 標準原稿で約 280 枚です。オプションの拡張メモリーを追加すると、読込める原稿枚数は最大約 1024 枚になります。

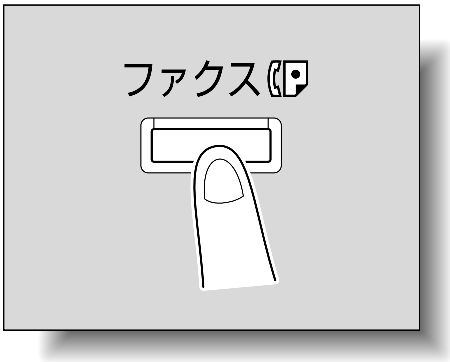
詳しく説明します

- 読み取られた原稿は、A4 □ 幅、B4 □ 幅、A3 □ 幅のいずれかのサイズ（原稿以上で最も近いサイズ）として送信されます。
- 原稿の長さが 1000 mm を越える場合、本機は原稿づまりと判断して読込み動作を停止します。
- 原稿の周囲 2 mm の範囲は、画像の読み取りができません。
- A3 幅の原稿を高精細で読み取る場合、原稿の長さは 900 mm まで 読み取ることができます。

■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

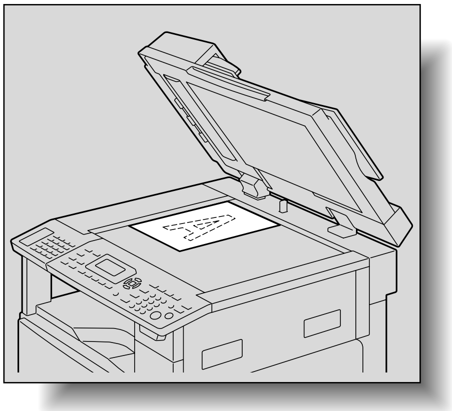
1 【ファクス】を押します。

ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。



2 原稿送り装置を開き、読込む面を下にして原稿をセットします。

- 原稿台左側と上側にある原稿スケールに合わせて原稿をセットします。



3 原稿送り装置を閉じます。

6

6.3 ファクス画質を設定する

送信する原稿には細かい文字が多い原稿、精密な図面のある原稿、写真のある原稿など、いろいろあります。以下のように原稿に合わせた画質を指定することで、原稿を鮮明に送信できます。

原稿の内容	画質設定
文字原稿（文字）、写真原稿（写真）	普通／精細／高精細

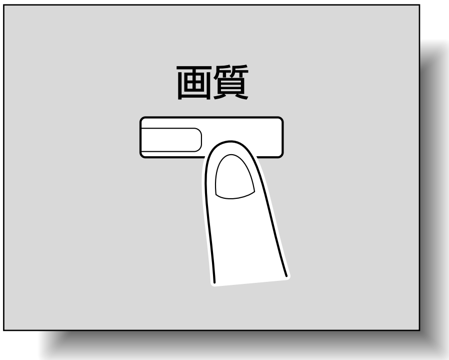
■ 画質の設定のしかた

1 【ファクス】を押します。

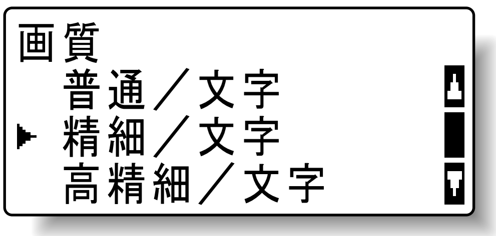
ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。

2 原稿をセットします。

3 【画質】を押します。



4 【▲】【▼】でファクス画質を選択し、【OK】を押します。



詳しく説明します

- 相手先の機種によっては、文字／高精細、写真／高精細の指定では指定どおりに送信できないことがあります。その場合は、文字／精細または写真／普通で送信されます。
- 写真、写真／高精細を指定すると、原稿サイズが送信先の用紙より大きい場合や送信先のファクス機の性能によっては、画質が劣化することがあります。

6.4　送信先を指定する

■ 送信先を 1 か所だけ指定する

送信先を 1 か所だけ指定する方法には、以下の方法があります。

- ダイアル入力
- ワンタッチダイアル
- 短縮ダイアル
- グループダイアル
- プログラム
- アドレス帳

ここでは、原稿送り装置を使用してファクス送信を行う場合の手順を例に説明します。

詳しく説明します

国際ダイアル通話を使って海外通信するときは、国際電話番号（001 、0061 、0041 ）のあとに続けて国番号と相手先番号を入力すると、ダイアルの途中で話し中となり送信できないことがあります。このような場合は、国際電話番号を入力したあとに【リダイアル／ポーズ】を 2 回押して、約 6 秒の空白時間をおいてから残りの電話番号を入力してください。それでも送信できない場合は、手動送信を行ってください。詳しくは、「通話後に送信する（手動送信）」（p. 6-26）をごらんください。

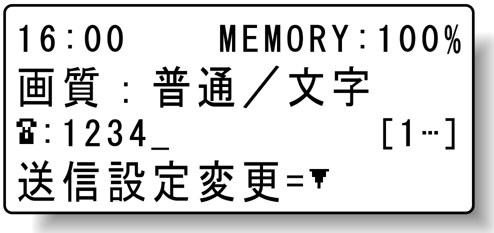
■ ダイアル入力

1 【ファクス】を押し、ファクスモードに切替えます。

2 原稿をセットします。

3 必要に応じて「画質」を設定します。

4 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。



5 【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

参照

- 「原稿をセットする」(p. 6-5) をごらんください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-8) をごらんください。
- F コード（SUB 、SID ）を入力することもできます。「F コード」(p. 7-2) をごらんください。

詳しく説明します

- ファクス番号は最大 30 桁まで入力可能です。
- 入力可能な文字：数字（0 ～ 9)、*、#、スペース、ポーズ文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-26) をごらんください。
- ファクス番号中に【リダイアル／ポーズ】を押すと、約 3 秒間の空き時間（ポーズ）を入力できます。ディスプレイには「P 」と表示されます。
- PBX の通信回線に接続していて、「通信回線を設定する」(p. 3-40) で外線接続番号が登録されている場合、“#”を入力すると、外線接続番号を呼び出すことができます。

■ ワンタッチダイアル

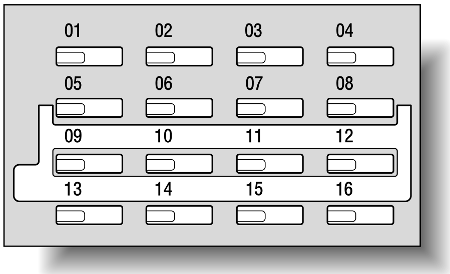
あらかじめワンタッチダイアルキーに相手先の番号を登録しておくと、ワンタッチダイアルキーを押すだけで相手先を指定できます。

1 原稿をセットします。

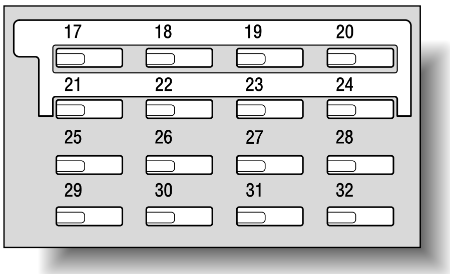
2 必要に応じて「画質」を設定します。

3 ワンタッチダイアルキーの【01】～【32】から、送信する相手先のキーを押します。

- ❍【01】～【16】は、切替え板を下に閉じたときに選択できます。



- ❍【17】～【32】は、切替え板を上に開いたときに選択できます。



- ❍ ワンタッチダイアルキーを間違えて押した場合は、【クリア / ストップ】で取り消しができます。

4 【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

送信を途中で中止したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で【OK】を押してください。

参照

· ワンタッチダイアルの登録については、「ワンタッチダイアルを登録する」(p. 10-5) をごらんください。
· 「原稿をセットする」(p. 6-5) をごらんください。
· 画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-8) をごらんください。

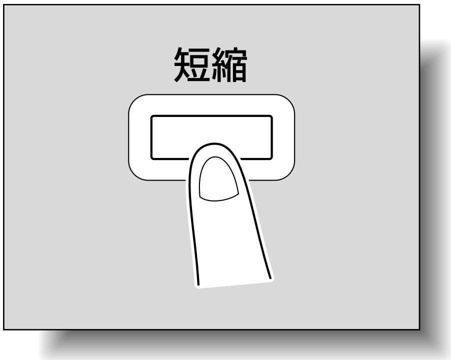
■ 短縮ダイアル

あらかじめ短縮ダイアルに相手先の番号を登録しておくと、短縮番号で相手先を指定して送信できます。

1 原稿をセットします。

2 必要に応じて「画質」を設定します。

3 【短縮】を押します。



4 テンキーで 3 桁の短縮番号を入力し、【OK】を押します。

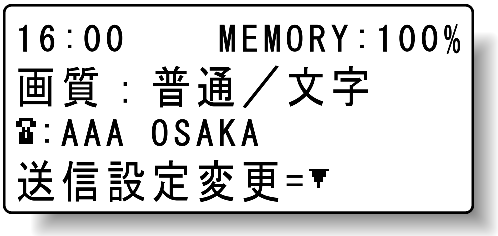


入力を間違えたときは、【リセット】を押し、最初から入力しなおしてください。

参照

- 短縮ダイアルの登録については、「短縮ダイアルを登録する」(p. 10-11) をごらんください。
- 「原稿をセットする」(p. 6-5) をごらんください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-8) をごらんください。

5 【スタート】を押します。



読込み・送信が開始されます。

送信を途中で中止したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で【する】を選択てください。

■ グループダイアル

あらかじめワンタッチダイアルキーにグループ登録しておくと、ワンタッチダイアルキーを押すだけで登録されている複数の相手先に送信できます。

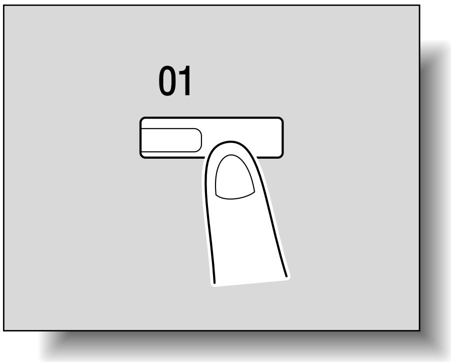
1 原稿をセットします。

2 必要に応じて「画質」を設定します。

3 ワンタッチダイアルキーの【01】～【32】から、送信する相手先グループのキーを押します。

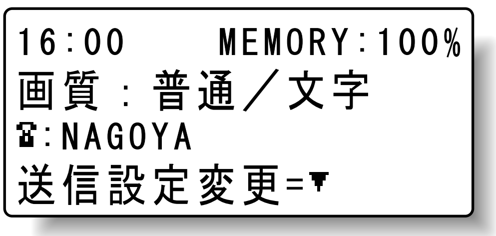
❍【01】～【16】は、切替え板を下に閉じたときに選択できます。

❍【17】～【32】は、切替え板を上に開いたときに選択できます。



❍ ワンタッチダイアルキーを間違えて押した場合は、【クリア / ストップ】で取り消しができます。

4 【スタート】を押します。



読込み・送信が開始されます。

❍ 送信を途中で中止したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択してください。

参照

・ワンタッチダイアルキーへのグループ登録については、「グループダイアルを登録する」（p. 10-17）をごらんください。
・「原稿をセットする」（p. 6-5））をごらんください。
・画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

■ プログラムダイアル

あらかじめ相手先の番号と、送受信機能（時刻指定送信やポーリング受信など）をワンタッチダイアルキーに登録しておくと、ワンタッチダイアルキーを押すだけでその機能を実行できます。

1 原稿をセットします。

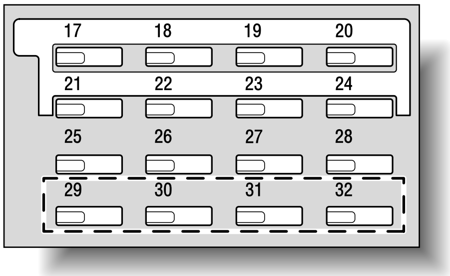
❍ ポーリング受信の場合、この手順は不要です。

2 必要に応じて、「画質」を設定します。

❍ ポーリング受信の場合、この手順は不要です。

3 ワンタッチダイアルキーの【29】～【32】から、プログラム登録されているキーを押します。

❍ 青色で表示されている【29】～【32】は、切替え板を上に開いたときに選択できます。



❍ ワンタッチダイアルキーを間違えて押した場合は、【クリア / ストップ】で取り消しができます。

4 【スタート】を押します。

自動的に、登録されている機能が開始されます。

❍ 送信を途中で中止したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択してください。

参照

· プログラムダイアルの登録については、「プログラムダイアルを登録する」（p. 10-23）をごらんください。
· 「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。
· 画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

6

参照

時刻指定送信を取り消したい場合は、【機能】を押して「送信予約確認／取消」で予約を取り消すことができます。詳しくは、「送信予約をキャンセル（削除）する」（p. 6-27）をごらんください。

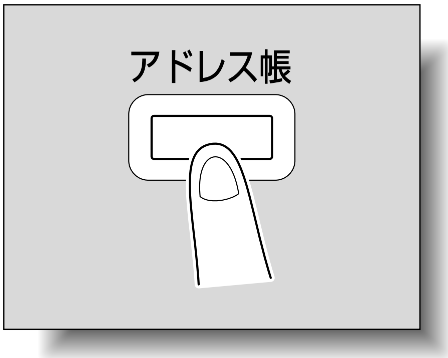
■ アドレス帳（リスト、検索）

【アドレス帳】を押すと、ワンタッチダイアルと短縮ダイアルに登録されている内容が表示されます。電話帳から相手先を探して指定し、送信できます。

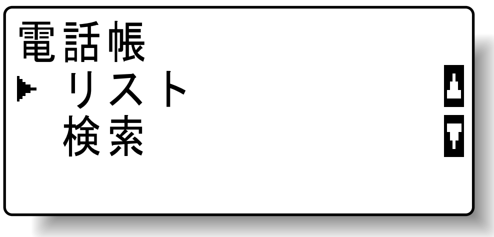
1 原稿をセットします。

2 必要に応じて「画質」を設定します。

3 【アドレス帳】を押します。



4 【▲】【▼】で「リスト」または「検索」を選択し、【OK】を押します。



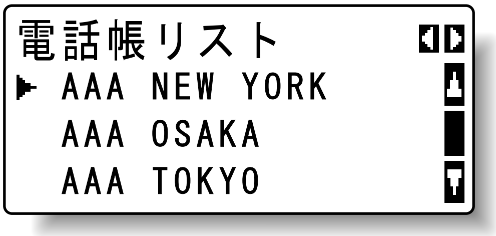
参照

- 「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

ひとこと

オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着している場合は、「LDAP 検索」が表示されて LDAP 検索ができます。ただし、LDAP 検索をするには、あらかじめ LDAP 設定をする必要があります。
LDAP 検索については「アドレス帳で検索する（LDAP 検索）」（p. 8-6）を、LDAP 設定については各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

❍「リスト」を選択：ワンタッチダイアルと短縮ダイアルに登録されている内容が表示されます。【▲】【▼】で相手先を選択し、【OK】を押します。（【◀】【▶】を押して、頭出し検索ができます。）相手先を選択後、手順 7 に進みます。



❍「検索」を選択：検索文字列を入力する画面が表示されます。手順 5 に進みます。

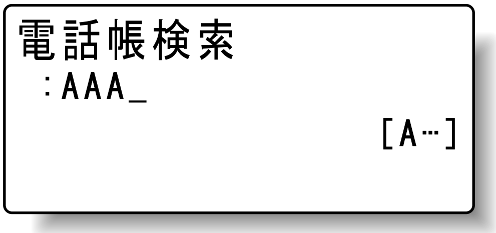
6

5

テンキーで相手先の登録名の先頭の何文字かを入力し、【OK】を押します。

ひとこと

10 文字まで入力できます。



入力した文字列で始まる登録名が表示されます。

6

【▲】【▼】で相手先を選択し、【OK】を押します。



7

【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

■ チェーンダイアル

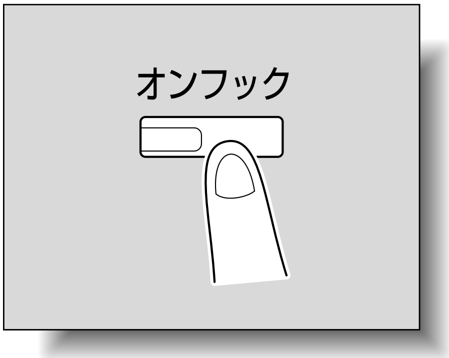
ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアル、ダイアル入力、【リダイアル／ポーズ】を組み合わせて相手先を指定し、ファクス送信できます。

送信先を指定するには次の方法があります。

- ダイアル入力
- ワンタッチダイアル
- 短縮ダイアル
- アドレス帳

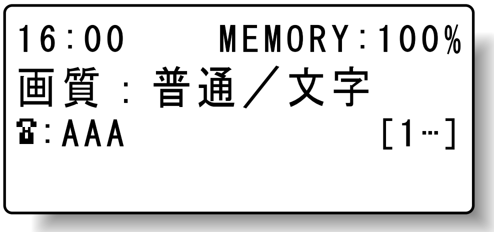
ここでは、ワンタッチダイアルキーを使用してからダイアル入力する方法について説明しています。

1 【オンフック】を押します。



メモリ送信ランプが消え、ディスプレイに「＊オフフック＊」と表示されます。

2 相手先のワンタッチダイアルキーを押し、【スタート】を押します。

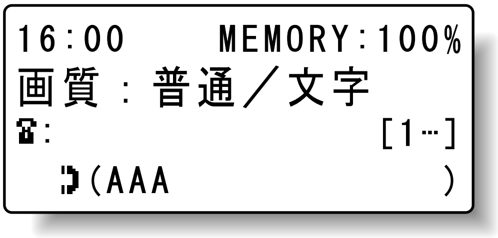


ひとこと

複数の相手先に送信するときは、メモリー送信を使用してください。

3

テンキーで相手先のファクス番号を入力し、原稿をセットします。



4

【スタート】を押します。

自動的に、登録されている機能が開始されます。

送信を途中で中止したい場合は、【ストップ】を押し、表示される画面で「する」を押してください。

参照

「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。

6

■ 複数の宛先を指定する（順次同報送信）

一度の操作で複数の送信先に原稿を送信することができます。これを順次同報送信とよびます。

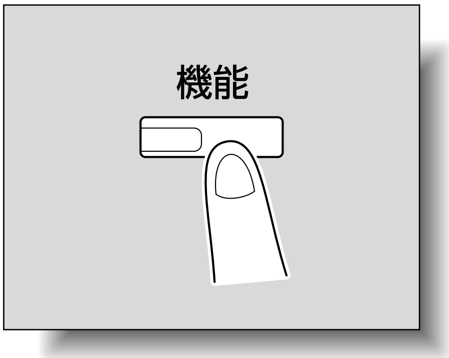
複数の送信先を指定するには次の方法があります。

- ダイアル入力
- ワンタッチダイアル
- 短縮ダイアル
- グループダイアル
- アドレス帳

上記の指定方法を組み合わせて指定することもできます。

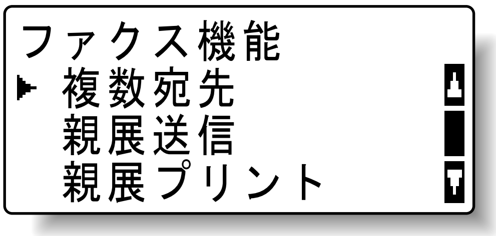
1 原稿をセットします。

2 【機能】を押します。



ファクス機能設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「複数宛先」を選択し、【OK】を押します。



ひとこと

複数の相手先に送信するときは、メモリ送信を使用してください。

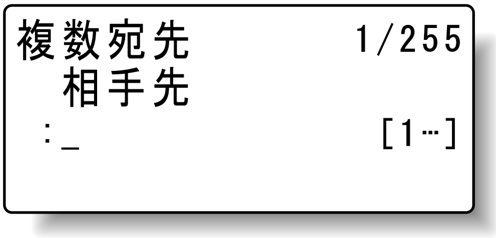
詳しく説明します

- 一度に指定できる相手先は最大 255ヶ所までです。
- ワンタッチダイアルキーで相手先を選択する場合は、最大 32 ヶ所まで指定できます。
- 短縮ダイアルで相手先を選択する場合は、最大 240 ヶ所まで指定できます。
- ダイアル入力で指定できる相手先は最大 16 ヶ所までです。

参照

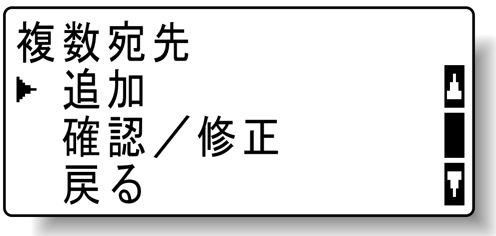
「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。

4 相手先を指定し、【OK】を押します。



- ワンタッチダイアルキーで指定するとき：送信する相手先のワンタッチダイアルキーを押します。
- 短縮ダイアルキーで指定するとき：【短縮】を押し、送信する相手先の短縮番号 3 桁を入力します。
- グループダイアルキーで指定するとき：送信する相手先グループが登録されているワンタッチダイアルキーを押します。
- アドレス帳を使って指定するとき：【アドレス帳】を押し、「リスト」か「検索」のいずれかの方法で相手先を選択します。（「アドレス帳（リスト、検索）」（p. 6-16）をごらんください。）
- ダイアル入力で指定するとき：送信したい相手先のファクス番号を入力します。

5 相手先を追加する場合は、「追加」を選択し、【OK】を押します。



- 相手先をすべて指定するまで、手順 4、5 を繰り返します。

6 「戻る」を選択し、【OK】を押します。



ひとこと

オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着している場合は、LDAP 検索ができます。詳しくは「アドレス帳で検索する（LDAP 検索）」（p. 8-6）をごらんください。

6

7 必要に応じて「画質」を設定します。

8 【スタート】を押します。

読込み／送信が開始されます。

参照

画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

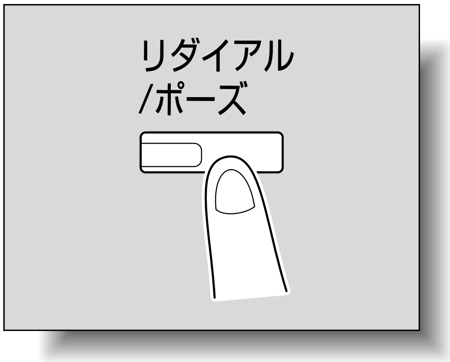
詳しく説明します

- 相手先すべてに送信されたかどうかを、送信完了後にプリントされる結果レポートで確認できます。
- 送信を途中で中止したい場合は、【クリア／ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択します。この操作を行うと、選択した相手先の指定がすべて解除されます。
- 時刻指定送信を取り消したい場合は、ファクス機能の「予約確認・削除」で取り消し操作を行ってください。詳しくは、「送信予約をキャンセル（削除）する」（p. 6-27）をごらんください。

■ 手動リダイアル

最後に送信した相手先にもう一度ダイアルすることをリダイアルといいます。

1. 原稿をセットします。
2. 必要に応じて「画質」を設定します。
3. 【リダイアル／ポーズ】を押します。



最後に送信した相手先のファクス番号が表示されます。

4. 【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

参照

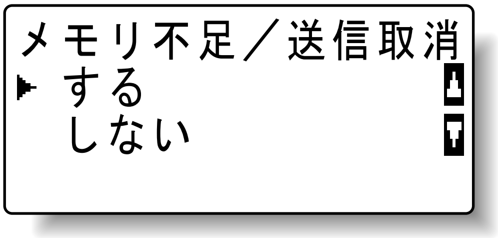
・「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。
・画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

6

6.5 原稿読込み中の動作

■ メモリーオーバーしたときは

送信予約（他のファクス送信ジョブ実行中のファクス送信指示）や時刻指定送信などで、原稿を読込んでいる途中でメモリー不足になった場合、読込んだページまでを送信するか、送信をキャンセルするかを選択するメッセージが表示されます。



- 「する」を選択した場合
  それまで読込んだデータは消去されます。他のファクス送信処理やファクス受信などが終了するのを待ち、メモリー残容量を確認してから再度ファクス送信指示を行ってください。
- 「しない」を選択した場合
  原稿ガラスから原稿を読込んだ場合は、読込んだ原稿を送信し、動作が終了します。メモリ残容量を確認してから再度ファクス送信指示を行ってください。
  自動原稿送り装置から原稿を読込んだ場合は、読込んだ原稿を送信したあと、原稿給紙トレイに残っている原稿を再度読込み・送信します。

ひとこと

メモリー残容量が 0% になった場合、それまで読込んだ送信データは消去されます。

6.6　送信できないときは

ファクス送信時、相手先のファクス機が話し中で応答しない場合や、その他通信上のエラーなどの理由により、ファクス送信が正常に終了しなかったとき、本機は自動的にリダイアルします。リダイアルされるまでの間、送信文書はリダイアル待機の予約文書として扱われます。

リダイアルの結果、ファクス送信が正常に終了しなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。

参照

送信結果レポートについては「レポート／リストの種類」（p. 6-32）をごらんください。

6

6.7　通話後に送信する（手動送信）

本機に外付け電話機を接続して電話とファクスを同一回線で使用している場合、相手先と電話で話をしたあとにそのまま原稿を送信できます。

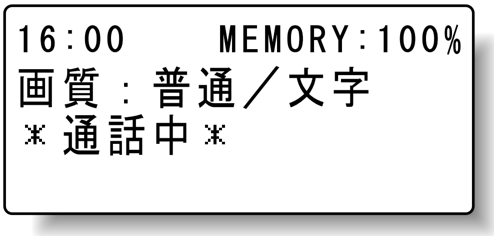
相手先に原稿を送信することを伝えたいときなどに利用します。

1 原稿送り装置に原稿をセットします。

2 必要に応じて「画質」を設定します。

3 受話器を取ります。

- 受話器から発信音“ツー”が 聞こえることを確認してください。



4 相手先を指定します。

- 電話機のダイアルボタンを使ってダイアルします。
- 本機の操作パネルより相手先を指定することもできます（p. 6-9）。

5 話をした後、相手先にスタートキーを押してもらいます。

準備ができると“ピー”という音がします。

6 【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

7 受話器を置きます。

- 送信を途中で中止するときは、【クリア／ストップ】を押し、表示される画面 で「はい」を選択します。

詳しく説明します

- 手動送信のときは、メモリ送信を使用できません。
- 相手先が自動受信できる状態（自動着信）になっているときは、相手先 が電話に出ずに“ピー”という音がします。そのときは話をすることが できません。
- 通話後に送信する場合は、原稿送り装置を使用してください。
- 手動送信は、本機の TEL ポートに外付け電話機が接続されている場合に使用できます。
- ダイアル回線をご利用の場合でも、【＊】を入力すると、プッシュ回線用の信号を出すことができます。

参照

- 「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

ひとこと

受話器を取る代わりに【オンフック】を押すと、スピーカー状態になり、上記と同様に手動送信を行うことができます。

6.8　送信を中止する

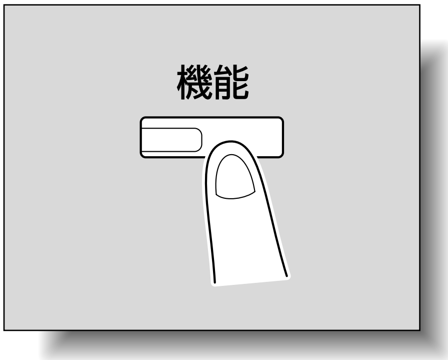
送信の途中で中止したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択を押します。

■ 送信予約をキャンセル（削除）する

読込まれた文書が送信待ちのときやリダイアル待ちのとき、送信を取り消したい場合は、ジョブを削除し、送信をキャンセルします。

1

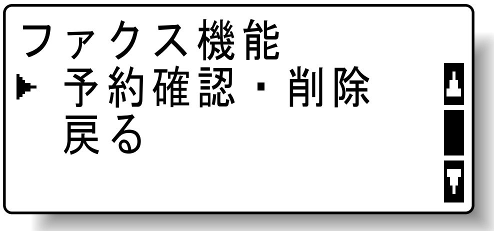
【機能】を押します。



ファクス機能設定画面が表示されます。

2

【▲】【▼】で「予約確認・削除」を選択し、【OK】を押します。



メモリ内に蓄積されている送信待ちのジョブ内容（送信指定時刻／送信設定の種類／相手先番号）が表示されます。

詳しく説明します

ポーリング送信が蓄積されている場合は、ID 入力画面が表示されます。
メモリ内に送信待ちのジョブがないときは「＊ありません＊」が表示されます。

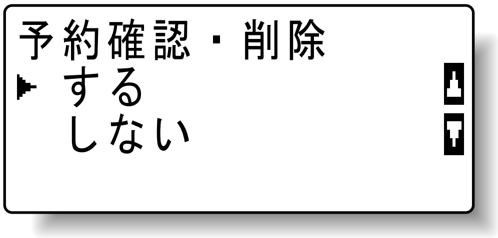
3

【▲】【▼】で取り消したい送信ジョブを選択し、【OK】を押します。



4

【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



選択した送信ジョブがキャンセル（削除）されます。

5

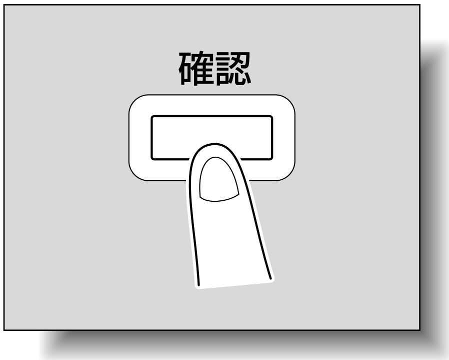
続けて予約の削除を行いたい場合は、手順 2 ～ 4 を繰り返します。

6.9　通信結果を確認する（レポート／リスト）

送信し終わった原稿、受信した原稿の通信結果情報は、最大 60 件まで記録されます。

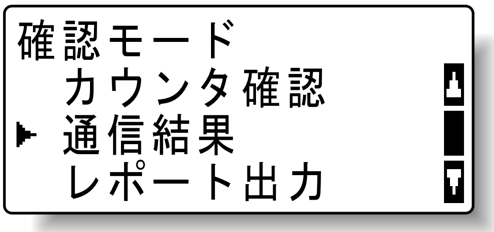
■ 通信結果の確認のしかた

1. 【確認】を押します。



確認モード画面が表示されます。

2. 【▲】【▼】で「通信結果」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で確認したい通信結果を表示させます。

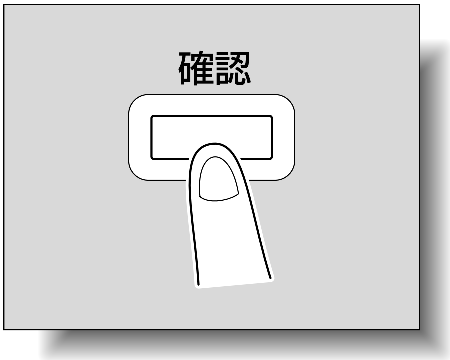


詳しく説明します

- 通信結果画面では、送信結果は「TX」、受信結果は「RX」と表示されます。
- 通信結果を表示中に【戻る】を 2 回押すと、確認モードを終了して基本画面が表示されます。
- 通信結果レポートをプリントしたい場合は【スタート】を押します。通信結果レポートをプリント後は基本画面が表示されます。

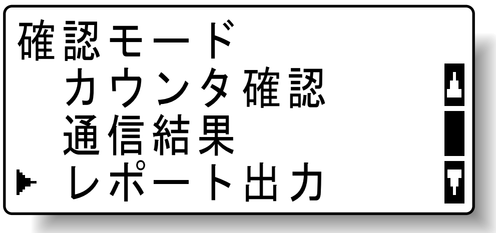
■ レポート／リストの出力

1 【確認】を押します。

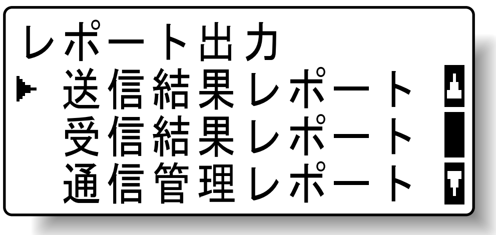


確認モード画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「レポート出力」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で出力したいレポート／リストを選択し、【OK】を押します。



レポート／リストのプリント後は基本画面が表示されます。

参照

- 送受信結果のレポートは、ディスプレイで確認することもできます。通信結果の表示のしかたについては「通信結果の確認のしかた」（p. 6-29）をごらんください。
- レポート／リストの種類については「レポート／リストの種類」（p. 6-32）をごらんください。

6

6.10 レポート／リストの種類

詳しく説明します

レポート出力には、以下のサイズの用紙を使用できます。
A5 ▯, B5 ▯, A4 ▭/▯, B4 ▭, A3 ▭
ただし、A5 ▯、B5 ▯の用紙にプリントするときは、レポートが複数枚に分かれてプリントされる場合があります。

- 送信結果レポート：
  文書番号、相手先、送信日、送信開始時刻、原稿枚数、所要時間、モード、通信結果などをプリントし、確認できます。

SESSION	ｷﾉｳ ｾﾝﾀｸ	No.	ｱｲﾃｻｷ	ﾋｽﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ﾓｰﾄﾞ	ｹｯｶ
0001	ｿｳｼﾝ	001	AAA NEWYORK 012345678	APR.19	18:00	010	00h02min21s	G3	OK

- 受信結果レポート：
  文書番号、相手先、受信日、受信開始時刻、受信枚数、所要時間、モード、通信結果などをプリントし、確認できます。

SESSION	ｷﾉｳ ｾﾝﾀｸ	No.	ｱｲﾃｻｷ	ﾋｽﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ﾓｰﾄﾞ	ｹｯｶ
0001	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ	001	AAA TOKYO 098765432	APR.19	18:00	001	00h02min21s	ECM	NG
			00A0: ｿｳｼﾝ ｷｬﾝｾﾙ						

- 通信管理レポート：
  番号、文書番号、通信日、送受信開始時刻、送信／受信、相手先、送受信枚数、モード、通信結果などをプリントし、確認できます。
  60 通信ごとに自動的にプリントするように設定されています。

No.	SESSION	ﾋｽﾞｹ	ｼﾞｺｸ	TX/RX	ｱｲﾃｻｷ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ﾓｰﾄﾞ	ｹｯｶ
01	0001	APR.19	16:32	T--	AAA NEWYORK 012345678	006	00h01min16s	ECM	OK
02	0002	APR.19	18:00	---RX	AAA TOKYO 098765432	001	00h02min21s	ECM	NG
03	0002	APR.19	18:00	---RX	AAA TOKYO 098765432	012	00h02min48s	ECM	OK
04	0003	APR.19	19:12	T--	HEAD OFFICE 024682468	001	00h00min56s	ECM	OK

- 通信予約リスト：
  メモリ内に蓄積されている送信待ちの文書、時刻指定送信の文書、一括送信の文書、ポーリング受信の指定などのリストです。
  文書番号、実行待ち機能名、時刻、相手先、原稿枚数などをプリントし、確認できます。

- 予約画像プリント：
  メモリ内に蓄積されている送信待ちの文書について、文書番号、実行待ち機能名、相手先、日付、時刻、原稿枚数などを 1 ページ目の画像の縮小図といっしょにプリントし、確認できます。
- ワンタッチダイアルリスト：
  ワンタッチダイアルキーに登録した相手先を、ワンタッチダイアル番号順に並べてプリントし、確認できます。

OT-No.	ｱｲﾃｻｷ	ｱｲﾃｻｷ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	ｼｮｳｻｲ		ｾｯﾃｲﾆﾁｼﾞ
OT-01	AAA NEWYORK	012345678		33.6	JAN.20.2001
OT-02	AAA TOKYO	098765432		14.4	JAN.20.2001
OT-03	HEAD OFFICE	024682468	16:00	33.6	FEB.12.2001
OT-04	NJ OFFICE	0P02345678 SUB:#1234		14.4	FEB.12.2001

- 短縮ダイアルリスト：
  短縮ダイアルに登録した相手先を、短縮番号順に並べてプリントし、確認できます。

SP-No.	ｱｲﾃｻｷ	ｱｲﾃｻｷ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	ｼｮｳｻｲ		ｾｯﾃｲﾆﾁｼﾞ
SP-001	AMSTERDAM OFFICE	0P09876543		33.6	JAN.20.2001
SP-002	KOREA OFFICE	0P01357913		14.4	JAN.20.2001
SP-003	ABCDEF	024682468		33.6	FEB.12.2001
SP-004	POST OFFICE	0224466880 SUB:#5678		14.4	FEB.12.2001

- キー登録リスト：
  ワンタッチダイアルキーに登録したグループダイアル、プログラムダイアルの設定内容を、ワンタッチダイアル番号順に並べてプリントし、確認できます。
- 中継ボックスリスト：
  中継ボックス（10 個）の設定状況と設定内容をプリントし、確認できます。
- マシン設定リスト：
  現在のマシン設定の内容をプリントし、確認できます。
- 設定確認レポート：
  プリンタとしての設定内容をプリントし、確認できます。
- PCL フォントリスト：
  イメージコントローラ IC-206（オプション）装着時に有効です。
  PCL フォントリストをプリントし、確認できます。

6.11 メモリー送信と即時送信

■ メモリー送信

本機のメモリ送信ランプが点灯しているときは、メモリー送信が設定されています。

メモリー送信では、原稿を読み取り、メモリーに蓄積してから、ファクス送信する方法です。メモリー送信の場合は、通信中も次の原稿の送信操作を行うことができます。（送信予約）

■ 即時送信

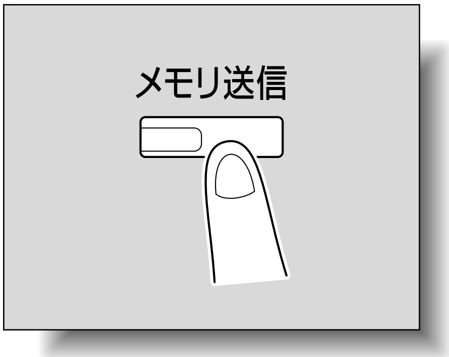
本機のメモリ送信ランプが消灯しているときは、即時送信が設定されています。

即時送信では、送信状況に合わせて、一枚ずつ原稿を読込むことができます。大量の原稿を送信する場合でも確実に送信できます。

1 原稿送り装置に原稿をセットします。

2 【メモリ送信】を押します。

メモリ送信ランプが消灯します。



3 必要に応じて「画質」を設定します。

4 相手先を指定します。

5 【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

ひとこと

工場出荷時の設定はメモリ送信です。

参照

メモリー送信のしかたについては、「送信時の操作のながれ」（p. 6-2）をごらんください。

詳しく説明します

- 送信モードの初期値はメモリー送信に設定されています。通常使う送信モードを即時送信に設定したい場合は、設定メニューで「優先送信モード」を「即時送信」に設定してください。詳しくは、「優先送信モードを設定する」（p. 10-51）をごらんください。
- 即時送信を指定するときは原稿送り装置を使用してください。原稿ガラスを使って送信することはできません。
- 送信中や受信中に即時送信を指定した場合、送信予約になります。
- 即時送信では、複数の相手先に送信できません。
- 即時送信と時刻指定送信を同時に指定できません。

参照

- 「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

ひとこと

送信が終了すると、送信モードは初期値の設定に戻ります。

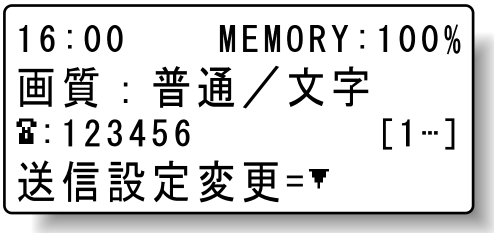
6.12 時刻を指定して送信する

通信の時刻を指定する機能を時刻指定送信と呼びます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信したいときなど便利です。

1 原稿をセットします。

2 必要に応じて「画質」を設定します。

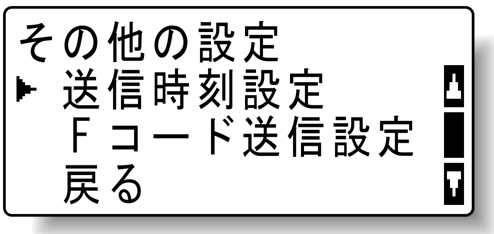
3 相手先を指定します。



4 【▼】を押します。

その他の設定画面が表示されます。

5 【▲】【▼】で「送信時刻設定」を選択し、【OK】を押します。



詳しく説明します

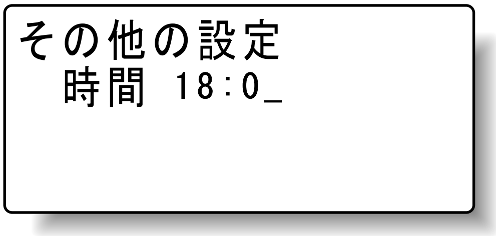
- 時刻は 24 時間制で指定します。
- 現在時刻が正確に登録されていないと、指定した時刻に送信できません。現在時刻の指定については、「現在の日付／時刻を設定する」（p. 3-32）をごらんください。
- 時刻指定送信は、順次同報送信、親展送信、ポーリング受信、中継指示送信と組み合わせて指定できます。
- 時刻指定送信は、即時送信と同時に行うことはできません。

参照

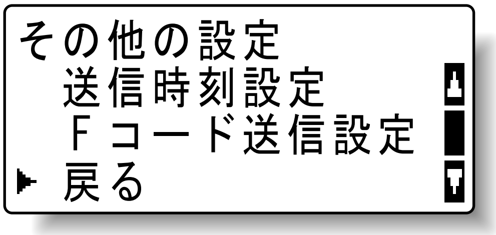
「送信先を指定する」（p. 6-9）をごらんください。

6

6 テンキーで送信時刻を入力し、【OK】を押します。



7 【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。



送信画面に戻ります。

8 【スタート】を押します。

読込みが開始され、送信待機状態になります。

参照

送信予約をキャンセルするときは「送信予約をキャンセル（削除）する」（p. 6-27）をごらんください。

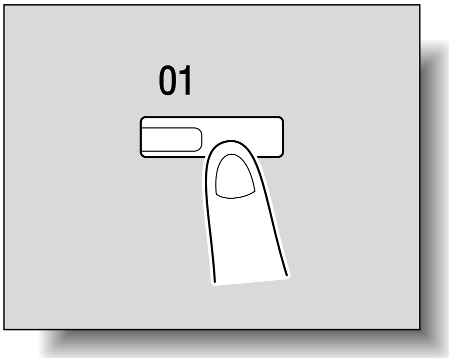
6.13 一括送信

メモリーに登録した複数の原稿を、指定した時刻にまとめて送信できます。あらかじめ設定メニューで一括送信設定（送信時刻）をワンタッチダイアルキーに登録しておきます。

1 原稿をセットします。

2 必要に応じて「画質」を設定します。

3 ワンタッチダイアルキーから、一括送信設定が登録されているキーを押します。



4 【スタート】を押します。

自動的に読込みが開始され、指定した時刻になると送信されます。

参照

- ワンタッチダイアルキーへの登録については、「ワンタッチダイアルを登録する」（p. 10-5）をごらんください。
- 「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

ひとこと

一括送信の送信予約を取り消すには、【機能】を押して「予約確認・削除」で送信ジョブごとに取り消します。詳しくは、「送信予約をキャンセル（削除）する」（p. 6-27）をごらんください。

6.14 受信する

■ メモリー受信

本機では通常、ファクスが受信されると自動的にプリントされますが、他の人に見られたくない文書などがある場合は、受信した文書をいったんメモリーに保管し、メモリー受信設定を「しない」にしたとき、または指定した時刻にプリントできます。

メモリー受信は設定メニューで設定します。設定手順については「メモリ受信モードを設定する」(p. 10-56)をごらんください。

■ 受信時の用紙サイズ

本機は、受信した原稿を以下の用紙にプリントできます。

A5 ▯, B5 ▯, A4 ▭/▯, B4 ▭, A3 ▭

■ 受信時の用紙の優先順位

受信した原稿と同じサイズの用紙がセットされていない場合、以下の優先順位で最適な用紙にプリントします。

1. 受信した原稿と用紙の幅が一致し、原稿の長さが収まる用紙にプリントします。
2. 受信した原稿と用紙の幅が一致し、原稿の長さが収まらないときは分割してプリントします。
3. 受信した原稿と用紙の幅が一致しない場合、ワンサイズ大きな幅の用紙で原稿の長さが収まる用紙にプリントします。
4. 受信した原稿と用紙の幅が一致しない場合、ワンサイズ大きな幅の用紙で原稿の長さが収まらないときは分割してプリントします。

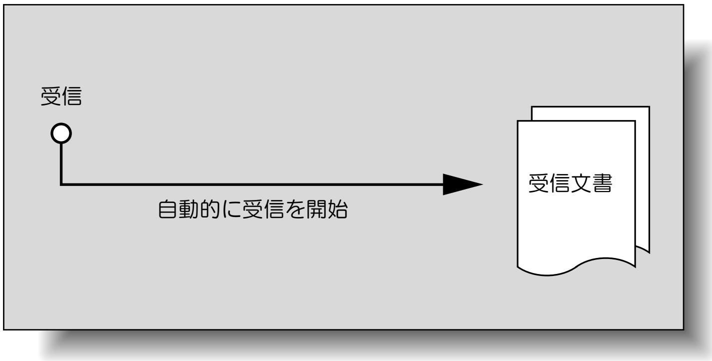
	受信サイズ					
優先順位	A3 ▭	B4 ▭	A4 ▯	A4 ▭	B5 ▯	A5 ▯
1	A3 ▭	B4 ▭	A4 ▯	A4 ▭	B5 ▯	A5 ▯
2	A4 ▯ (分割)	B5 ▯ (分割)	A4 ▭	A4 ▯	B4 ▭	A4 ▭
3		A3 ▭	A3 ▭	A5 ▯ (分割)	A4 ▯	A4 ▯
4		A4 ▯ (分割)		B4 ▭	A4 ▭	B5 ▯
5				B5 ▯ (分割)	A3 ▭	B4 ▭
6				A3 ▭		A3 ▭

詳しく説明します

設定メニューの受信設定で縮小プリント“カット”が設定されている場合、用紙サイズに対して原稿の長さが長いときは最大 24 mm までカットされます。ただし、用紙サイズに対して原稿の長さが 24 mm 以上の場合、“カット”は適用されず分割してプリントされます。詳しくは、「縮小プリントを設定する」(p. 10-61)をごらんください。

■ 自動受信（ファクス専用モード）

電話回線をファクス専用で使用する場合はこのモードに設定します。
呼出し回数で設定されている回数分の呼出し回数を検知すると、自動的にファクス受信を開始します。

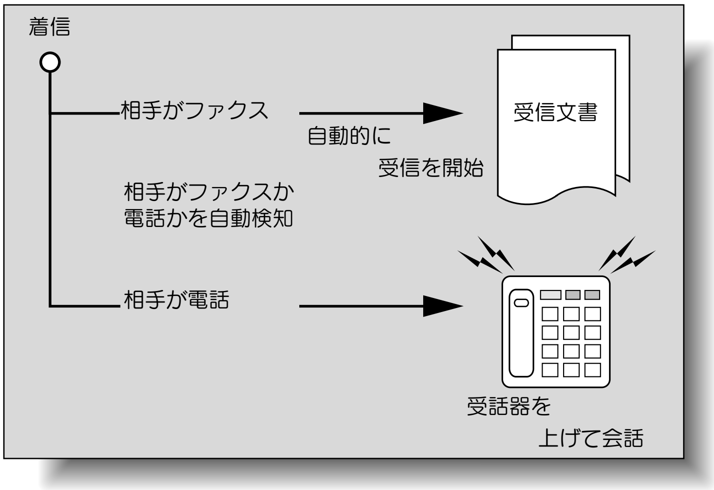


参照

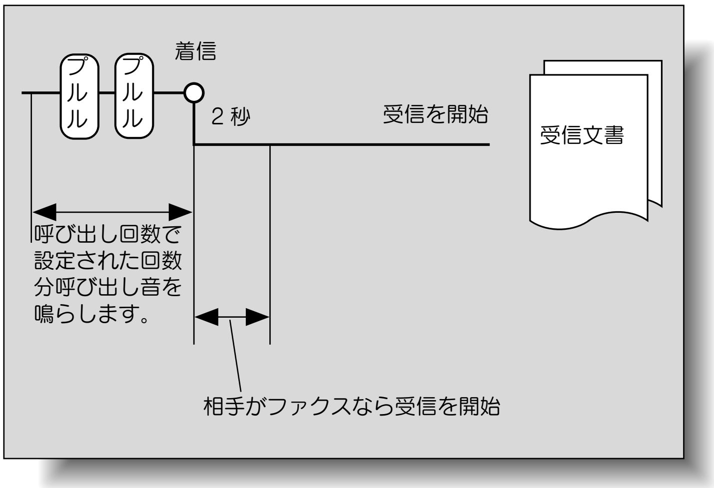
工場出荷時はこのモードが設定されています。詳しくは、「受信モードを設定する」（p. 10-63）をごらんください。

■ 自動受信（TEL/FAX 自動切換えモード）

本機に外付け電話機を接続して電話とファクスを同一回線で使用する場合はこのモードに設定しておくと便利です。着信後、相手側が電話かファクスかを自動的に検知し音声応答メッセージを流します。

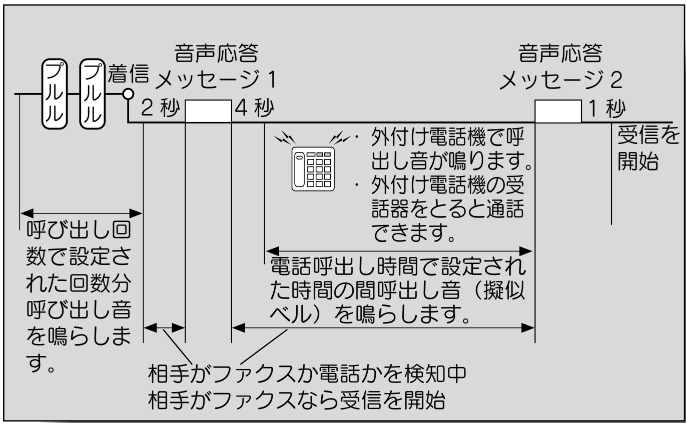


＜相手側がファクスのとき＞
ファクスを受信した場合、自動的にファクス受信を開始します。



<相手側が電話のとき>

外付け電話機から呼出し音が鳴ります。呼出し音が鳴っている間に外付け電話機の受話器をとると通話できます。相手側（送信側）には音声応答メッセージが聞こえています。



原則

TEL/FAX 自動切換えは、本機の外付け電話機接続コネクタに電話機が接続されている場合に使用できます。
受信設定で手動受信を設定している場合は、TEL/FAX 自動切替えは設定できません。

詳しく説明します

- 音声応答メッセージには以下のメッセージが流れます。
  音声応答メッセージ 1
  （約 6 秒間）：「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」
  音声応答メッセージ 2
  （約 4 秒間）：「ただいま近くにおりません。ファクスに切替えます。」
- 外付け電話の受話器を上げたとき、「ピー」という音が聞こえたり、無音の場合、相手はファクスです。リモート受信番号を指定すると受信できます。
- 相手側が電話のとき、音声応答メッセージ 2 が流れ始めてから相手側に電話を切られた場合、通信エラーとなります。通信エラーを解除するには、ファクスモードにて【リセット】を押してください。
- 工場出荷時の TEL/FAX 自動切換えは「しない」に設定されています。TEL/FAX 自動切換えを「する」に設定して下さい。詳しくは、「通信設定をする（TEL/FAX 自動切換）」(p. 9-51) をごらんください。
- 工場出荷時の電話呼出し時間は「20 秒」に設定されています。詳しくは、「通信設定をする（電話呼出し時間）」(p. 9-52) をごらんください。

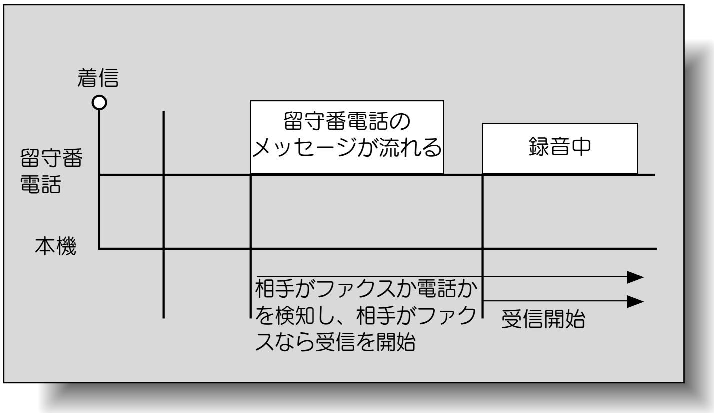
6

■ 留守番電話

本機では外付け電話機の留守番電話機能を使うことができます。

相手がファクスのときは、ファクス受信に自動的に切替わり、受信が開始されます。

相手が電話のときは、送信側に対して留守番電話のメッセージが流れます。



ひとこと

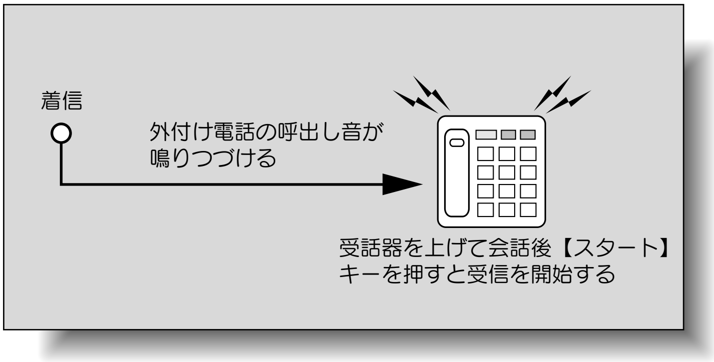
工場出荷時の留守番電話接続は「しない」に設定されています。

参照

留守番電話を接続する場合には、設定メニューで「留守番電話接続」を「する」に設定してください。詳しくは、「通信設定をする（留守番電話接続）」（p. 9-53）をごらんください。

■ 手動受信

本機に外付け電話機を接続して電話とファクスを同一回線で使用していて、おもに電話として使用する場合、このモードに設定しておくと便利です。相手と話をした後そのまま電話を切らずにファクス文書を受信できます。



原則

手動受信は、本機の外付け電話機接続コネクタに電話機が接続されている場合に使用できます。
手動受信を行う場合は、設定メニューで受信モードを手動に設定してください。詳しくは、「受信モードを設定する」(p. 10-63)をごらんください。

1 呼び出し音が鳴ったら受話器を取り、相手と話をします。

2 話が終わり、受話器から"ポー・ポー・ポー・・・"という音がしたら、【スタート】を押します。
受信が開始されます。

❍ 転送受信を行う場合、電話を切らずに本機または外付け電話機から【3】、【＊】(転送受信番号)を押すと本機はファクス受信に切替わります。

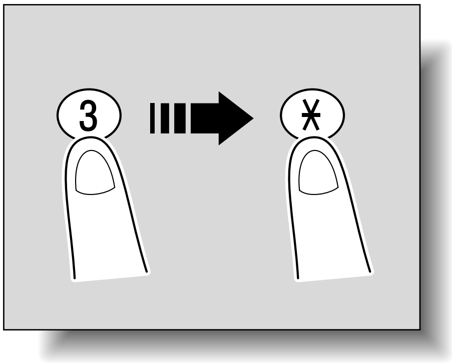
ひとこと

転送受信を「する」に設定している場合、外付け電話機からの操作でファクス受信できます。詳しくは、「転送受信を設定する」(p. 10-69)をごらんください。

詳しく説明します

- 相手先が自動送信に設定されている場合、"ポー・ポー・ポー・・・"という音がしない場合があります。
- 外付け電話機で着信したあと、ファクス受信に切替えることもできます(転送受信)が、転送受信の機能を使う場合、外付け電話機にはプッシュ信号を送出できる電話機をご使用ください。
- 転送受信番号は工場出荷時は「3」に設定されています。転送受信番号を変更する場合は「転送受信を設定する」(p. 10-69)をごらんください。

❍ 転送受信番号入力時、【3】の後に【＊】を必ず押してください。



3

受話器を戻します。受信が終わると“ピー”と鳴ります。

6.15 電話をかける

本機では外付け電話機を接続することにより、電話機として使用することができます。

1 受話器をとります。

受話器から発信音“ツー”が聞こえることを確認してください。

2 相手先をダイアルします。

3 相手に電話がかかったら、通話します。

4 通話が終了したら、受話器を戻します。

6

6.16 電話を受ける

外付け電話を接続している場合の電話の受け方を説明します。

受信モードが「手動」または、受信モードが「自動」で TEL/FAX 切替えが「する」設定の場合に電話をうけることができます。

1. 電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。
2. 通話が終了したら、受話器を戻します。

第 7 章
便利な送信と受信

知っていると便利なファクスの送信方法や受信方法について説明します。

7.1　F コード

本機は、情報通信ネットワーク産業協会が定めた F コード通信に対応しています。

F コードとは、ITU-T（国際電気通信連合）の G3 規格で制定された SUB（サブアドレス）、SEP（セレクティブポーリング）、「SID」「PWD」（パスワード）などを使用したメールボックス機能です。

F コードはテンキーで利用状況に合わせて次のように設定します。

F コード	内容
SUB	F コードを用いて送信する場合に設定します。20 桁まで入力できます。
PASSWORD（SID）	パスワードを使用して通信相手を制限する場合に指定します。20 桁まで入力できます。
POLL ID（SEP）	相手先に用意されている原稿を受信側から電話をかけて送信させるときに指定します。

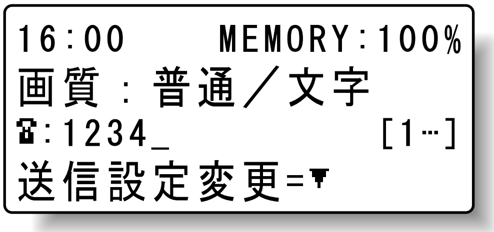
詳しく説明します

- F コード機能は、F コード機能を搭載しているファクス機のみ使用できます。設定をおこなう前に、両方の機器が F コード機能に対応しているか確認してください。
- ワンタッチダイアルや短縮ダイアルにあらかじめ F コード（SUB、SID）を登録している場合は、F コード通信をすることができます。
- F コード対応機同士で親展通信が可能です。

■ ファクス送信時に F コードを指定する

ファクス番号を直接テンキーで入力する際に、F コードを指定できます。

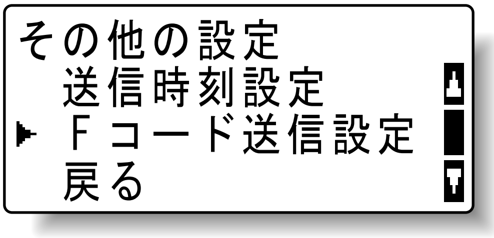
1　テンキーで相手先のファクス番号を入力します。



2　【▼】を押します。

その他の設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「F コード送信設定」を選択し、【OK】を押します。

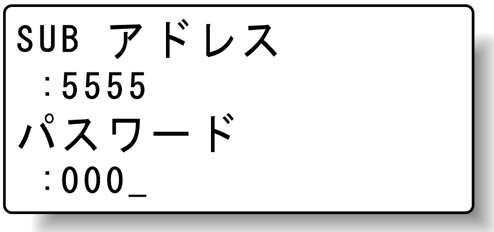


4 テンキーで SUB アドレスを入力し、【OK】を押します。



- 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。
- パスワードを入力する場合は手順5に進んでみます。
- パスワードを入力しない場合は、【OK】を押して手順 6 に進みます。

5 テンキーでパスワードを入力し、【OK】を押します。



- 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

6 【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

■ 相手先登録時に F コードを指定する

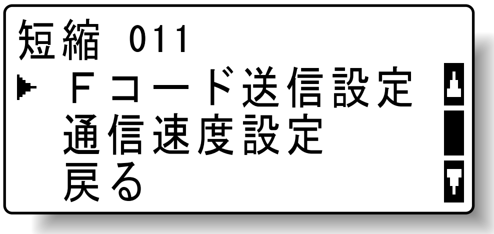
ワンタッチダイアルや短縮ダイアルを登録する際に、F コードを指定します。

1 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

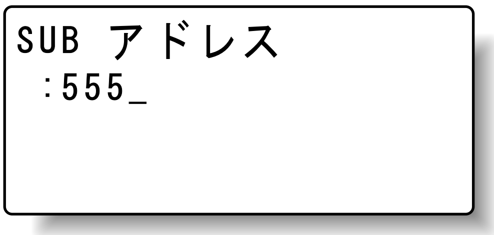


2 【▼】を押します。

3 【▲】【▼】で「F コード送信設定」を選択し、【OK】を押します。



4 テンキーで SUB アドレスを入力し、【OK】を押します。



- ❍ 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。
- ❍ パスワードを入力する場合は、手順 5 に進みます。
- ❍ パスワードを入力しない場合は、【OK】を押して手順 6 に進みます。

5 テンキーでパスワードを入力し、【OK】を押します。

```
SUB アドレス
 :5555
パスワード
 :000_
```

❍ 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

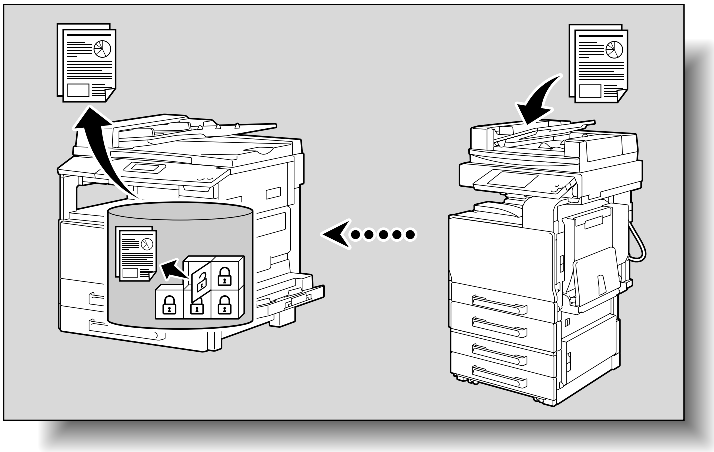
6 【OK】を押します。

引き続き、その他の登録内容を設定します。

7

7.2　親展通信

親展通信とは、特定の人との間で送受信したい原稿を、親展ボックスを使って通信する機能です。送受信にはボックス ID が必要なため、他の人に見られたくない文書でも安全にファクスでやりとりできます。



相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信と呼びます。

ここでは、親展ボックスの登録、親展送信をする手順、親展ボックス内の受信原稿をプリントする手順についてそれぞれ説明します。

■ 親展ボックスの登録

親展受信を行うには、あらかじめ親展ボックスを登録しておく必要があります。登録方法については、「親展ボックスの登録をする」（p. 10-38）をごらんください。

詳しく説明します

- 本機内には、5 個まで進展ボックスを設定することができます。詳しくは、「親展ボックスの登録をする」（p. 10-38）をごらんください。
- ワンタッチダイアルや短縮ダイアルに、あらかじめ相手先の F コードを登録しておくと、相手先に F コード通信をすることができます。詳しくは、「親展送信」（p. 7-7）をごらんください。

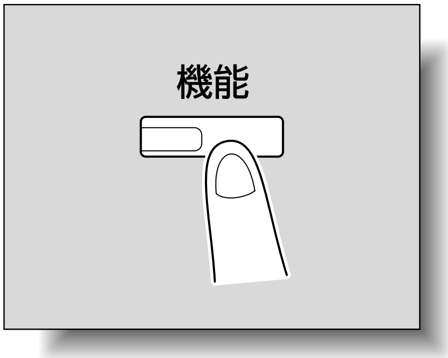
■ 親展送信

相手先の親展ボックス宛に送信する機能です。
重要な書類を特定の人に送信したいときなどに利用します。

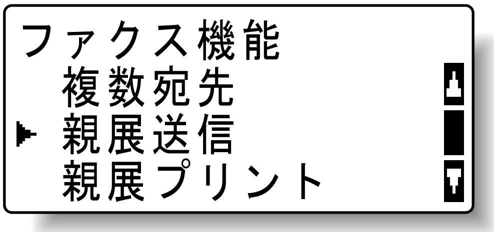
1 原稿をセットします。

2 必要に応じて「画質」を設定します。

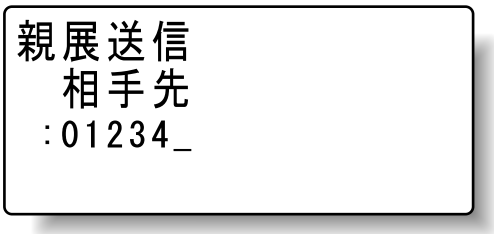
3 【機能】を押します。



4 【▲】【▼】で「親展送信」を選択し、【OK】を押します。



5 テンキーで相手先のファクス番号を入力し、【OK】を押します。



詳しく説明します

- 親展送信は、F コード通信に対応した機能です。F コードに対応している機種を、親展送信の相手先に指定できます。
- 相手先の指定と親展ボックスの設定を行う必要があります。
- 相手先でファクス文書を確認するには、ボックス ID の入力が必要です。

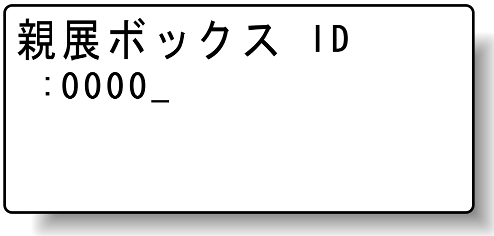
参照

- 「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

参照

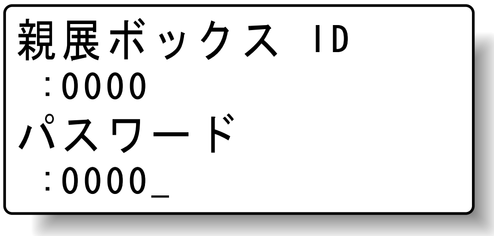
「送信先を指定する」（p. 6-9）をごらんください。

6 テンキーでボックス ID を入力し、【OK】を押します。



❍ 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

7 テンキーでパスワードを入力し、【OK】を押します。



❍ 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

8 【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

詳しく説明します

- 相手先の親展ボックスに登録されているボックス ID（SUB）（20 桁以内）を入力します。
- ボックス ID で使用できる文字は、0 ～ 9、*、# のみです。
- ワンタッチダイアルキーや短縮番号に登録されている宛先を指定したとき、登録内容に SUB（サブアドレス）が含まれる場合は SUB が表示されます。必要に応じて数値を変更します。
- 相手先の親展ボックスにパスワードが設定されている場合、パスワード（20 桁以内）を入力します。
- パスワードで使用できる文字は、0 ～ 9、*、# のみです。

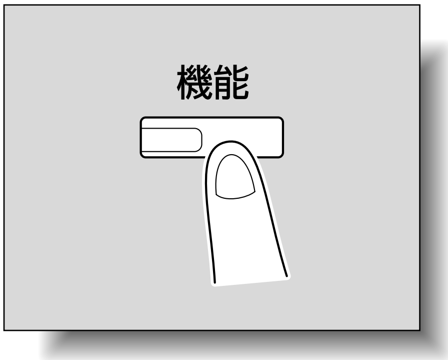
■ 親展受信した原稿をプリントする

相手先が指定したボックス ID、パスワードと本機に登録してあるボックス ID、パスワードが一致したときのみ受信することができます。

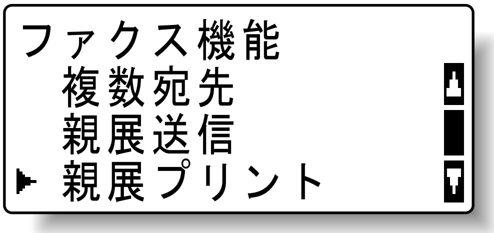
親展ボックスに受信原稿がある場合、基本画面に が表示されます。

ここでは親展受信した原稿をプリントする手順を説明します。

1 【機能】を押します。



2 【▲】【▼】で「親展プリント」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーでボックス ID（4 桁）を入力し、【OK】を押します。



❍ 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

詳しく説明します

親展受信するには、あらかじめ親展ボックスを登録しておく必要があります。登録方法については、「親展ボックスの登録をする」（p. 10-38）をごらんください。

7.3　ポーリング送信

ポーリング送信とは、受信側からのポーリング指示で原稿を送信するために、あらかじめメモリーに原稿を蓄積しておく機能です。

ポーリング送信を設定した原稿は、親展ボックスのポーリング送信ボックスに蓄えられ、受信側からのポーリング指示で送信が開始されます。

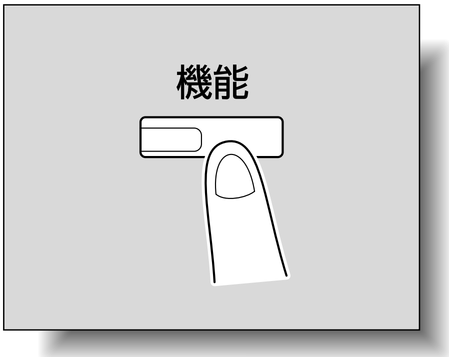
親展ボックスにポーリング送信用の原稿がある場合、基本画面に P が表示されます。

ここでは、ポーリング送信ボックスを使ったポーリング送信について説明します。

1 原稿をセットします。

2 必要に応じて「画質」を設定します。

3 【機能】を押します。



4 【▲】【▼】で「ポーリング送信」を選択し、【OK】を押します。



詳しく説明します

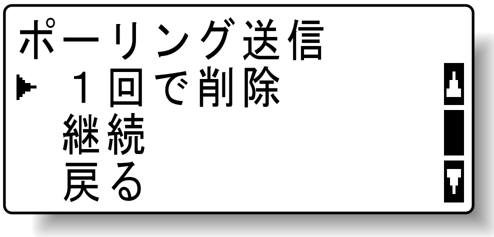
- ポーリング送信は、Fコード通信に対応した機能です。
- ポーリング送信の登録は30 件までできます。
- メモリーがいっぱいのときは、ポーリング送信の設定はできません。
- ポーリング送信では、通話料金が相手先の負担となります。

参照

- 「原稿をセットする」(p. 6-5) をごらんください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」(p. 6-8) をごらんください。

5

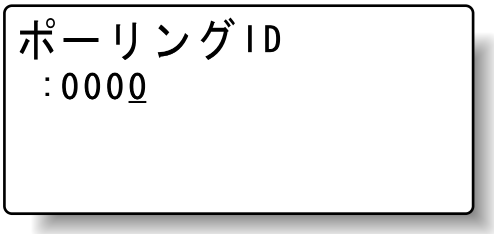
【▲】【▼】で「1 回で削除」「継続」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



- ポーリング送信要求に 1 回のみ対応してメモリー内の原稿を削除する場合は、「1 回で削除」を選択します。
- ポーリング送信要求に複数回対応する場合は、「継続」を選択します。メモリー内の原稿は、予約キャンセルで削除されるまで保存されます。

6

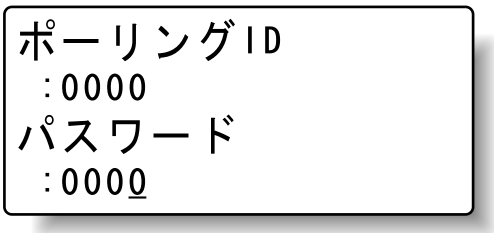
テンキーでポーリング ID（4 桁）を入力し、【OK】を押します。



- 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。
- パスワードを設定しない場合は、【OK】を押して手順 8 に進みます。

7

テンキーでパスワード（4 桁）を入力し、【OK】を押します。



- 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

詳しく説明します

・ポーリング ID を設定しない場合は、手順 8 へ進みます。
・ポーリング ID は、0000 ～ 9999 の任意の数値を設定します。
・登録するポーリング送信が 1 ジョブの場合は、ポーリング ID、パスワードを設定しなくても登録できます。

ひとこと

パスワードは、0000 ～ 9999 の任意の数値を設定します。

8

【スタート】を押します。

読込みが開始され、待機状態になります。

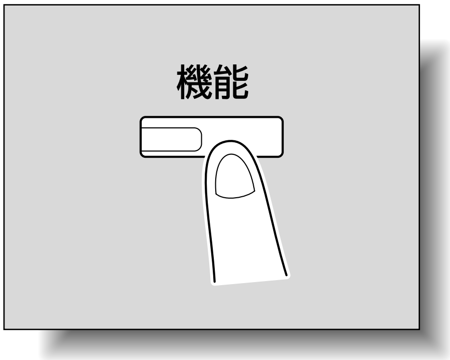
親展ボックスに受信文書がある場合、基本画面に **P** が表示されます。

詳しく説明します

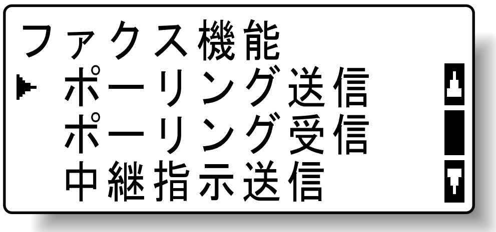
- 読込み中、途中で登録を中止したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で「する」を押します。
- ポーリング送信を削除したい場合は、【機能】を押して「予約確認・削除」で取り消すことができます。詳しくは、「送信予約をキャンセル（削除）する」（p. 6-27）をごらんください。

■ ポーリング送信した文書を削除する

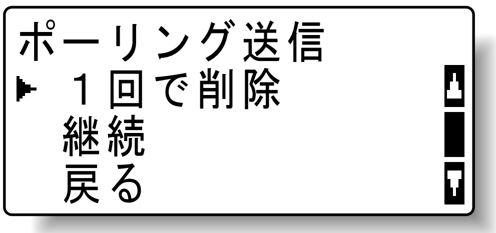
1 【機能】を押します。



2 【▲】【▼】で「ポーリング送信」を選択し、【OK】を押します。

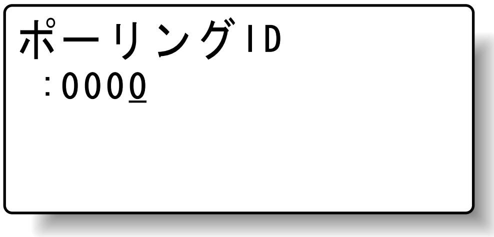


3 【▲】【▼】で「1 回で削除」「継続」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



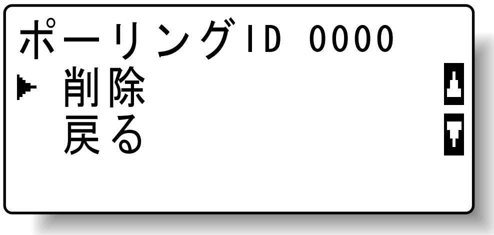
4

テンキーでポーリング ID（4 桁）を入力し、【OK】を押します。



5

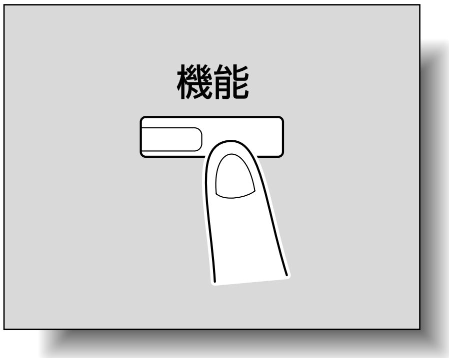
【▲】【▼】で「削除」を選択し、【OK】を押します。



7.4　ポーリング受信

ポーリング受信とは、送信側にセットされている原稿や、ポーリング送信予約された原稿を受信側からの指示で送信させる機能です。電話料金を受信側で負担したいときなどに便利です。

1. 【機能】を押します。

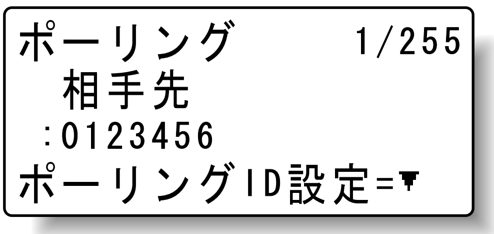


2. 【▲】【▼】で「ポーリング受信」を選択し、【OK】を押します。



3. 相手先を指定します。

4. ポーリング ID、パスワードを入力する場合は、【▼】を押します。



❍ ポーリング ID、パスワードの入力の必要がない場合は【OK】を押し、手順 7 に進みます。

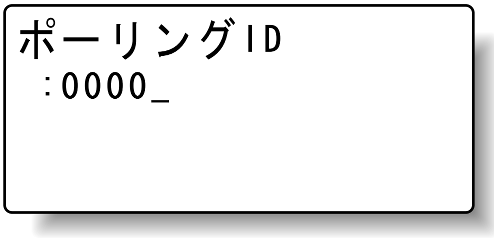
詳しく説明します

- 相手先は最大で 255ヶ所まで指定できます。
- ワンタッチダイアルキーで相手先を選択する場合は、最大 32ヶ所まで指定できます。
- 短縮ダイアルで相手先を選択する場合は、最大 240ヶ所まで指定できます。
- ダイアル入力で指定できる相手先は最大 16ヶ所までです。
- ポーリング受信は、F コードに対応した機能です。

参照

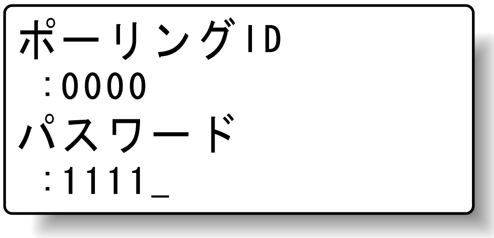
相手先を指定する方法については「複数の宛先を指定する（順次同報送信）」（p. 6-20）の手順 7 をごらんください。

5 テンキーでポーリングID（20桁以内）を入力し、【OK】を押します。



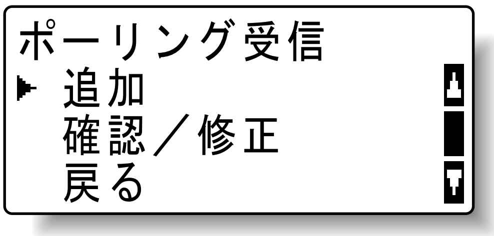
- 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

6 テンキーでパスワード（20桁以内）を入力し、【OK】を押します。



- 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

7 複数の相手先を指定する場合は、「追加」を選択し、手順3～6を繰り返します。

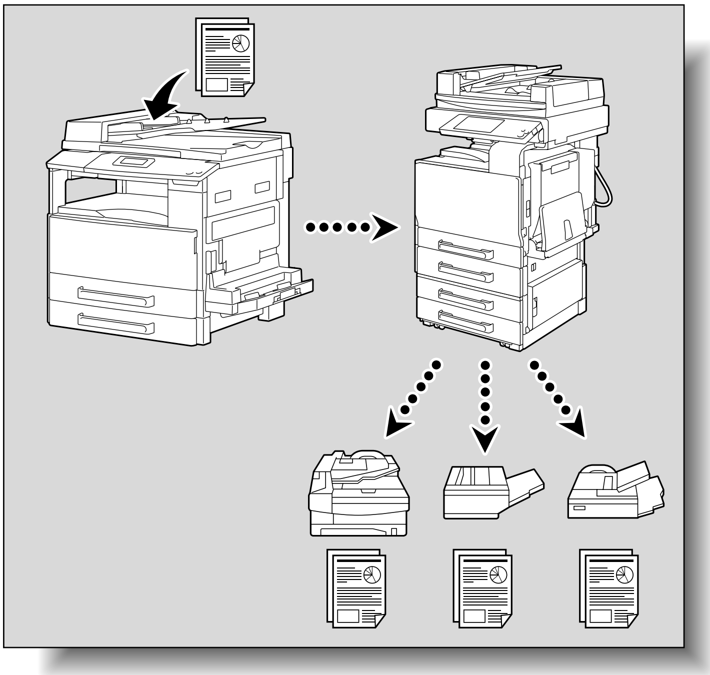


- すべての相手先の指定が終了したら、「戻る」を選択します。

8 【スタート】を押します。

7.5　中継指示送信

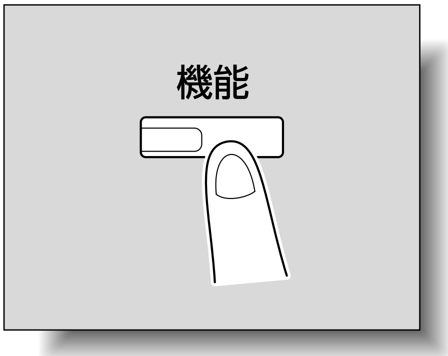
中継依頼とは、いったん中継配信局に原稿を送信し、中継配信局から送信先に同報する機能です。遠方の相手先への同報送信が頻繁に発生する場合には、中継配信局と中継配信先を地域別にグループ化しておくことにより、全体の通信コストを削減することができます。



1　原稿をセットします。

2　必要に応じて「画質」を設定します。

3　【機能】を押します。



詳しく説明します

- 中継指示送信は、F コード通信に対応した機種です。
- 中継局には、中継同報送信に対応している機種を指定してください。本機は中継局に指定できます。
- 中継指示送信と親展送信を同時に行うことはできません。
- 中継指示送信を指定するには、あらかじめ中継ボックス ID を中継局で登録しておく必要があります。詳しくは、「中継ボックスの登録をする」（p. 10-42）をごらんください。

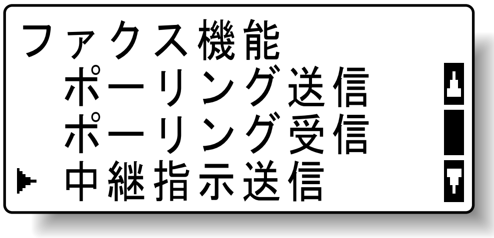
参照

- 「原稿をセットする」（p. 6-5）をごらんください。
- 画質については「ファクス画質を設定する」（p. 6-8）をごらんください。

7

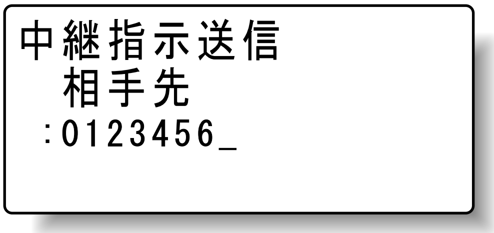
4

【▲】【▼】で「中継指示送信」を選択し、【OK】を押します。



5

中継局を指定し、【OK】を押します。

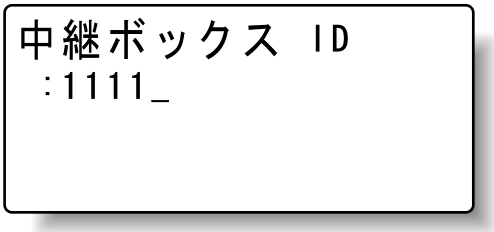


参照

中継先を指定する方法については「送信先を指定する」(p. 6-9) をごらんください。

6

テンキーで中継ボックス ID を入力し、【OK】を押します。



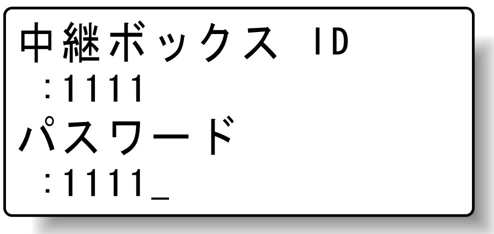
❍ 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

詳しく説明します

- 中継局に登録されている中継ボックス ID（20 桁以内）を入力します。
- 中継ボックス ID で使用できる文字は 0 〜 9、*、# のみです。

7

テンキーでパスワードを入力し、【OK】を押します。



❍ 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

詳しく説明します

- 中継局にパスワードが設定されている場合、パスワード（20 桁以内）を入力します。
- パスワードで使用できる文字は 0 〜 9、*、# のみです。

8 【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

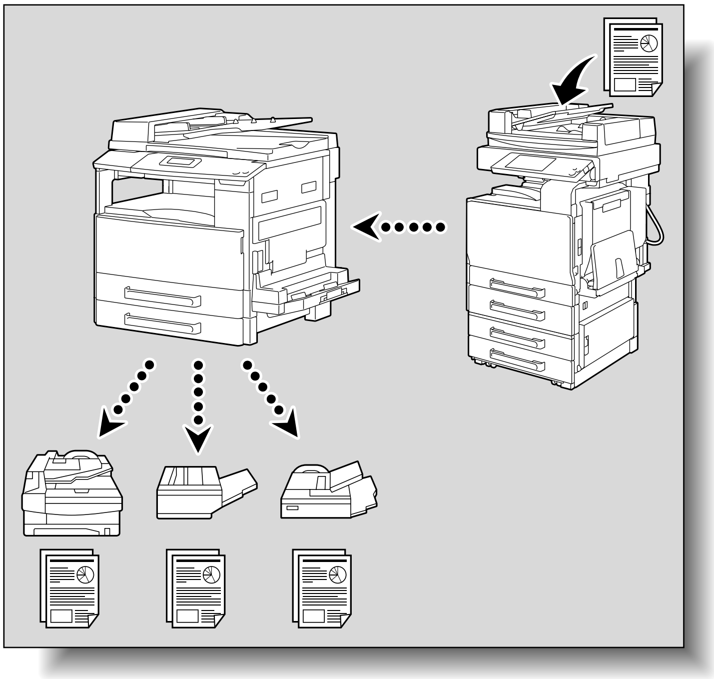
7

7.6　中継同報送信

■ 中継配信局

本機を中継配信局に設定することもできます。

本機が中継局に指定された場合、他のファクス（中継指示局）からの送信原稿をいったん本機で受信し、複数の相手先（受信局）に原稿を送信することができます。



中継同報送信を行うには、あらかじめ中継ボックスを登録しておく必要があります。中継ボックスは最大 10 個まで指定できます。中継ボックスの登録方法については「中継ボックスの登録をする」（p. 10-42）をごらんください。

参照

中継局として中継同報送信を行うには、あらかじめ中継ボックス ID（4 桁）と受信局（最終宛先）を登録しておく必要があります。詳しくは、「中継ボックスの登録をする」（p. 10-42）をごらんください。

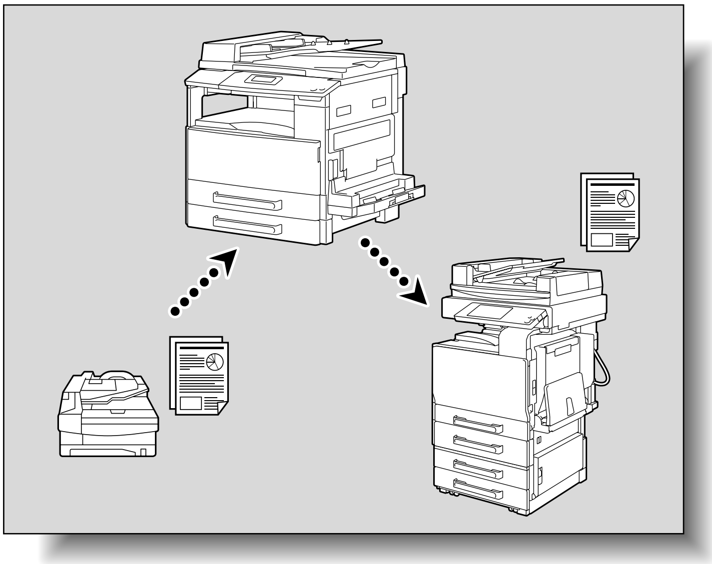
詳しく説明します

- 中継同報送信は、F コード通信に対応した機能です。
- 中継ボックス ID と親展ボックス ID で同じ値を登録することはできません。
- ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアル、グループダイアルで相手先を選択する場合は、最大 50ヶ所まで指定できます。
- 中継局で受信した文書はプリントされます。

7.7 転送

転送とは、受信文書が本機で指定した相手先に送信される機能です。

転送先には、ファクス番号、E メールアドレスを設定できます。



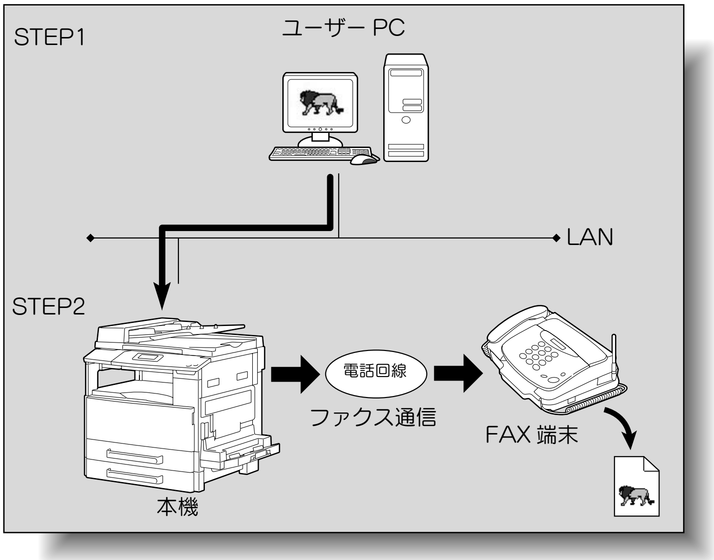
詳しく説明します

- 転送先の設定のしかたについては、「転送モードを設定する」（p. 10-64）をごらんください。
- E メールアドレスへ転送するには、オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が必要です。
- 転送受信した文書を消去するときは「送信予約をキャンセル（削除）する」（p. 6-27）をごらんください。

7.8 コンピューターからファクスする（ダイレクトファクス）

ワープロソフトなどのアプリケーションソフトで作成した文書をプリントすることなく、パソコンから電話（ファクス）番号を指定するだけで、相手先のファクスに送信することができます。

ダイレクトファクス送信は、添付のユーティリティー「信乃助 Fax 通信（EX Lite 版）」を使用します。



- STEP 1
  送信先のファクス番号を指定（アプリケーションからの印刷指示後、宛先指定）
- STEP 2
  コンピューターから受けたデータを指定されたファクス番号へ送信

ダイレクトファクス送信を利用するには、「設定メニュー」-「管理者設定」-「ネットワーク設定」で次の設定をする必要があります。

ダイレクトファクス時に必要な設定項目

IP アドレス	本機のネットワーク設定。
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
ゲートウェイ送信	ダイレクトファクス送信機能を使用する場合は「許可」、使用しない場合は「禁止」を設定。

詳しく説明します

- ダイレクトファクス送信をするには、オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が必要です。
- 「信乃助 Fax 通信（EX Lite 版）」のダイレクト FAX 結果通知受信部設定は使用できません。

詳しく説明します

ネットワークの設定については、オプションの「イメージコントローラ IC-206 ユーザーズガイド」または「ネットワークカード NC-503 ユーザーズガイド」をごらんください。

第 8 章
インターネットファクス

オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が装着されている場合、本機はインターネットファクス端末として使用できます。

インターネットファクスでは、読込んだ原稿の画像データを E-mail に添付し、インターネットやイントラネットを経由して、インターネットファクス端末やコンピューターへ送信します。送信するときは、ファクス番号を指定するように E-mail アドレスを指定するだけで送信できます。

8.1 インターネットファクスを送信する

■ インターネットファクスを送信するには

インターネットファクスを送信するには、あらかじめ次の設定を行ってください。正しく設定されていないと通信異常となり、正しく送信できません。

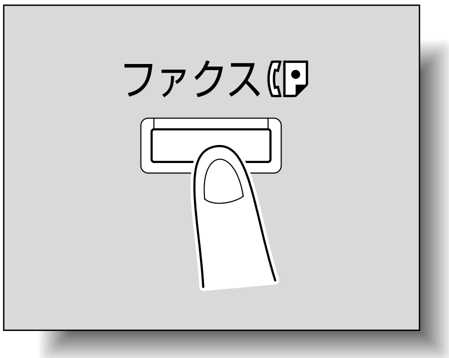
- IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- 送信者名
- 送信者メールアドレス
- SMTP サーバーアドレス
- SMTP ポート番号
- SMTP サーバータイムアウト
- テキスト挿入
- 件名
- POP BEFORE SMTP

参照

各設定方法については、オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 のユーザーズガイドをごらんください。

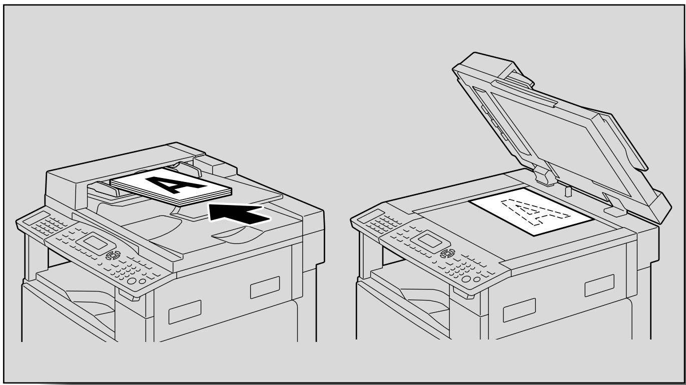
■ 基本的な送信の流れ

1 【ファクス】を押します。



ファクスモードに切替わり、ファクス画面が表示されます。

2 原稿をセットします。



3 必要に応じて「画質」を設定します。

4 【文字入力切替】を押します。

5 ワンタッチ、短縮ダイアル、またはテンキー入力で相手先のEメールアドレスを入力します。



参照

原稿セット方法については「原稿をセットする」(p. 6-5)をごらんください。

参照

画質については「原稿読込み時の画質・濃度を設定する」(p. 8-16)をごらんください。

ひとこと

必要に応じて【▼】を押して送信時刻や基本／拡張の設定ができます。詳しくは「送信設定をする」(p. 8-9)をごらんください。

8

6

【スタート】を押します。

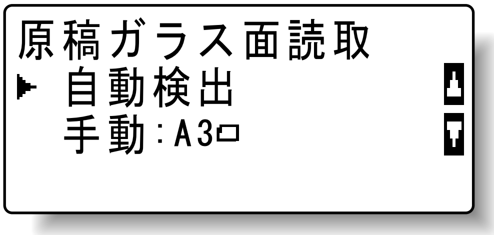
- 原稿送り装置に原稿をセットした場合は、読込み・送信が開始されます。

送信が終了すると " ピー " という発信音が鳴ります。

- 送信を途中で中止したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択します。
- 原稿ガラスに原稿をセットした場合は、手順 7 に進みます。

7

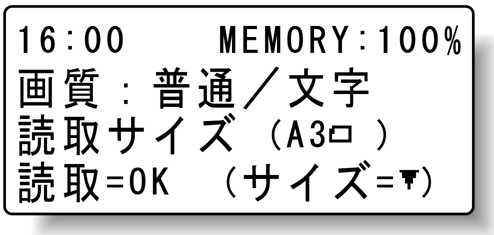
【▲】【▼】で「自動検出」「手動」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



8

読込みを開始する場合は【OK】を押します。

- 読込む用紙サイズを変更する場合は、【▼】を押してサイズを設定しなおします。



詳しく説明します

インターネットファクス通信では、電話回線を使ったファクス通信と同様に次の機能を利用できます。
順次同報送信（p. 6-20）
時刻指定送信（p. 6-35）
送信予約（p. 6-34）
転送（p. 7-21）
中継同報送信（p. 7-20）

参照

送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。詳しくは、「通信結果を確認する（レポート／リスト)」(p. 6-29) をごらんください。

9 続けて原稿を読込ませる場合は、次の原稿をセットし、【OK】を押します。

- 原稿の読込みが終了するまで、この手順を繰り返します。

```
16:00     MEMORY:100%
画質：普通／文字
次原稿読取＝ＯＫ  01
送信＝スタート
```

10 すべての原稿の読込みが終了したら、【スタート】を押します。

送信が開始されます。

送信が終了すると " ピー " という発信音が鳴ります。

- 送信を途中で中止するときは、【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択します。

詳しく説明します

インターネットファクス通信では、電話回線を使ったファクス通信と同様に次の機能を利用できます。
順次同報送信（p. 6-20）
時刻指定送信（p. 6-35）
送信予約（p. 6-34）
転送（p. 7-21）
中継同報送信（p. 7-20）

参照

- 読込まれた文書の送信を取り消したい場合は、「送信予約をキャンセル（削除）する」（p. 6-27）をごらんください。
- 送信できなかったときは、送信結果レポートがプリントされます。詳しくは、「通信結果を確認する（レポート／リスト）」（p. 6-29）をごらんください。

■ アドレス帳で検索する（LDAP 検索）

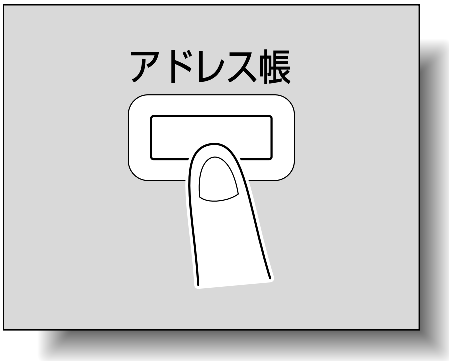
E メールアドレスは、アドレス帳から LDAP 検索ができます。LDAP 検索とは、LDAP サーバーに登録されている E メールアドレスを呼び出す機能です。相手先名、または E メールアドレスの文字列の一部を入力して検索します。

ここでは、「相手先名：AAA TOKYO、E メールアドレス：aaatokyo@test.local」で登録されている E メールアドレスを呼び出します。

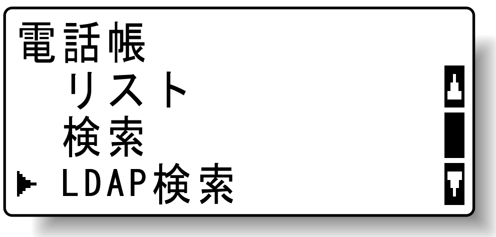
1 原稿をセットします。

2 必要に応じて「画質」を設定します。

3 【アドレス帳】を押します。



4 【▲】【▼】で「LDAP 検索」を選択し、【OK】を押します。



ひとこと

LDAP 検索を利用するには、あらかじめ LDAP 設定をする必要があります。詳しくは、イメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 のユーザーズガイドをごらんください。

5

【▲】【▼】で「名前」または「メールアドレス」を選択し、【OK】を押します。

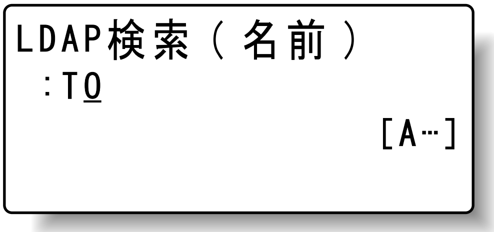




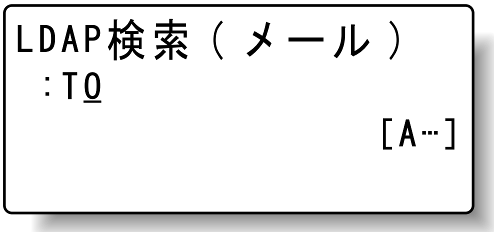
6

テンキーで、相手先の名前または E メールアドレスに含まれる文字列を入力し、【OK】を押します。

- 手順 5 で「名前」を選択した場合は、名前に含まれる文字列を入力します。



- 手順 5 で「メールアドレス」を選択した場合は、E メールアドレスに含まれる文字列を入力します。



詳しく説明します

文字列は、10 文字まで入力できます。

8

7

【▲】【▼】で名前またはメールアドレスを選択し、【▶】を押します。

- 手順 5 で「名前」を選択した場合は、名前（AAA TOKYO）を選択します。



- 手順 5 で「メールアドレス」を選択した場合は、E メールアドレス（aaatokyo@test.local）を選択します。



選択した相手先を確認する画面が表示されます。

8

【OK】を押します。



選択した相手先のメールアドレスが呼び出され、ファクス番号入力画面に戻ります。

9

【スタート】を押します。

読込み・送信が開始されます。

ひとこと

【OK】を押すと、選択した相手先のメールアドレスが呼び出され、ファクス番号入力画面に戻ります。

詳しく説明します

手順 7 に戻るには、【戻る】を押してください。

8.2 送信設定をする

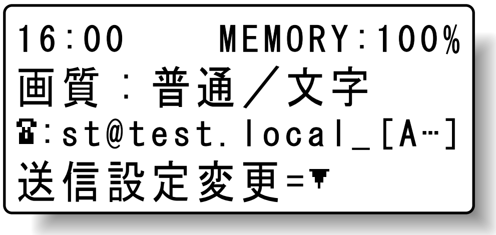
E メールアドレス入力画面で【▼】を押すと、次のような送信設定ができます。

- 送信時刻
- 最大送信サイズ
- 最大送信解像度
- 圧縮符号化方式

送信時刻は「送信時刻」から、最大送信サイズ、最大送信解像度、圧縮符号化方式は「基本／拡張」から設定できます。

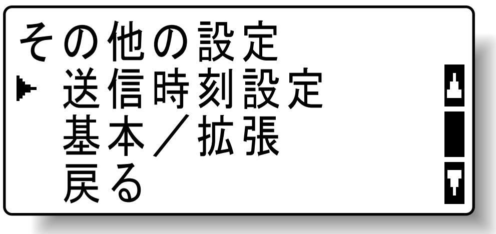
■ 送信時刻を設定する

1 原稿をセットし、相手先を指定します。

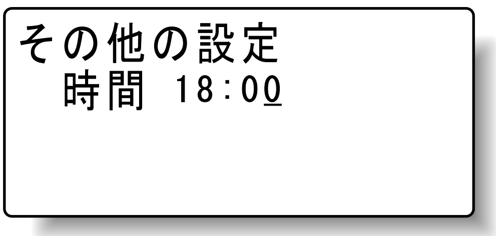


2 【▼】を押します。

3 【▲】【▼】で「送信時刻設定」を選択し、【OK】を押します。



4 テンキーで送信時刻を入力し、【OK】を押します。



参照

「基本的な送信の流れ」（p. 8-2）をごらんください。

8

5

【戻る】を押します。

E メールアドレス入力画面に戻ります。

【戻る】を押します。

E メールアドレス入力画面に戻ります。

■ 基本／拡張の設定をする

1 原稿をセットし、相手先を指定します。

```
16:00     MEMORY:100%
画質：普通／文字
☎:st@test.local_[A…]
送信設定変更=▼
```

2 【▼】を押します。

3 【▲】【▼】で「基本／拡張」を選択し、【OK】を押します。

```
その他の設定
  送信時刻設定
▶ 基本／拡張
  戻る
```

4 【▲】【▼】で「基本」「拡張」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

❍「基本」を選択した場合、その他の設定の画面に戻ります。

```
基本／拡張
▶ 基本
  拡張
```

参照

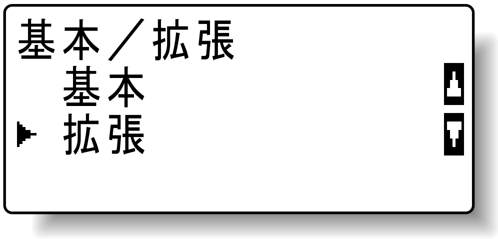
「基本的な送信の流れ」（p. 8-2）をごらんください。

ひとこと

「基本」を選択した場合の各設定は次のようになります。
最大送信サイズ：A4
最大送信解像度：精細
圧縮符号化方式：MH

8

❍「拡張」を選択した場合、p. 8-13 ～ p. 8-15 の設定したい項目に進みます。



■ 最大送信サイズの設定をする

1

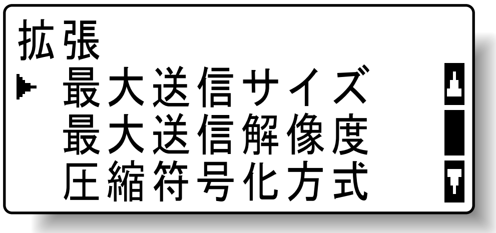
基本／拡張画面で「拡張」を選択し、【OK】を押します。



拡張画面が表示されます。

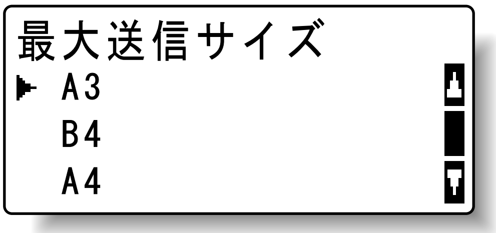
2

【▲】【▼】で「最大送信サイズ」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「A3」「B4」「A4」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



4

表示される画面で「戻る」を 2 回選択します。

E メールアドレス入力画面に戻ります。

参照

基本／拡張画面を表示するには、「基本／拡張の設定をする」（p. 8-11）の手順 1 ～ 3 を行います。

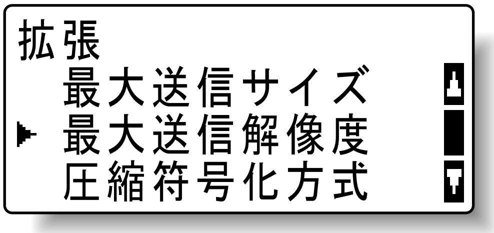
■ 最大送信解像度の設定をする

1 基本／拡張画面で「拡張」を選択し、【OK】を押します。

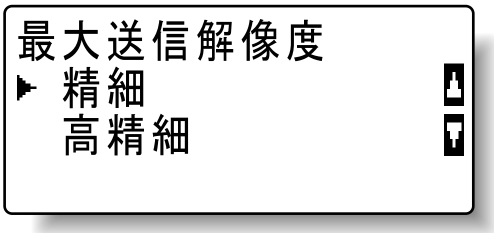


拡張画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「最大送信解像度」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「精細」「高精細」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



4 表示される画面で「戻る」を 2 回選択します。

E メールアドレス入力画面に戻ります。

参照

基本／拡張画面を表示するには、「基本／拡張の設定をする」（p. 8-11）の手順 1 ～ 3 を行います。

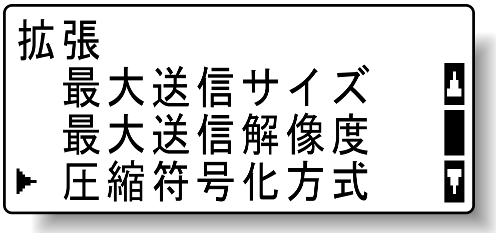
■ 圧縮符号化方式の設定をする

1. 基本／拡張画面で「拡張」を選択し、【OK】を押します。

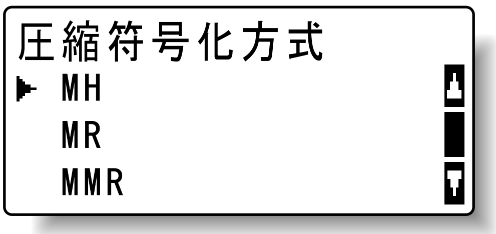


拡張画面が表示されます。

2. 【▲】【▼】で「圧縮符号化方式」を選択し、【OK】を押します。



3. 【▲】【▼】で「MH」「MR」「MMR」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



4. 表示される画面で「戻る」を 2 回選択します。

E メールアドレス入力画面に戻ります。

参照

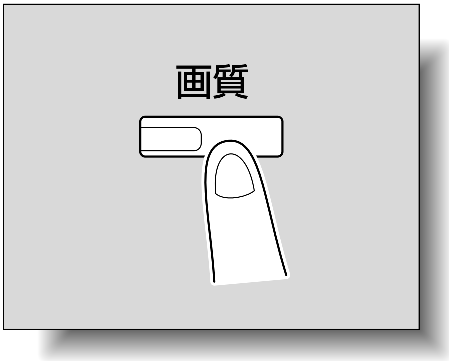
基本／拡張画面を表示するには、「基本／拡張の設定をする」（p. 8-11）の手順 1 ～ 3 を行います。

8

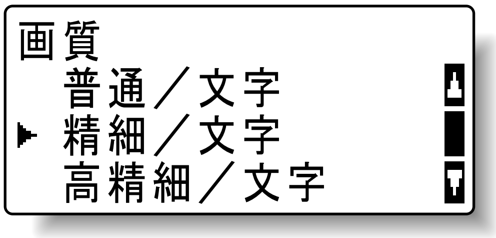
8.3 原稿読込み時の画質・濃度を設定する

■ 画質を設定する

1 【画質】を押します。



2 【▲】【▼】で画質を選択し、【OK】を押します。



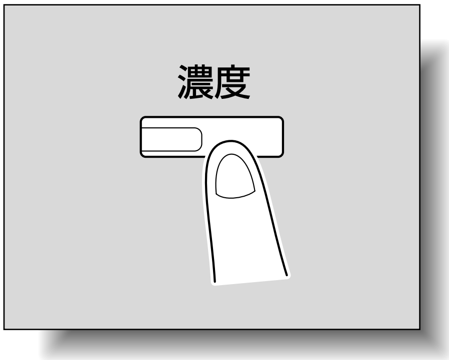
基本画面に戻ります。

詳しく説明します

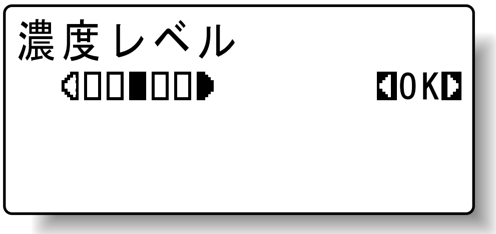
高精細画質で送信する場合は、「基本／拡張」の設定で「拡張」-「最大送信解像度」-「高精細」に設定してください。設定方法については、「最大送信解像度の設定をする」(p. 8-14) をごらんください。

■ 濃度を設定する

1. 【濃度】を押します。



2. 【◀】【▶】で濃度を 5 段階で選択し、【OK】を押します。

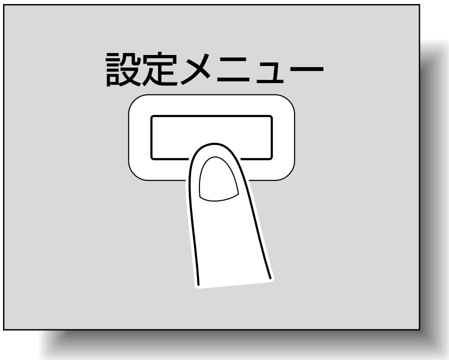


基本画面に戻ります。

■ タイトルの設定

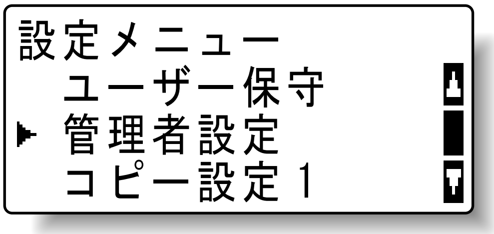
E メール送信時につけるタイトル（件名）を設定できます。

1 【設定メニュー】を押します。

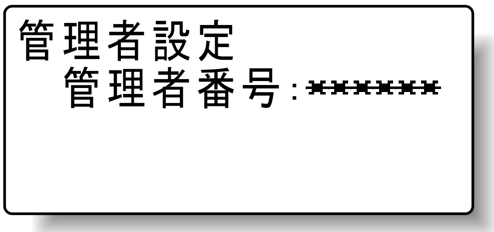


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで管理者番号を入力し、【OK】を押します。



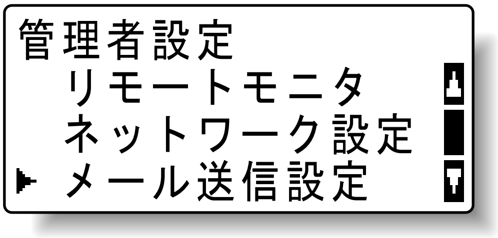
管理者設定画面が表示されます。

詳しく説明します

数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

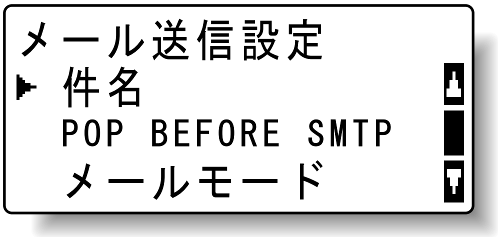
4

【▲】【▼】で「メール送信設定」を選択し、【OK】を押します。



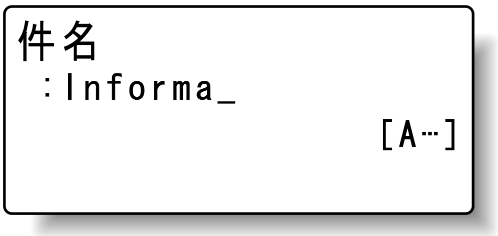
5

【▲】【▼】で「件名」を選択し、【OK】を押します。



6

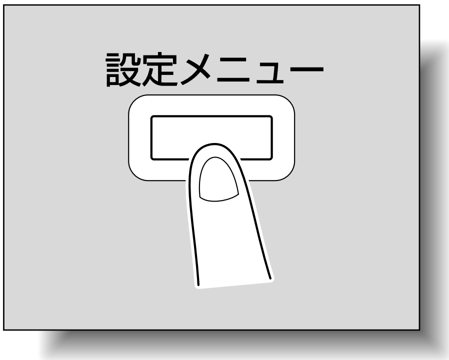
テンキーで件名（タイトル）を入力し、【OK】を押します。



■ 転送先を設定する

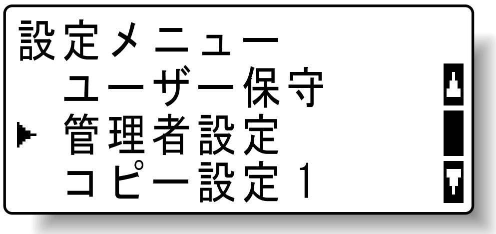
受信エラーが起こった場合に、ここで設定したアドレスに受信結果レポートが送信されます。

1 【設定メニュー】を押します。

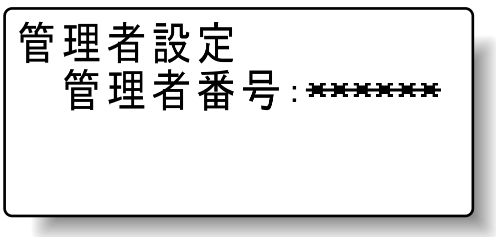


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで管理者番号を入力し、【OK】を押します。



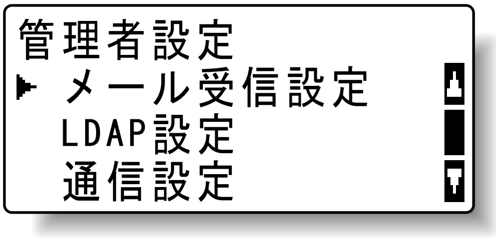
管理者設定画面が表示されます。

詳しく説明します

数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

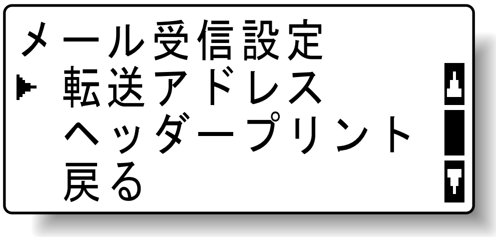
4

【▲】【▼】で「メール受信設定」を選択し、【OK】を押します。



5

【▲】【▼】で「転送アドレス」を選択し、【OK】を押します。



6

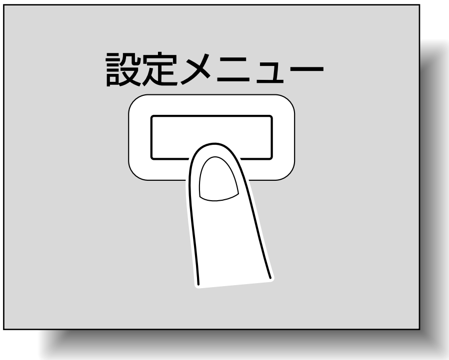
テンキーで、転送先のアドレスを入力し、【OK】を押します。



メール受信設定画面に戻ります。

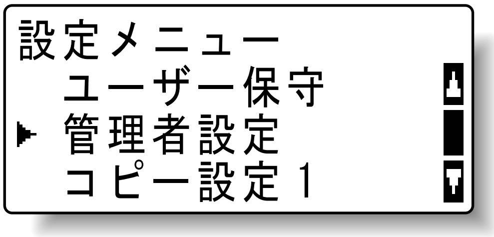
■ ヘッダープリントを設定する

1 【設定メニュー】を押す。

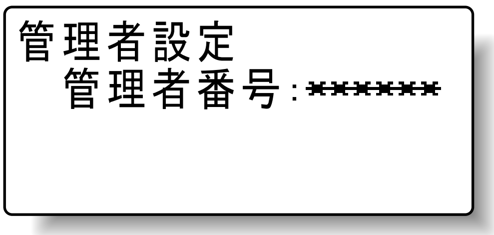


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで管理者番号を入力し、【OK】を押します。



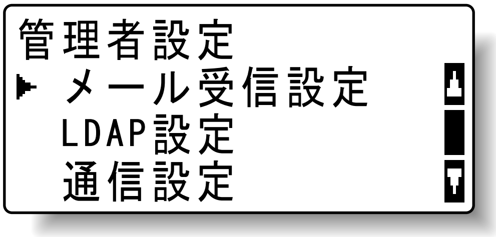
管理者設定画面が表示されます。

詳しく説明します

数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

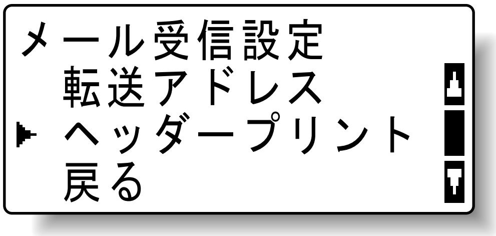
4

【▲】【▼】で「メール受信設定」を選択し、【OK】を押します。



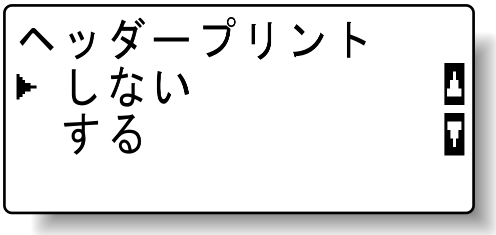
5

【▲】【▼】で「ヘッダープリント」を選択し、【OK】を押します。



6

【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



メール受信設定画面に戻ります。

8.5　インターネットファクスを受信する

インターネットファクスを送信するだけでなく、本機はインターネットファクスを受信することもできます。ここでは、インターネットファクスの受信について説明します。

■ インターネットファクスを受信するには

インターネットファクスを受信するには、あらかじめ次の設定を行ってください。正しく設定されていない場合は通信異常となり、正しく受信できません。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- POP3 サーバー
- POP3 ポート番号
- POP3 タイムアウト
- POP3 アカウント
- POP3 パスポート
- 自動受信
- 転送アドレス
- ヘッダープリント

参照

各設定方法については、イメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 のユーザーズガイドをごらんください。

■ 受信できるデータ

受信できるデータ形式は次のとおりです。

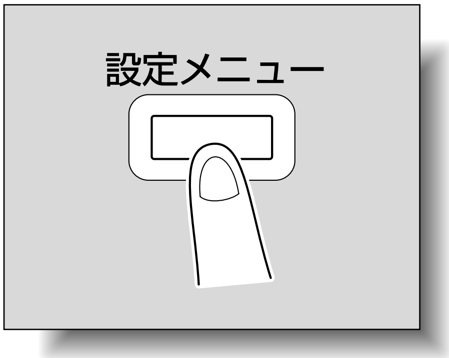
- テキスト形式
- TIFF イメージ
- テキスト /TIFF イメージの混在

次の形式のデータは受信できないことがあります。

- アプリケーション独自のファイル形式

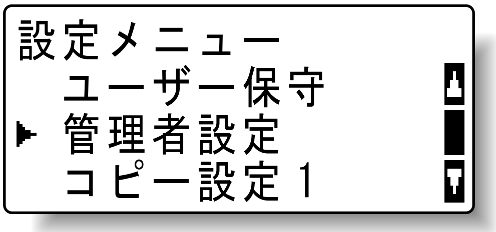
■ インターネットファクスを自動的に受信する

1 【設定メニュー】を押します。

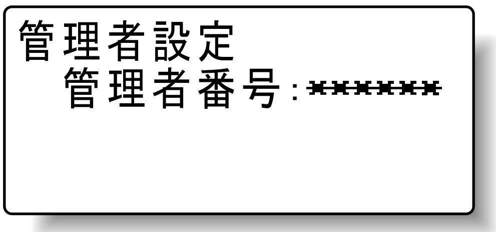


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで管理者番号を入力し、【OK】を押します。

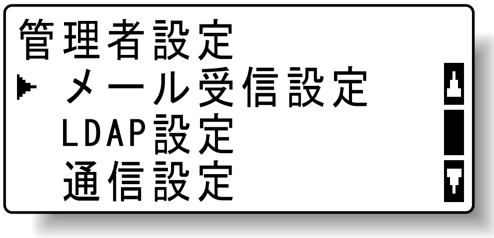


管理者設定画面が表示されます。

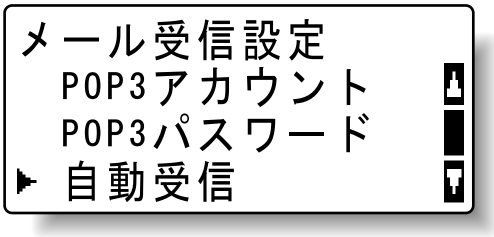
詳しく説明します

数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

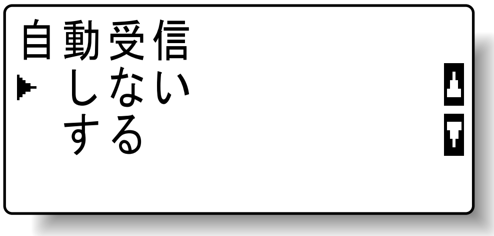
4 【▲】【▼】で「メール受信設定」を選択し、【OK】を押します。



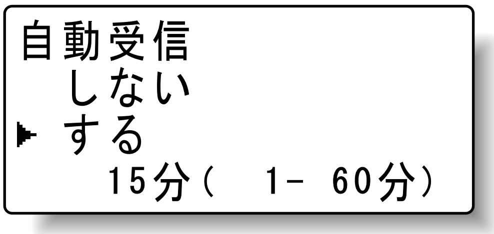
5 【▲】【▼】で「自動受信」を選択し、【OK】を押します。



6 【▲】【▼】で「する」を選択します。



7 テンキーで受信間隔時間を入力し、【OK】を押します。

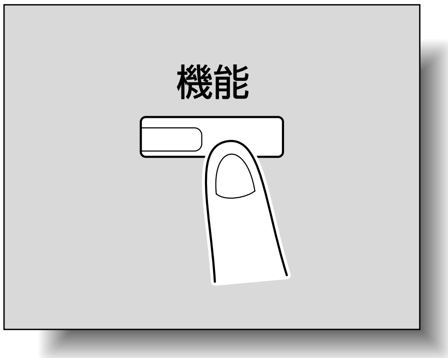


参照

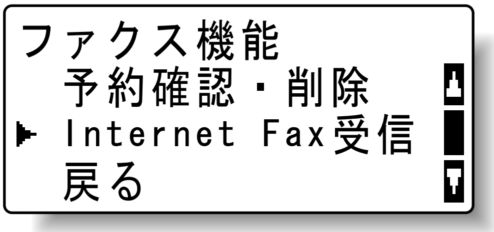
自動受信の受信間隔は 1 分～ 60 分の間で設定できます。

■ インターネットファクスを手動で受信する

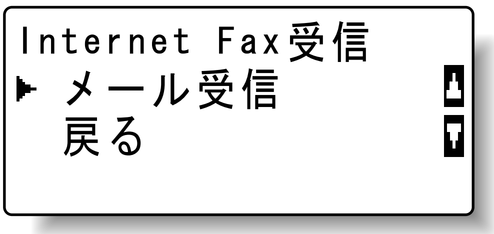
1 【機能】を押します。



2 【▲】【▼】で「Internet Fax 受信」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「メール受信」を選択し、【OK】を押します。



送信メールがあった場合、メールを受信し、プリントされます。

8

第 9 章
設定メニュー／コピー設定

設定メニューで設定ができるコピー／プリント機能の項目について説明します。

9.1 設定メニュー

設定メニューには、13 の項目があります。

本章では、No.1 ～ 7 の項目について説明します。No.8 ～ 12 の項目については「設定メニュー／ファクス設定」をごらんください。

No.	名称	説明	参照ページ
1	本体設定	本機の動作環境に関する設定を行います。	p. 9-5
2	トレイ設定	第 1 トレイにセットされている用紙のサイズと種類を指定します。また、トレイごとに自動トレイ切替えの設定を行うことができます。	p. 9-22
3	不定形サイズ登録	不定形サイズを 2 種類まで登録します。	p. 9-28
4	ユーザー保守	機能低下を防ぐための保守動作を実行します。	p. 9-30
5	管理者設定	管理者が部門ごとに管理するための設定やリモートモニタの設定を行います。	p. 9-33
6	コピー設定 1	各コピー機能の初期設定を指定します。	p. 9-54
7	コピー設定 2		p. 9-65
8	宛先登録	ワンタッチ、短縮、グループの宛先を登録します。	p. 10-3
9	ファクス登録	各ファクス機能の初期設定を指定します。	p. 10-36
10	ファクス送信設定	送信操作の初期設定を指定します。	p. 10-47
11	ファクス受信設定	受信操作の初期設定を指定します。	p. 10-53
12	レポート設定	各レポート機能の初期設定を指定します。	p. 10-70
13	スキャナ設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が装着されている場合のみ設定できます。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。	―

詳しく説明します

オプションの装着状態によって、設定できない項目があります。設定できない項目を選択すると、エラーメッセージが表示されます。

参照

- 3、4、9 以外の項目は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。
- オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が装着されている場合は、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。設定できるのは、8、10 ～ 12 の項目です。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

9.2　設定メニュー／コピー設定一覧

※ 太字は工場出荷時の設定を示します。

メニュー	サブメニュー	設定項目
本体設定	オートリセット	しない /30 秒 /**1 分** /2 分 /3 分 /4 分 /5 分
	スリープモード	1 分～ 240 分（**初期値：15 分**）
	オートパワーオフ	**しない** / する（15 分～ 240 分）
	画質（ADF）	**モード 1**/ モード 2
	画質（原稿ガラス）	**モード 1**/ モード 2
	プリント濃度	
	LCD コントラスト	
	キーリピート	開始までの時間（0.1 秒 /0.3 秒 /0.5 秒 /**1.0 秒** /1.5 秒 /2.0 秒 /2.5 秒 /3.0 秒） 間隔時間（0.1 秒 /0.3 秒 /0.5 秒 /1.0 秒 /1.5 秒 /2.0 秒 /2.5 秒 /3.0 秒）
	言語選択	英語 / **日本語**
	ブザー音量	OFF/ **小さい** / 大きい
	初期モード	**コピー** / ファクス
	スキャンしきい値	256/**512**/1024/1536 (Kbyte)
トレイ設定	用紙単位設定	(各トレイ）インチ / **メトリック**
	トレイ 1 用紙種類	サイズ（**自動** / サイズ入力 / ハガキ） 種類（**普通紙** /OHP/ 厚紙 / 封筒･ﾊｶﾞｷ）
	特殊紙	**普通紙** / 再生紙 / 専用紙
不定形サイズ登録	登録サイズ 1	X:140mm ～ 432mm Y:90mm ～ 297mm
	登録サイズ 2	
ユーザー保守	ドラムドライ	—
	トナー補給	—

参照

「不定形サイズ登録」「ユーザー保守」以外の項目は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」(p. 13-14）をごらんください。

9

メニュー	サブメニュー	設定項目
管理者設定	管理者番号の変更	000000 ～ 999999
	オートパワーオフ	禁止 / **許可**
	部門管理設定	部門管理設定（**する** / しない） 部門番号登録（追加 / 確認 / 修正） 部門別カウンタ（**表示** / 消去 / リスト）
	リモートモニタ	しない / **する（制限あり）** / する（制限なし）
	通信設定	ダイアル方法（**トーン** / パルス） モニタ音量（OFF/ **小さい** / 大きい） 回線設定（**公衆回線** / 構内回線） TEL/FAX 自動切換（しない / **する**） 電話呼出し時間（5 秒 /10 秒 / 15 秒 /**20 秒** /25 秒 /30 秒 /60 秒 /90 秒 /120 秒 /150 秒 / 180 秒 /240 秒） 留守番電話接続（**しない** / する）
	ユーザー設定	日時設定 / 自局 FAX 番号 / 発信元登録
コピー設定 1	優先トレイ	**トレイ 1**/ トレイ 2/ トレイ 3/ トレイ 4/ トレイ 5/ マルチ手差し
	優先画質	**文字／写真** / 文字 / 写真
	優先濃度	**自動設定** / 手動設定
	濃度レベル	自動設定  手動設定 
	ブックとじ位置	**左** / 右
	とじ代設定	0mm ～ 20mm（**初期値：10mm**）
	枠消し設定	**左** / 上 / 周囲 （5 ～ 20mm）（**初期値：10mm**）
	小サイズ原稿許可	**禁止** / 許可
コピー設定 2	優先コピーモード	**自動用紙選択** / 自動倍率選択 / 手動設定
	優先仕上り	**ノンソート** / ソート / グループ
	4in1 ページ順	**パターン 1**/ パターン 2
	優先原稿混載	**しない** / する
	交互排紙許可	しない / **する**

9.3　本体設定

本体設定では以下の項目の設定を変更できます。

＜本体設定の項目＞

No.	本体設定	内容
1	オートリセット	コピー終了後または最後のキー操作後、オートリセット機能がはたらくまでの時間を設定できます。オートリセットにより自動的に初期モードに戻り、基本画面が表示されます。 ・工場出荷時の設定は 1 分です。
2	スリープモード	本機を操作しなくなってから節電状態になるまでの時間を設定できます。 ・工場出荷時の設定は 15 分です。
3	オートパワーオフ	本機を操作しなくなってからオートパワーオフするまでの時間を設定できます。 ・工場出荷時の設定は「しない」です。
4	画質（ADF）	オプションの原稿送り装置を使用する場合の画質レベルを設定できます。 モード 1：コピー濃度を薄めにし、コピーの汚れを抑える場合に選択します。 モード 2：原稿と同じ濃度でコピーする場合に選択します。 ・工場出荷時の設定は「モード 1」です。
5	画質（原稿ガラス）	原稿ガラスにセットしてコピーする場合の画質レベルを設定できます。 モード 1：原稿と同じ濃度でコピーする場合に選択します。 モード 2：コピー濃度を薄めにし、コピーの汚れを抑える場合に選択します。 ・工場出荷時の設定は「モード 1」です。
6	プリント濃度	出力時の濃度レベルを 5 段階で設定できます。 ・工場出荷時の設定は（ ◁□□■□□▶ ）です。
7	LCD コントラスト	LCD ディスプレイの明るさを調整できます。 ・工場出荷時の設定は（ ◁□■□□▶ ）です。
8	キーリピート	キーを押しつづけて繰り返し入力が始まるまでの時間と、繰り返しの間隔時間を設定できます。 ・工場出荷時の設定は、開始時間「1 秒」間隔時間「0.1 秒」です。
9	言語選択	画面表示時の言語を「日本語」「英語」から選択できます。 ・工場出荷時の設定は「日本語」です。
10	ブザー音量	キーを押したときのキータッチ音やアラーム音の音量を設定できます。 ・工場出荷時の設定は「小さい」です。

参照

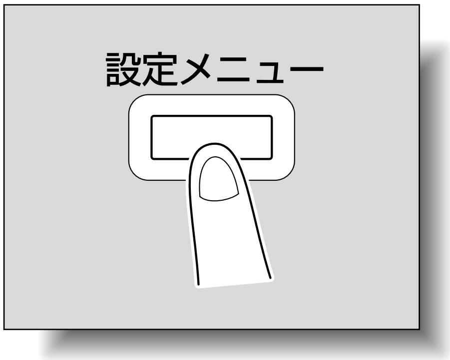
本体設定は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。

9

No.	本体設定	内容
11	初期モード	電源をオンにしたときや、オートリセット時のモード（コピーモードまたはファクスモード）を選択できます。 ・ 工場出荷時の設定は「コピー」です。
12	スキャンしきい値	メモリーがいっぱいになり、原稿読み取りを中断するときのメモリ残量を設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は「512Kbyte」です。

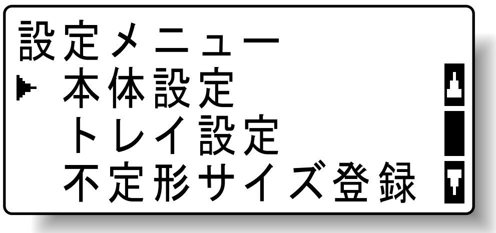
■ 本体設定メニューを選択する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「本体設定」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で本体設定メニューを選択します。

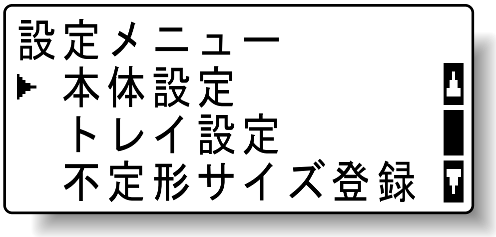
❍本体設定メニューは以下のとおりです。

オートリセット
スリープモード
オートパワーオフ
画質（ADF）
画質（原稿ガラス）
プリント濃度
LCD コントラスト
キーリピート
言語選択
ブザー設定
初期モード
スキャンしきい値

■ オートリセット設定を変更する

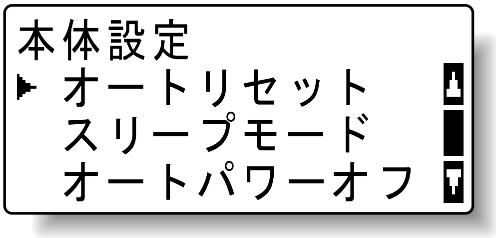
1

本体設定メニューを選択します。



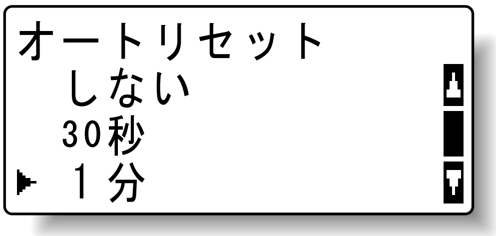
2

【▲】【▼】で「オートリセット」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「しない」「30 秒」「1 分」「2 分」「3 分」「4 分」「5 分」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

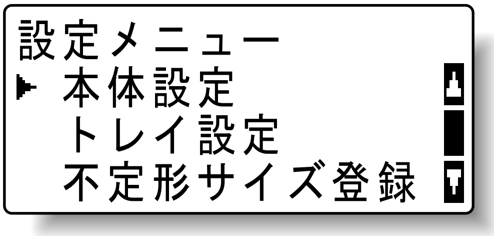
参照

「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

■ 低電力（スリープ）設定を変更する

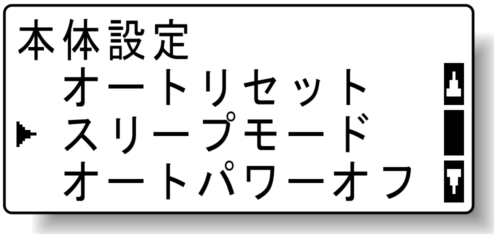
1

本体設定メニューを選択します。



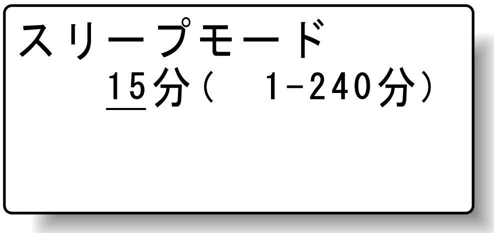
2

【▲】【▼】で「スリープモード」を選択し、【OK】を押します。



3

テンキーで、スリープ機能が有効になるまでの時間を入力し、【OK】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

参照

「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

詳しく説明します

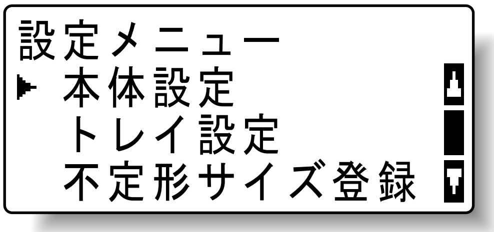
- タイマーは、1 分～ 240 分の間で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

9

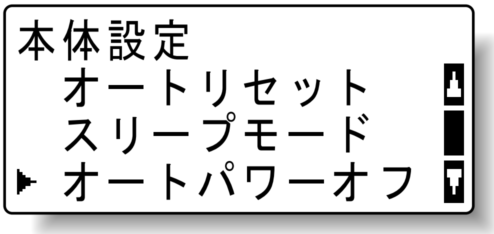
■ オートパワーオフ設定を変更する

オートパワーオフ機能の有効（する）／無効（しない）を設定します。有効（する）にする場合は、さらに機能がはたらくまでの時間を設定します。

1 本体設定メニューを選択します。

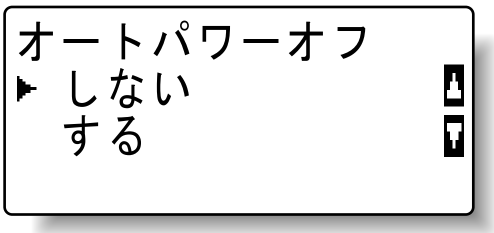


2 【▲】【▼】で「オートパワーオフ」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択します。

❍「しない」を選択した場合は、【OK】を押します。



ひとこと

- オートパワーオフ機能で電源がオフになるとコピー／プリント／ファクス送受信できません。コピー／プリント／ファクス送受信をするときは電源をオンにしてください。
- 「管理者設定」-「オートパワーオフ」を「禁止」に設定している場合は、オートパワーオフ機能を無効にできません。オートパワーオフ機能を無効にするには、あらかじめ「管理者設定」-「オートパワーオフ」を「許可」に設定しておいてください。詳しくは、「オートパワーオフ「しない」を選択できるようにする」（p. 9-39）をごらんください。

参照

「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

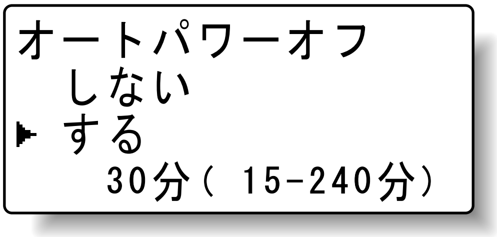
詳しく説明します

- タイマーは、15 分～240 分の間で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

ひとこと

「管理者設定」-「オートパワーオフ」を「禁止」に設定している場合は、オートパワーオフ機能がはたらくまでの時間のみ設定します。

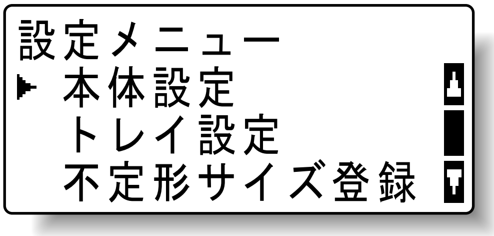
❍「する」を選択した場合は、テンキーでオートパワーオフ機能がはたらくまでの時間を入力し、【OK】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

■ 原稿送り装置使用時の画質を変更する

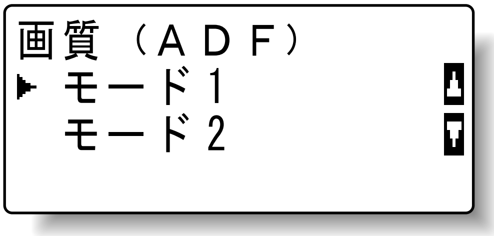
1. 本体設定メニューを選択します。



2. 【▲】【▼】で「画質（ADF）」を選択し、【OK】を押します。



3. 【▲】【▼】で「モード 1」「モード 2」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



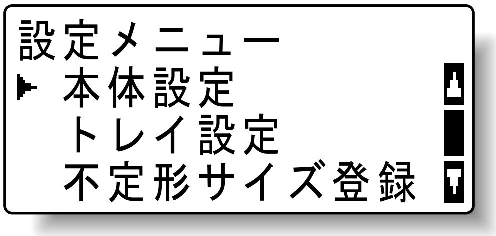
本体設定メニューに戻ります。

参照

「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

■ 原稿ガラス使用時の画質を変更する

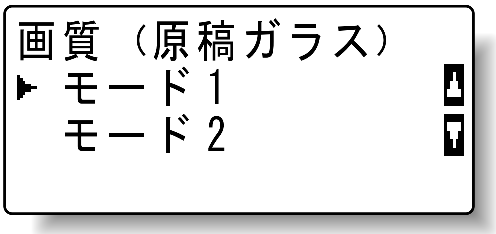
1 本体設定メニューを選択します。



2 【▲】【▼】で「画質（原稿ガラス）」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「モード 1」「モード 2」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



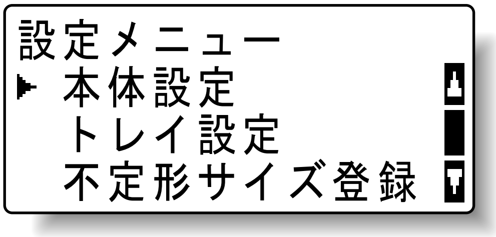
本体設定メニューに戻ります。

参照

「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

■ 濃度を変更する

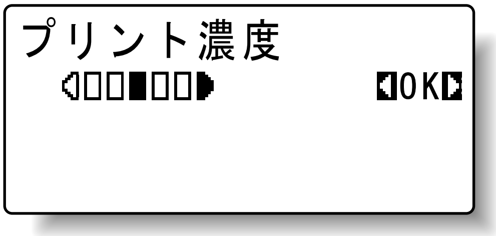
1 本体設定メニューを選択します。



2 【▲】【▼】で「プリント濃度」を選択し、【OK】を押します。



3 【◀】【▶】で濃度を選択し、【OK】を押します。

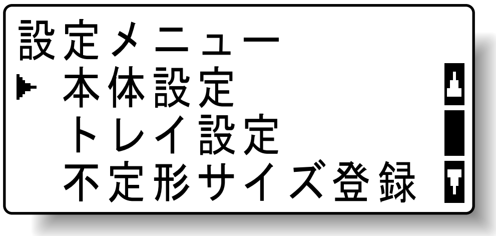


本体設定メニューに戻ります。

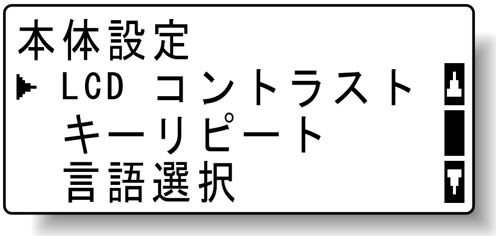
参照
「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

■ LCD コントラストを変更する

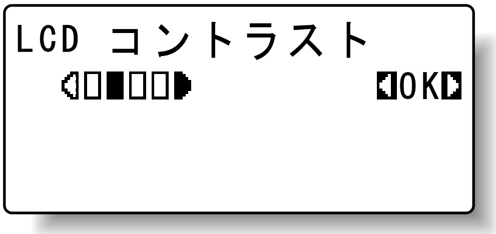
1 本体設定メニューを選択します。



2 【▲】【▼】で「LCD コントラスト」を選択し、【OK】を押します。



3 【◀】【▶】でコントラストを選択し、【OK】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

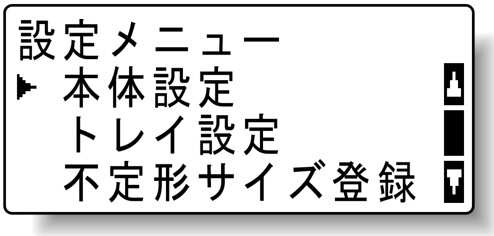
参照

「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

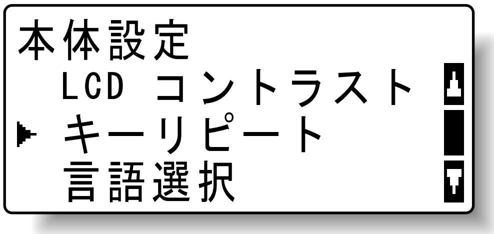
9

■ キーリピート設定を変更する

1 本体設定メニューを選択します。

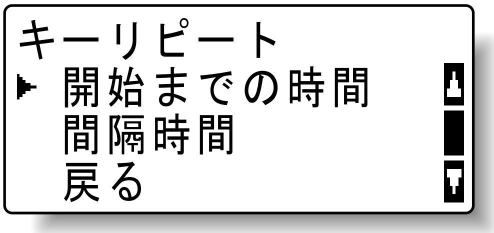


2 【▲】【▼】で「キーリピート」を選択し、【OK】を押します。



- 「開始までの時間」を設定する場合は、手順 3 に進みます。
- 「間隔時間」を設定する場合は、手順 5 に進みます。

3 【▲】【▼】で「開始までの時間」を選択し、【OK】を押します。

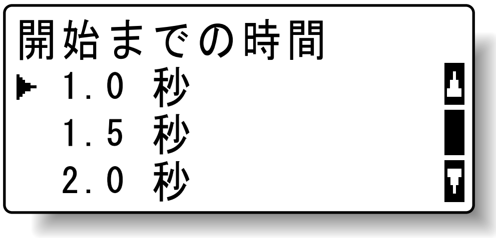


参照

「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

4

【▲】【▼】でキーリピートを開始するまでの時間を選択し、【OK】を押します。

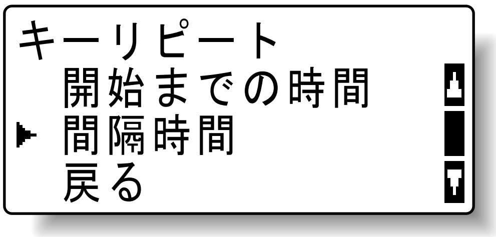


キーリピート設定画面に戻ります。

- 【戻る】を押すと、本体設定メニューに戻ります。
- 「間隔時間」を設定する場合は、次の手順に進みます。

5

【▲】【▼】で「間隔時間」を選択し、【OK】を押します。



6

【▲】【▼】で変化する間隔時間を選択し、【OK】を押します。



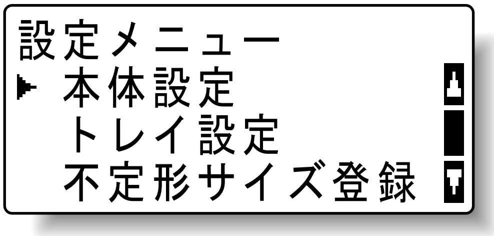
キーリピート設定画面に戻ります。

- 【戻る】を押すと、本体設定メニューに戻ります。

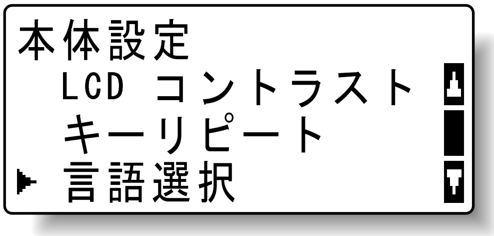
9

■ ディスプレイに表示される言語を変更する

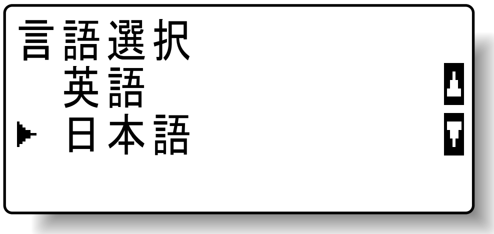
1 本体設定メニューを選択します。



2 【▲】【▼】で「言語選択」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「英語」「日本語」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



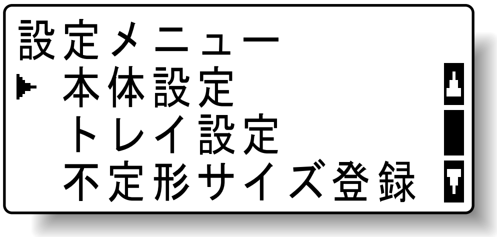
本体設定メニューに戻ります。

参照

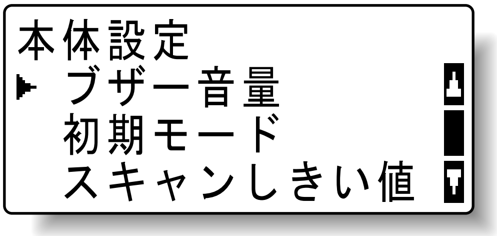
「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

■ ブザー音量

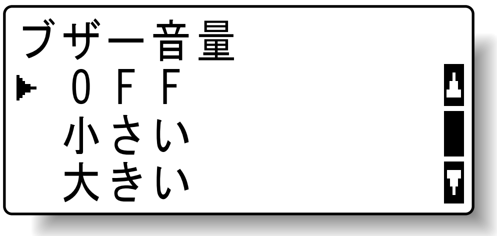
1 本体設定メニューを選択します。



2 【▲】【▼】で「ブザー音量」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「OFF」「小さい」「大きい」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

参照

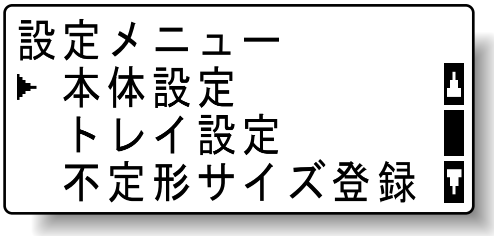
「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

9

■ 初期モードを変更する

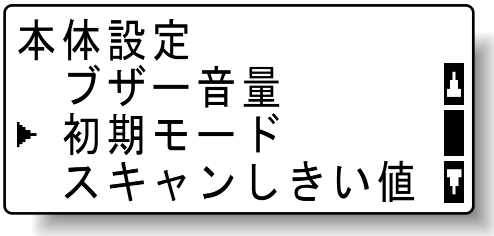
1

本体設定メニューを選択します。



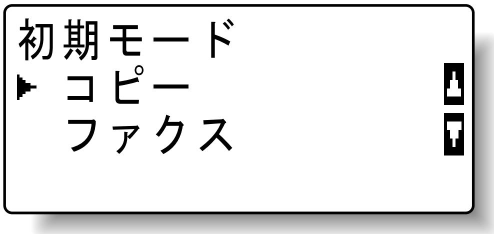
2

【▲】【▼】で「初期モード」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「コピー」「ファクス」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



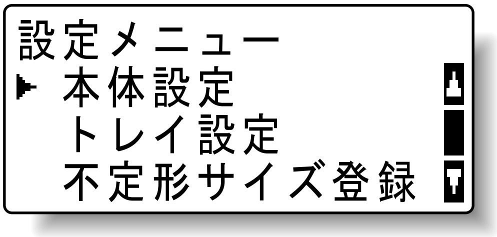
本体設定メニューに戻ります。

参照

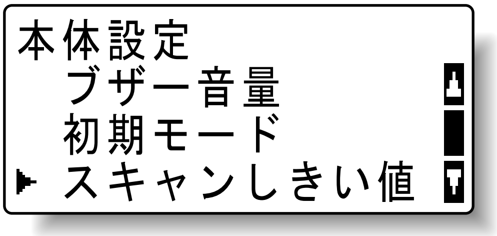
「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

■ スキャンしきい値を変更する

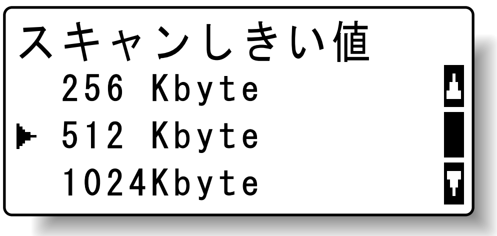
1 本体設定メニューを選択します。



2 【▲】【▼】で「スキャンしきい値」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】でしきい値を選択し、【OK】を押します。



本体設定メニューに戻ります。

参照

「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

9.4 トレイ設定

トレイ設定では各トレイに関する設定を変更できます。
<トレイ設定の項目>

No.	トレイ設定	内容
1	用紙単位設定	トレイごとに、用紙サイズの単位を設定します。A4、B5 などのセンチ系用紙（メトリックサイズ）か、Letter などのインチ系用紙かを選択します。適切に設定しておかないと、用紙サイズが自動検出されません。トレイが「インチ」に設定されている場合は、そのトレイにセットされている用紙はファクスモードでは使用できません。 ・ 工場出荷時の設定は「メトリック」です。
2	トレイ 1 用紙種類	第 1 トレイにセットする用紙のサイズと種類を設定します。用紙サイズは「自動設定」「サイズ入力」「ハガキ」「登録 1 ／ 2」から選択し、「サイズ入力」を選択した場合は用紙サイズを入力します。用紙種類は「普通紙」「OHP フィルム」「厚紙」「封筒 / ﾊｶﾞｷ」から選択します。 「自動設定」「普通紙」以外の設定を選択すると、第 1 トレイにセットされた用紙はファクスモードでは使用できません。 ・ 工場出荷時の設定は「自動設定」「普通紙」です。
3	特殊紙	使用する用紙の種類にあわせて、各トレイを自動用紙選択／オートトレイチェンジの対象とするかしないかを設定できます。用紙の種類（「普通紙」「再生紙」「専用紙」）に応じて自動用紙選択／オートトレイチェンジの組み合わせが選択できます。 特殊紙をトレイにセットした場合は、「普通紙」「専用紙」「再生紙」の設定が必要です。 「普通紙」：自動用紙選択可能、オートトレイチェンジ可能 「再生紙」：自動用紙選択不可、オートトレイチェンジ可能 「専用紙」：自動用紙選択不可、オートトレイチェンジ不可 ・ 工場出荷時の設定は「普通紙」です。

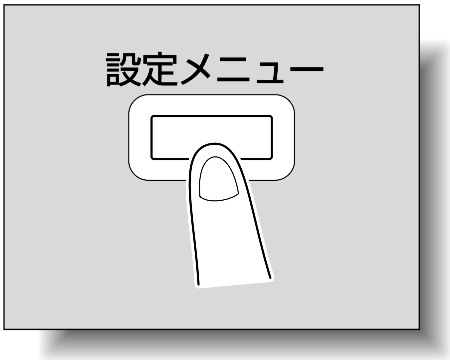
参照

トレイ設定は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。

■ トレイ設定メニューを選択する

1

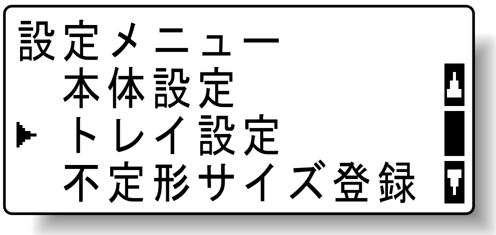
【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2

【▲】【▼】で「トレイ設定」を選択し、【OK】を押します。



トレイ設定画面が表示されます。

3

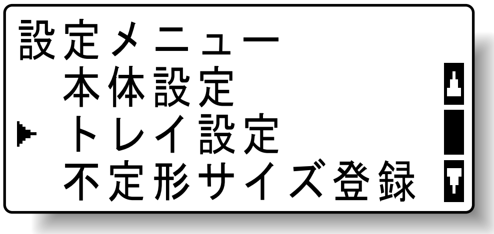
【▲】【▼】でトレイ設定メニューを選択し、【OK】を押します。

❍トレイ設定メニューは次のとおりです。

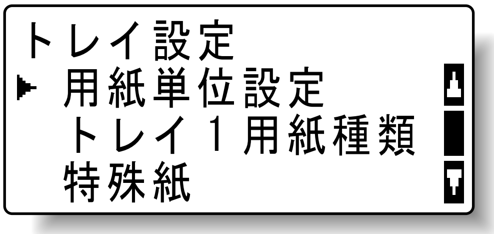
用紙単位設定
トレイ 1 用紙種類
特殊紙

■ 用紙サイズの単位を設定する

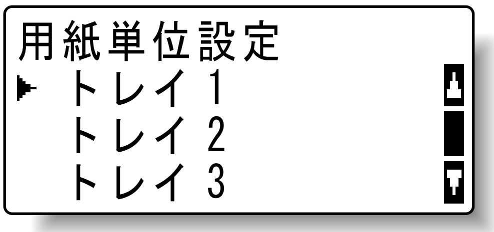
1 トレイ設定メニューを選択します。



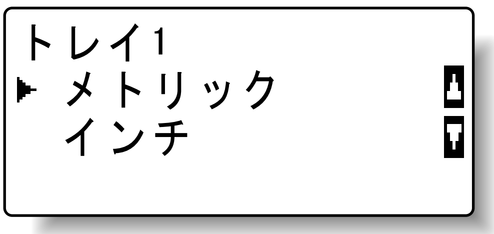
2 【▲】【▼】で「用紙単位設定」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で設定するトレイを選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で「メトリック」「インチ」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



トレイ設定メニューに戻ります。

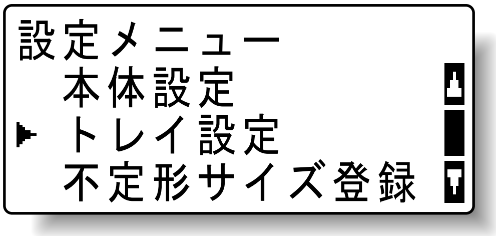
参照

「トレイ設定メニューを選択する」(p. 9-23)をごらんください。

■ 第 1 トレイ用紙の設定をする

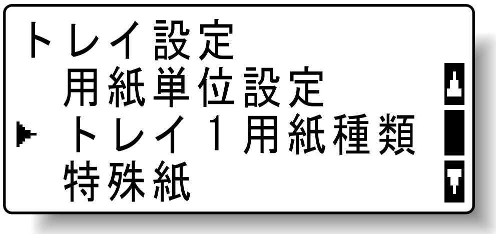
1

トレイ設定メニューを選択します。



2

【▲】【▼】で「トレイ 1 用紙種類」を選択し、【OK】を押します。

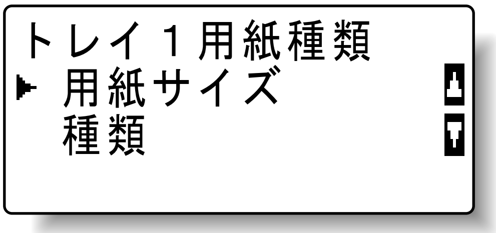


用紙サイズの種類を設定する場合は、手順 3 に進みます。

用紙種類を設定する場合は、手順 5 に進みます。

3

【▲】【▼】で「用紙サイズ」を選択し、【OK】を押します。



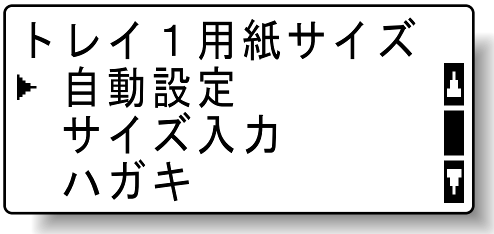
参照

「トレイ設定メニューを選択する」(p. 9-23)をごらんください。

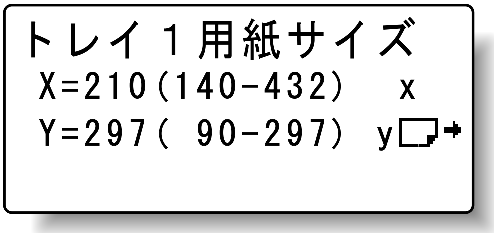
9

4

【▲】【▼】で「自動設定」「サイズ入力」「ハガキ」「登録 1 ／ 2」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



❍「サイズ入力」を選択した場合は、次の画面で X、Y の長さをテンキーで入力し、【OK】を押します。



トレイ設定メニューに戻ります。

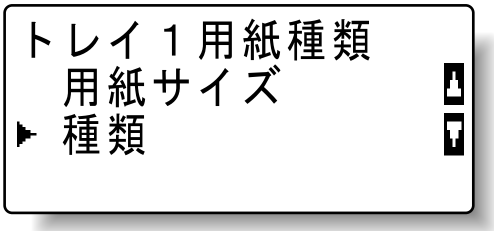
❍ 続けて用紙種類の設定をする場合は、「トレイ 1 用紙種類」を選択し、手順 5 に進みます。

ひとこと

「登録 1 ／ 2」では、「不定形サイズ登録」で登録した「登録サイズ 1 ／ 2」をそれぞれ選択できます。不定形サイズの登録方法については、「不定形サイズを登録する」（p. 9-28）をごらんください。

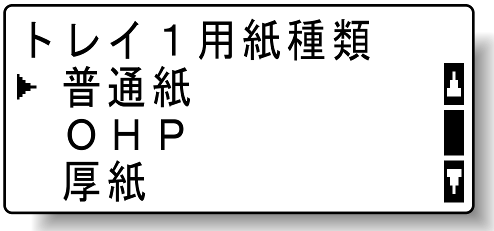
5

【▲】【▼】で「種類」を選択し、【OK】を押します。



6

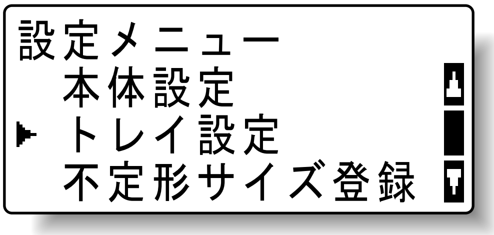
【▲】【▼】で用紙の種類を選択し、【OK】を押します。



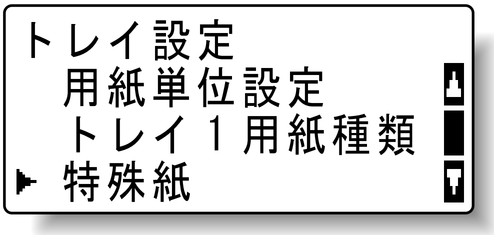
トレイ設定メニューに戻ります。

■ トレイの特殊紙設定をする

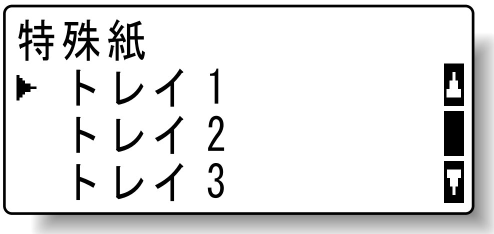
1 トレイ設定メニューを選択します。



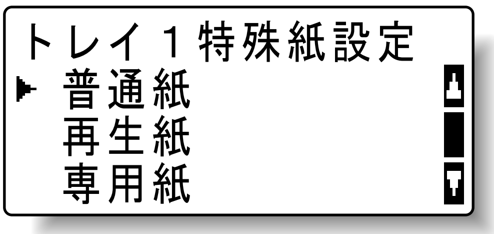
2 【▲】【▼】で「特殊紙」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で設定するトレイを選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で特殊紙の種類を選択し、【OK】を押します。



トレイ設定メニューに戻ります。

参照

「トレイ設定メニューを選択する」（p. 9-23）をごらんください。

9

9.5 不定形サイズ登録

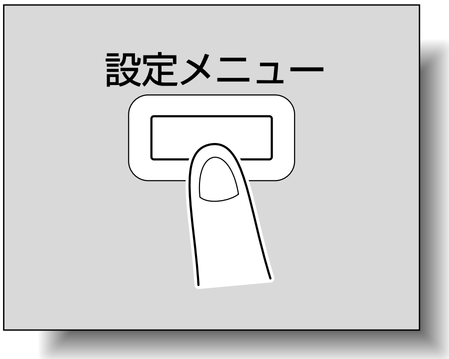
不定形サイズ登録ではよく使う不定形サイズを 2 つまで登録できます。ここで登録された不定形サイズは、設定メニューの「トレイ設定」-「トレイ 1 用紙種類」-「用紙サイズ」でトレイ 1 の用紙サイズを設定するときに選択できます。

＜不定形サイズ登録の項目＞

No.	不定形サイズ登録	内容
1	登録サイズ 1	よく使う用紙サイズを登録して、用紙サイズ設定の際に呼び出すことができます。登録できるサイズは次のとおりです。 長さ方向：140mm ～ 432mm 幅方向：90mm ～ 297mm
2	登録サイズ 2	

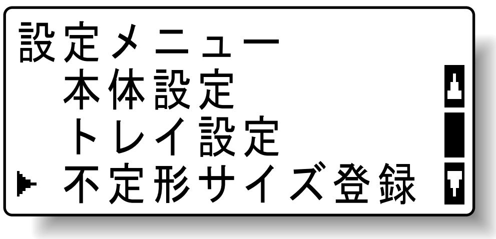
■ 不定形サイズを登録する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

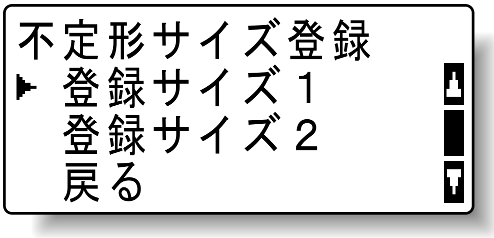
2 【▲】【▼】で「不定形サイズ登録」を選択し、【OK】を押します。



不定形サイズ登録画面が表示されます。

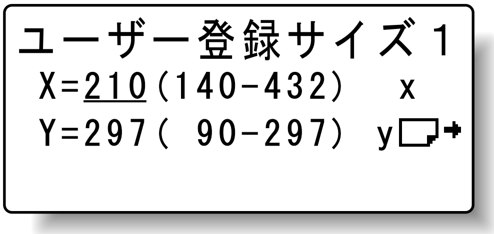
3

【▲】【▼】で登録する番号を選択し、【OK】を押します。

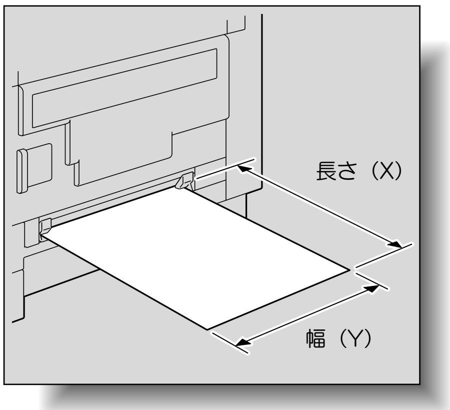


4

テンキーで長さ（X）を入力し、【OK】を押します。



❍ 用紙の幅および長さは、下図を参照し、間違えないように入力してください。

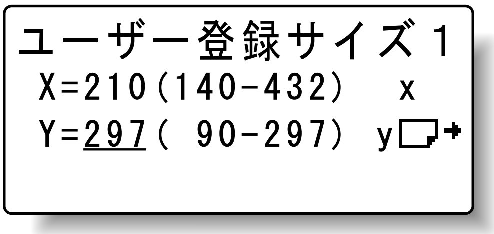


詳しく説明します

- 用紙の長さ（X）は140mm から 432mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

5

テンキーで幅（Y）を入力し、【OK】を押します。



不定形サイズ登録画面に戻ります。

詳しく説明します

- 用紙の幅（Y）は 90mm から 297mm の範囲で入力します。
- 入力した値を訂正するときは【クリア／ストップ】を押してください。

9.6 ユーザー保守

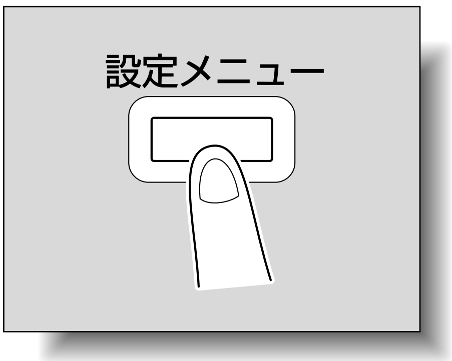
ユーザー保守では本機の機能低下を防ぐための保守動作を実行できます。

<ユーザー保守の項目>

No.	ユーザー保守	内容
1	ドラムドライ	室内温度が急激に変化した場合（とくに冬場の暖房使用時など）や湿度が高い場合に、本機内部の感光体の表面に結露が発生し、画像が不鮮明になってしまうことがあります。このような場合は、結露を除去するためにドラムドライ（露とり）機能を使用します。ドラムドライが終了するまで、約 3 分かかります。
2	トナー補給	黒い部分の多い原稿（写真など）やネガポジ反転コピーなどを多量にコピー／プリントした場合、トナーの自動供給機能が追いつかず、一時的に濃度が薄くなってしまうことがあります。このような場合に強制トナー補給機能を使うと、すぐにもとの濃度に戻すことができます。

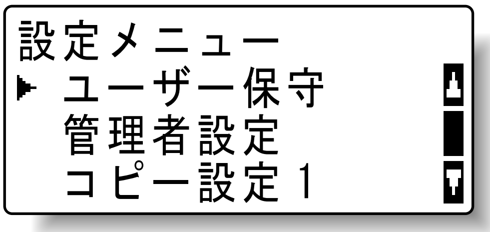
■ ドラムドライ（露とり）

1 【設定メニュー】を押します。



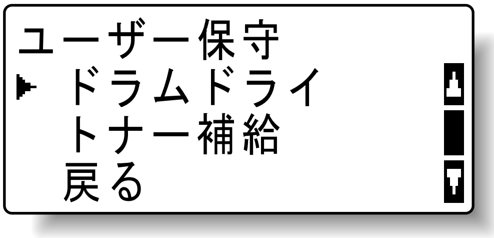
設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「ユーザー保守」を選択し、【OK】を押します。



ユーザー保守メニューが表示されます。

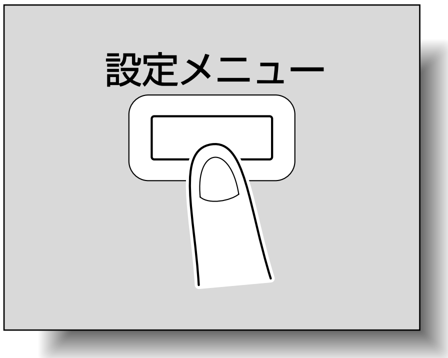
3 【▼】【▲】で「ドラムドライ」を選択し、【OK】を押します。



ドラムドライが開始され、ユーザー保守メニューに戻ります。

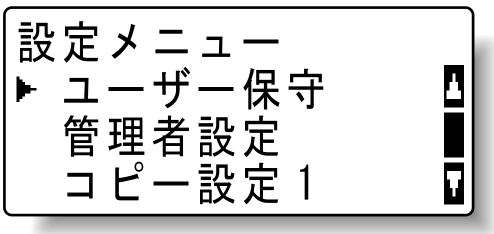
■ トナー補給

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

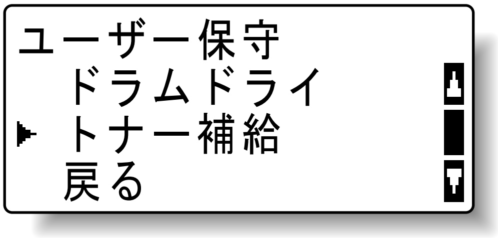
2 【▲】【▼】で「ユーザー保守」を選択し、【OK】を押します。



ユーザー保守メニューが表示されます。

3

【▼】【▲】で「トナー補給」を選択し、【OK】を押します。



トナー補給が開始され、ユーザー保守メニューに戻ります。

必ず守ってください

トナー補給中に電源をオフにしたり、本機の前扉を開けたりしないでください。

ひとこと

トナーの濃度が十分である場合は、トナー補給は行われません。

9.7 管理者設定

管理者設定は、本機を管理する方がお使いになるモードです。
管理者設定を選択した場合、管理者番号を入力する必要があります。

＜管理者設定の項目＞

No.	管理者設定	内容
1	管理者番号の変更	現在設定されている管理者番号を、別の番号に変更できます。
2	オートパワーオフ	本体設定でのオートパワーオフ設定を、「しない」にできる（「許可」）か、できない（「禁止」）かを選択できます。 ・工場出荷時の設定は「許可」です。
3	部門管理設定	部門ごとに管理するための設定をします。50部門まで管理できます。 ・部門管理をする／しない ・部門番号の登録 ・部門番号の変更／削除 ・部門別トータルカウンタ表示／カウンタクリア ・部門別トータルカウンタのオールクリア
4	リモートモニタ	リモートモニタ機能の設定をします。リモートモニタ機能とは、サービス技術者がサービスセンターから本機にアクセスし、本機の状態を確認する機能です。 ・工場出荷時の設定は「する（制限あり）」です。 ・詳しくは担当サービス技術者にお問い合わせください。
5	ネットワーク設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着時に表示されます。 ネットワーク接続に必要な設定をします。 詳しくは各オプションのユーザーズガイドをごらんください。
6	メール送信設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着時に表示されます。 インターネットファクスなどを送信するために必要な設定や、タイトルをつけるなどの便利な設定ができます。 詳しくは各オプションのユーザーズガイドをごらんください。
7	メール受信設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着時に表示されます。 インターネットファクスなどを受信するために必要な設定や、転送先を設定するなどの便利な設定ができます。 詳しくは各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

ひとこと

管理者番号の登録と設定については、サービス実施店にお問い合わせください。

必ず守ってください

本機を管理する方は、管理者番号を忘れないでください。

参照

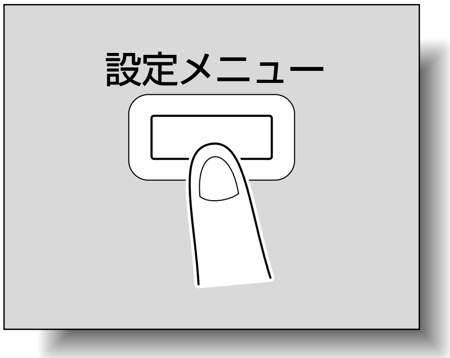
・ユーザー設定については、「最初に必要な登録と設定の確認」（p. 3-31）をごらんください。
・6 以外の管理者設定は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。

9

No.	管理者設定	内容
8	LDAP 設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着時に表示されます。 LDAP サーバーに登録されている相手先を、検索するための設定を行います。 詳しくは各オプションのユーザーズガイドをごらんください。
9	通信設定	通信環境に合わせて、本機の通信設定を変更します。
10	ユーザー設定	ファクス機能をお使いになる前に必要な設定をします。設定方法については、「最初に必要な登録と設定の確認」（p. 3-31）をごらんください。

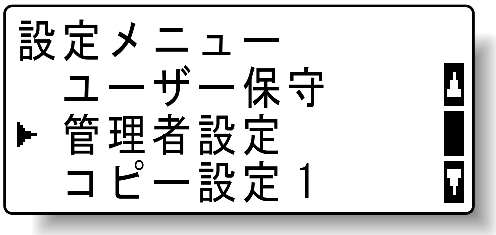
■ 管理者設定を選択する

1 【設定メニュー】を押します。

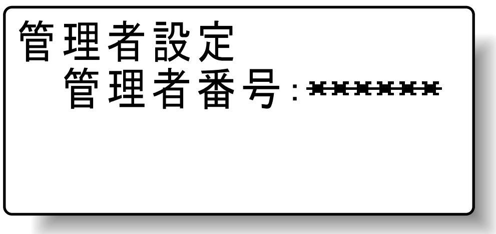


設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「管理者設定」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで管理者番号を入力し【OK】を押します。



管理者設定画面が表示されます。

詳しく説明します

- 数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

4

【▲】【▼】で管理者設定メニューを選択し、【OK】を押します。

❍ 管理者設定メニューは次のとおりです。
管理者番号の変更
オートパワーオフ
部門管理設定
リモートモニタ
ネットワーク設定
メール送信設定
メール受信設定
LDAP 設定
通信設定
ユーザー設定

ひとこと

「ネットワーク設定」「メール送信設定」「メール受信設定」「LDAP 設定」は、オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着している場合に表示されます。

■ 管理者番号を変更する

1 管理者設定を選択します。

```
設定メニュー
  ユーザー保守
▶ 管理者設定
  コピー設定1
```

2 【▲】【▼】で「管理者番号の変更」を選択し、【OK】を押します。

```
管理者設定
▶ 管理者番号の変更
  オートパワーオフ
  部門管理設定
```

3 テンキーで現在の管理者番号を入力し【OK】を押します。

```
管理者番号の変更
  現在の番号:*******
```

4 テンキーで新しい管理者番号を入力し【OK】を押します。

```
管理者番号の変更
  新しい番号:*******
```

参照

「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

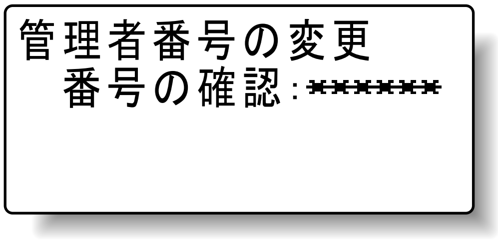
詳しく説明します

数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

9

5

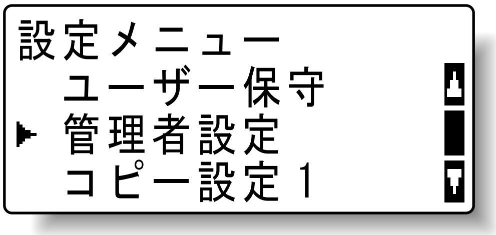
確認のため、再度新しい管理者番号を入力し、【OK】を押します。



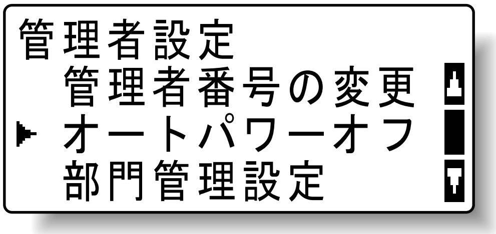
管理者設定メニューに戻ります。

■ オートパワーオフ「しない」を選択できるようにする

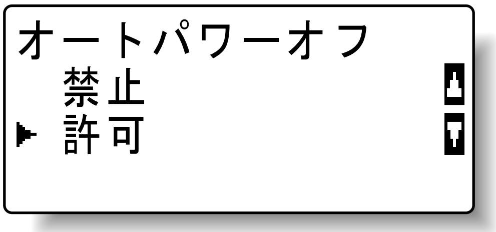
1 管理者設定を選択します。



2 【▲】【▼】で「オートパワーオフ」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「許可」を選択し、【OK】を押します。

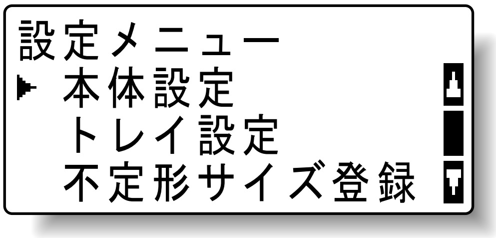


管理者設定メニューに戻ります。

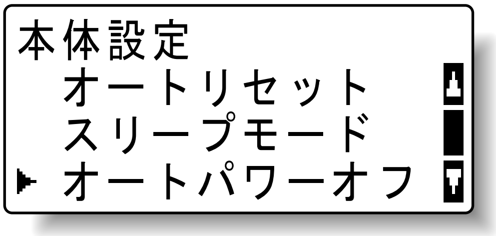
参照

「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

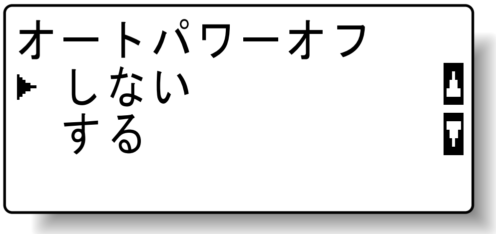
4 設定メニュー画面で本体設定を選択します。



5 【▲】【▼】で「オートパワーオフ」を選択し、【OK】を押します。



6 【▲】【▼】で「しない」を選択し、【OK】を押します。



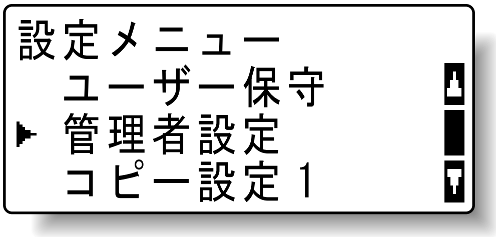
本体設定メニューに戻ります。

参照

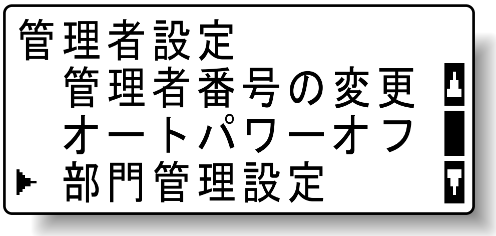
「本体設定メニューを選択する」（p. 9-7）をごらんください。

■ ID（部門）管理の設定をする

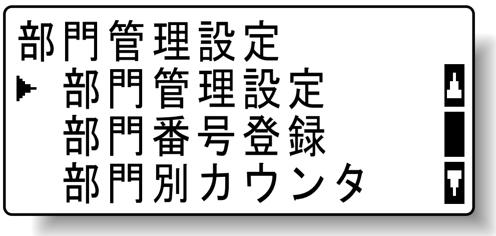
1 管理者設定を選択します。



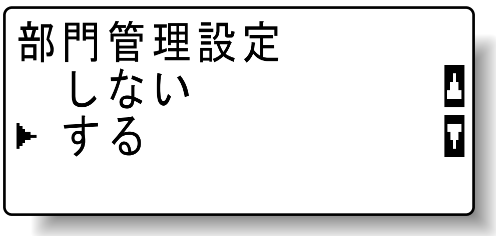
2 【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



部門管理設定画面に戻ります。

参照

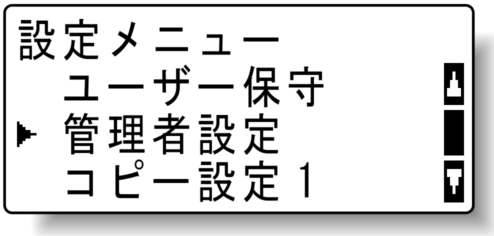
「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

9

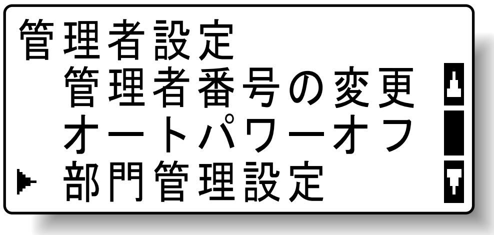
■ ID（部門）を登録する

部門番号を登録します。部門番号は、50 部門まで登録できます

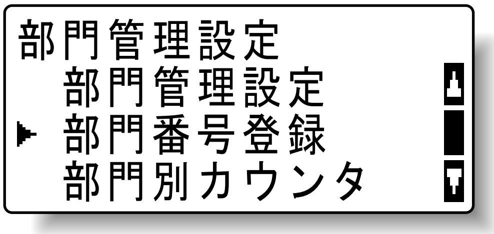
1 管理者設定を選択します。



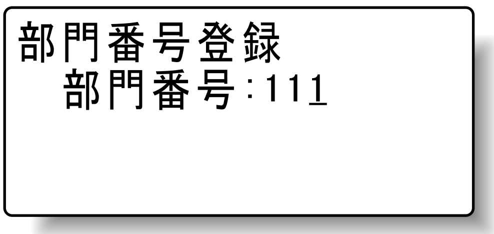
2 【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「部門番号登録」を選択し、【OK】を押します。



4 テンキーで部門番号を入力し、【OK】を押します。



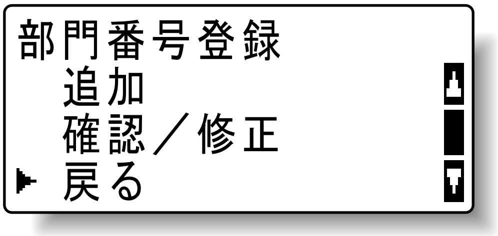
参照

「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

詳しく説明します

- ID（部門）番号は 3 桁（001 ～ 999）で設定します。
- 数値を訂正する場合は、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

5 【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。



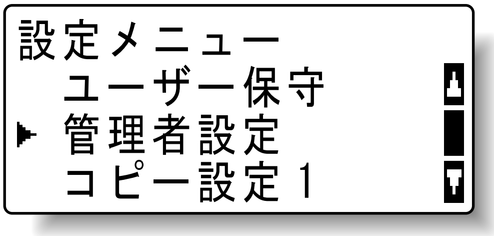
部門管理設定画面に戻ります。

ひとこと

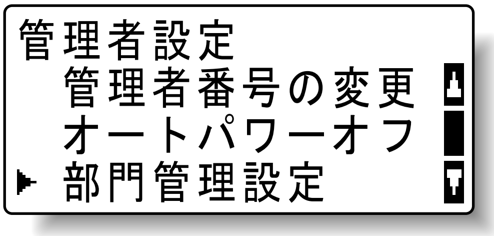
「追加」を選択すると、続けて ID（部門）番号を登録できます。
ID（部門）番号の登録が 50 部門を超えた場合、「50 部門を超えました」のメッセージが表示されます。

■ ID（部門）を変更／削除する

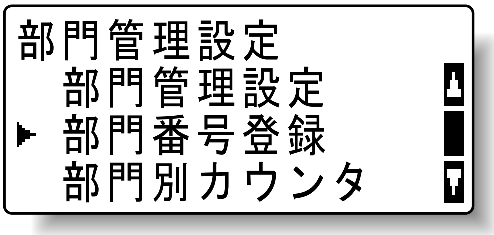
1 管理者設定を選択します。



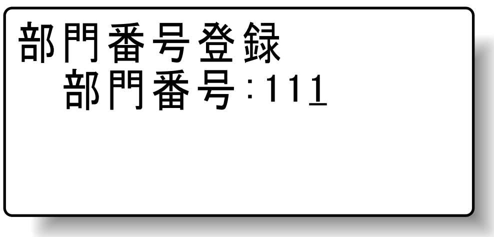
2 【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「部門番号登録」を選択し、【OK】を押します。



4 テンキーで変更または削除する番号を入力し、【OK】を押します。



参照

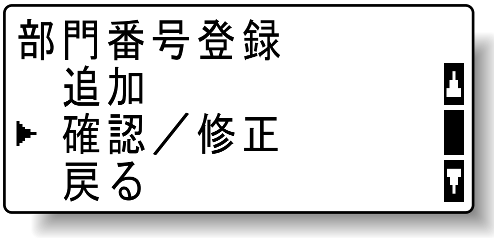
「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

詳しく説明します

- ID（部門）番号は3桁（001～999）で設定します。
- 数値を訂正する場合は、【クリア/ストップ】を押して入力しなおします。

5

【▲】【▼】で「確認／修正」を選択し、【OK】を押します。



6

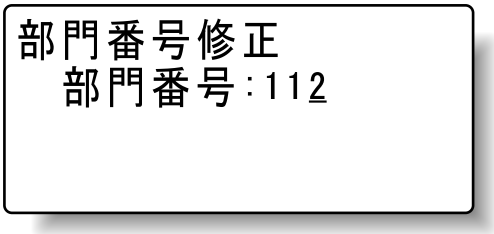
【▲】【▼】で変更または削除する番号を選択します。



- 番号を変更する場合は、【OK】を押し、次の手順に進みます。
- 番号を削除する場合は、【クリア / ストップ】を押し、出てくる画面で「する」を選択します。

7

テンキーで新しい番号を入力し、【OK】を押します。



- 続けて次の番号を変更／削除する場合は、手順 6、7 を繰り返します。

8

すべての変更／削除が終了したら、【戻る】を 3 回押します。

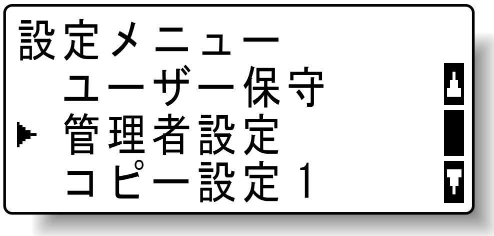
管理者設定メニューに戻ります。

詳しく説明します

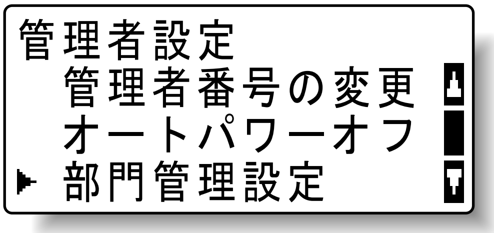
入力した ID（部門）番号が既に登録されている場合は「登録済みです」と表示されます。

■ ID（部門）別カウンタを表示／消去する

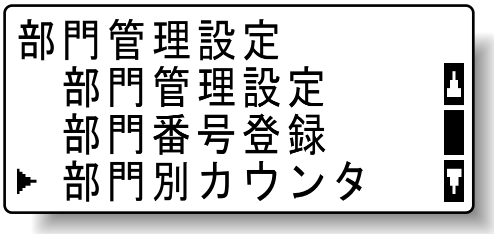
1 管理者設定を選択します。



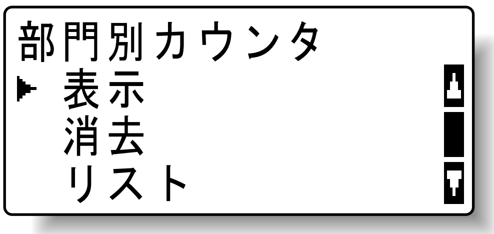
2 【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「部門別カウンタ」を選択し、【OK】を押します。



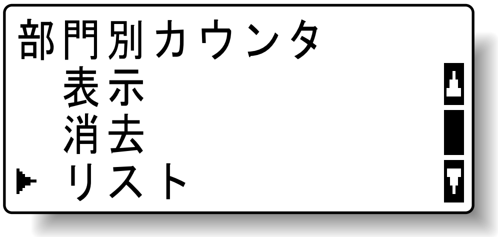
4 【▲】【▼】で「表示」を選択し、【OK】を押します。



参照

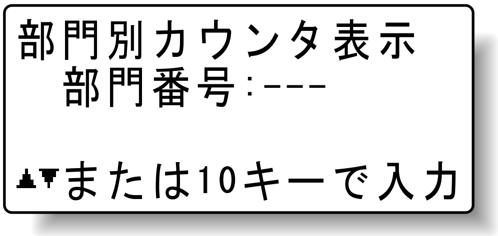
「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

❍「リスト」を選択すると、部門管理リストが印刷されます。



5

【▲】【▼】またはテンキーで表示する部門番号を入力し、【OK】を押します。



選択した ID（部門）のトータルカウンタが表示されます。

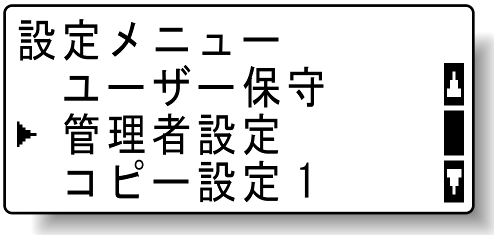
6

表示されているカウンタを消去する場合は、【クリア／ストップ】を押します。

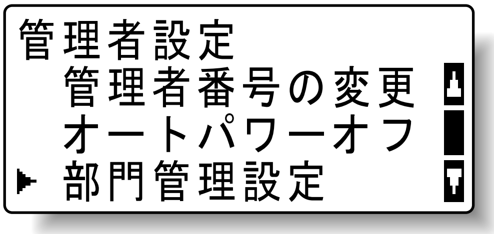
選択した ID（部門）のトータルカウンタが消去されます。

■ ID（部門）別カウンタをすべて消去する

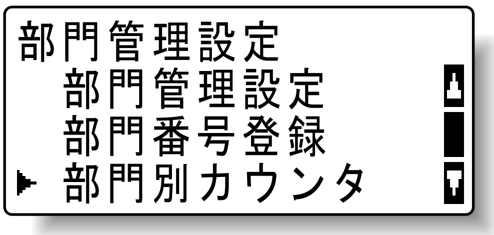
1 管理者設定を選択します。



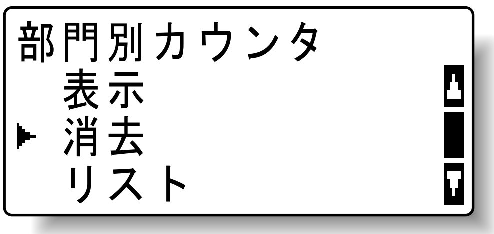
2 【▲】【▼】で「部門管理設定」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「部門別カウンタ」を選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で「消去」を選択し、【OK】を押します。



部門別カウンタ画面に戻ります。

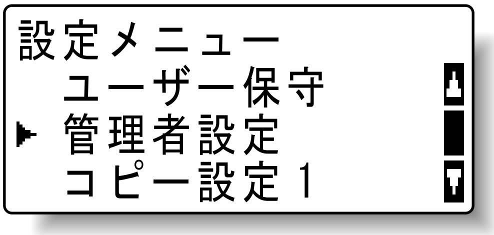
参照

「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

■ リモートモニタの設定をする

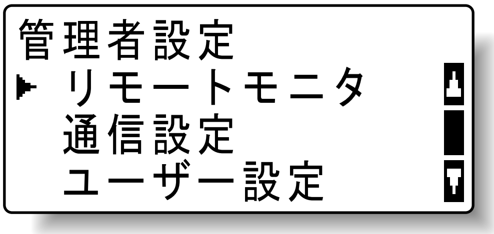
1

管理者設定を選択します。



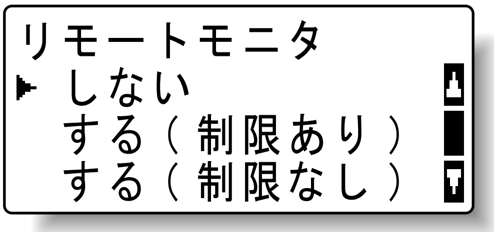
2

【▲】【▼】で「リモートモニタ」を選択し、【OK】を押します。

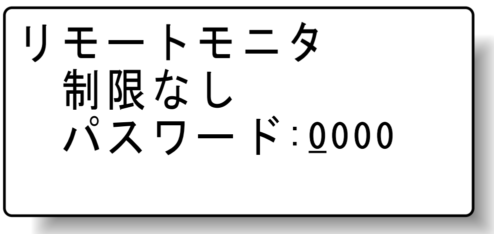


3

【▲】【▼】で「しない」「する（制限あり）」「する（制限なし）」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



❍「する（制限なし）」を選択した場合は、パスワードを入力します。



管理者設定メニューに戻ります。

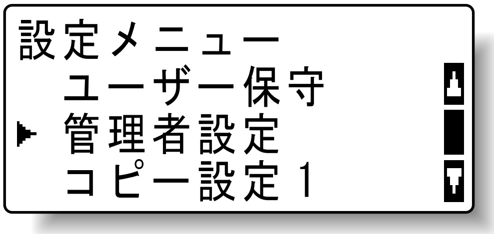
参照

「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

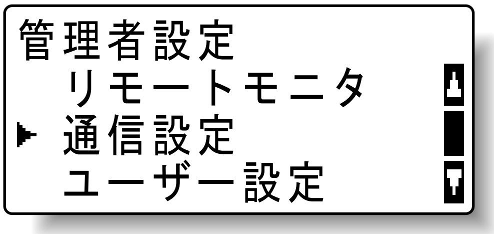
9

■ 通信設定をする（モニタ音量）

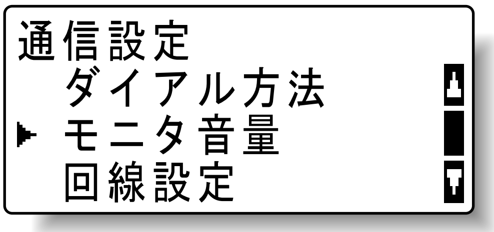
1 管理者設定を選択します。



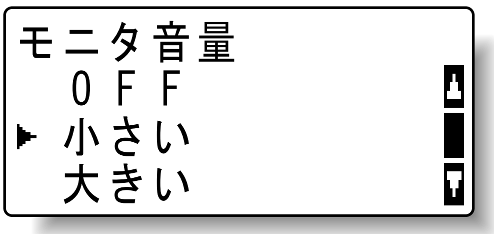
2 【▲】【▼】で「通信設定」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「モニタ音量」を選択し、【OK】を押します



4 【▲】【▼】で「OFF」「小さい」「大きい」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



通信設定画面に戻ります。

参照

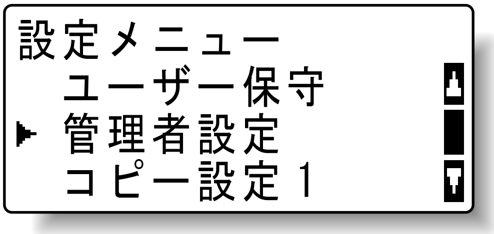
「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

参照

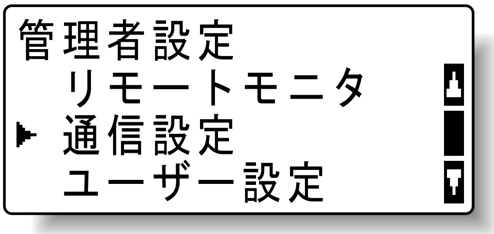
「ダイアル方法」、「回線設定」の設定のしかたについては、「回線種別を設定する」（p. 3-38）、「通信回線を設定する」（p. 3-40）をごらんください。

■ 通信設定をする（TEL/FAX 自動切換）

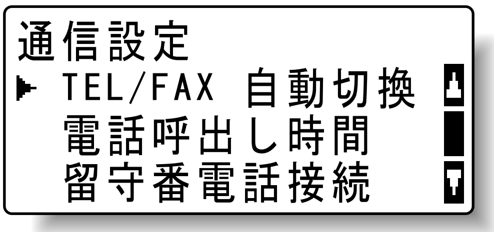
1 管理者設定を選択します。



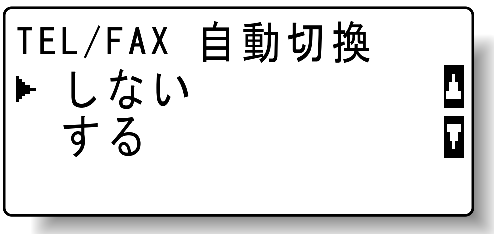
2 【▲】【▼】で「通信設定」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「TEL/FAX 自動切換」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



通信設定画面に戻ります。

参照

「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

9

■ 通信設定をする（電話呼出し時間）

1 管理者設定を選択します。

```
設定メニュー
  ユーザー保守
▶ 管理者設定
  コピー設定1
```

2 【▲】【▼】で「通信設定」を選択し、【OK】を押します。

```
管理者設定
  リモートモニタ
▶ 通信設定
  ユーザー設定
```

3 【▲】【▼】で「電話呼出し時間」を選択し、【OK】を押します。

```
通信設定
  TEL/FAX 自動切換
▶ 電話呼出し時間
  留守番電話接続
```

4 【▲】【▼】で呼出し時間を選択し、【OK】を押します。

```
電話呼出し時間
▶ 5 秒
  10秒
  15秒
```

通信設定画面に戻ります。

参照

「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

詳しく説明します

- 電話呼出し時間は 5 秒～240 秒の間で設定します。
- TEL/FAX 自動切換えが「する」の場合に設定が有効になります。

■ 通信設定をする（留守番電話接続）

1 管理者設定を選択します。

```
設定メニュー
  ユーザー保守
▶ 管理者設定
  コピー設定1
```

2 【▲】【▼】で「通信設定」を選択し、【OK】を押します。

```
管理者設定
  リモートモニタ
▶ 通信設定
  ユーザー設定
```

3 【▲】【▼】で「留守番電話接続」を選択し、【OK】を押します。

```
通信設定
  TEL/FAX 自動切換
  電話呼出し時間
▶ 留守番電話接続
```

4 【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
留守番電話接続
▶ しない
  する
```

通信設定画面に戻ります。

参照

「管理者設定を選択する」（p. 9-35）をごらんください。

9

9.8 コピー設定 1

電源を入れたときまたは「リセット」を押したときの設定を初期モードと呼びます。コピー設定 1、2 では、各種コピー機能の初期モードの設定を変更できます。

＜コピー設定 1 の項目＞

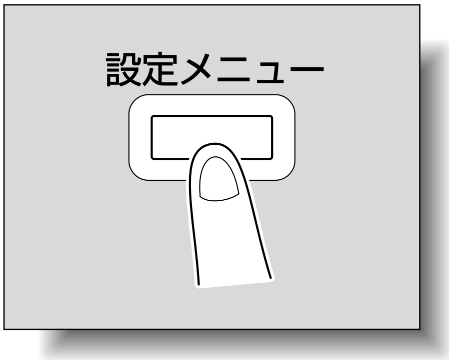
No.	コピー設定 1	内容
1	優先トレイ	自動倍率選択時、優先的に選択されるトレイを設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は「トレイ 1」です。
2	優先画質	電源オン時やリセット時の画質を「文字」、「写真」「文字／写真」の中から設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は「文字／写真」です。
3	優先濃度	電源オン時やリセット時の濃度を「自動設定」「手動設定」から設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は「自動設定」です。
4	優先濃度レベル（自動）	自動濃度モード時の濃度レベル設定を 3 段階で設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は  です。
5	優先濃度レベル（手動）	手動濃度モード時の濃度レベル設定を 9 段階で設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は  です。
6	ブックとじ位置	ブック原稿を読込む場合に、最初に読込むページが左ページ（左とじ）か右ページ（右とじ）かを設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は「左」です。
7	とじ代設定	用紙にとじ代（余白）をつくってコピーするときのとじ代の幅を 0 mm ～ 20 mm の範囲（1 mm 単位）で設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は 10 mm です。
8	枠消し設定	枠／折目消しコピー時、左、上、周囲のイレース幅をそれぞれ 5 mm ～ 20 mm の範囲（1 mm 単位）で設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は、「左」、「上」、「周囲」ともに 10 mm です。
9	小サイズ原稿許可	用紙サイズが自動検出されない小さな原稿をセットした場合にコピー禁止するか許可するかを設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は「禁止」です。

参照

コピー設定 1 は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。

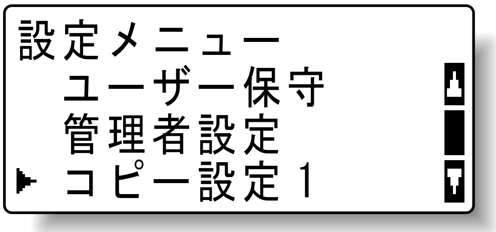
■ コピー設定 1 を選択する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「コピー設定 1」を選択し、【OK】を押します。



コピー設定 1 メニューが表示されます。

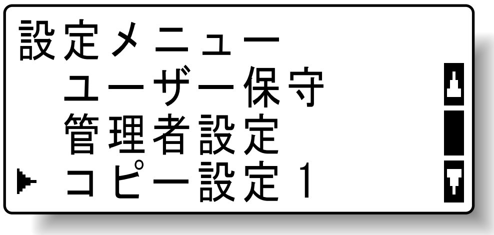
3 【▲】【▼】でコピー設定 1 メニューを選択し、【OK】を押します。

❍ コピー設定 1 メニューは次のとおりです。
優先トレイ
優先画質
優先濃度
優先濃度レベル（自動）
優先濃度レベル（手動）
ブックとじ位置
とじ代設定
枠消し設定
小サイズ原稿許可

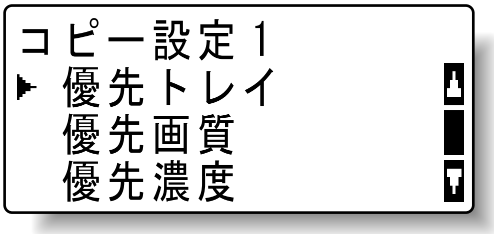
9

■ 優先トレイの設定をする

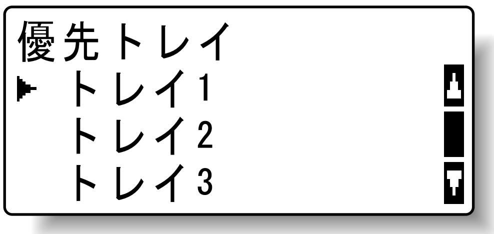
1 コピー設定 1 を選択します。



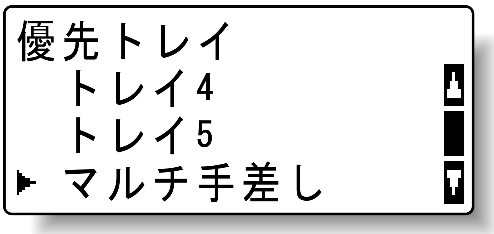
2 【▲】【▼】で「優先トレイ」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で優先して使用されるトレイを選択し、【OK】を押します。



❍マルチ手差しトレイを装着しているときは次の画面が表示されます。



コピー設定 1 メニューに戻ります。

参照

「コピー設定 1 を選択する」(p. 9-55) をごらんください。

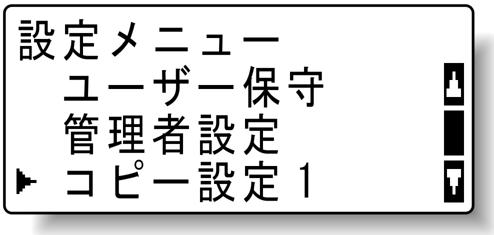
ひとこと

優先用紙に設定したトレイと同じサイズ、種類の用紙をセットしたトレイが複数ある場合に、これらのトレイの用紙をすべて使いきると、優先用紙設定をしていないトレイに用紙を補給するようメッセージが表示されることがあります。そのときは画面の表示にしたがって用紙を補給してください。

■ 優先画質の設定をする

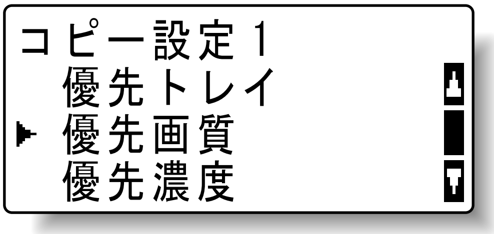
1

コピー設定 1 を選択します。



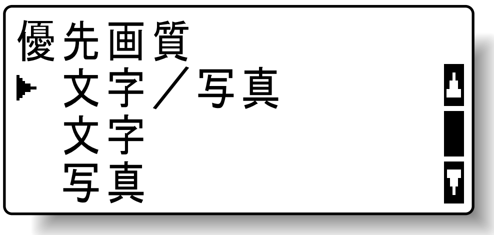
2

【▲】【▼】で「優先画質」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で優先して使用する画質を選択し、【OK】を押します。



コピー設定 1 メニューに戻ります。

参照

「コピー設定 1 を選択する」（p. 9-55）をごらんください。

9

■ 優先濃度の設定をする

1 コピー設定 1 を選択します。

```
設定メニュー
  ユーザー保守
  管理者設定
▶ コピー設定 1
```

2 【▲】【▼】で「優先濃度」を選択し、【OK】を押します。

```
コピー設定 1
  優先トレイ
  優先画質
▶ 優先濃度
```

3 【▲】【▼】で「自動設定」「手動設定」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
優先濃度
  自動設定
▶ 手動設定
```

コピー設定 1 メニューに戻ります。

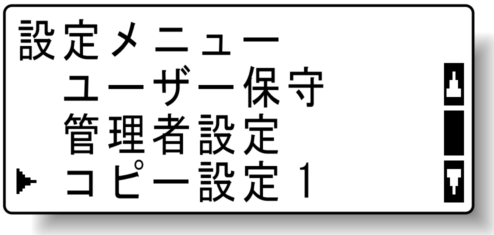
参照

「コピー設定 1 を選択する」(p. 9-55) をごらんください。

■ 優先濃度レベル（自動）の設定をする

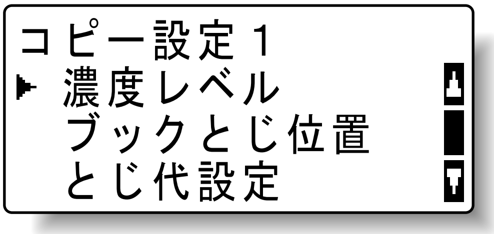
1

コピー設定 1 を選択します。



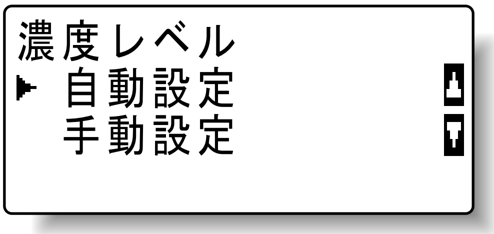
2

【▲】【▼】で「濃度レベル」を選択し、【OK】を押します。



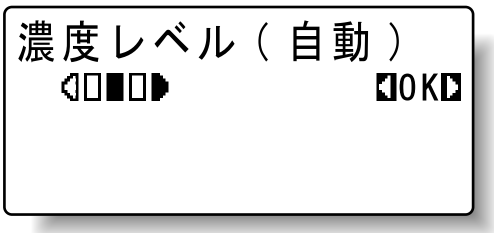
3

【▲】【▼】で「自動設定」を選択し、【OK】を押します。



4

【◀】【▶】で濃度を選択し、【OK】を押します。



コピー設定 1 メニューに戻ります。

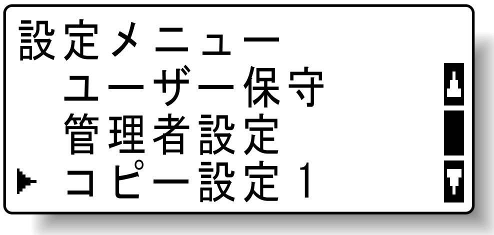
参照

「コピー設定 1 を選択する」（p. 9-55）をごらんください。

■ 優先濃度レベル（手動）の設定をする

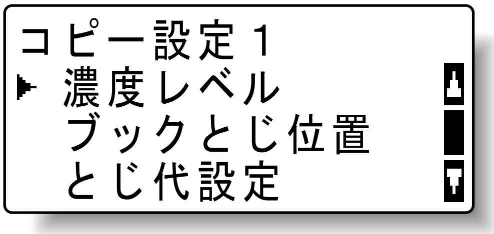
1

コピー設定 1 を選択します。



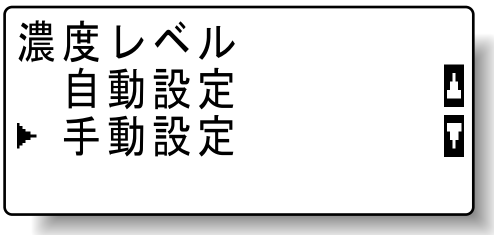
2

【▲】【▼】で「濃度レベル」を選択し、【OK】を押します。



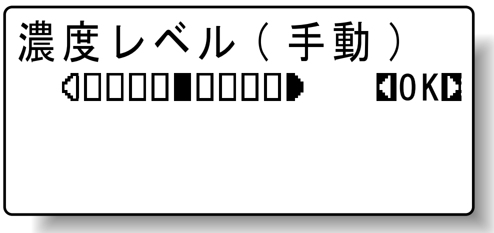
3

【▲】【▼】で「手動設定」を選択し、【OK】を押します。



4

【◀】【▶】で濃度を選択し、【OK】を押します。



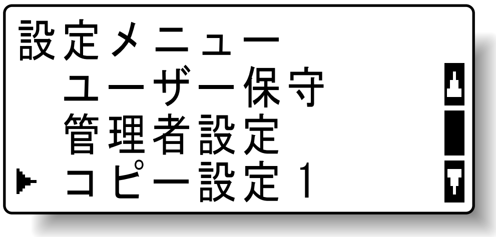
コピー設定 1 メニューに戻ります。

参照

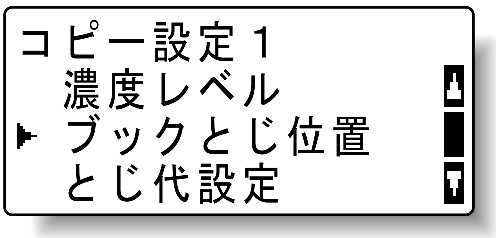
「コピー設定 1 を選択する」（p. 9-55）をごらんください。

■ ブックとじ位置を選択する

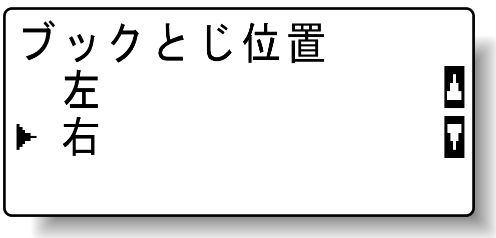
1. コピー設定 1 を選択します。



2. 【▲】【▼】で「ブックとじ位置」を選択し、【OK】を押します。



3. 【▲】【▼】で「左」「右」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



コピー設定 1 メニューに戻ります。

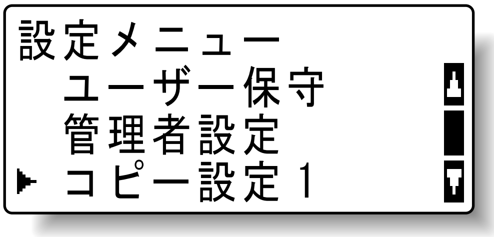
参照

「コピー設定 1 を選択する」（p. 9-55）をごらんください。

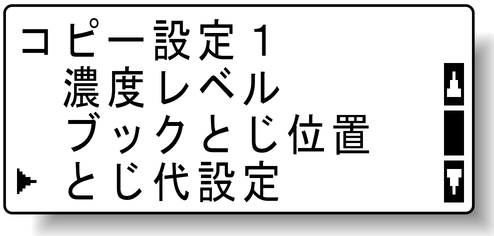
9

■ とじ代幅の調整をする

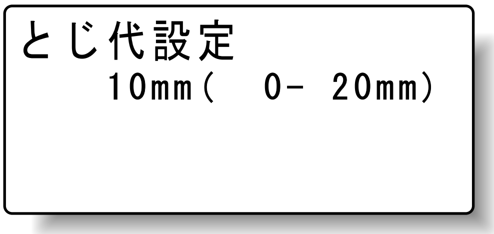
1 コピー設定 1 を選択します。



2 【▲】【▼】で「とじ代設定」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーでとじ代幅を入力し、【OK】を押します。



コピー設定 1 メニューに戻ります。

参照

「コピー設定 1 を選択する」(p. 9-55)をごらんください。

詳しく説明します

- とじ代幅は 0 mm ～ 20 mm の範囲で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、テンキーで入力しなおします。

■ イレース幅の調整をする

1 コピー設定 1 を選択します。

```
設定メニュー
  ユーザー保守
  管理者設定
▶ コピー設定 1
```

2 【▲】【▼】で「枠消し設定」を選択し、【OK】を押します。

```
コピー設定 1
▶ 枠消し設定
  小サイズ原稿許可
  戻る
```

3 【▲】【▼】で「左」「上」「周囲」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
枠消し設定
▶ 左
  上
  周囲
```

4 テンキーでイレース幅を入力し、【OK】を押します。

```
枠消し（左）設定
   10mm(  5- 20mm)
```

コピー設定 1 メニューに戻ります。

参照

「コピー設定 1 を選択する」(p. 9-55) をごらんください。

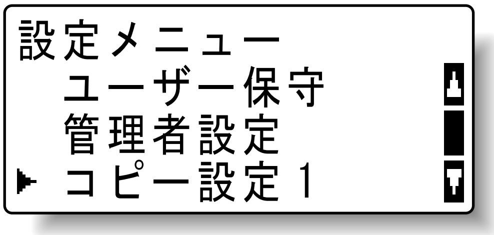
詳しく説明します

- イレース幅は 5 mm ～ 20 mm の範囲で設定します。
- 数値を訂正したい場合は、【クリア / ストップ】を押し、テンキーで入力しなおします。

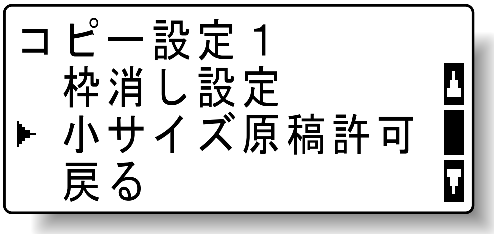
9

■ 小サイズ原稿の設定をする

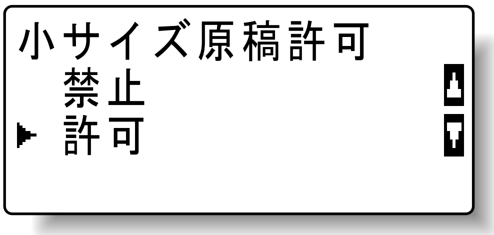
1 コピー設定 1 を選択します。



2 【▲】【▼】で「小サイズ原稿許可」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「許可」「禁止」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



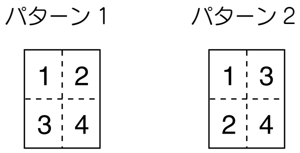
コピー設定 1 メニューに戻ります。

参照

「コピー設定 1 を選択する」(p. 9-55) をごらんください。

9.9　コピー設定 2

<コピー設定 2 の項目>

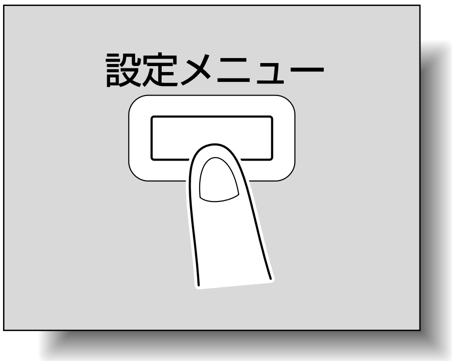
No.	コピー設定 2	内容
1	優先コピーモード	電源オン時やリセット時のコピーモード選択方法を、自動用紙、自動倍率、手動から設定できます。 ・工場出荷時の設定は「自動用紙選択」です。
2	優先仕上り	電源オン時やリセット時に優先される仕上りモードを「ノンソート」「ソート」「グループ」から設定できます。 ・工場出荷時の設定は「ノンソート」です。
3	4in1 ページ順	4in1 モードでのコピー順序を次の 2 つから設定できます。  ・工場出荷時の設定は「パターン 1」です。
4	優先原稿混載	電源オン時やリセット時に混載原稿モードを選択するかどうかを設定できます。 ・工場出荷時の設定は「OFF」です。
5	交互排紙許可	交互排紙の条件が満たされている場合に、交互排紙するかしないかを設定できます。 ・工場出荷時の設定は「する」です。

参照

コピー設定 2 は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。

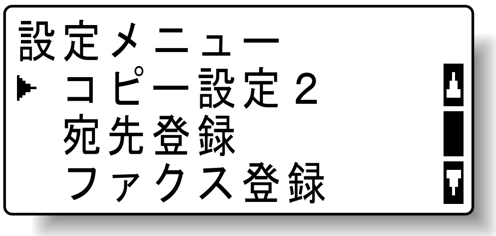
■ コピー設定 2 を選択する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「コピー設定 2」を選択し、【OK】を押します。



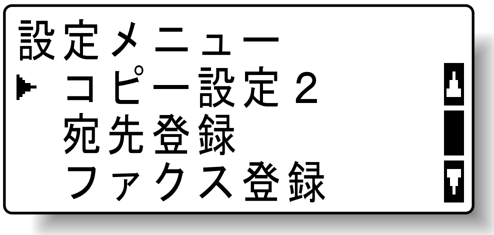
コピー設定 2 メニューが表示されます。

3 【▲】【▼】でコピー設定 2 メニューを選択し、【OK】を押します。

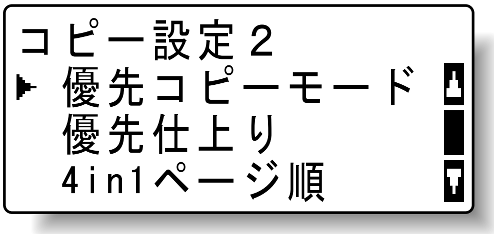
❍ コピー設定 2 メニューは次のとおりです。
優先コピーモード
優先仕上り
4in1 ページ順
優先原稿混載
交互排紙許可

■ 優先コピーモードの設定をする

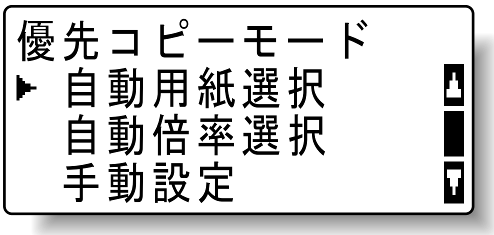
1 コピー設定 2 を選択します。



2 【▲】【▼】で「優先コピーモード」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「自動用紙選択」「自動倍率選択」「手動設定」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



コピー設定 2 メニューに戻ります。

参照

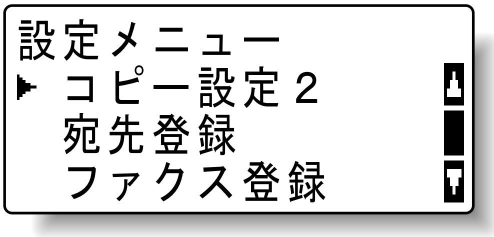
「コピー設定 2 を選択する」（p. 9-66）をごらんください。

9

■ 優先仕上りの設定をする

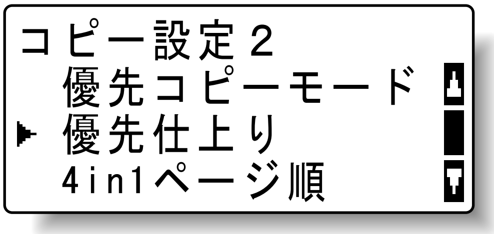
1

コピー設定 2 を選択します。



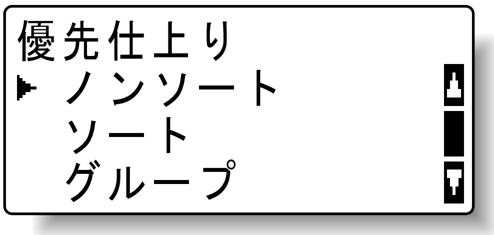
2

【▲】【▼】で「優先仕上り」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「ノンソート」「ソート」「グループ」を選択し、【OK】を押します。



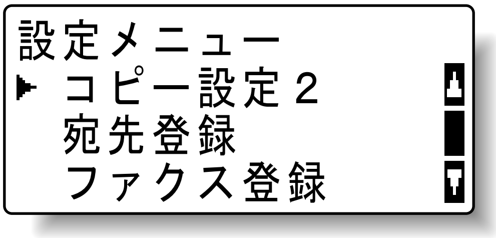
コピー設定 2 メニューに戻ります。

参照

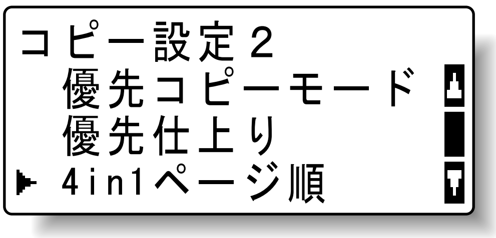
「コピー設定 2 を選択する」(p. 9-66)をごらんください。

■ 4in1 ページ順の設定をする

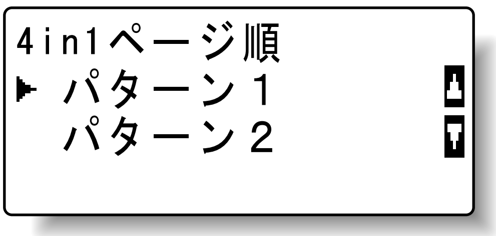
1 コピー設定 2 を選択します。



2 【▲】【▼】で「4in1 ページ順」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「パターン 1」「パターン 2」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

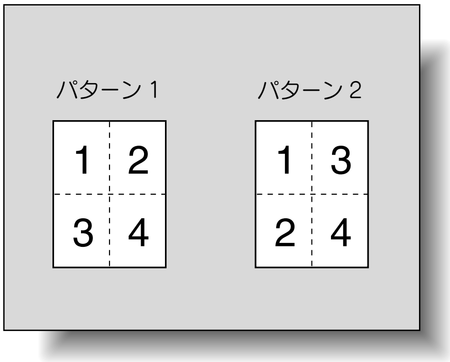


参照

「コピー設定 2 を選択する」（p. 9-66）をごらんください。

9

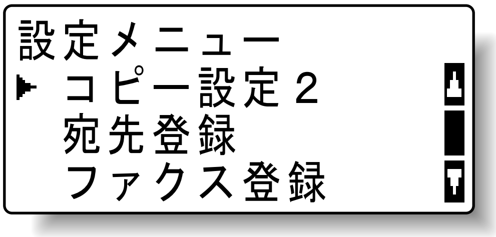
パターン 1、パターン 2 のページの並びは、それぞれ次の通りです。



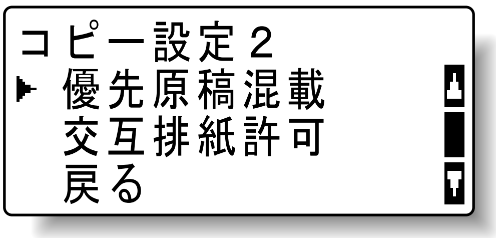
コピー設定 2 メニューに戻ります。

■ 優先原稿混載の設定をする

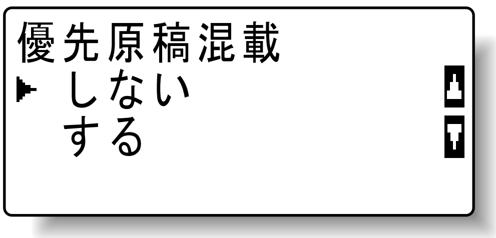
1 コピー設定 2 を選択します。



2 【▲】【▼】で「優先原稿混載」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



コピー設定 2 メニューに戻ります。

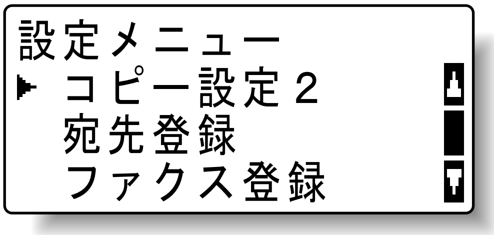
参照

「コピー設定 2 を選択する」(p. 9-66)をごらんください。

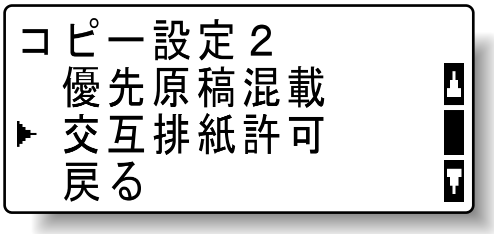
9

■ 交互排紙の設定をする

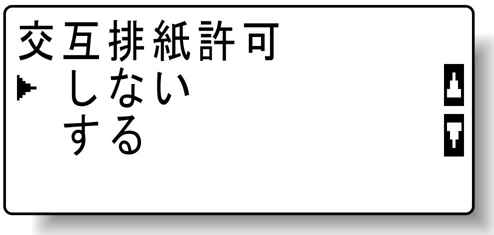
1 コピー設定 2 を選択します。



2 【▲】【▼】で「交互排紙許可」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



コピー設定 2 メニューに戻ります。

参照

「コピー設定 2 を選択する」(p. 9-66) をごらんください。

第 10 章
設定メニュー／ファクス設定

設定メニューで設定ができるファクス機能の項目について説明します。

10.1 設定メニュー

設定メニューには、13 の項目があります。

本章では、No.8 ～ 12 の項目について説明します。No.1 ～ 7 の項目については「第 9 章 設定メニュー／コピー設定」をごらんください。

No.	名称	説明	参照ページ
1	本体設定	本機の動作環境に関する設定を行います。	p. 9-5
2	トレイ設定	第 1 トレイにセットされている用紙のサイズと種類を指定します。また、トレイごとに自動トレイ切替えの設定を行うことができます。	p. 9-22
3	不定形サイズ登録	不定形サイズを 2 種類まで登録します。	p. 9-28
4	ユーザー保守	機能低下を防ぐための保守動作を実行します。	p. 9-30
5	管理者設定	管理者が部門ごとに管理するための設定やリモートモニタの設定を行います。	p. 9-33
6	コピー設定 1	各コピー機能の初期設定を指定します。	p. 9-54
7	コピー設定 2		p. 9-65
8	宛先登録	ワンタッチ、短縮、グループの宛先を登録します。	p. 10-3
9	ファクス登録	各ファクス機能の初期設定を指定します。	p. 10-36
10	ファクス送信設定	送信操作の初期設定を指定します。	p. 10-47
11	ファクス受信設定	受信操作の初期設定を指定します。	p. 10-53
12	レポート設定	各レポート機能の初期設定を指定します。	p. 10-70
13	スキャナ設定	オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が装着されている場合のみ設定できます。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。	―

詳しく説明します

オプションの装着状態によって、設定できない項目があります。設定できない項目を選択すると、エラーメッセージが表示されます。

参照

- No.3、4、9 以外の項目は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。
- オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が装着されている場合は、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。設定できるのは、No.8、10 ～ 12 の項目です。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

10.2 宛先登録

宛先登録では、ワンタッチ、短縮、グループ、プログラムに相手先や各種設定を登録、変更できます。

＜宛先登録の項目＞

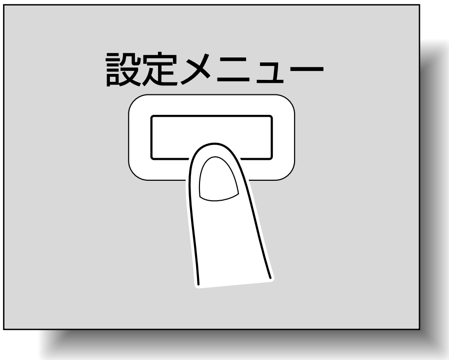
No.	宛先登録	内容
1	ワンタッチ	ワンタッチダイアルキーに相手先を登録しておくと、テンキーで電話番号を指定しなくても簡単かつ正確に相手先を指定できます。32 局まで登録できます。頻繁に送信する相手先を登録しておくと便利です。
2	短縮	短縮ダイアルに相手先を登録しておくと、テンキーで電話番号を指定しなくても簡単かつ正確に相手先を指定できます。 240 局まで登録できます。
3	グループ	ひとつのワンタッチダイアルキーに最大 50 局をグループとして登録できます。同じ原稿を複数の決まった相手先に頻繁に送信する場合にグループダイアルを登録しておくと便利です。
4	プログラム	ワンタッチダイアルキーに相手先の番号と、送受信機能（時刻指定送信やポーリング受信など）を登録しておくと、ワンタッチダイアルキーを押すだけでその機能を実行できます。

参照

- No.4 以外の宛先登録は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。
- オプションのネットワークカード NC-503 またはイメージコントローラ IC-206 を装着している場合は、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。設定できるのは、No.4 以外の項目です。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

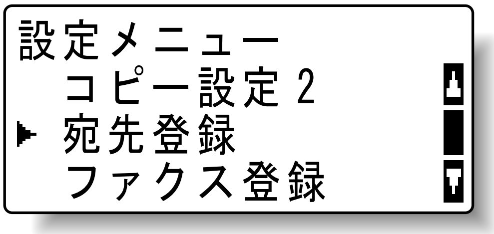
■ 宛先登録を選択する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「宛先登録」を選択し、【OK】を押します。



宛先登録メニューが表示されます。

3 【▲】【▼】で宛先登録メニューを選択し、【OK】を押します。

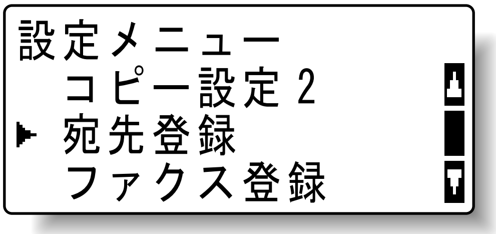
❍ 宛先登録メニューは次のとおりです。
ワンタッチ
短縮
グループ
プログラム

■ ワンタッチダイアルを登録する

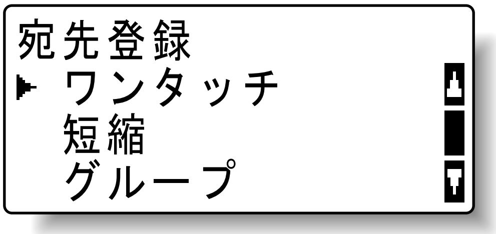
ワンタッチダイアルキーに相手先を登録しておくと、テンキーでファクス番号を入力しなくても簡単かつ正確に相手先を指定できます。

相手先は 32 局まで登録できます。

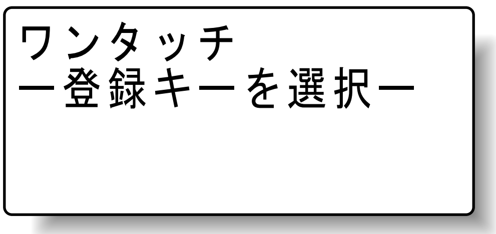
1 宛先登録を選択します。



2 【▲】【▼】で「ワンタッチ」を選択し、【OK】を押します。



3 登録したいワンタッチダイアルキーを押します。



詳しく説明します

ワンタッチダイアルキーに登録した内容のリストをプリントできます。詳しくは、「レポート／リストの出力」（p. 6-31）をごらんください。

参照

「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

10

4 テンキーで相手先名を入力し、【OK】を押します。



参照

文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」（p. 3-26）をごらんください。

詳しく説明します

相手先名は 20 字まで入力できます。

ひとこと

LSD または PSWC からは、漢字など全角文字を入力できます。PSWC は、オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着する必要があります。LSD については「LSD について」（p. 13-14）を、PSWC については各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

5 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

```
ワンタッチ 01
  相手先
 :0123456          [1…]
送信設定変更=▼
```

- ❍ F コード送信、通信速度、送信時刻の設定を行わない場合は、手順 8 に進みます。
- ❍ F コード送信、通信速度、送信時刻の設定を行う場合は、【▼】を押し、次の手順に進みます。

詳しく説明します

ファクス番号は 30 桁まで入力できます。

参照

- ・文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」(p. 3-26) をごらんください。
- ・F コード（SUB アドレス、パスワード）については「F コード」(p. 7-2) をごらんください。

ひとこと

オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着している場合、相手先に E メールアドレスを入力できます。
相手先に E メールアドレスを入力して【▼】を押すと、「基本／拡張」の設定ができます。「基本／拡張」については、「基本／拡張の設定をする」(p. 8-11) をごらんください。

6 【▲】【▼】で設定したい項目を選択し、【OK】を押します。

```
ワンタッチ 01
▶ Fコード送信設定
  通信速度設定
  送信時刻設定
```

詳しく説明します

SUB アドレス、パスワードはそれぞれ 20 桁まで入力できます。

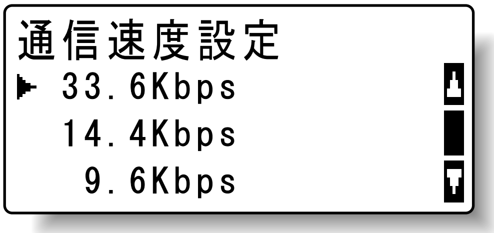
- ❍「F コード送信設定」を選択した場合 :SUB アドレス、パスワードを入力します。

```
SUB アドレス
 :5555
パスワード
 :000_
```

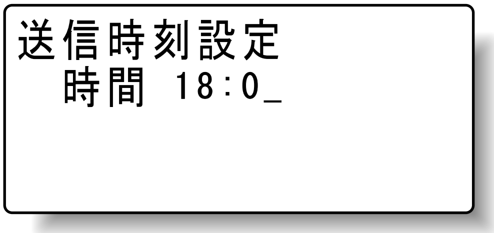
詳しく説明します

SUB アドレス、パスワードはそれぞれ 20 桁まで入力できます。

❍「通信速度設定」を選択した場合：【▲】【▼】で「33.6Kbyte」「14.4Kbyte」「9.6Kbyte」いずれかを選択します。



❍「送信時刻設定」を選択した場合：テンキーで送信時刻を入力します。



❍ すべての必要な設定が終わるまで、この手順をくり返します。

7 【戻る】を押します。

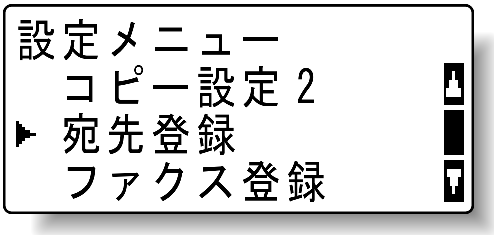
ファクス番号を入力する画面に戻ります。

8 【OK】を押します。

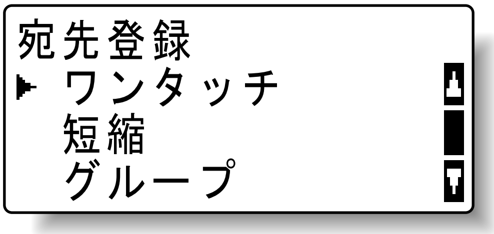
設定が登録され、宛先登録メニューに戻ります。

■ ワンタッチダイアルを変更／削除する

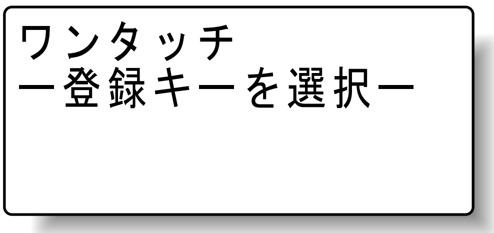
1 宛先登録を選択します。



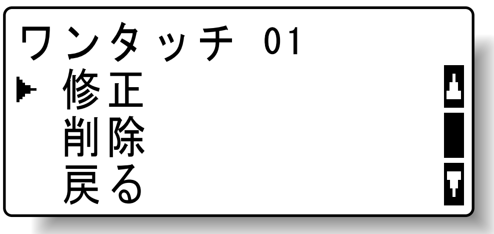
2 【▲】【▼】で「ワンタッチ」を選択し、【OK】を押します。



3 変更または削除したいワンタッチダイアルキーを押します。



4 【▲】【▼】で「修正」「削除」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



参照

「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

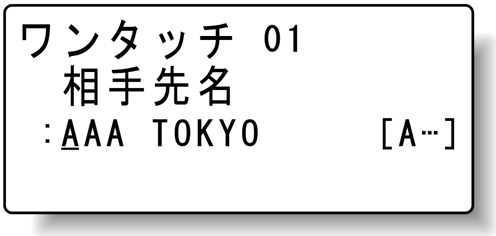
10

「修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

「削除」を選択した場合は、ワンタッチダイアルキーの登録内容が削除され、宛先登録メニューに戻ります。

5

相手先名、ファクス番号、F コード（SUB、パスワード）、通信速度を変更します。



すべての設定が終わると、宛先登録メニューに戻ります。

参照

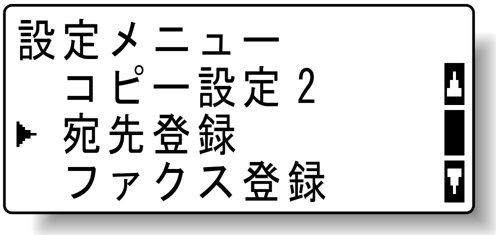
各設定の変更のしかたについては、「ワンタッチダイアルを登録する」（p. 10-5）の手順 4 〜 6 をごらんください。

■ 短縮ダイアルを登録する

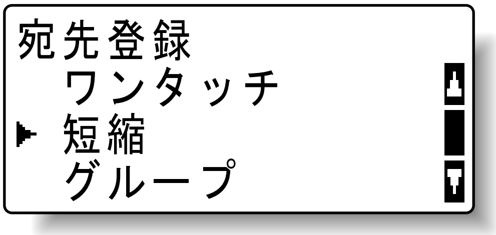
短縮ダイアルに相手先を登録しておくと、テンキーでファクス番号を入力しなくても簡単かつ正確に相手先を指定できます。

相手先は 240 局（001 ～ 240）まで登録できます。

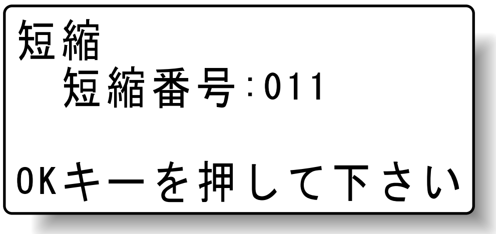
1 宛先登録を選択します。



2 【▲】【▼】で「短縮」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで登録したい短縮番号 3 桁入力し、【OK】を押します。



参照

「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

4 テンキーで相手先名を入力し、【OK】を押します。



参照

文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」（p. 3-26）をごらんください。

詳しく説明します

相手先名は 20 字まで入力できます。

ひとこと

LSD または PSWC からは、漢字など全角文字を入力できます。PSWC は、オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着する必要があります。LSD については「LSD について」（p. 13-14）を、PSWC については各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

5 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

```
短縮 011
  相手先
 :0123456_        [1…]
送信設定変更=▼
```

❍ F コード送信、通信速度の設定を行わない場合は、手順 8 に進みます。

❍ F コード送信、通信速度の設定を行う場合は、【▼】を押し、次の手順に進みます。

6 【▲】【▼】で設定したい項目を選択し、【OK】を押します。

```
短縮 011
▶ Fコード送信設定
  通信速度設定
  戻る
```

❍「F コード送信設定」を選択した場合 :SUB アドレス、パスワードを入力し【OK】を押します。

```
SUB アドレス
 :5555
パスワード
 :000_
```

詳しく説明します

ファクス番号は 30 桁まで入力できます。

参照

・文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」（p. 3-26）をごらんください。

・F コード（SUB アドレス、パスワード）については「F コード」（p. 7-2）をごらんください。

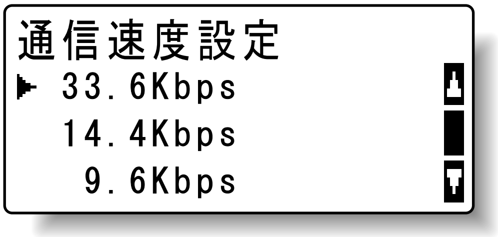
ひとこと

オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着している場合、相手先に E メールアドレスを入力できます。
相手先に E メールアドレスを入力して【▼】を押すと、「基本／拡張」の設定ができます。「基本／拡張」については、「基本／拡張の設定をする」（p. 8-11）をごらんください。

詳しく説明します

SUB アドレス、パスワードは 20 桁まで入力できます。

❍「通信速度設定」を選択した場合：【▲】【▼】で「33.6Kbyte」「14.4Kbyte」「9.6Kbyte」いずれかを選択し、【OK】を押します。



❍ すべての必要な設定が終わるまで、この手順をくり返します。

7 【戻る】を押します。

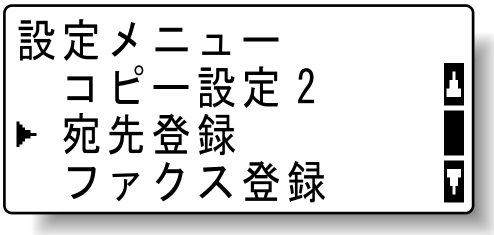
ファクス番号を入力する画面に戻ります。

8 【OK】を押します。

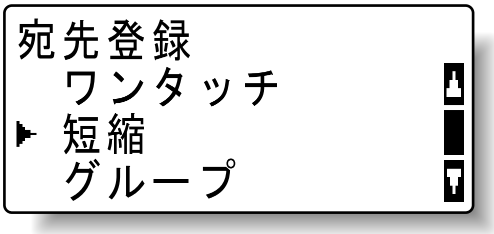
設定が登録され、宛先登録メニューに戻ります。

■ 短縮ダイアルを変更／削除する

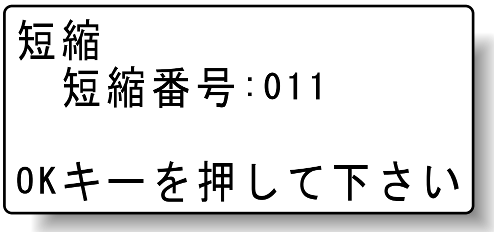
1 宛先登録を選択します。



2 【▲】【▼】で「短縮」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで変更または削除したい短縮番号 3 桁を入力し、【OK】を押します。



4 【▲】【▼】で「修正」「削除」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



「修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

参照

「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

10

「削除」を選択した場合は、ワンタッチダイアルキーの登録内容が削除され、宛先登録メニューに戻ります。

5

相手先名、ファクス番号、F コード（SUB、パスワード）、通信速度を変更します。



すべての設定が終わると、宛先登録メニューに戻ります。

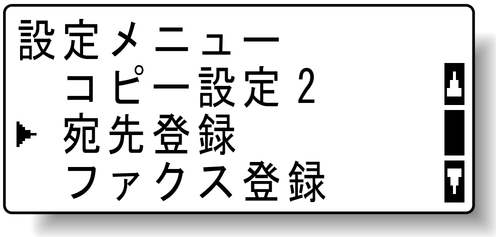
参照

各設定の変更のしかたについては、「ワンタッチダイアルを登録する」（p. 10-5）の手順 4 ～ 6 をごらんください。

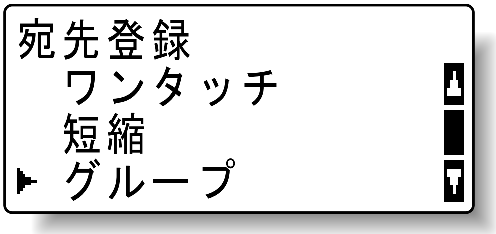
■ グループダイアルを登録する

ひとつのワンタッチダイアルキーに最大 50 局をグループとして登録できます。同じ原稿を複数の決まった相手先に頻繁に送信する場合にグループダイアルを登録しておくと便利です。

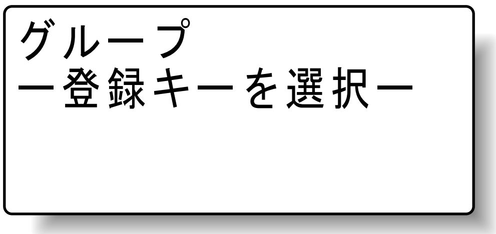
1 宛先登録を選択します。



2 【▲】【▼】で「グループ」を選択し、【OK】を押します。



3 登録したいワンタッチダイアルキーを押します。



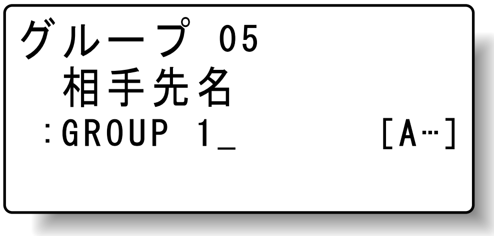
参照

「宛先登録を選択する」(p. 10-4)をごらんください。

10

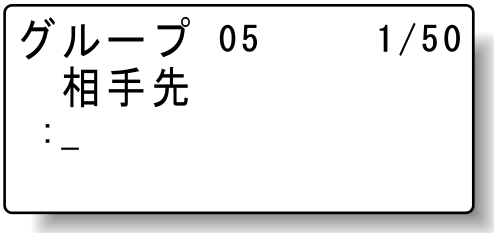
4

テンキーでグループ名を入力し、【OK】を押します。



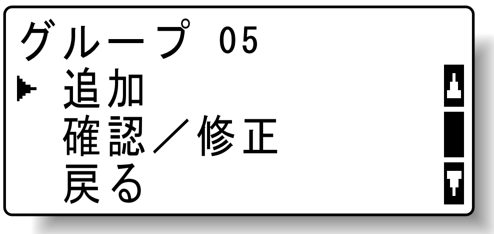
5

ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアルで相手先を指定し、【OK】を押します。



6

【▲】【▼】で「追加」を選択し、【OK】を押します。



❍ 手順 5 に戻り、次の相手先を指定します。

参照

文字列の入力方法については「文字の入力のしかた」（p. 3-26）をごらんください。

詳しく説明します

グループ名には 20 字まで入力できます。

ひとこと

LSD または PSWC からは、漢字など全角文字を入力できます。PSWC は、オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 を装着する必要があります。LSD については「LSD について」（p. 13-14）を、PSWC については各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

詳しく説明します

現在表示されている指定について取り消したいときは、【クリア / ストップ】を押して指定しなおしてください。

詳しく説明します

- ひとつのグループダイアルにつき 50 局まで登録できます。
- グループダイアルの中に、グループダイアルとして登録されているワンタッチダイアルキーを指定できます。その場合、指定したワンタッチダイアルキー（グループダイアル）中に登録されている局数が追加されます。

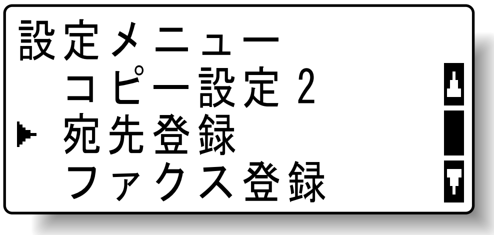
❍ すべての相手先の指定が終わるまで、手順 5 〜 6 を繰り返します。

7 相手先の指定が終了したら「戻る」を選択し、【OK】を押します。

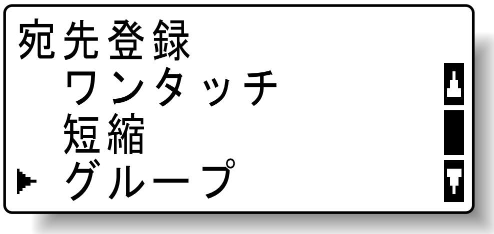
設定内容が登録され、宛先登録メニューに戻ります。

■ グループダイアルを変更／削除する

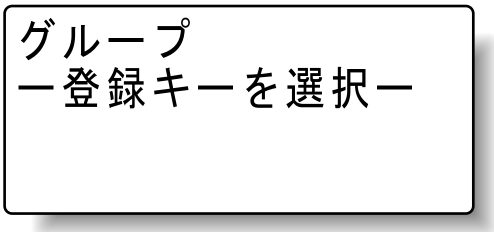
1 宛先登録を選択します。



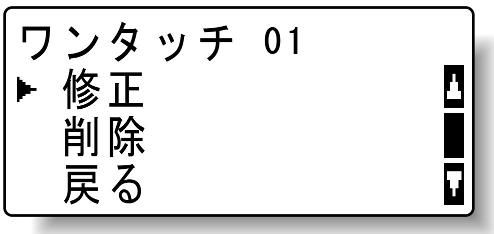
2 【▲】【▼】で「グループ」を選択し、【OK】を押します。



3 変更または削除したいワンタッチダイアルキーを押します。



4 【▲】【▼】で「修正」「削除」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



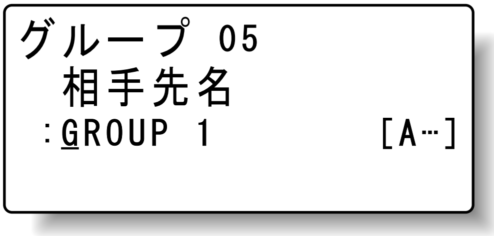
参照

「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

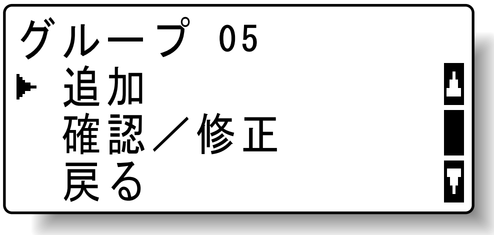
「修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

「削除」を選択した場合は、グループダイアルの登録内容が削除され、宛先登録メニューに戻ります。

5 テンキーでグループ名を入力し、【OK】を押します。

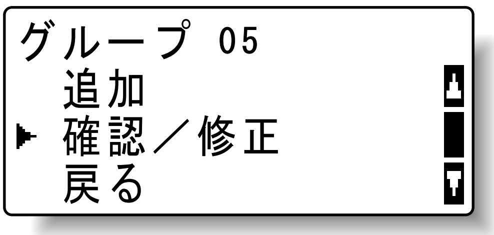


6 相手先を追加する場合は、「追加」を選択し、【OK】を押します。



- 表示される画面で、ワンタッチダイアルキー、または短縮ダイアルキーで相手先を指定します。

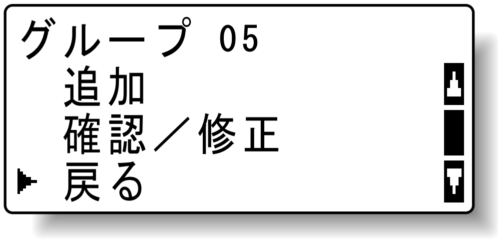
7 相手先を確認／削除する場合は、「確認／修正」を選択し、【OK】を押します。



- 表示される画面で、現在登録されている相手先を確認します。
- 【OK】を押すと、選択されている相手先の詳細情報が表示されます。

❍ 相手先を削除する場合は、相手先を確認する画面、または詳細情報が表示される画面で【クリア / ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択します。

8 すべての変更が終わったら、【戻る】を押します。



宛先登録メニューに戻ります。

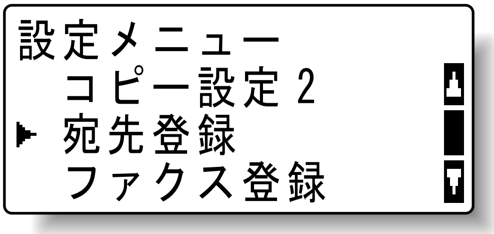
■ プログラムダイアルを登録する

ワンタッチダイアルキーに相手先の番号と、送受信機能を登録しておくと、ワンタッチダイアルキーを押すだけでその機能を実行できます。

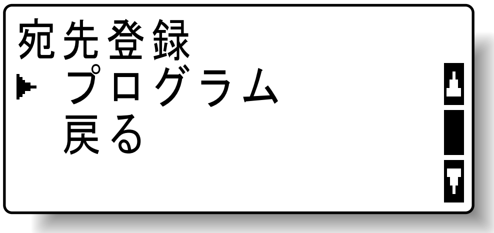
＜登録できる送受信機能＞

- 順次同報送信
- 時刻指定送信
- 親展送信
- ポーリング受信
- 中継指示送信

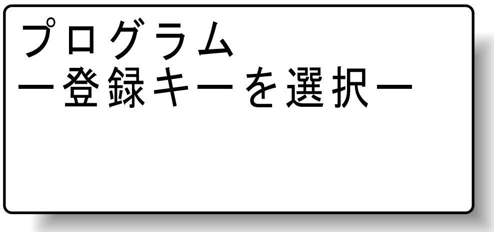
1 宛先登録を選択します。



2 【▲】【▼】で「プログラム」を選択し、【OK】を押します。



3 ワンタッチダイアルキー【29】～【32】の中から登録したいキーを押します。

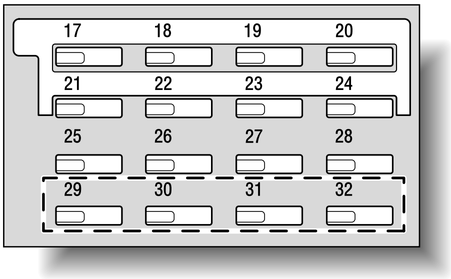


参照

「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

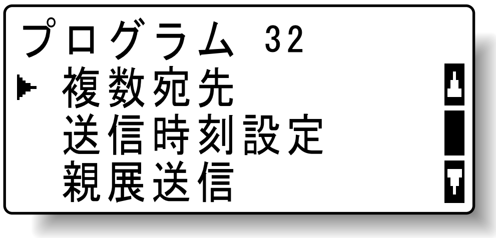
10

❍ 青色で表示されている【29】～【32】は、切替え板を上に開いたときに選択できます。



4

【▲】【▼】で設定したい機能を選択し、【OK】を押します。



5

各機能の設定手順にしたがって操作します。

❍「複数の宛先を指定する（順次同報送信）」（p. 6-20）

❍「時刻を指定して送信する」（p. 6-35）

❍「親展送信」（p. 7-7）

❍「中継指示送信」（p. 7-17）

❍「ポーリング受信」（p. 7-15）

設定内容が登録されます。

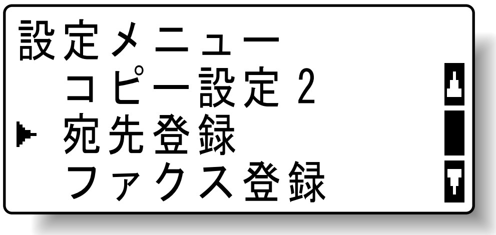
6

【▲】【▼】で「戻る」を選択し、【OK】を押します。

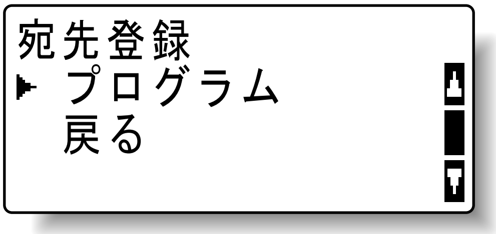
設定内容が登録され、宛先登録メニューに戻ります。

■ 順次同報送信プログラムを変更／削除する

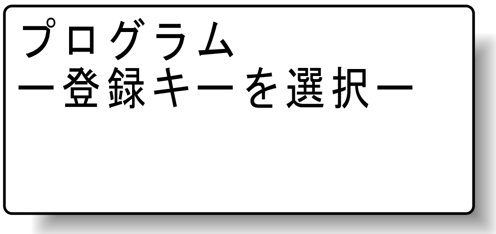
1. 宛先登録を選択します。



2. 【▲】【▼】で「プログラム」を選択し、【OK】を押します。



3. 変更または削除したい順次同報送信プログラムが登録されている、ワンタッチダイアルキーを押します。



4. 【▲】【▼】で「修正」「削除」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



参照

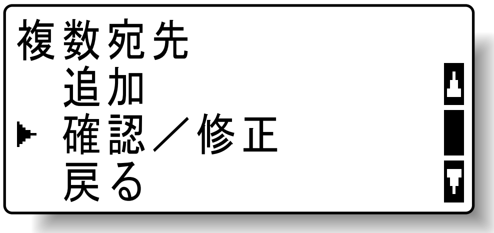
「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

「修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

「削除」を選択した場合は、プログラムダイアルの登録内容が削除され、宛先登録メニューに戻ります。

5

【▲】【▼】で「追加」「確認／修正」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



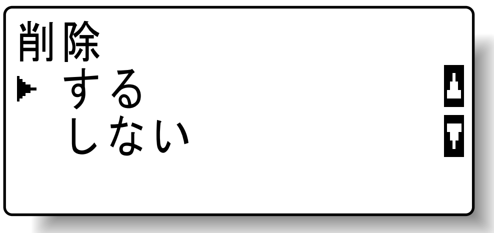
- 「追加」を選択した場合は、相手先を入力します。
- 「確認／修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

6

【▲】【▼】で確認する相手先を選択し、【OK】を押します。



- 表示されている相手先を削除する場合は、【クリア／ストップ】を押し、表示される画面で「する」を選択します。



- 相手先の確認／修正が終わるまで、この手順の作業を繰り返します。

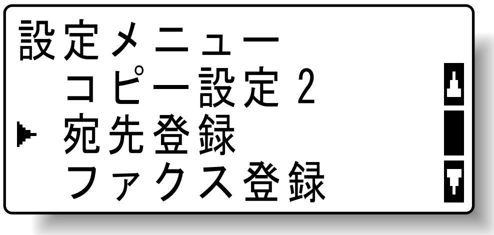
7 【戻る】を押し、表示される画面で「戻る」を選択します。



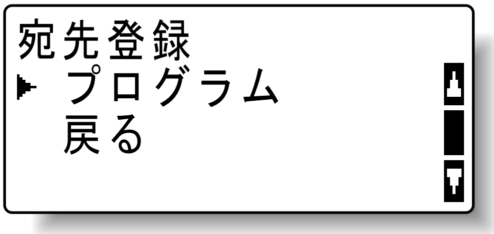
設定が登録され、宛先登録メニューに戻ります。

■ 時刻指定送信プログラムを変更／削除する

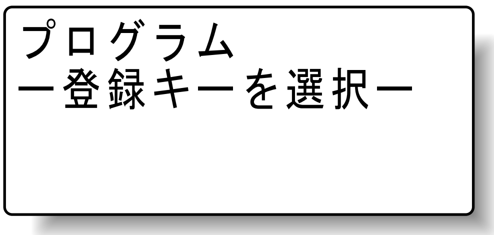
1 宛先登録を選択します。



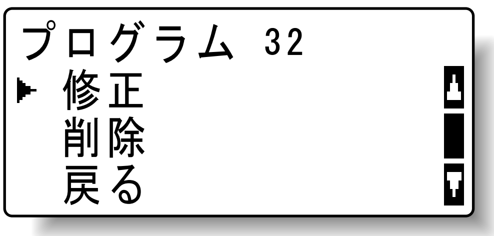
2 【▲】【▼】で「プログラム」を選択し、【OK】を押します。



3 変更または削除したい時刻指定送信プログラムが登録されている、ワンタッチダイアルキーを押します。



4 【▲】【▼】で「修正」「削除」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



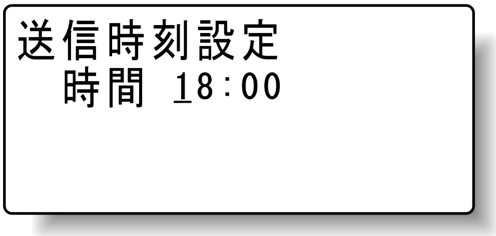
参照

「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

「修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

「削除」を選択した場合は、プログラムダイアルの登録内容が削除され、宛先登録メニューに戻ります。

5 テンキーで送信時刻を入力し、【OK】を押します。

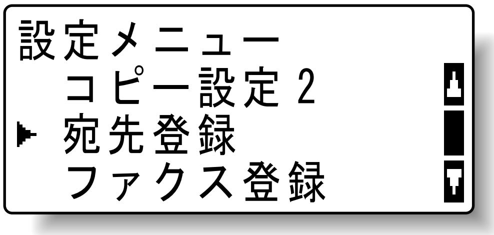


6 必要に応じて相手先の設定を変更し、【OK】を押します。

設定が登録され、宛先登録メニューに戻ります。

■ 親展送信プログラムを変更／削除する

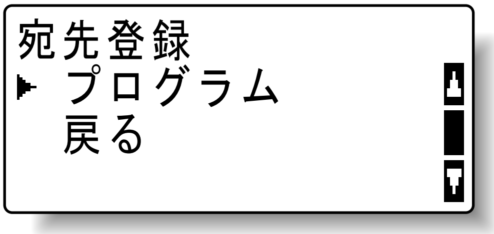
1 宛先登録を選択します。



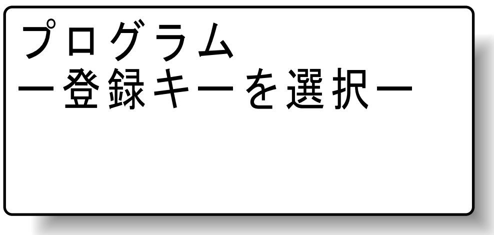
参照

「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

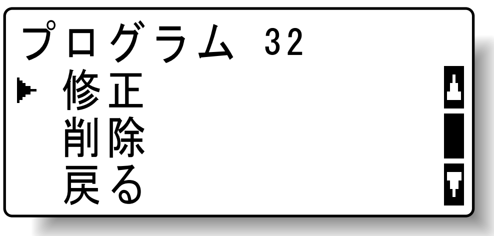
2 【▲】【▼】で「プログラム」を選択し、【OK】を押します。



3 変更または削除したい親展送信プログラムが登録されているワンタッチダイアルキーを押します。



4 【▲】【▼】で「修正」「削除」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



「修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

「削除」を選択した場合は、プログラムダイアルの登録内容が削除され、宛先登録メニューに戻ります。

5 必要に応じて、ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアル、ダイアル入力のいずれかで相手先を指定し、【OK】を押します。

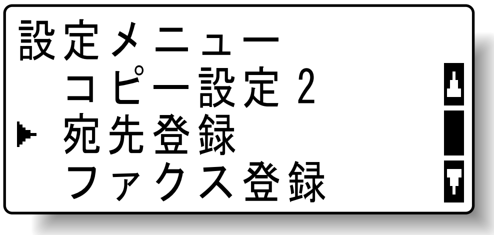


6 必要に応じて、テンキーで親展ボックス ID、パスワードを変更し、【OK】を押します。

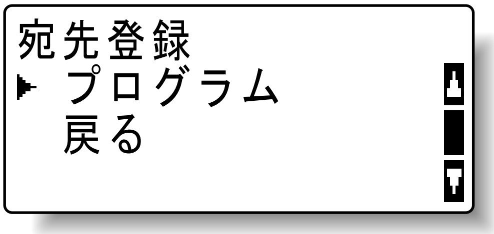
設定が登録され、宛先登録メニューに戻ります。

■ ポーリング受信プログラムを変更／削除する

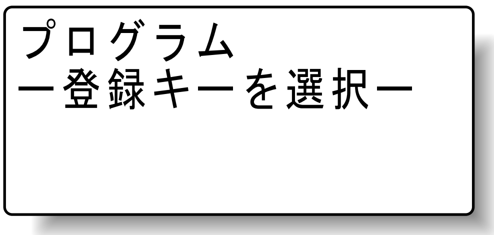
1 宛先登録を選択します。



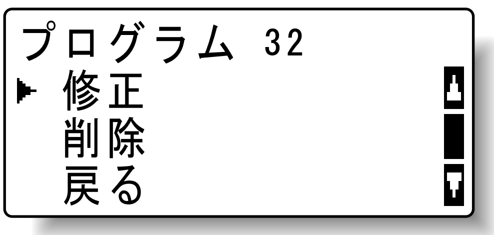
2 【▲】【▼】で「プログラム」を選択し、【OK】を押します。



3 変更または削除したいポーリング受信プログラムが登録されているワンタッチダイアルキーを押します。



4 【▲】【▼】で「修正」「削除」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



参照

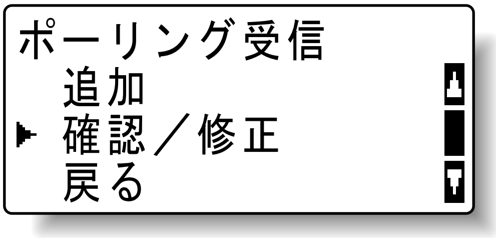
「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

「修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

「削除」を選択した場合は、プログラムダイアルの登録内容が削除され、宛先登録メニューに戻ります。

5

【▲】【▼】で「追加」「確認／修正」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



- 「追加」を選択した場合は、相手先を入力します。
- 「確認／修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

6

必要に応じて、相手先の設定を変更します。

- すべての変更が終わるまで、手順 5 〜 6 の作業を繰り返します。

7

「戻る」を選択し、【OK】を押します。

設定が登録され、宛先登録メニューに戻ります。

10

■ 中継指示送信プログラムを変更／削除する

1 宛先登録を選択します。

```
設定メニュー
  コピー設定2
▶ 宛先登録
  ファクス登録
```

2 【▲】【▼】で「プログラム」を選択し、【OK】を押します。

```
宛先登録
▶ プログラム
  戻る
```

3 変更または削除したい中継指示送信プログラムが登録されているワンタッチダイアルキーを押します。

```
プログラム
ー登録キーを選択ー
```

4 【▲】【▼】で「修正」「削除」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
プログラム 32
▶ 修正
  削除
  戻る
```

参照

「宛先登録を選択する」（p. 10-4）をごらんください。

「修正」を選択した場合は、次の手順に進みます。

「削除」を選択した場合は、プログラムダイアルの登録内容が削除され、宛先登録メニューに戻ります。

5 必要に応じて、ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアル、ダイアル入力のいずれかで相手先を指定し、【OK】を押します。

```
中継指示送信
  相手先
 :0123456
```

6 必要に応じて、テンキーで中継ボックスID、パスワードを変更し、【OK】を押します。

```
中継ボックス ID
 :0000
```

```
中継ボックス ID
 :0000
パスワード
 :0000
```

設定が登録され、宛先登録メニューに戻ります。

10.3 ファクス登録

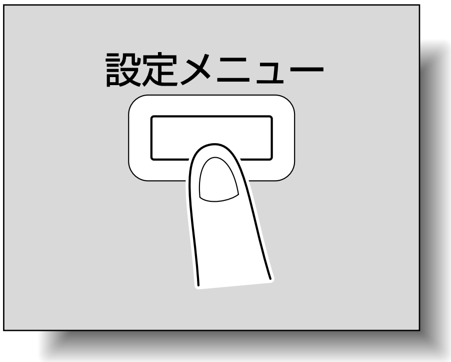
ここでは、本機の持っているファクス機能を十分に活用していただくために役立つ登録項目について説明します。

＜ファクス登録の項目＞

No.	ファクス登録	内容
1	親展ボックス	親展受信やポーリング送信を行うための親展ボックス ID を設定します。相手先が、ここで設定したボックス ID を指定した場合に、親展受信やポーリング送信が行われます。
2	中継ボックス	本機を中継局として使用するための中継ボックス ID を設定します。送信元が、ここで設定したボックス ID を指定した場合に、送信元からの原稿をいったん受信し、相手先（受信局）に送信します。

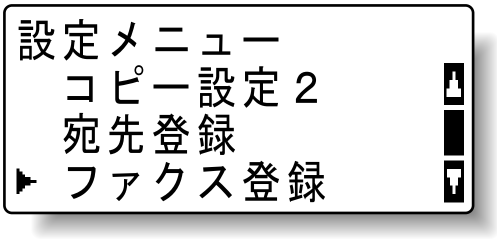
■ ファクス登録を選択する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「ファクス登録」を選択し、【OK】を押します。



ファクス登録メニューが表示されます。

3 【▲】【▼】でファクス登録メニューを選択し、【OK】を押します。

- ファクス登録メニューは次のとおりです。
  親展ボックス
  中継ボックス

■ 親展ボックスの登録をする

本機で指定したボックス ID と相手先が送信してくるボックス ID が一致したときのみ親展ボックスに受信できる「親展受信」を行う場合、あらかじめボックス ID を設定しておきます。

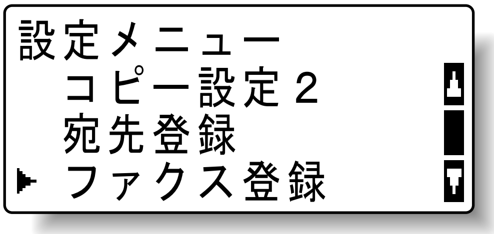
ひとこと

親展ボックス ID と中継ボックス ID で同じ値を登録することはできません。

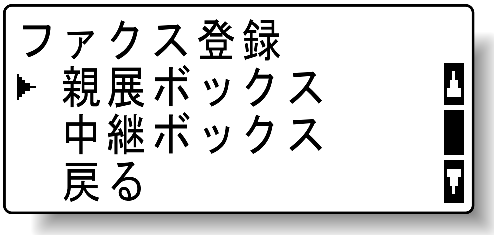
参照

「ファクス登録を選択する」(p. 10-36) をごらんください。

1 ファクス登録を選択します。



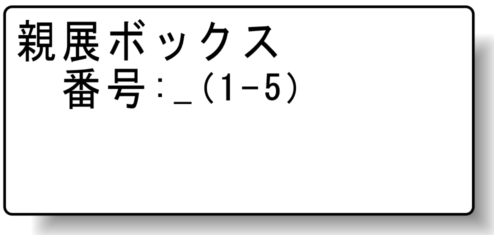
2 【▲】【▼】で「親展ボックス」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで親展ボックス番号を入力し、【OK】を押します。

ひとこと

親展ボックス番号は、1 ～ 5 のいずれかを指定します。



4

テンキーでボックス ID（4 桁）を入力し、【OK】を押します。

```
親展ボックス 1 ID
 :0000
```

詳しく説明します

- ボックス ID は、0000 ～ 9999 の範囲で指定できます。
- ボックス ID を訂正したい場合は、【クリア／ストップ】を押して入力しなおします。

5

テンキーでパスワード（4 桁）を入力し、【OK】を押します。

```
親展ボックス 1 ID
 :0000
パスワード
 :0000
```

❍ パスワードを登録しない場合は、何も入力せずに【OK】を押します。

ファクス登録メニューに戻ります。

詳しく説明します

- パスワードは、0000 ～ 9999 の範囲で指定できます。
- パスワードを訂正したい場合は、【クリア／ストップ】を押して入力しなおします。

■ 親展ボックスの設定を削除する

1 ファクス登録を選択します。

```
設定メニュー
  コピー設定2
  宛先登録
▶ ファクス登録
```

2 【▲】【▼】で「親展ボックス」を選択し、【OK】を押します。

```
ファクス登録
▶ 親展ボックス
  中継ボックス
  戻る
```

3 テンキーで削除したい親展ボックス番号を入力し、【OK】を押します。

```
親展ボックス
  番号:_(1-5)
```

4 「削除」を選択し、【OK】を押します。

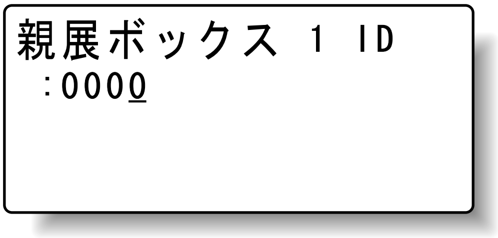
```
親展ボックス 1
▶ 削除
  戻る
```

参照

「ファクス登録を選択する」(p. 10-36)をごらんください。

5

テンキーで登録されているボックス ID（4 桁）を入力し、【OK】を押します。



ファクス登録メニューに戻ります。

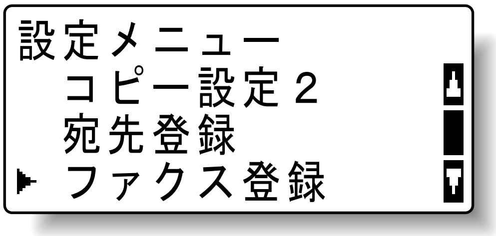
詳しく説明します

数値を訂正するときは、【クリア / ストップ】を押して入力しなおします。

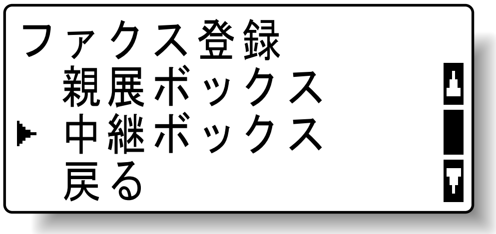
■ 中継ボックスの登録をする

他のファクス（中継指示局）からの原稿を、本機が中継局として受信し、複数の相手先（受信局）にその原稿を送信する場合、あらかじめ中継ボックス ID などを設定しておきます。

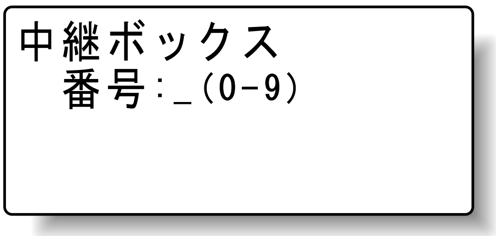
1 ファクス登録を選択します。



2 【▲】【▼】で「中継ボックス」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで中継ボックス番号を入力し、【OK】を押します。



ひとこと

- 中継ボックス ID と親展ボックス ID で同じ値を登録することはできません。
- 本機（中継局）から中継結果レポートを返信するように指定することができます。返信先には、中継指示局（あるいは他の送信先）のファクス番号をワンタッチダイアルキー、短縮番号、ダイアル入力で指定できます。相手先をワンタッチダイアルキー、または短縮番号で指定する場合は、あらかじめ、返信先のファクス番号をワンタッチダイアルキー、または短縮番号に登録しておいてください。

参照

「ファクス登録を選択する」（p. 10-36）をごらんください。

ひとこと

親展ボックス番号は、0 ～ 9 のいずれかを指定します。

4 テンキーでボックス ID（4 桁）を入力し、【OK】を押します。

```
中継ボックス 1 ID
 :000_
```

5 テンキーでパスワード（4 桁）を入力し、【OK】を押します。

```
中継ボックス 1 ID
 :0000
パスワード
 :000_
```

❍ パスワードを登録しない場合は、何も入力せずに【OK】を押します。

6 中継結果レポートを返信する場合は、「レポート」を選択し、【OK】を押します。

❍ レポートを返信しない場合は、手順 8 に進みます。

```
中継ボックス 1
▶ レポート
  相手先
```

詳しく説明します

・ボックス ID は、0000 ～ 9999 の範囲で指定できます。
・ボックス ID を訂正したい場合は、【クリア／ストップ】を押して入力しなおします。

詳しく説明します

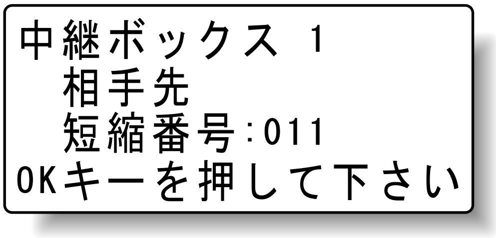
パスワードは、0000 ～ 9999 の範囲で指定できます。

パスワードを訂正したい場合は、【クリア／ストップ】を押して入力しなおします。

10

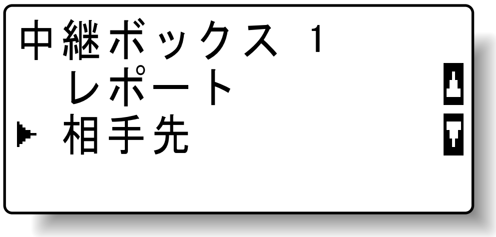
7

ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアル、ダイアル入力のいずれかで返信先を指定し、【OK】を押します。



8

「相手先」を選択し、【OK】を押します。



9

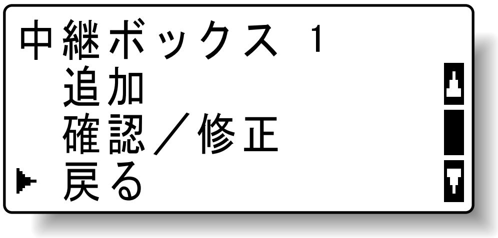
ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアルで受信局を指定し、【OK】を押します。



- 続けて相手先を指定する場合は、次の画面で【追加】を指定し、この手順を繰り返します。



10 すべての受信局の指定が終わったら、「戻る」を選択し、【OK】を押します。

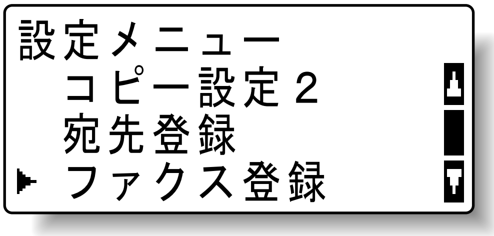


ファクス登録メニューに戻ります。

■ 中継ボックスの設定を削除する

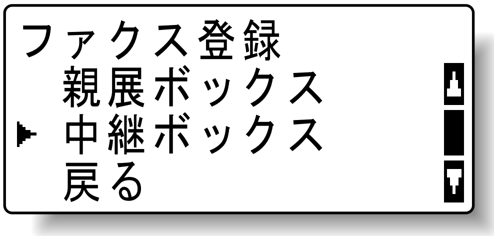
1

ファクス登録を選択します。



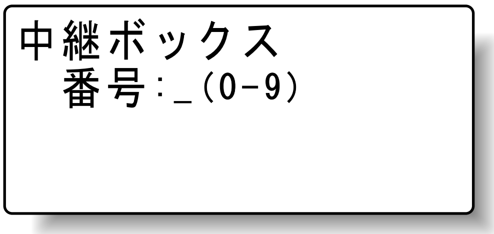
2

【▲】【▼】で「中継ボックス」を選択し、【OK】を押します。



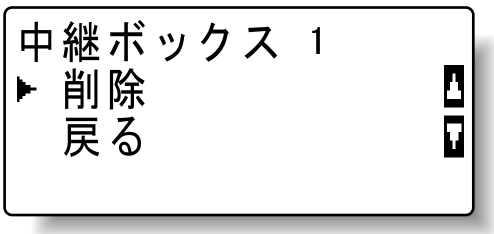
3

テンキーで削除したい中継ボックス番号を入力し、【OK】を押します。



4

「削除」を選択し、【OK】を押します。



ファクス登録メニューに戻ります。

参照

「ファクス登録を選択する」(p. 10-36) をごらんください。

10.4 ファクス送信設定

ファクス通信でのいろいろな送信機能の設定ができます。

<ファクス送信設定の項目>

No.	ファクス送信設定	内容
1	濃度レベル	原稿を読み取るときの濃度設定の初期値を 5 段階から選択できます。用紙の色（下地）が濃いときは「薄く」の側に、文字が薄いときや文字に色がついているときは「濃く」の側に調整してください。
2	優先画質	原稿を読み取るときの画質（解像度）設定の初期値を、「普通／文字」「精細／文字」「高精細／文字」「普通／写真」「精細／写真」「高精細／写真」から組み合わせて設定できます。 ・ 工場出荷時の設定は「普通／文字」です。
3	優先送信モード	送信のしかたの初期値を、「メモリ送信」、「即時送信」から選択できます。 ・ 工場出荷時の設定は「メモリ送信」です。
4	ヘッダー	送信時にヘッダー（送信日時、発信元名称、発信元ファクス番号など）を付けるかどうかの初期値を、「する」、「しない」から選択できます。 ・ 工場出荷時の設定は「する」です。

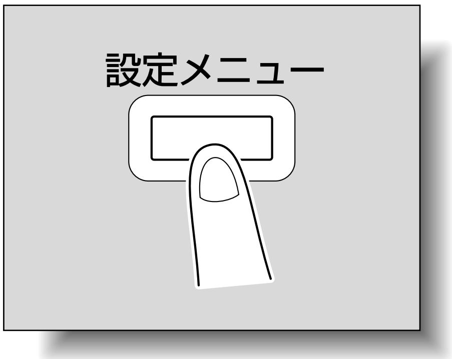
参照

・ファクス送信設定は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。

・オプションのネットワークカード NC-503 またはイメージコントローラ IC-206 を装着すると、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

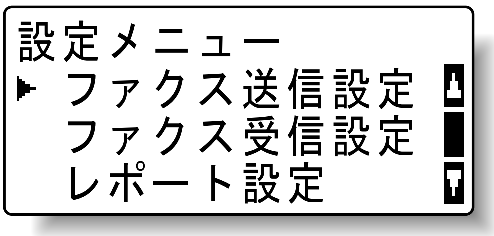
■ ファクス送信設定を選択する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「ファクス送信設定」を選択し、【OK】を押します。



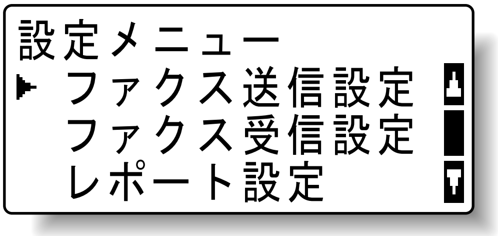
ファクス送信設定メニューが表示されます。

3 【▲】【▼】でファクス送信設定メニューを選択し、【OK】を押します。

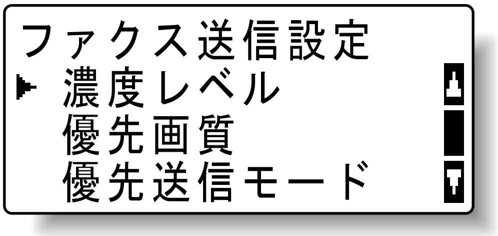
❍ ファクス送信設定メニューは次のとおりです。
濃度レベル
優先画質
優先送信モード
ヘッダー

■ 読み取り濃度を設定する

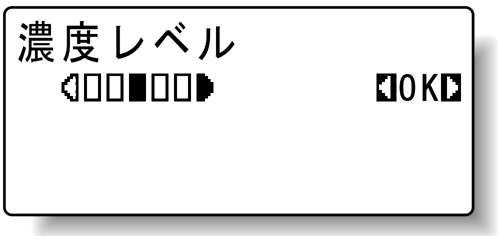
1 ファクス送信設定を選択します。



2 【▲】【▼】で「濃度レベル」を選択し、【OK】を押します。



3 【◀】【▶】で濃度を選択し、【OK】を押します。



ファクス送信設定メニューに戻ります。

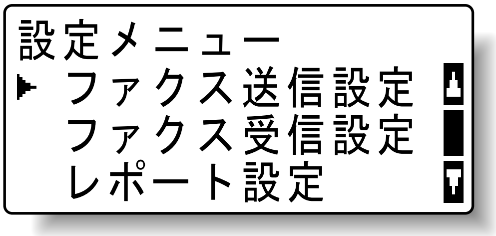
参照

「ファクス送信設定を選択する」（p. 10-48）をごらんください。

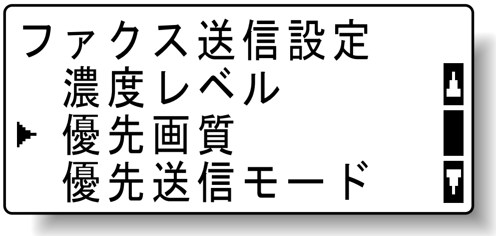
10

■ 優先画質を設定する

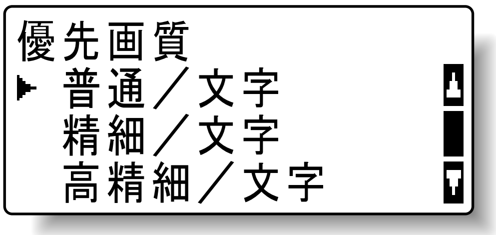
1. ファクス送信設定を選択します。



2. 【▲】【▼】で「優先画質」を選択し、【OK】を押します。



3. 【▲】【▼】で設定したい画質を選択し、【OK】を押します。

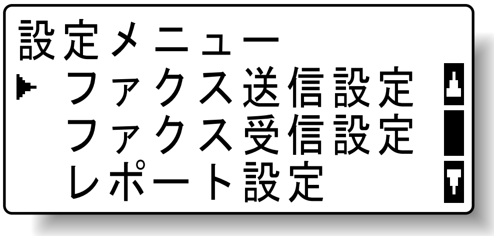


ファクス送信設定メニューに戻ります。

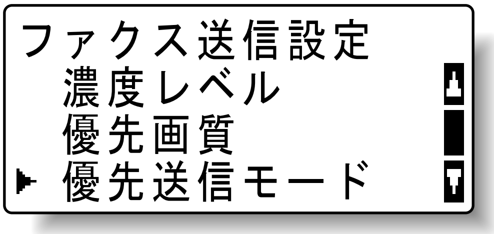
参照
「ファクス送信設定を選択する」（p. 10-48）をごらんください。

■ 優先送信モードを設定する

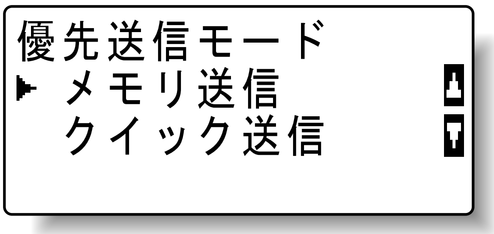
1 ファクス送信設定を選択します。



2 【▲】【▼】で「優先送信モード」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「メモリ送信」「クイック送信」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



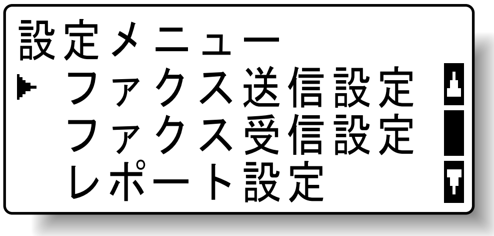
ファクス送信設定メニューに戻ります。

参照
「ファクス送信設定を選択する」（p. 10-48）をごらんください。

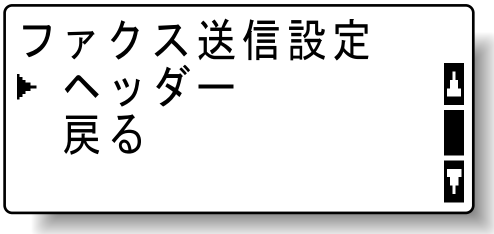
10

■ ヘッダープリントを設定する

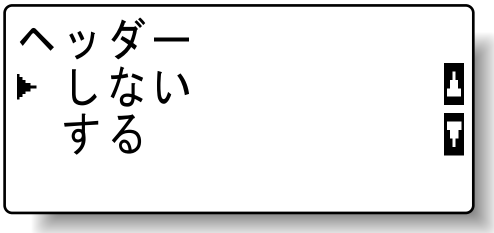
1 ファクス送信設定を選択します。



2 【▲】【▼】で「ヘッダー」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



ファクス送信設定メニューに戻ります。

参照

「ファクス送信設定を選択する」（p. 10-48）をごらんください。

10.5 ファクス受信設定

ファクス通信でのいろいろな受信機能の設定ができます。
<ファクス受信設定の項目>

No.	ファクス受信設定	内容
1	メモリ受信モード	メモリ受信を「する」か「しない」かを選択できます。他の人に見られたくない文書などがある場合は、受信した文書をいったんメモリに保管し、メモリ受信設定を「しない」にしたとき、または指定した時刻にプリントできます。 メモリ受信の開始時刻、終了時刻、解除のためのパスワードを設定します。開始時刻、終了時刻の設定は、メモリ受信モードを解除するまで毎日有効となります。 ・ 工場出荷時の設定は「しない」です。
2	呼出回数	何回着信音が鳴ってから自動受信するかを 1 回～ 16 回の間で設定できます。
3	縮小プリント	記録紙のサイズより長い文書を受信した場合のプリント処理を、縮小する（する)、分割する（しない)、切り捨てる（後端カット）から選択できます。「後端カット」は最大 24 mm カットされます。ただし、24mm 以上長い文章が送信された場合は、「後端カット」の設定は適用されません。この場合、文書は分割されます。 ・ 工場出荷時の設定は「する」です。
4	受信プリント	受信時に、すべての原稿の受信を完了した後にプリントを開始する（受信後）か、1 枚目の原稿を受信した時点でプリントを開始する（受信中）かを選択できます。 ・ 工場出荷時の設定は「受信後」です。
5	受信モード	自動受信するか手動受信するかを選択できます。 自動受信：設定された回数だけ着信音が鳴ってから自動的に受信動作が開始されます。 手動受信：着信音が鳴っても自動的にファクスには切替わりません。外付け電話機の受話器をあげる、または【オンフック】を押すと回線がつながり、【スタート】を押すと受信動作が開始されます。 ・ 工場出荷時の設定は「自動受信」です。
6	転送	受信した原稿を転送するかどうかを選択できます。 転送する：受信した原稿を指定したファクス番号、E メールアドレスに転送します。 転送＆プリント（「する（印字あり)」)：受信した原稿を指定したファクス番号、E メールアドレスに転送すると同時に、本機でプリントします。 転送しない：転送しません。 ・ 工場出荷時の設定は「しない」です。 ※ E メールアドレスへ転送するには、オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が必要です。

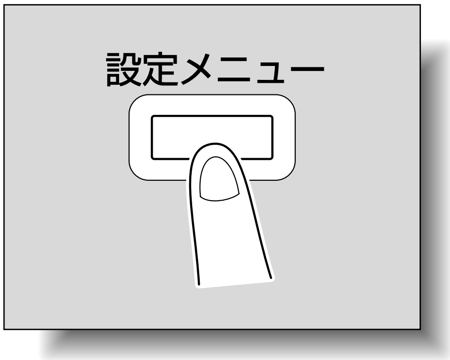
参照

- ファクス受信設定は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。
- オプションのネットワークカード NC-503 またはイメージコントローラ IC-206 を装着すると、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

No.	ファクス受信設定	内容
7	フッター	受信した原稿の後端に、受信情報（受信日時、ページ数など）をプリントするかしないかを選択できます。 ・ 工場出荷時の設定は「しない」です。
8	トレイ設定	受信原稿をプリントするときや、通信レポートをプリントするときに給紙可能なトレイを選択できます。（給紙を禁止するトレイを指定することができます。 ・ 工場出荷時の設定は「許可」です。
9	閉域受信	発信元ファクス番号が本機のワンタッチダイアルや短縮ダイアルで登録されているファクス番号ではない場合に、ファクスを受信するかしないかを選択できます。 ・ 工場出荷時の設定は「しない」です。
10	転送受信	外付け電話機のダイアルから電話を切らずにファクス受信するかしないかを選択できます。 ・ 工場出荷時の設定は「しない」です。

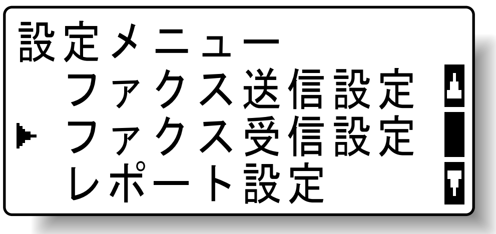
■ ファクス受信設定を選択する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「ファクス受信設定」を選択し、【OK】を押します。



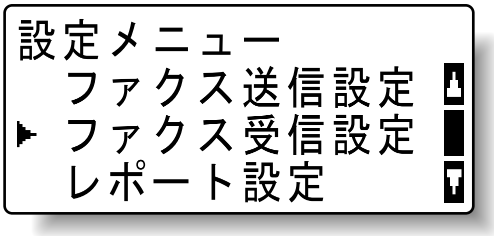
ファクス受信設定メニューが表示されます。

3 【▲】【▼】でファクス受信設定メニューを選択し、【OK】を押します。

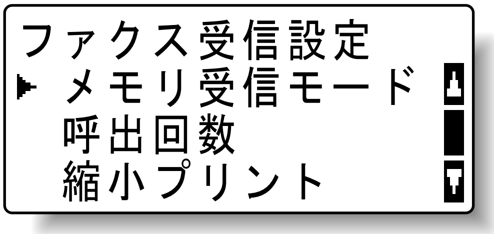
❍ ファクス受信設定メニューは次のとおりです。
メモリ受信モード
呼出回数
縮小プリント
受信プリント
受信モード
転送
フッター
トレイ設定
閉域受信
転送受信

■ メモリ受信モードを設定する

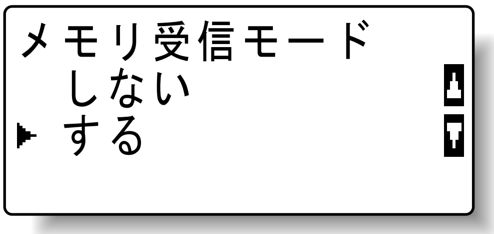
1 ファクス受信設定を選択します。



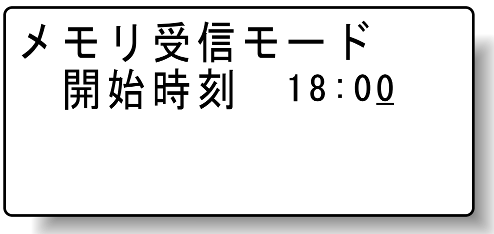
2 【▲】【▼】で「メモリ受信モード」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「する」を選択し、【OK】を押します。



4 テンキーで開始時刻を入力し、【OK】を押します。



参照

「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

5 テンキーで終了時刻を入力し、【OK】を押します。

```
メモリ受信モード
  開始時刻  18:00
  終了時刻  21:00
```

6 テンキーでパスワード（4 桁）を入力し、【OK】を押します。

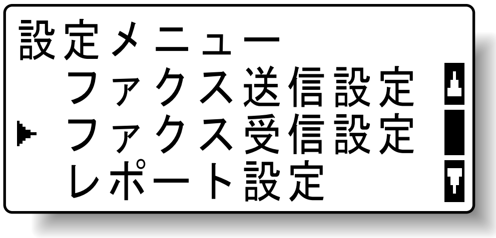
```
メモリ受信モード
  開始時刻  18:00
  終了時刻  21:00
  パスワード:0000
```

ファクス受信設定メニューに戻ります。

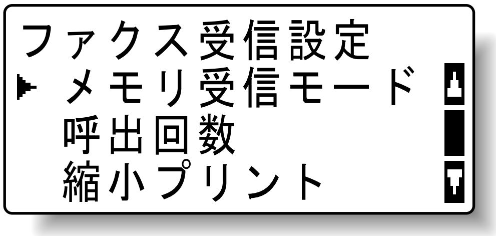
■ メモリ受信モードを解除する

メモリ受信モードは終了時刻になると自動的に解除され、受信原稿がプリントされます。修了時刻が設定されていない場合や、終了時刻以前に解除したい場合は、以下の手順で解除します。

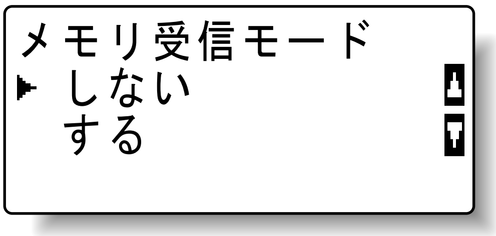
1 ファクス受信設定を選択します。



2 【▲】【▼】で「メモリ受信モード」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「しない」を選択し、【OK】を押します。



パスワードが設定されている場合は、次の手順に進みます。

パスワードが設定されていない場合は、メモリ内の受信原稿がプリントされ、ファクス受信設定メニューに戻ります。

参照

「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

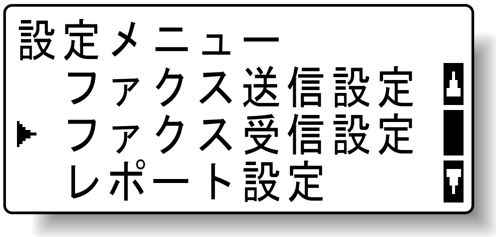
4 テンキーでパスワード（4 桁）を入力し、【OK】を押します。

```
メモリ受信モード
  パスワード:0000
```

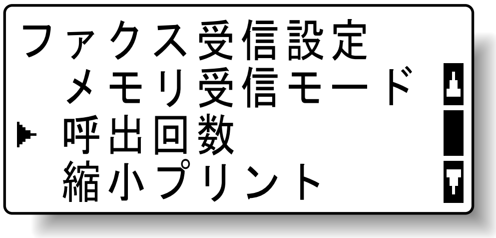
ファクス受信設定メニューに戻ります。

■ 呼び出し回数を設定する

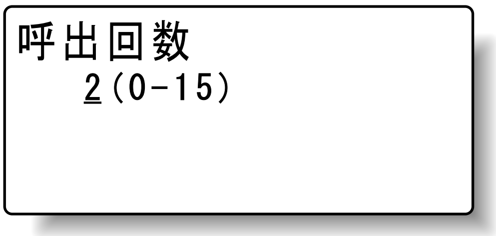
1 ファクス受信設定を選択します。



2 【▲】【▼】で「呼出回数」を選択し、【OK】を押します。



3 テンキーで呼び出し回数を入力し、【OK】を押します。



ファクス受信設定メニューに戻ります。

参照

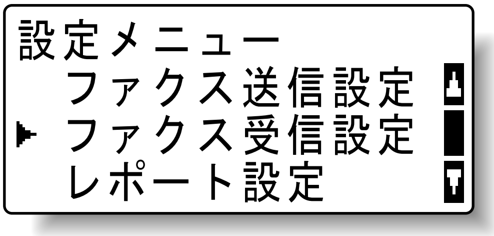
「ファクス受信設定を選択する」(p. 10-55)をごらんください。

詳しく説明します

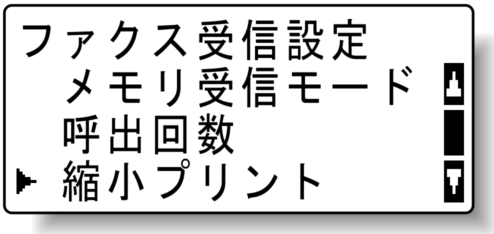
呼び出し回数は 0 回～ 15 回の範囲で設定します。

■ 縮小プリントを設定する

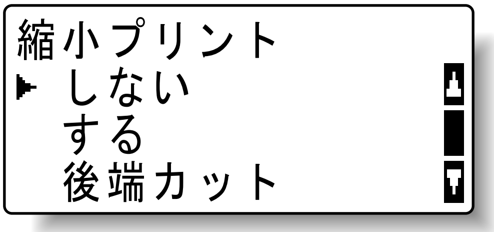
1. ファクス受信設定を選択します。



2. 【▲】【▼】で「縮小プリント」を選択し、【OK】を押します。



3. 【▲】【▼】で「しない」「する」「後端カット」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



ファクス受信設定メニューに戻ります。

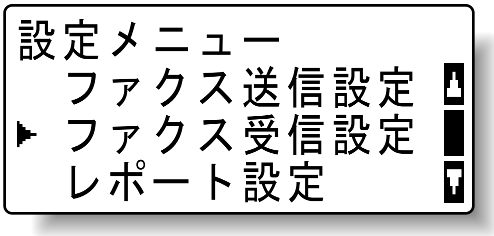
参照

「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

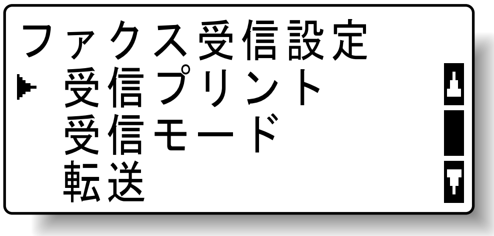
10

■ 受信プリントを設定する

1 ファクス受信設定を選択します。



2 【▲】【▼】で「受信プリント」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「受信後」「受信中」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



ファクス受信設定メニューに戻ります。

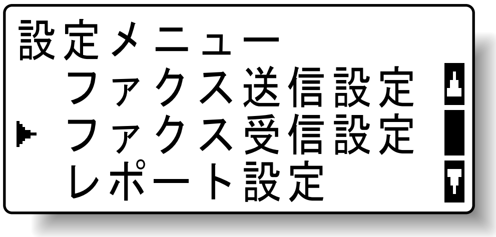
参照

「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

■ 受信モードを設定する

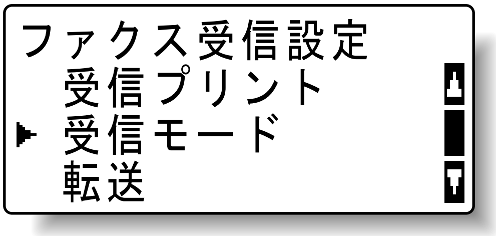
1

ファクス受信設定を選択します。



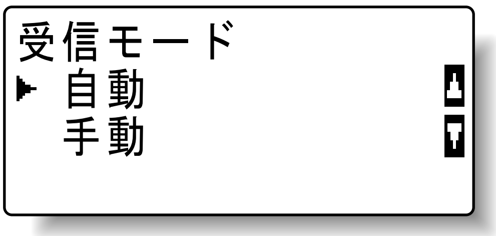
2

【▲】【▼】で「受信モード」を選択し、【OK】を押します。



3

【▲】【▼】で「自動受信」「手動受信」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



ファクス受信設定メニューに戻ります。

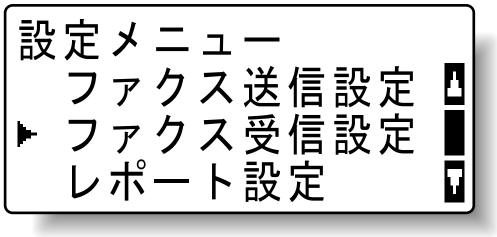
参照

「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

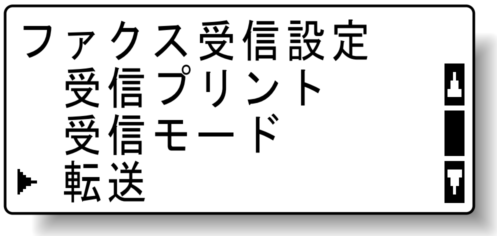
10

■ 転送モードを設定する

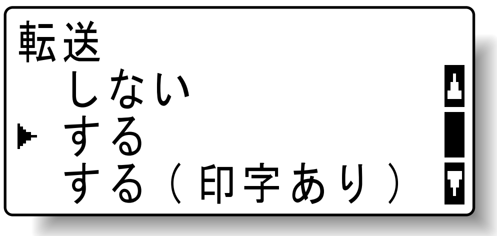
1 ファクス受信設定を選択します。



2 【▲】【▼】で「転送」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「しない」「する」「する（印字あり）」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



- 「する」または「する（印字あり）」を選択した場合、手順 4 に進みます。
- 「しない」を選択した場合、ファクス受信設定メニューに戻ります。

参照

「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

4 ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアル、テンキー入力により転送先のファクス番号を指定し、【OK】を押します。



ファクス受信設定メニューに戻ります。

ひとこと

オプションのイメージコントローラ IC-206 またはネットワークカード NC-503 が装着されている場合、転送先として E メールアドレスを指定できます。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

10

■ フッタープリントを設定する

1

ファクス受信設定を選択します。

```
設定メニュー
  ファクス送信設定
▶ ファクス受信設定
  レポート設定
```

2

【▲】【▼】で「フッター」を選択し、【OK】を押します。

```
ファクス受信設定
▶ フッター
  トレイ設定
  閉域受信
```

3

【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
フッター
▶ しない
  する
```

ファクス受信設定メニューに戻ります。

参照

「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

■ トレイ選択を設定する

1

ファクス受信設定を選択します。

```
設定メニュー
  ファクス送信設定
▶ ファクス受信設定
  レポート設定
```

2

【▲】【▼】で「トレイ設定」を選択し、【OK】を押します。

```
ファクス受信設定
  フッター
▶ トレイ設定
  閉域受信
```

3

【▲】【▼】で設定するトレイを選択し、【OK】を押します。

```
トレイ設定
▶ トレイ1
  トレイ2
  トレイ3
```

4

【▲】【▼】で「禁止」「許可」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
トレイ1
▶ 禁止
  許可
```

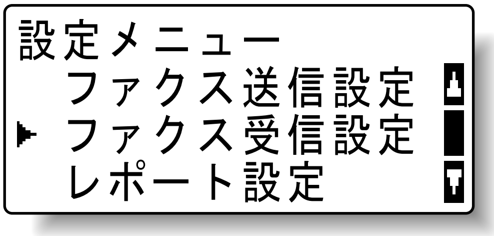
ファクス受信設定メニューに戻ります。

参照

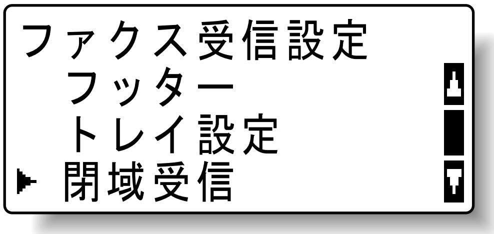
「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

■ 閉域受信を設定する

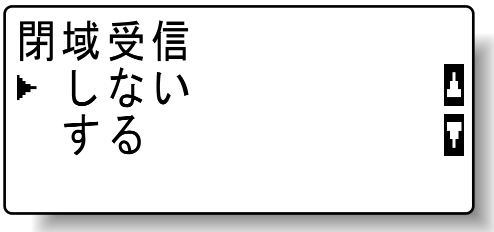
1 ファクス受信設定を選択します。



2 【▲】【▼】で「閉域受信」を選択し、【OK】を押します。



3 【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。



ファクス受信設定メニューに戻ります。

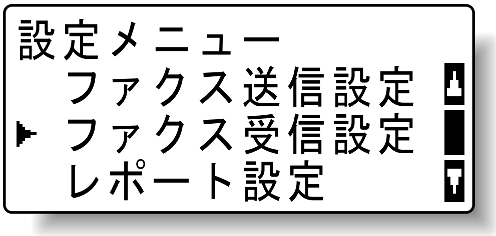
参照

「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

■ 転送受信を設定する

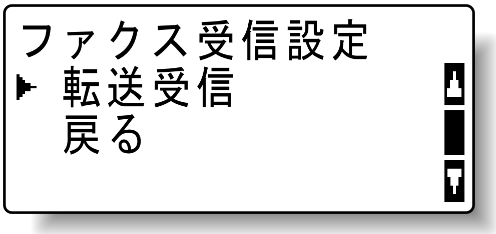
1

ファクス受信設定を選択します。



2

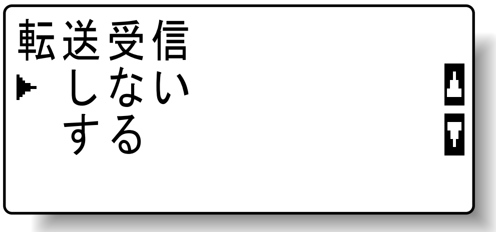
【▲】【▼】で「転送受信」を選択し、【OK】を押します。



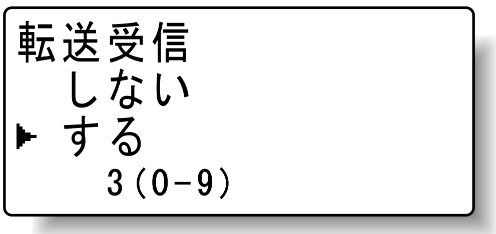
3

【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択します。

❍「しない」を選択した場合は、【OK】を押します。



❍「する」を選択した場合は、テンキーで転送受信番号を入力し、【OK】を押します。



ファクス受信設定メニューに戻ります。

参照

「ファクス受信設定を選択する」（p. 10-55）をごらんください。

詳しく説明します

転送受信番号は 0 ～ 9 のいずれかを指定します。

10

10.6 レポート設定

ファクス通信に関する各種レポートの自動出力設定をします。

＜レポート設定の項目＞

No.	レポート設定	内容
1	通信管理レポート	60 通信ごとに、送受信の結果をレポート形式で出力できます。60 通信に達した時点で自動的にレポートを出力するかどうかを選択します。 ・ 工場出荷時の設定は「する」です。
2	予約レポート	順次同報送信やポーリング受信などで複数の相手先との通信を設定した場合、予約内容をレポート形式で出力できます。自動的にレポートを出力するかどうかを選択します。 ・ 工場出荷時の設定は「しない」です。
3	送信結果レポート	送信終了後、送信結果をレポート形式で出力できます。自動的にレポートを出力するかどうかを選択します。 ・ 工場出荷時の設定は「しない」です。
4	受信結果レポート	親展受信終了後、自動的にレポートを出力するかどうかを選択します。（通常の受信が正常に完了しなかった場合は、この設定に関係なくレポートが出力されます。） ・ 工場出荷時の設定は「しない」です。

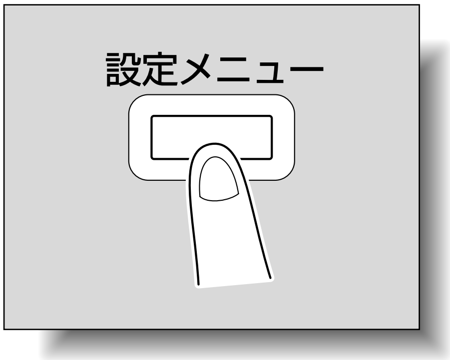
参照

・レポート設定は LSD（Local Setup Diagnostic）から設定を行うこともできます。詳しくは「LSD について」（p. 13-14）をごらんください。

・オプションのネットワークカード NC-503 またはイメージコントローラ IC-206 を装着すると、ネットワークツール PageScope Web Connection から設定を行うこともできます。詳しくは、各オプションのユーザーズガイドをごらんください。

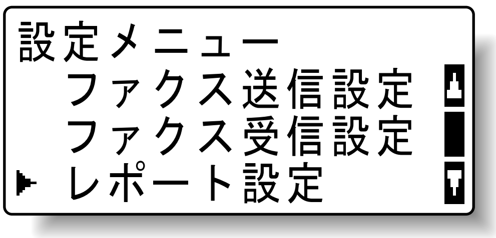
■ レポート設定を選択する

1 【設定メニュー】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「レポート設定」を選択し、【OK】を押します。



レポート設定メニューが表示されます。

3 【▲】【▼】でレポート設定メニューを選択し、【OK】を押します。

❍ ファクス受信設定メニューは次のとおりです。
通信管理レポート
予約レポート
送信結果レポート
受信結果レポート

■ 通信管理レポートの自動出力を選択する

1 レポート設定を選択します。

```
設定メニュー
  ファクス送信設定
  ファクス受信設定
▶ レポート設定
```

2 【▲】【▼】で「通信管理レポート」を選択し、【OK】を押します。

```
レポート設定
▶ 通信管理レポート
  予約レポート
  送信結果レポート
```

3 【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
通信管理レポート
▶ しない
  する
```

レポート設定メニューに戻ります。

参照

「レポート設定を選択する」（p. 10-71）をごらんください。

■ 予約レポートの自動出力を選択する

1 レポート設定を選択します。

```
設定メニュー
  ファクス送信設定
  ファクス受信設定
▶ レポート設定
```

2 【▲】【▼】で「予約レポート」を選択し、【OK】を押します。

```
レポート設定
  通信管理レポート
▶ 予約レポート
  送信結果レポート
```

3 【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
予約レポート
▶ しない
  する
```

レポート設定メニューに戻ります。

参照

「レポート設定を選択する」（p. 10-71）をごらんください。

10

■ 送信結果レポートの自動出力を選択する

1

レポート設定を選択します。

```
設定メニュー
  ファクス送信設定
  ファクス受信設定
▶ レポート設定
```

2

【▲】【▼】で「送信結果レポート」を選択し、【OK】を押します。

```
レポート設定
  通信管理レポート
  予約レポート
▶ 送信結果レポート
```

3

【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
送信結果レポート
▶ しない
  する
```

レポート設定メニューに戻ります。

参照

「レポート設定を選択する」（p. 10-71）をごらんください。

■ 受信結果レポートの自動出力を選択する

1

レポート設定を選択します。

```
設定メニュー
  ファクス送信設定
  ファクス受信設定
▶ レポート設定
```

2

【▲】【▼】で「受信結果レポート」を選択し、【OK】を押します。

```
レポート設定
▶ 受信結果レポート
  戻る
```

3

【▲】【▼】で「しない」「する」のいずれかを選択し、【OK】を押します。

```
受信結果レポート
▶ しない
  する
```

レポート設定メニューに戻ります。

参照

「レポート設定を選択する」(p. 10-71) をごらんください。

10

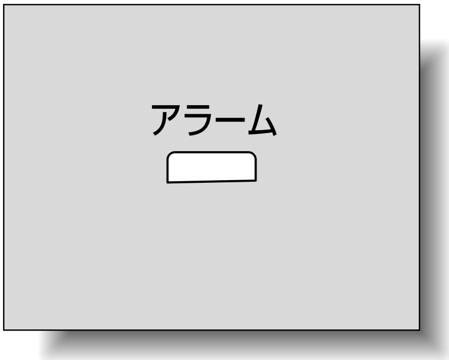
第 11 章
こんなメッセージが表示されたら

トナー交換などのメッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

11.1 「トナーがありません」と表示されたら

トナーが残り少なくなると以下のメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたら、新しいトナーボトルと交換してください。



注意

トナーがありません

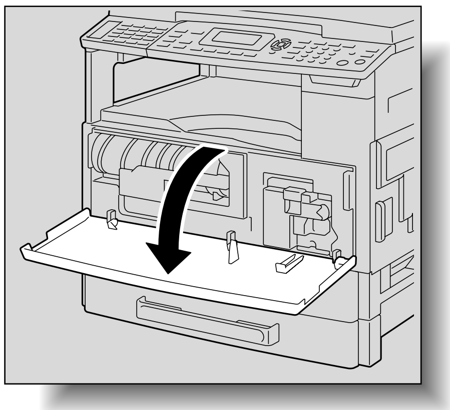
トナー補給して下さい

必ず守ってください

トナーボトルは、必ず本機専用のトナーボトルを使用してください。それ以外のトナーボトルを使用すると故障の原因となります。詳しくはサービス実施店にお尋ねください。

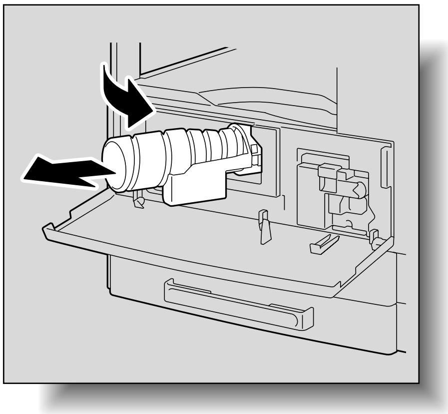
■ トナー補給のしかた

1. 前扉を開きます。



2

トナーボトルホルダーを手前に開き、トナーボトルを引き抜きます。

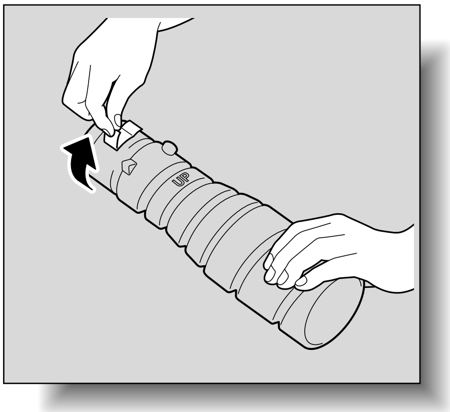


必ず守ってください

使用済みのトナーボトルはサービス実施店が回収します。捨てずに個装箱にいれて保管してください。

3

新しいトナーボトルのシール部を上に向けてから、手前方向にゆっくりシールをはがします。



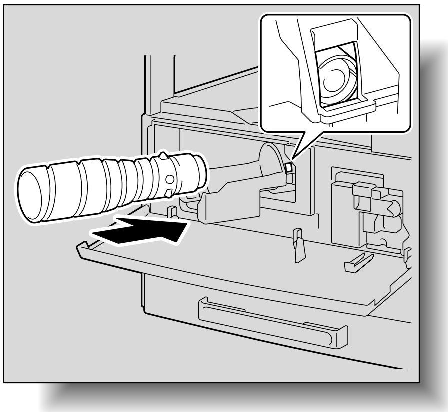
必ず守ってください

シールをはがすときは、トナーが吹き出るおそれがあるので、ゆっくりはがしてください。

4

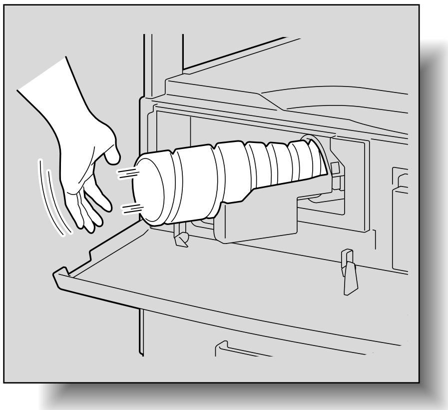
トナーボトルのUP表示部を上に向けて、トナーボトルホルダーに差し込みます。

❍下図のように、トナーボトルの凸部をトナーボトルホルダーの凹部にしっかり差し込んでください。

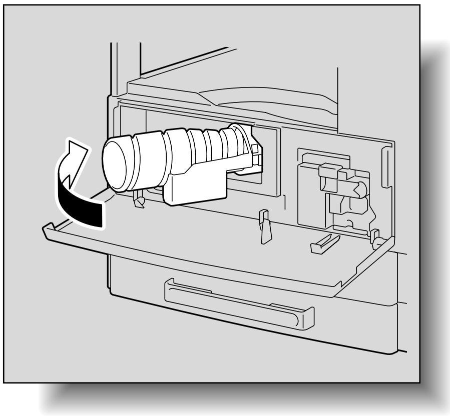


5

トナーボトルの底を軽く3回～4回たたきます。



6 トナーボトルホルダーを閉じ、前扉を閉じます。



ひとこと

前カバーを閉じると、自動的にトナー補給を開始します。

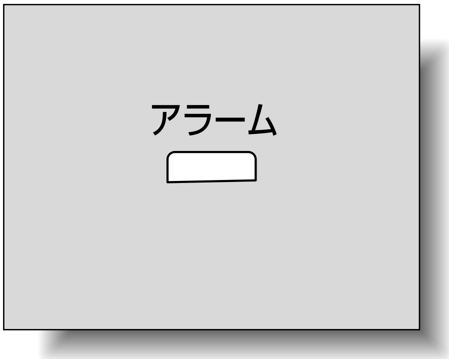
詳しく説明します

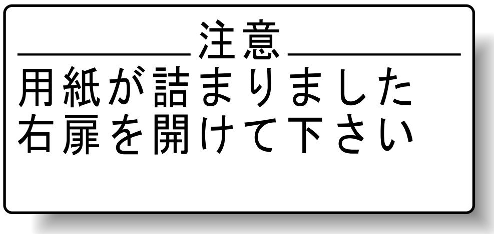
トナーボトルの交換直後でコピーが薄い場合は、設定メニューで“トナー補給”を行ってください。詳しくは「トナー補給」(p. 9-31)をごらんください。

11

11.2 「用紙が詰まりました」が表示されたら

コピー／プリント中に紙づまりがおこった場合、以下のメッセージを表示し、コピー／プリントは停止されます。





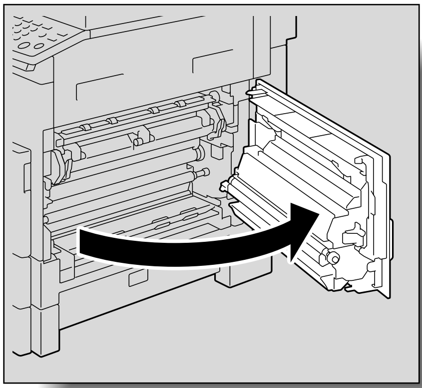
紙づまりの場所を示すメッセージが、ディスプレイ下行に表示されます。

メッセージ	紙づまりの場所
右扉を開けて下さい	・ マルチ手差しトレイ（p. 11-16） ・ 本機内部、第 1 トレイ（p. 11-7）
右扉 2 を開けて下さい	第 2 トレイ（p. 11-13）
右扉 3 を開けて下さい	第 3 トレイ（p. 11-13）
右扉 4 を開けて下さい	第 4 トレイ（p. 11-13）
右扉 5 を開けて下さい	第 5 トレイ（p. 11-13）

以下の手順にしたがって、紙づまりした用紙をすべて取り除いてください。

■ 本機内部／第1トレイでの紙づまり処理のしかた

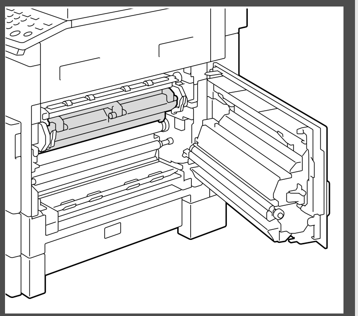
1 本機の右扉を開きます。



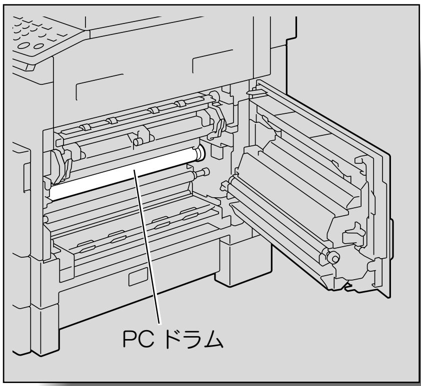
⚠ 注意



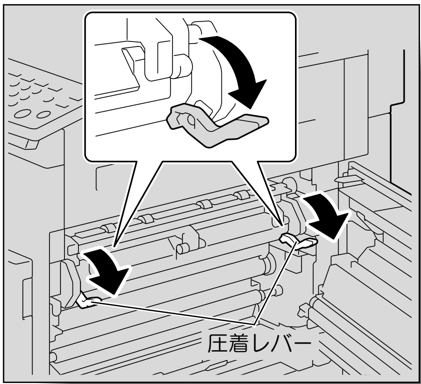
定着部周辺は高温になっています。
やけどの原因となりますので、手順内で説明している部分以外には手を触れないでください。高温部分に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



- PC ドラムの表面に触れると、コピー画質が低下する可能性があります。
  PC ドラムの表面に触れないように注意してください。



2 定着部の圧着レバーを解除します。

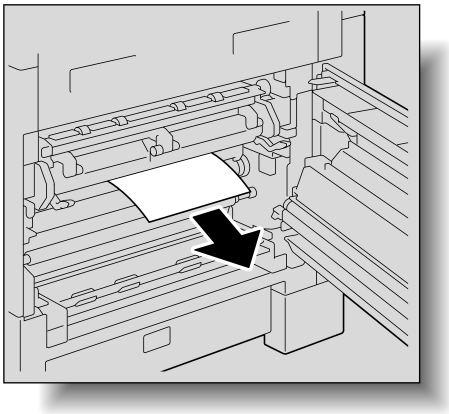


必ず守ってください

圧着レバーの解除は、レバーのグリーン部を持って行ってください。

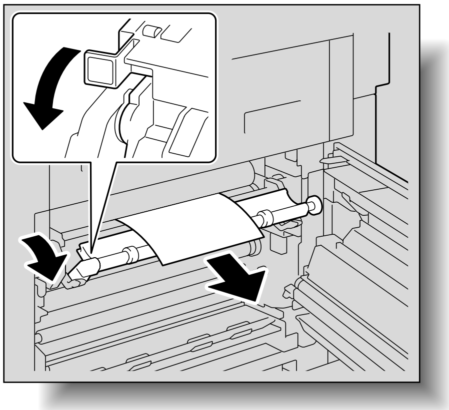
3

用紙をゆっくり引き抜きます。



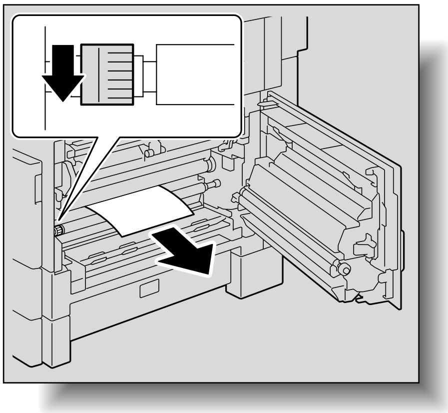
4

ガイド板を押し下げながら、用紙をゆっくり引き抜きます。



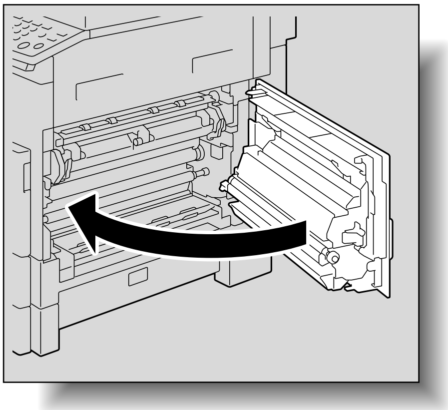
5

ローラー部のツマミを矢印方向に回しながら、用紙をゆっくり引き抜きます。



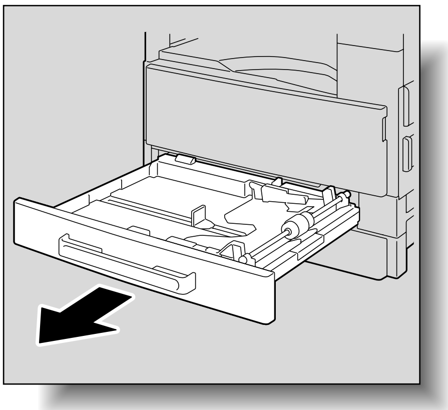
6

本機の右扉を閉じます。



7

第 1 トレイを引き出します。

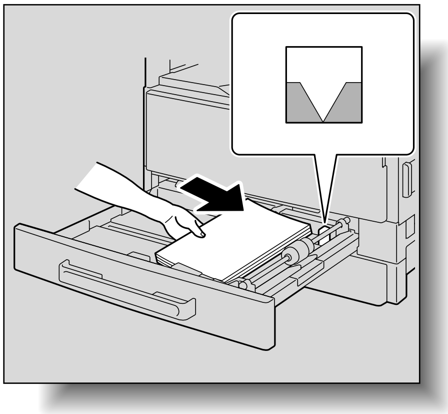


必ず守ってください

- ローラーを回すときは、必ずグリーンのツマミを回してください。
- PC ドラムの表面に触れないように注意してください。

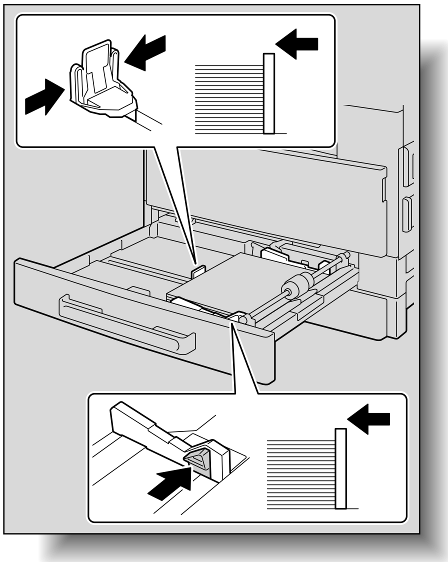
8

トレイ内に残っている用紙を取り出し、再度用紙をセットしなおします。



9

用紙サイズにあわせ、ガイド板を調整します。

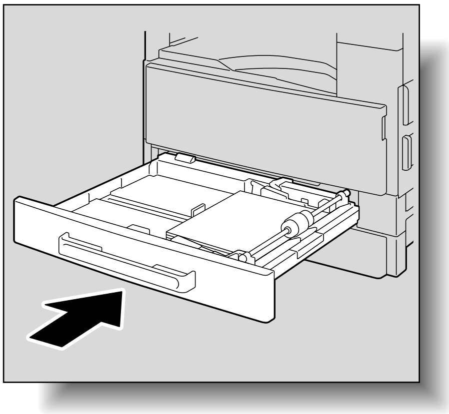


必ず守ってください

ガイド板は必ず用紙の端面にあわせてください。

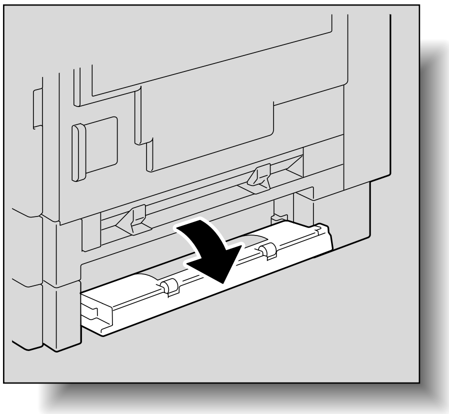
11

10 第 1 トレイをもとに戻します。

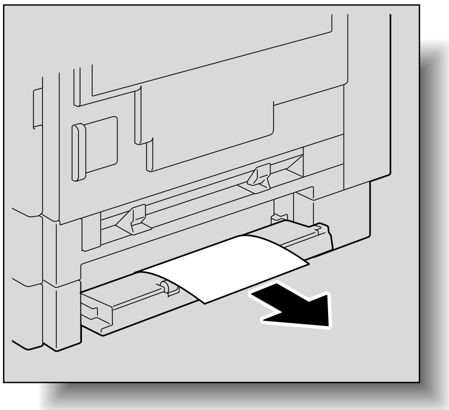


■ 第 2/ 第 3/ 第 4/ 第 5 トレイ(オプション)での紙づまり処理のしかた

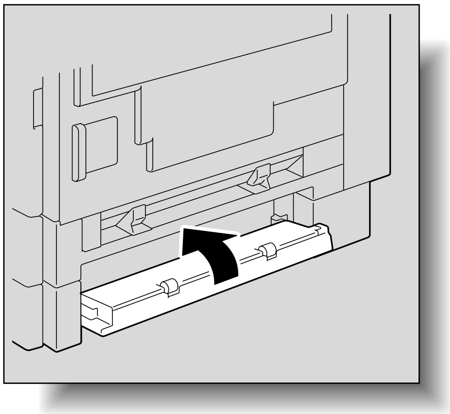
1 右扉を開きます。



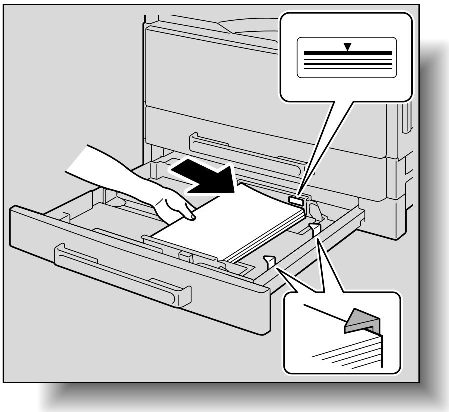
2 用紙をゆっくり引き抜きます。



3 右扉を閉じます。



4 トレイ内に残っている用紙を取り出し、再度用紙をセットしなおします。

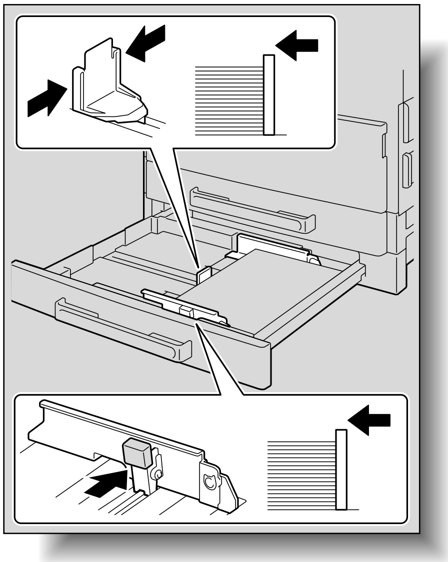




用紙は▼マークをこえないように、ツメの下にセットしてください。

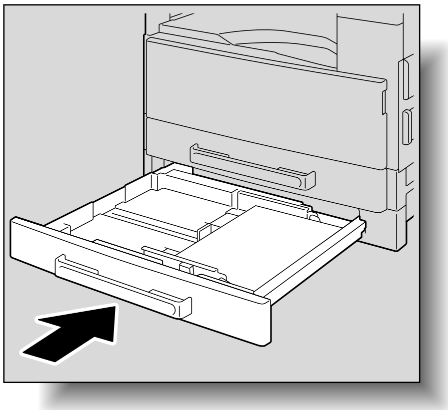
5

用紙のサイズに合わせ、ガイド板を調整します。



6

トレイをもとに戻します。



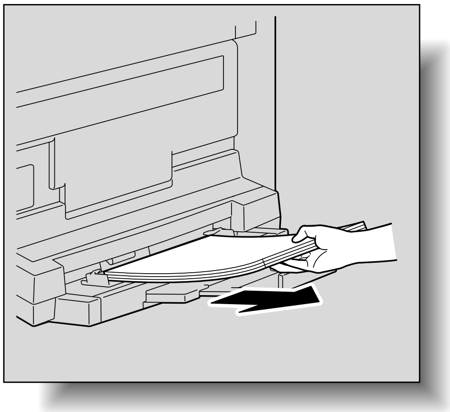
必ず守ってください

ガイド板は、必ず用紙の端面にあわせてください。

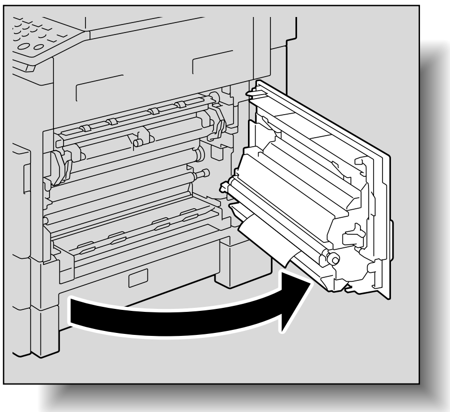
11

■ マルチ手差しトレイ（オプション）での紙づまり処理のしかた

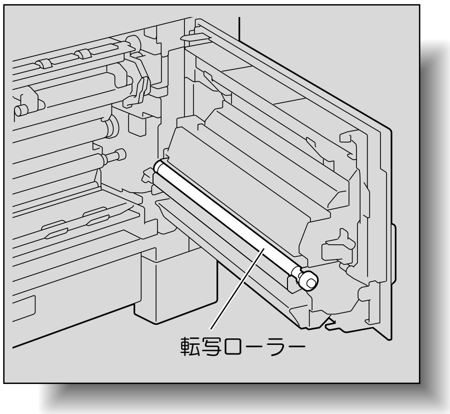
1 マルチ手差しトレイ上の用紙を取り除きます。



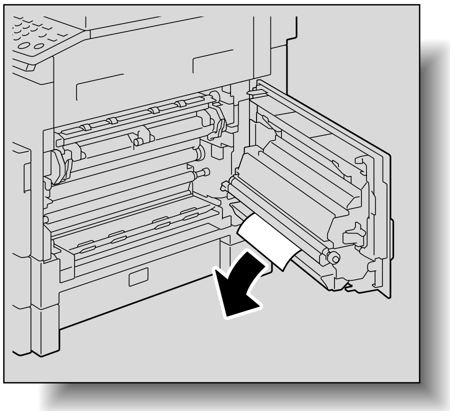
2 本機の右扉を開きます。



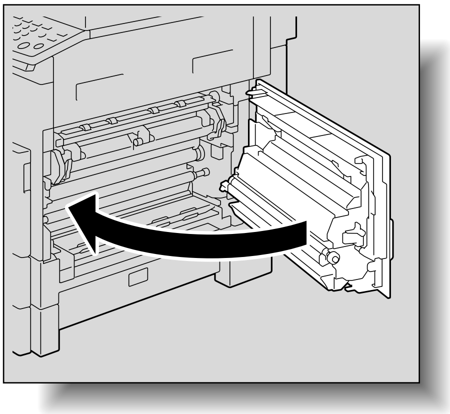
❍ 転写ローラーの表面に触れると、コピー画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



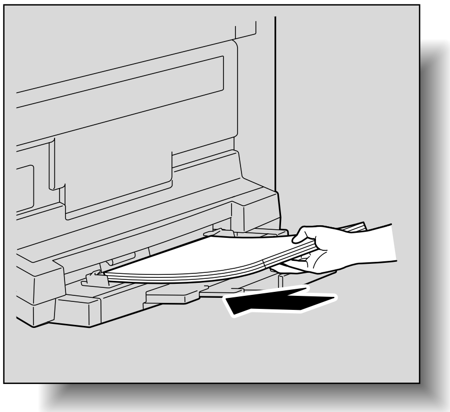
3 用紙をゆっくり引き抜きます。



4 本機の右扉を閉じます。



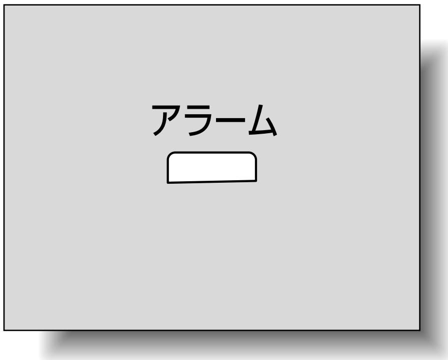
5 マルチ手差しトレイに用紙をセットしなおします。

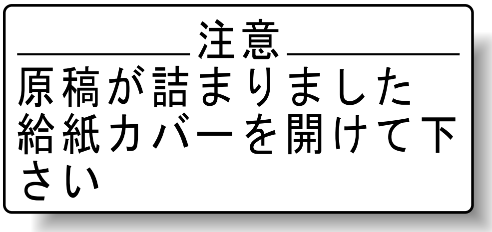


11.3 「原稿が詰まりました」が表示されたら

原稿を給紙中に紙づまりがおこった場合、以下のメッセージを表示し、原稿の読み取りは停止されます。

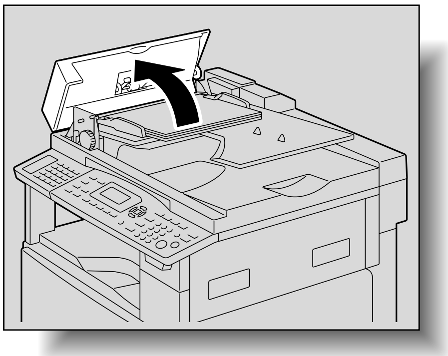
以下の手順にしたがって、紙づまりした用紙を取り除いてください。





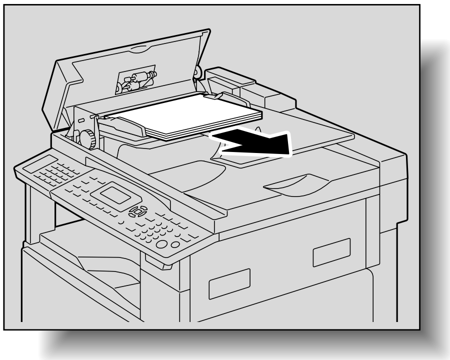
■ 原稿送り装置での紙づまり処理のしかた

1 給紙カバーを開きます。

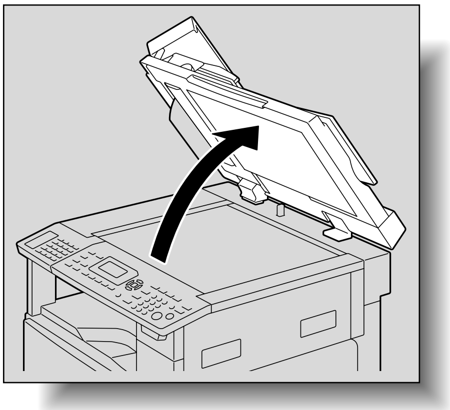


11

2 原稿給紙トレイの原稿を取り除きます。

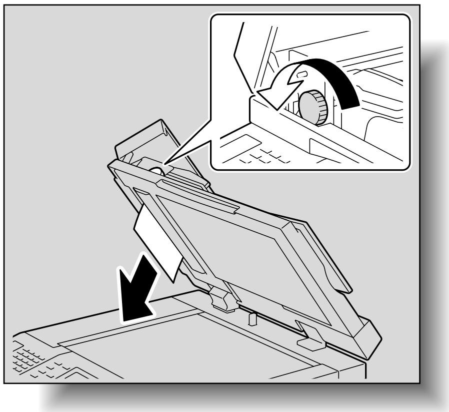


3 原稿送り装置を開きます。



4

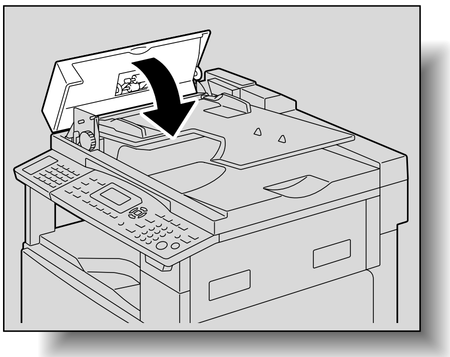
原稿送り装置のツマミを矢印方向に回しながら、原稿をゆっくり引き抜きます。



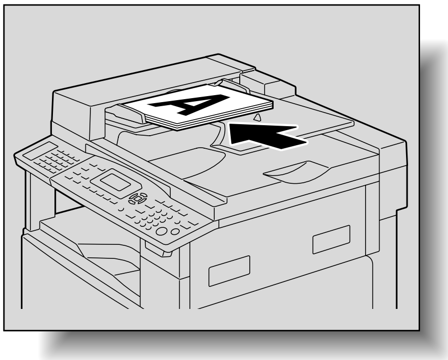


5

原稿送り装置、給紙カバーを閉じます。



6 手順 2 で取り除いた原稿をもとに戻します。



詳しく説明します

ディスプレイに「原稿を元に戻してスタートキーを押して下さい」と表示された場合は、紙づまりをおこした原稿をもとに戻してください。

11.4 主なメッセージと処置のしかた

メッセージ	原因	処置のしかた
用紙が詰まりました 右扉を開けて下さい	本機内部で紙づまりをおこしています。	表示されている箇所のカバーを開いて紙づまりした用紙を取り除いてください。「「用紙が詰まりました」が表示されたら」(p. 11-6)
	本機内部で紙づまり用紙の取り忘れがあります。	表示されている箇所のカバーを開いて再度紙づまりした用紙を取り除いてください。「「用紙が詰まりました」が表示されたら」(p. 11-6)
原稿が詰まりました 給紙カバーを開けて下さい	原稿送り装置内部で紙づまりをおこしています。 原稿送り装置内部で紙づまり用紙の取り忘れがあります。	表示されている箇所のカバーを開いて紙づまりした用紙を取り除いてください。「「原稿が詰まりました」が表示されたら」(p. 11-19)
手差しトレイの用紙を取除いて下さい	シングル手差しトレイに用紙が残っています。	シングル手差しトレイから用紙を取り除いてください。
前扉が開いています 前扉を閉めて下さい	本機の前カバーが開いているか、確実にセットされていません。	本機の前カバーを確実に閉じてください。
原稿押さえを確実に閉めて下さい	原稿送り装置に原稿がセットされていて原稿送り装置が開いています。	原稿送り装置を確実に閉じてください。
給紙カバーを確実に閉めて下さい	原稿送り装置の給紙カバーが開いています。	給紙カバーを確実に閉じてください。
トナーがありません トナー補給して下さい	トナーがなくなりました。 コピー/プリントができません。	新しいトナーボトルをセットしてください。「トナー補給のしかた」(p. 11-2)
用紙切れです 用紙をセット(#XXX)	選択しているトレイの用紙がなくなりました。 "#" はトレイを、"XXX" は用紙サイズを示します。	表示されているトレイに表示されているサイズの用紙をセットしてください。
ADF に原稿をセットして下さい	原稿送り装置を使用して行うコピー機能(混載原稿コピーなど)の開始時、原稿送り装置に原稿がセットされていません。または、原稿送り装置が開いています。	原稿送り装置に原稿をセットしてください。 原稿送り装置を確実に閉じてください。
ADF の原稿を取り除いて下さい	割込みコピーで、ブック分割コピー以外のコピーの開始時、割込む前のコピー原稿が原稿送り装置に残っています。	原稿送り装置から原稿を取り除いてください。
用紙切れです	(コピー設定中) 選択しているトレイに用紙がありません。 "#" はトレイを、"XXX" は用紙サイズを示します。	表示されているトレイに表示されているサイズの用紙をセットするか、【用紙】を押して別の用紙サイズを選択してください。

11

メッセージ	原因	処置のしかた
最適用紙がありません 用紙をセット（#XXX）	・コピーの途中で、選択したトレイの用紙サイズが変更されました。 ・自動用紙選択モードでの混載原稿コピー時、最適なサイズの用紙がありません。"#" はトレイを、"XXX" は用紙サイズを示します。	表示されているサイズの用紙をセットするか、【用紙】を押して別の用紙サイズを選択してください。
最適用紙無し（#XXX）	自動用紙選択モードでのコピー時、最適なサイズの用紙がありません。"#" はトレイを、"XXX" は用紙サイズを示します。	適切なサイズの用紙をセットするか、【用紙】を押して別の用紙サイズを選択してください。
倍率を選択出来ません	自動倍率選択モードでのコピー時、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによる倍率が 25% ～ 400% の範囲外です。	適切なサイズの用紙をセットするか、【倍率】を押して倍率を選択してください。
用紙サイズエラーです 用紙を確認（#XXX）	トレイにセットした用紙がサイズエラーです。"#" はトレイを、"XXX" は用紙サイズを示します。	ペーパーフィーダーユニット の場合、セットした用紙を取り除き「用紙のセットのしかた」（p. 3-8）の手順にしたがって用紙をセットしてください。不定形サイズの場合は「不定形サイズの用紙にコピーする」（p. 4-40）をごらんください。手差しトレイの場合、セットした用紙を取り除き「手差しトレイに普通紙をセットする」（p. 4-15）の手順にしたがって用紙をセットしてください。
メモリ不足です （キー操作で解除）	スキャナで読込んだ画像データがメモリーオーバーをおこしています。	操作パネル上のいずれかのキーを押してください。または、メインスイッチを一度オフにして、再度オンにしてください。（読込んだデータはすべて消去されます。）
	コンピューターから受信した画像データがメモリーオーバーをおこしています。	操作パネル上のいずれかのキーを押してください。または、メインスイッチを一度オフにして、再度オンにしてください。（読込んだデータはすべて消去されます。）
排紙トレイが一杯です 用紙を取除いて下さい （キー操作で解除）	オプションのセパレーターを装着している場合、上段排出トレイの用紙が最大積載量に達したため、コピー／プリントができません。	セパレーターの上段排出トレイから用紙を取り除いてください。
排紙トレイ移動エラー （キー操作で解除）	オプションのセパレーターを装着している場合、電源オン時・コピー／プリント開始時に、セパレータの上、下段排出トレイ上で用紙が容量オーバーをおこしています。	セパレーターの上、下段排出トレイから用紙を取り除き、操作パネル上のいずれかのキーを押してください。
点検時期です（M1）	メンテナンス時期がきました。	担当のサービス実施店へ連絡してください。

メッセージ	原因	処置のしかた
点検時期です（M2）	感光体ユニットの交換時期がきました。	担当のサービス実施店へ連絡してください。
キーカウンタをセットして下さい	キーカウンターがセットされていません。	キーカウンターをセットしてください。
マシントラブルです サービスに連絡 C####	本機内部でトラブルが発生しました。	本機のメインスイッチを一度オフにして、再度オンにしてください。それでもエラー表示される場合は、担当のサービス実施店へ連絡してください。
ダイアル出来ません 回線を確認して下さい	・回線種別、通信回線が正しく設定されていません。 ・回線コードが正しくセットされていません。	・回線種別、通信回線を確認し、設定メニューで設定しなおしてください。 ・回線コードを正しくセットしてください。
通信エラーです (####) （キー操作で解除）	・本機内部でのトラブルなどにより通信ができませんでした。 ・相手先ファクスの都合により通信ができませんでした。	いずれかのキーを押し、出力される送信または受信結果レポートでエラー内容を確認してください。その後、設定メニューでファクス通信の設定をしなおしてください。
通信出来ませんでした	相手先の回線が話し中、応答なしなどの理由により、リダイアルがすべて失敗しました。	相手先の回線状態を確認し、再度送信を行ってください。
プリントキャンセル XXXX サーバ	本機でプリントできないメールを受信しました。（TIFF-F 形式以外の添付ファイルの場合）	送信者に TIFF-F ファイルまたは正しい形式のテキストで送信するよう依頼してください。
メモリ不足／送信取消	ファクス送信時、画像データがメモリーオーバーをおこしてしまいました。	・メモリーに保存されている受信データを取り出してください。 ・即時送信でファクス送信してください。
メモリ不足／受信取消	メール受信時に、画像データがメモリーオーバーをおこしました。	メモリーに保存されている受信データを取り出してください。
メモリ不足です ******* （キー操作で解除）	ファクス受信時、画像データがメモリーオーバーをおこしました。	メモリーに保存されている受信データを取り出してください。
ファイルフルです XXXX サーバ	メール受信時に、最大数のメモリーファイルを使用しました。	メモリーに保存されている受信データを取り出してください。
受話器が外れています	接続している電話機の受話器が外れています。	接続している電話機の受話器を置いてください。
ファクスモード確認	コピーモードでの操作中にファクスエラーがおきました。	【ファクス】を押してエラー内容を確認し、「主なメッセージと処置のしかた」（p. 11-23）の該当箇所にしたがって対応してください。
通信エラーです	サーバーとの接続エラーがおきました。	設定メニューでネットワーク設定をしなおしてください。通信を再開し、再度エラー表示される場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

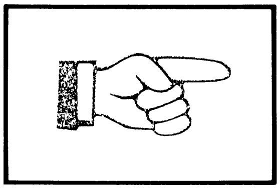
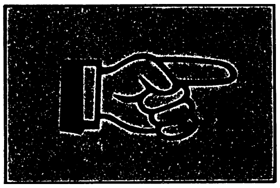
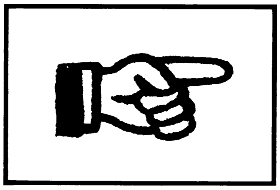
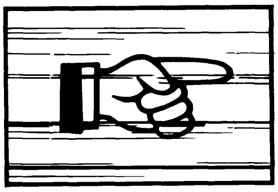
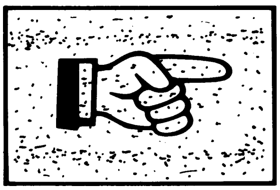
11

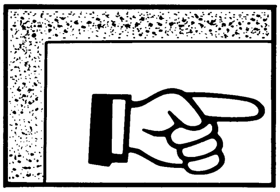
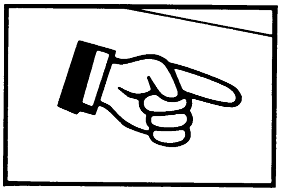
メッセージ	原因	処置のしかた
PC 接続中 暫くお待ち下さい	LSD、RSD、または PageScope Web Connection の管理者モードに本機がアクセス中です。	・ PageScope Web Connection からログアウトしてください。 ・ LSD を切断してください。 ・ 600 秒間何も操作が行われないと、基本画面に戻ります。 ・ RSD 通信はサービス技術者が行いますので、サービス技術者にお尋ねください。

第 12 章
故障かな？と思ったら

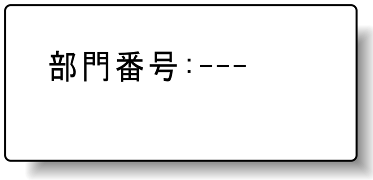
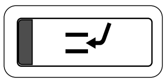
さまざまなトラブルの処置のしかたについて説明します。

12.1 こんなコピーが出てきたら

コピーの状態	おもな原因	処置のしかた
コピーがうすい / 色がうすい 	コピー濃度の設定が、“うすい”になっていませんか？	【濃度】を押して、お好みのコピー濃度に設定してください。(p. 4-8)
	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。(p. 3-8)
コピーがこい / 色がこい 	コピー濃度の設定が、“こい”になっていませんか？	【濃度】を押して、お好みのコピー濃度に設定してください。(p. 4-8)
	原稿が原稿ガラスから浮き上がっていませんか？	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。(p. 3-19)
コピーがにじむまたはボケる 	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。(p. 3-8)
	原稿が原稿ガラスから浮き上がっていませんか？	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。(p. 3-19)
コピーにスジが現れる 	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布で空拭きしてください。(p. 13-6)
	原稿押さえパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押さえパッドを清掃してください。(p. 13-7)
	第 2 原図、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていませんか？	原稿の上に白紙を重ねてコピーしてください。(p. 3-20)
コピーの全体が汚れる 	両面原稿を使っていませんか？	うすい紙の両面原稿だと、裏面の原稿内容が透けて、おもての原稿に写ってしまうことがあります。【濃度】を押して、コピーの下地レベルをうすくしてください。(p. 4-8)
	感光体ユニットの寿命です。	サービス実施店へご連絡ください。

コピーの状態	おもな原因	処置のしかた
コピーの周りが汚れる 	原稿押さえパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押さえパッドを清掃してください。(p. 13-7)
	原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ （等倍コピー時）	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。(p. 4-11) もしくは、倍率を自動設定にし、用紙に合わせたコピー倍率で、拡大コピーをしてください。 (p. 4-55)
	原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？ （等倍コピー時）	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。もしくは、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
	用紙サイズにあった縮小コピー倍率が選択されていますか？ （手動縮小コピー時）	用紙サイズにあったコピー倍率を選択してください。(p. 4-56) もしくは、倍率を自動設定にし、用紙に合わせたコピー倍率で、縮小コピーをしてください。 (p. 4-55)
コピーの画像が傾いている。 	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を原稿スケールに、正しくセットしてください。(p. 3-19) 原稿を原稿送り装置にセットし、原稿セットガイドを原稿サイズに正しくあわせてください。 (p. 3-17)
	原稿送り装置に適した原稿がセットされていますか？	原稿送り装置を開き、原稿を原稿スケールに正しくセットしてください。(p. 3-19)
	用紙ガイド板がきちんと用紙に合わせてありますか？	用紙端面にきちんと用紙ガイド板を合わせてください。
	カールの大きい用紙がトレイにセットされていませんか？	用紙のカールを手でなおしてトレイにセットしなおしてください。

12.2 コピー機が動作しない

コピー機の状態	おもな原因	処置のしかた
操作パネルに何も表示されない。	【スタート】だけがグリーン点灯していますか？	低電力（スリープ）モードが設定されています。 操作パネル上のいずれかのキーを押して低電力モードを解除してください。（p. 2-20）
	オートパワーオフモードがはたらいていませんか？	メインスイッチをオンにしなおしてください。（p. 2-19）
【スタート】がグリーン色に点灯しない。	ID（部門）番号を入力しましたか？  	“ID（部門）番号の入力のしかた”の手順にしたがって番号を入力してください。（p. 5-27）
【スタート】を押してもコピーできない。	操作パネル上の注意ランプが点灯していませんか？	ディスプレイを見て、表示ごとの処置のしかたにしたがって対処してください。
	メインスイッチをオンにした直後でコピー機が準備中です。	メインスイッチをオンにしてからコピーできるまでに約 30 秒かかります。 しばらくお待ちください。
コピーモードが設定できない。	【割込み】が点灯していませんか？ 割込み 	割込みコピーモードが設定されています。【割込み】を押し、モードを解除してください。（p. 4-65）
本機の電源が入らない。	電源コードが、コンセントから抜けていませんか？	電源コードのプラグを差し込みなおしてください。
	本機を設置してある場所のブレーカーが OFF になっていませんか？	ブレーカーを ON にしてください。

12.3 ファクスがうまく動作しない

■ うまく送信できない

ファクスの状態	おもな原因	処置のしかた
原稿が読込まれない。	原稿が厚すぎませんか？	原稿を原稿ガラスにセットして送信してください。(p. 6-7)
	原稿が薄すぎる、小さすぎませんか？	原稿を原稿ガラスにセットして送信してください。(p. 6-7)
	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布でから拭きしてください。
原稿が斜めに読込まれる。	原稿セットガイドが原稿の幅に合っていますか？	原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。(p. 6-5)
相手先で受信した画像が不鮮明な場合。	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。(p. 6-5)
	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布でから拭きしてください。
	原稿の文字が薄くありませんか？	読み取り濃度を設定してください。(p. 10-49)
	回線状態か、相手先ファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明な場合は、もう一度送信しなおしてください。
相手先で受信した画像が白紙になる。	原稿の送信したい面を下にして原稿をセットしていませんか？（原稿送り装置使用時）	原稿の送信したい面を上にして原稿をセットし、もう一度送信しなおしてください。(p. 6-5)
自動送信できない。	番号が間違っていませんか？	番号を確認してください。
	電話専用の番号にかけていませんか？	番号を確認してください。
	相手先に原因がありませんか？（用紙切れ、自動受信できない設定になっている、電源が入っていない等）	相手先に確認してください。

12

■ うまく受信できない

ファクスの状態	おもな原因	処置のしかた
受信した画像が鮮明でない。	指定の用紙を使用していますか？	指定の用紙を使用してください。
	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。
	トナーはありますか？	新しいトナーボトルをセットしてください。
	相手先のファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。
受信した用紙が白紙になる。	トナーはありますか？	新しいトナーボトルをセットしてください。
	相手先が原稿を裏表逆にセットしていませんか？	相手先に確認してください。
自動受信されない。	手動受信に設定されていませんか？	自動受信に設定してください。（p. 10-63）
	メモリーがいっぱいになっていませんか？	用紙がなくなっているときは用紙を補給し、メモリーに蓄積されている文書をプリントしてください。
	メッセージが表示されていませんか？	表示にしたがい、メッセージを解除してください。
受信した用紙に黒いスジが入る。	相手先のファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してください。コピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。

■ うまく電話できない

ファクスの状態	おもな原因	処置のしかた
外付け電話機から何も聞こえない。	電話機のコードが本機に接続されていますか？	電話機のコードを本機に接続してください。
	回線コードが本機に接続されていますか？	回線コードを本機に接続してください。
	通信中のとき。	通信が終了してから、もう一度確認してください。
ダイアルしても呼び出し音が聞こえない。	回線種別が正しく設定されていますか？	回線種別を正しく設定しなおしてください。(p. 3-38)
オンフックダイアルのときに相手の声が聞きとりにくい。	モニター音量が小さくなっていませんか？	モニター音量を大きくしてください。(p. 9-50)
電話の呼び出しベル音が小さい（大きい）。	外付け電話機の呼び出し音量が小さく（大きく）なっていませんか？	外付け電話機の呼び出し音量を調整してください。

第 13 章
その他

本機の仕様や、日頃のお手入れについて説明します。

13.1 おもな仕様

■ 本機 bizhub 163f

仕様	
形式	デスクトップ
原稿台方式	固定式
感光体	OPC
複写方式	乾式レーザー電子写真方式
現像方式	HMT 方式
定着方式	ヒートローラ定着方式
解像度	600 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック、立体物 サイズ：最大 A3 ▭、Ledger ▭（11 × 17 ▭）重量：3 kg
複写紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、再生紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） 特殊紙：厚紙（91 g/m^2 ～ 157 g/m^2）、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒 ※特殊紙は第 1 トレイ、手差しトレイのみ使用可
複写紙サイズ	＜第 1 トレイ＞ メトリック系： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯、官製はがき インチ系： Ledger ▭（11 × 17 ▭）、11 × 14 ▭、 Legal ▭（8-1/2 × 14 ▭）、Letter ▭/▯（8-1/2 × 11 ▭/▯）、 Invoice ▭/▯（5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯） フリーサイズ：幅：90 mm ～ 297 mm、長さ：140 mm ～ 432 mm ＜手差しトレイ＞ A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯、官製はがき （幅：90 mm ～ 297 mm、長さ：140 mm ～ 432 mm）
用紙積載量	＜第 1 トレイ＞ 普通紙、再生紙：300 枚 特殊紙（厚紙、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙）：20 枚 封筒：10 枚 ＜手差しトレイ＞ 普通紙、再生紙、特殊紙：1 枚
ウォームアップタイム	30 秒以下（室温 23 ℃）
ファーストコピータイム	7 秒以下（原稿ガラス、第 1 トレイ使用時） 11 秒以下（DF-502、第 1 トレイ使用時）
複写速度（毎分）	7 枚（A3 ▭） 13 枚（A4 ▭） 16 枚（A4 ▯） 18 枚（B5 ▯）
複写倍率	等倍：100% 拡大：122%、141%、200%、400% 縮小：81%、70%、50%、25% ズーム：25% ～ 400%（1% 刻み）
連続複写枚数	1 ～ 99 枚
濃度調整	自動、および手動 9 段階

仕様	
画像欠損	先端 4 mm、後端 4 mm、奥側 4 mm、手前側 4 mm
電源	100 V、10.0 A、50/60 Hz 共用
最大消費電力	1000 W 以下
大きさ	幅 599 mm × 奥行 620 mm × 高さ 487 mm
質量	38 kg
標準メモリ	コピー側：32 MB（最大 160 MB まで増設可能）
直流抵抗値	290 Ω（データターミナル 204 Ω）
メモリバックアップ用電池	ニッケル水素電池（電圧 4.8 V、容量 280 mAh）

■ ファクス仕様

仕様	
電送モード	G3
適用回線	一般加入電話回線、NCC 各回線
結合方式	直接結合（モジュラージャック使用）
伝送速度	33.6 / 31.2 / 28.8 / 26.4 / 24.0 / 21.6 / 19.2 / 16.8 / 14.4 / 12.0 / 9.6 / 7.2 / 4.8 / 2.4 kbps（自動切替え）
電送時間	3 秒 *
走査線密度	8 dot/mm × 3.85/7.7/15.4 line/mm、 16 dot/mm × 15.4 line/mm**
原稿サイズ	最大 A3 長尺原稿（最大 1000 mm）可
記録紙サイズ	A3 、B4 、A4 /、B5 、A5
メモリ読込み可能枚数	標準（5 MB）時：280 枚 メモリ増設（16 MB）時：1024 枚 ※ A4 標準原稿の場合
帯域圧縮方式	MH / MR / MMR / JBIG

* A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 dot/mm × 3.85 line/mm）で高速モード（33.6 kbps）で送信したときの速さです。これは、画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

** 原稿送り装置での即時送信のみサポートします。

■ 自動原稿送り装置 DF-502

仕様	
原稿通紙モード	標準モード：片面原稿 混載原稿モード：片面原稿
原稿種類	標準モード：普通紙 （50 g/m^2 ～ 110 g/m^2） 混載原稿モード：普通紙 （60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）
原稿サイズ	標準モード：A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▭/▯ 混載原稿モード：A3 ▭ と A4 ▯、B4 ▭ と B5 ▯ の混載
原稿積載量	最大 50 枚（80 g/m^2）
最大消費電力	36 W 以下
大きさ	幅 598 mm × 奥行 483 mm × 高さ 102 mm
質量	6.3 kg

■ ペーパーフィーダーユニット PF-502

仕様	
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、再生紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）
用紙サイズ	メトリック系： A3 ▭、B4 ▭、A4 ▭/▯、B5 ▭/▯、A5 ▯ インチ系： Ledger ▭（11 × 17 ▭）、11 × 14 ▭、 Legal ▭（8-1/2 × 14 ▭）、Letter ▭/▯（8-1/2 × 11 ▭/▯）、 Invoice ▯（5-1/2 × 8-1/2 ▯）
収容枚数	300 枚
最大消費電力	9 W 以下
大きさ	幅 590 mm × 奥行 558 mm × 高さ 108 mm
質量	5.5 kg

■ セパレータ JS-503

仕様	
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、再生紙 特殊紙：厚紙（91 g/m^2 ～ 157 g/m^2）、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒
用紙積載量	＜上段トレイ＞ 普通紙、再生紙：A4 100 枚、A4 以外 50 枚（高さ 22 mm まで） 特殊紙：10 枚 ＜下段トレイ＞ 普通紙、再生紙：A4 150 枚、A4 以外 75 枚 特殊紙：20 枚
最大消費電力	24 W 以下

■ マルチ手差し給紙ユニット MB-501

仕様	
用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、再生紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） 特殊紙：厚紙（91 g/m^2 ～ 157 g/m^2）、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、封筒
用紙サイズ	A3 、B4 、A4 / 、B5 / 、A5 / 、官製はがき （幅：90 mm ～ 297 mm、長さ：140 mm ～ 432 mm）
収容枚数	普通紙、再生紙：100 枚 特殊紙（厚紙、OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙）：20 枚 封筒：10 枚
最大消費電力	9 W 以下
大きさ	幅（最大）439 mm × 奥行 435 mm × 高さ 137 mm
質量	3.1 kg

13.2 日常のお手入れ

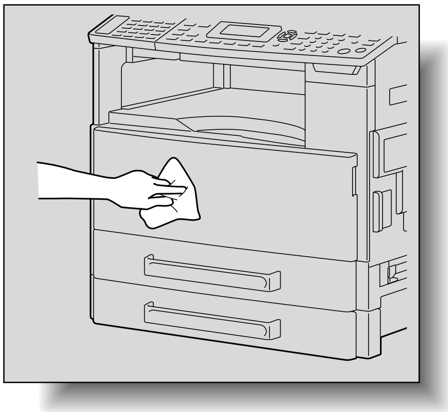
ここでは各部の清掃のしかたについて説明します。

必ず守ってください

清掃時は必ず本機のメインスイッチをオフにしてください。

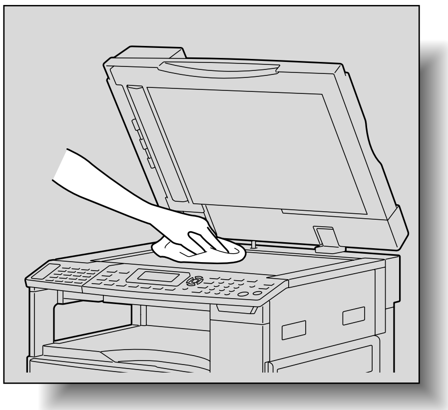
■ 外装カバー

柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、外装カバーの表面の汚れを拭き取ります。



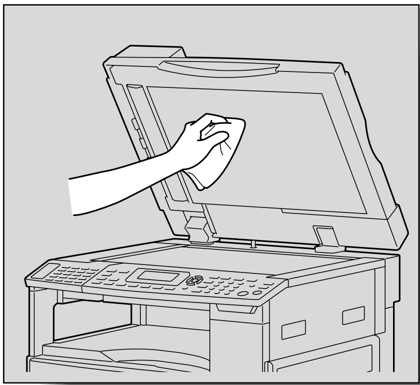
■ 原稿ガラス

柔らかな布で原稿ガラス表面をから拭きし、汚れを拭き取ります。



■ 原稿押さえパッド

柔らかな布にアルコールを付け、原稿押さえパッド表面の汚れを拭き取ります。

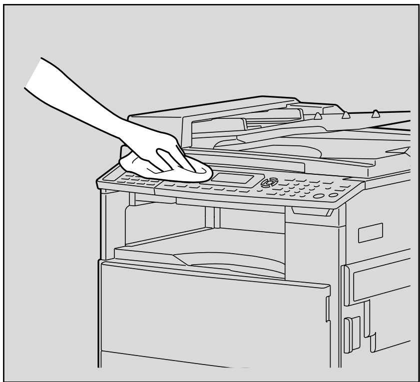


■ 操作パネル

柔らかな布で操作パネルの表面をから拭きし、汚れを拭き取ります。

必ず守ってください

操作キーを傷める恐れがあるため、家庭用中性洗剤、ガラスクリーナーなどは使用しないでください。



■ おもな機能の組み合わせ一覧表

		給紙				コピー枚数設定	倍率				画質			濃度		混載原稿	ブック分割	集約		とじ代	枠消し					仕上り			白黒反転
先設定＼後設定		自動用紙選択	手動用紙選択	シングル手差し	マルチ手差し		自動倍率	固定倍率	手動倍率	縦横変倍	文字／写真	文字	写真	自動濃度	手動濃度			2in1	4in1		左	上	枠	折目	枠＋折目	ノンソート	ソート	グループ	
給紙	自動用紙選択	＼	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	＼	＼	○	○	○	○
	手動用紙選択	×	＼	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	シングル手差し	－	－	＼	＼	－	○(1)	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	○	○	○	○	＼	＼	○	－	－	○
	マルチ手差し	×	×	＼	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マルチ手差し用紙切れ	×	×	＼	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コピー枚数設定		○	○	×	○	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
倍率	自動倍率	×	○	○	○	○	＼	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	＼	＼	○	○	○	○
	固定倍率	○	○	○	○	○	×	＼	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	手動倍率	○	○	○	○	○	×	×	＼	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	縦横変倍	×	○	○	○	○	×	×	×	＼	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画質	文字／写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	文字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	＼	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
濃度	自動濃度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×(4)	＼	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	手動濃度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×(3)	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
混載原稿		○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	＼	×	×	×	○	○	○	○	＼	＼	○	○	○	○
ブック分割		×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	＼	×	×	○	＼	＼	○	○	○	○(2)	○(2)	○(2)	○
集約	2in1	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	＼	×	×	×	×	×	＼	＼	○	○	○	○
	4in1	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	＼	×	×	×	×	＼	＼	○	○	○	○
とじ代		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○
枠消し	左	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	＼	×	×	＼	＼	○	○	○	○
	上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	＼	×	＼	＼	○	○	○	○
	枠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	＼	×	×	○	○	○	○
	折目	×	○	×	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	×	＼	×	×	○	＼	＼	×	＼	×	○	○	○	○
	枠＋折目	×	○	×	○	○	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	×	＼	×	×	○	＼	＼	×	×	＼	○	○	○	○
仕上り	ノンソート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	×	×	○
	ソート	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	＼	×	○
	グループ	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○(2)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	＼	○
白黒反転		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼
割込み		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	○

機能の組み合わせ条件

○ ：機能を組み合わせることができます。

× ：同時設定できません。先設定モードは解除されます。

－ ：同時設定できません。後設定モードは受け付けません。

＼ ：機能を組み合わせることはできません。

(1)：自動用紙選択は機能しません。

(2)：ブック分割とソート、グループは同時設定できます。
仕上りの設定に関わらず出力結果は同じです。

13.4 コピー用紙サイズとコピー倍率一覧表

■ コピー用紙サイズ

名称（センチサイズ）	大きさ（センチ）	大きさ（インチ）
A3	297 mm × 420 mm	11-3/4 × 16-1/2
A4	210 mm × 297 mm	8-1/4 × 11-3/4
A5	148 mm × 210 mm	5-3/4 × 8-1/4
A6	105 mm × 148 mm	4-1/4 × 5-3/4
B4	257 mm × 364 mm	10 × 14-1/4
B5	182 mm × 257 mm	7-1/4 × 10
B6	128 mm × 182 mm	5 × 7-1/4
はがき POSTCARD	100 mm × 148 mm	4 × 5-3/4

名称（インチサイズ）		大きさ（インチ）	大きさ（センチ）
LEDGER		11 × 17	279 mm × 432 mm
11 × 14		11 × 14	279 mm × 356 mm
10 × 14		10 × 14	254 mm × 356 mm
9-1/4 × 14		9-1/4 × 14	236 mm × 356 mm
LEGAL		8-1/2 × 14	216 mm × 356 mm
FOOL SCAP	GOVERNMENT LEGAL	8-1/2 × 13	216 mm × 330 mm
FOOL SCAP		8 × 13	203 mm × 330 mm
FOOL SCAP		8-2/3 × 13	220 mm × 330 mm
FOOL SCAP	FOLIO	8-1/4 × 13	210 mm × 330 mm
8-1/4 × 11-3/4		8-1/4 × 11-3/4	210 mm × 301 mm
LETTER		8-1/2 × 11	216 mm × 279 mm
GOVERNMENT LETTER		8 × 10-1/2	203 mm × 267 mm
QUARTO		8 × 10	203 mm × 254 mm
STATEMENT	INVOICE	5-1/2 × 8-1/2	140 mm × 216 mm

■ コピー倍率

センチサイズ		
原稿サイズ	コピー用紙	コピー倍率
A3 297 mm × 420 mm (11-3/4 × 16-1/2)	A4	70%
	A5	50%
	B4	86%
	B5	61%
A4 210 mm × 297 mm (8-1/4 × 11-3/4)	A5	70%
	A6	50%
	B5	86%
	B6	61%
	A3	141%
	B4	122%
A5 148 mm × 210 mm (5-3/4 × 8-1/4)	A6	70%
	B6	86%
	A4	141%
	A3	200%
	B4	173%
	B5	122%
A6 105 mm × 148 mm (4-1/4 × 5-3/4)	A4	200%
	A5	141%
	B5	173%
	B6	122%
B4 257 mm × 364 mm (10 × 14-1/4)	A4	81%
	A5	57%
	B5	70%
	B6	50%
	A3	115%
B5 182 mm × 257 mm (7-1/4 × 10)	A5	81%
	A6	57%
	B6	70%
	A3	163%
	A4	115%
	B4	141%
B6 128 mm × 182 mm (5 × 7-1/4)	A6	81%
	A4	164%
	A5	115%
	B4	200%
	B5	141%

インチサイズ		
原稿サイズ	コピー用紙	コピー倍率
11 × 17 (279.4 mm × 431.8 mm)	11 × 14	82%
	Legal	77%
	Foolscap	75%
	Letter	64%
	Invoice	50%
11 × 15 (279.4 mm × 381 mm)	11 × 14	93%
	Legal	77%
	Foolscap	75%
	Letter	73%
	Invoice	50%
11 × 14 (279.4 mm × 355.6 mm)	Legal	77%
	Foolscap	77%
	Letter	77%
	Invoice	50%
Legal 8-1/2 × 14 (215.9 mm × 355.6 mm)	Foolscap	92%
	Letter	78%
	Invoice	60%
	11 × 17	121%
Foolscap 8-1/2 × 13 (215.9 mm × 330.2 mm)	Letter	84%
	Invoice	65%
	11 × 17	130%
	11 × 14	107%
Letter 8-1/2 × 11 (215.9 mm × 279.4 mm)	Invoice	64%
	11 × 17	129%
	11 × 14	127%
Invoice 5-1/2 × 8-1/2 (139.7 mm × 215.9 mm)	11 × 17	200%
	11 × 14	164%
	Legal	154%
	Foolscap	150%
	Letter	129%

コピー倍率＝コピー用紙サイズ÷原稿サイズ

1 inch = 25.4 mm

1 mm = 0.0394 inch

13.5 消耗品について

本機を維持するには以下のような消耗品が必要です。

コピー品質を最良に保つため、指定の消耗品の使用をおすすめいたします。

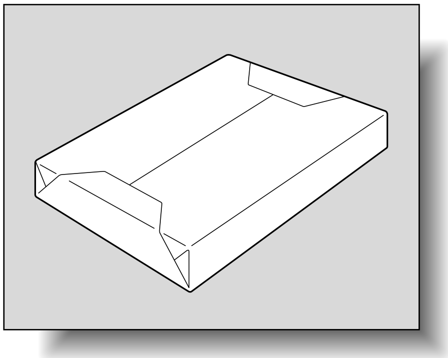
また、これらの消耗品の購入、問い合わせにつきましては、販売各社一覧表をごらんいただき最寄りの販売店にご連絡ください。

■ コピー用紙

普通紙の他に、再生紙、OHP フィルムなどがあります。

必ず守ってください

包みから取り出したコピー用紙は湿気を避けるためポリ袋に入れ、冷暗所にて保管してください。

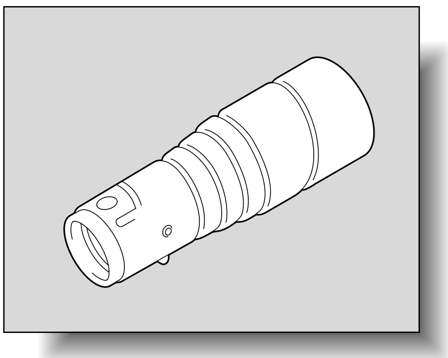


■ トナーボトル

トナーとは、文字や線を記録する黒い粉末です。

必ず守ってください

・本機専用のトナー／トナーボトルを使用してください。
・使用済みのトナーボトルはサービス実施店で回収しますので、捨てずに保管しておいてください。



13.6 保守サービスについて

本機には以下の保守サービスシステムがあります。

- コピーキットシステム
  本機専用のコピーキットをご購入いただきますと、弊社が機械の性能を維持する為の保守サービスをご提供し、感光体、現像剤をお貸しするシステムです。専門のサービス技術者を派遣し、点検、整備および交換を行います。
- スポットシステム
  機械の保守サービスと、感光体、現像剤、トナー、部品その他関連商品の供給をお客様のご要請の都度、有料でお引き受けするシステムです。

尚、保守サービスの為に必要な補修用性能部品（機械の性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は複写機の製造中止後 7 年間です。

13

13.7 LSD について

■ LSD とは

LSD とは Local Setup for Diagnostic のことで、このソフトをインストールしたコンピューターを本機に接続すると、コンピューターから本機の設定を変更したり、カウンタの確認やマシンの状態を確認したりすることができます。

LSD を使って、以下のようなことができます。

- 本機のワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループの登録内容をコンピューターに保存
- 本機のワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループの登録内容を変更
- 本機の設定メニューの設定
- トータルカウンタの確認
- コンフィグレーションページの確認

■ LSD の動作環境

LSD をコンピューターにインストールするには以下の環境が必要です。

オペレーティングシステム	Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Sever 2003、Windows Vista
CPU	Pentium II 以上
メモリー	OS が推奨するメモリ容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリリソースが十分であること。
ハードディスク空き容量	100 MB 以上
Web ブラウザ	Internet Explorer Ver 5.0 以降

接続に使用するインターフェース

- USB インターフェース、USB ケーブル

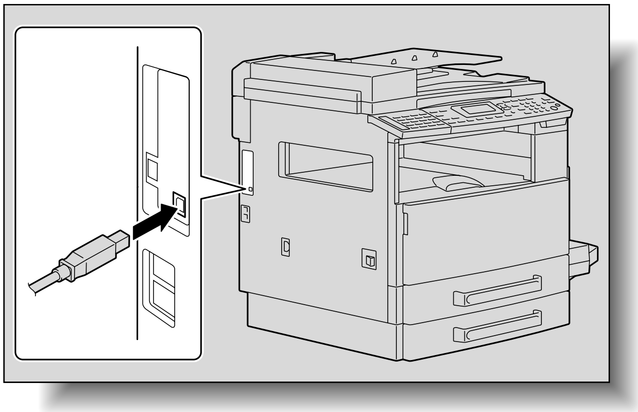
ひとこと

USB ケーブルは A タイプ（4 ピンオス）-B タイプ（4 ピンオス）のものを使用してください。USB ケーブルは、ケーブル長が 3 m 以下のものをおすすめいたします。

■ セットアップの流れ

LSD を使用する前に本機とコンピューターを接続し、LSD をコンピューターへインストールする必要があります。

1 本機とコンピューターを接続します。



2 本機同梱の TWAIN ドライバ、プリンタドライバをインストールします。

参照

インストール手順については、プリンタドライバ、TWAIN ドライバのマニュアルをごらんください。

3 コンピューターに LSD をインストールします。

参照

インストール手順については、「LSD のインストール」（p. 13-16）をごらんください。

■ LSD のインストール

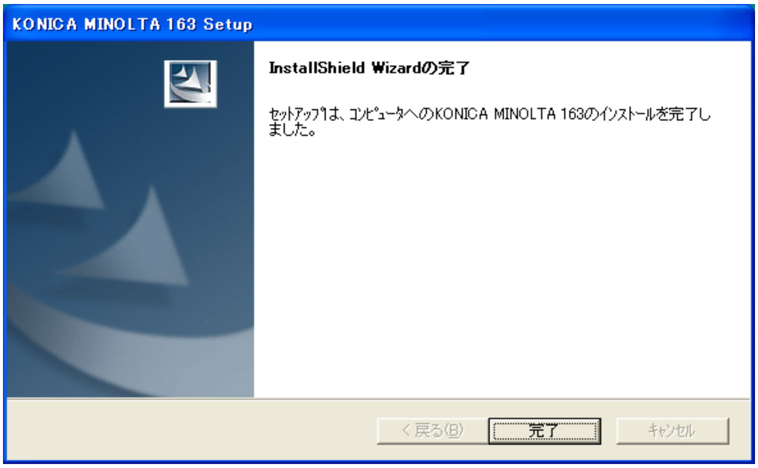
1 LSD¥LSD Setup.exe をダブルクリックします。

2 インストーラーが起動します。



3 ［次へ］をクリックし、画面のメッセージにしたがって操作します。

4 LSD のインストール終了メッセージが表示されたら［完了］をクリックします。



LSD のインストールが完了しました。

■ LSD を起動する

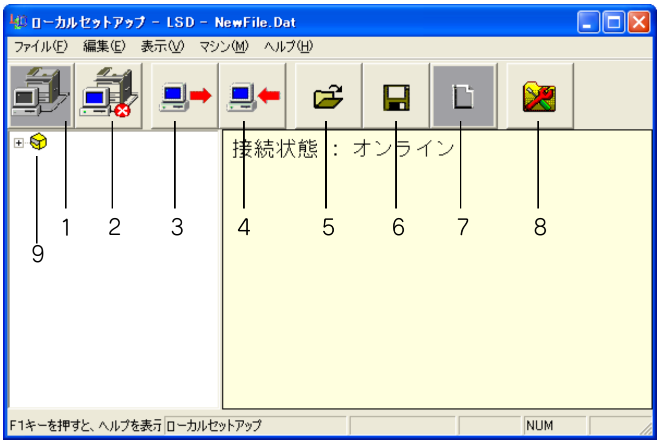
1

［スタート］－［すべてのプログラム］－［KONICA MINOLTA 163］をクリックします。



LSD 画面が表示されます。

■ LSD 画面について



No.	名称	説明
1	接続アイコン	LSD と本機を接続します。
2	切断アイコン	LSD と本機の接続を切断します。
3	アップロードアイコン	設定ファイルを本機に送信します。
4	ダウンロードアイコン	本機の設定を PC に送信します。
5	開くアイコン	設定ファイルを開きます。
6	上書き保存アイコン	設定ファイルを上書きします。
7	新規作成アイコン	新規ファイルを作成します。
8	ユーティリティ設定アイコン	ユーティリティ設定画面を表示します。
9	本機アイコン	本機アイコン をクリックすると、本機のワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループを表示します。

■ 本機と接続する

1

をクリックします。

LSD と本機が接続されると「接続状態：オンライン」と表示されます。

ひとこと

「マシン」メニュー－「接続」をクリックしても接続できます。

詳しく説明します

LSD で操作しているときは、本機操作パネルから操作できません。

■ 本機から登録内容をダウンロードする

1

をクリックします。

ひとこと

「マシン」メニュー－「ダウンロード」をクリックしてもダウンロードできます。

■ 新しい設定ファイルを作成する

1

をクリックします。

ひとこと

- 「ファイル」メニュー－「新規作成」をクリックしても作成できます。
- LSD と本機が接続されているときは、新しいファイルを作成できません。切断アイコンをクリックして、LSD と本機の接続を切断してください。

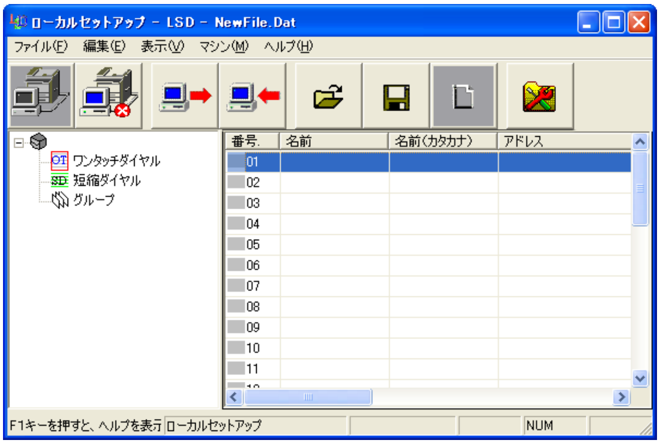
■ ワンタッチダイアルに登録する

1

本機アイコン をクリックし、「ワンタッチダイヤル」をクリックします。

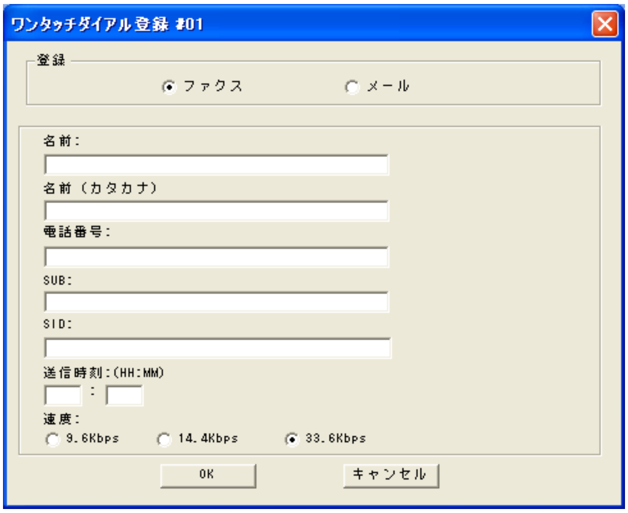
13

2 表示されたリストから登録したい番号をダブルクリックします。



> **詳しく説明します**
>
> ワンタッチダイアルには、32 の宛先を登録できます。

3 ワンタッチダイアル登録画面で、必要な項目を入力します。



> **詳しく説明します**
>
> ・「名前」欄には、漢字を含むすべての全角文字、および半角文字を入力できます。
> ・「名前（カタカナ）」欄には、半角のカタカナ、数字、アルファベットを入力できます。
> ・「名前」欄に入力した文字は、相手先名としてディスプレイに表示されます。全角文字と半角文字を組み合わせて入力した場合は、文字の間にスペースが入る場合があります。
> ・「名前（カタカナ）」欄に入力した文字は、レポート出力時に相手先名として印字されます。また、「名前」を入力しない場合にはディスプレイに表示されます。
> ・「名前」が入力されている場合でも、操作パネルで電話帳検索する場合は「名前（カタカナ）」で検索されます。

4 ［OK］をクリックします。

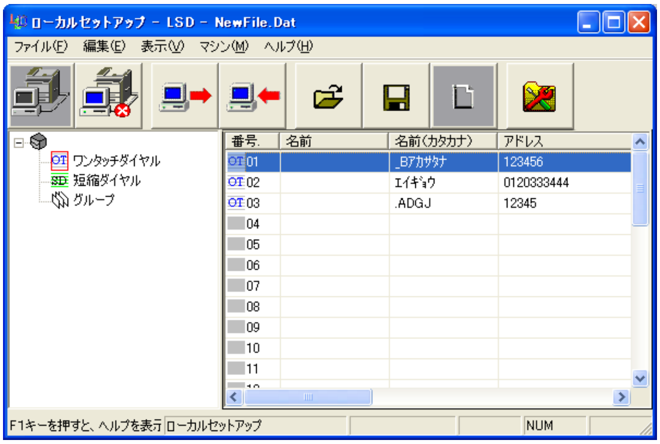
ワンタッチダイアルの登録が完了しました。

■ ワンタッチダイアルを編集する

1

本機アイコン をクリックし、「ワンタッチダイヤル」をクリックします。

- すでに登録されているワンタッチダイアルを選択し、設定内容を変更できます。



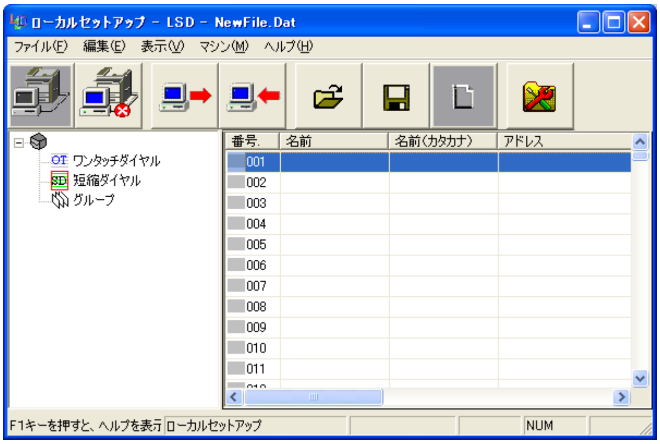
詳しく説明します

登録内容を編集するときに、「編集」メニューから「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」、「削除」を選択できます。

■ 短縮ダイアルに登録する

1. 本機アイコン をクリックし、「短縮ダイヤル」をクリックします。

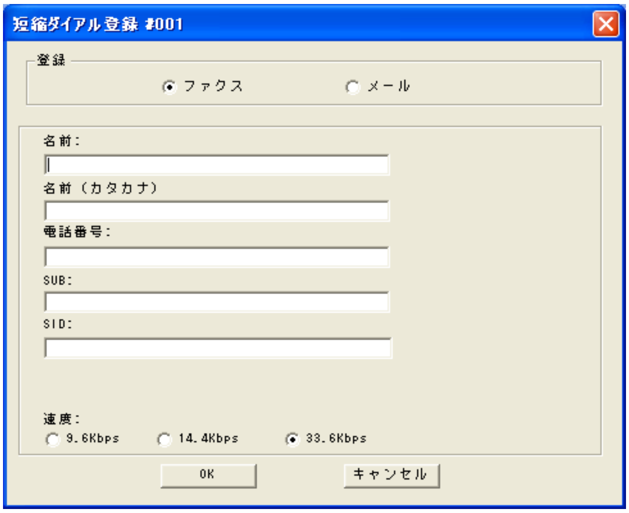
2. 表示されたリストから登録したい番号をダブルクリックします。



詳しく説明します

短縮ダイアルには、240 の宛先を登録できます。

3 短縮ダイアル登録画面で、必要な項目を入力します。



4 [OK] をクリックします。

短縮ダイアルの登録が完了しました。

詳しく説明します

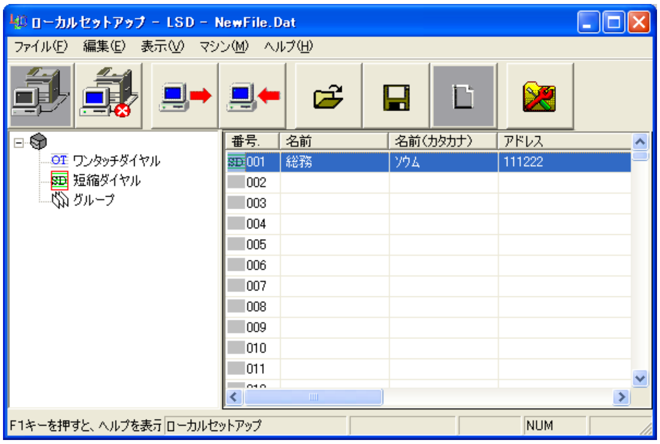
- 「名前」欄には、漢字を含むすべての全角文字、および半角文字を入力できます。
- 「名前（カタカナ）」欄には、半角のカタカナ、数字、アルファベットを入力できます。
- 「名前」欄に入力した文字は、相手先名としてディスプレイに表示されます。全角文字と半角文字を組み合わせて入力した場合は、文字の間にスペースが入る場合があります。
- 「名前（カタカナ）」欄に入力した文字は、レポート出力時に相手先名として印字されます。また、「名前」を入力しない場合にはディスプレイに表示されます。
- 「名前」が入力されている場合でも、操作パネルで電話帳検索する場合は「名前（カタカナ）」で検索されます。

■ 短縮ダイアルを編集する

1

本機アイコン をクリックし、「短縮ダイヤル」をクリックします。

- すでに登録されている短縮ダイアルを選択し、設定内容を変更できます。



詳しく説明します

登録内容を編集するときに、「編集」メニューから「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」、「削除」を選択できます。

■ グループに登録する

1 本機アイコン ⊞ をクリックし、「グループ」をクリックします。

2 表示されたリストから登録したい番号をダブルクリックします。



ひとこと

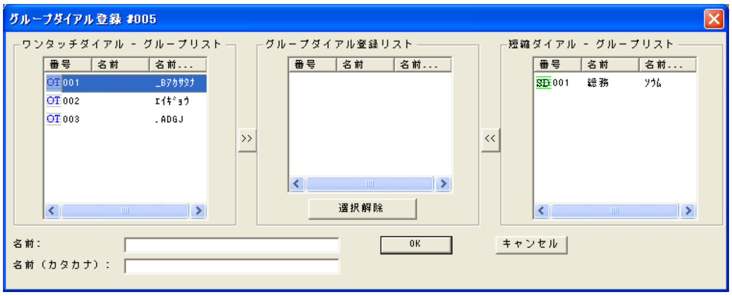
ワンタッチダイアルや短縮ダイアルを登録してから、グループ登録を行ってください。

詳しく説明します

グループには、32 の宛先を登録できます。

13

3 グループ登録画面で、グループに登録する番号を選択し >> << をクリックします。



4 グループ名と名前（カタカナ）を入力します。

5 ［OK］をクリックします。

グループの登録が完了しました。

■ グループを編集する

1 グループリストを表示し、編集したいグループ番号を選択します。

❍ すでに登録されているグループを選択し、設定内容を変更できます。



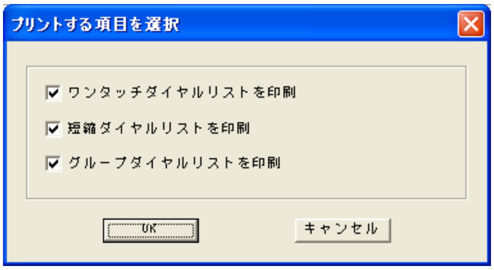
詳しく説明します

・「名前」欄には、漢字を含むすべての全角文字、および半角文字を入力できます。
・「名前（カタカナ）」欄には、半角のカタカナ、数字、アルファベットを入力できます。
・「名前」欄に入力した文字は、相手先名としてディスプレイに表示されます。全角文字と半角文字を組み合わせて入力した場合は、文字の間にスペースが入る場合があります。
・「名前（カタカナ）」欄に入力した文字は、レポート出力時に相手先名として印字されます。また、「名前」を入力しない場合にはディスプレイに表示されます。
・「名前」が入力されている場合でも、操作パネルで電話帳検索する場合は「名前（カタカナ）」で検索されます。

■ ワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループダイアルのリストを印刷する

1 「ファイル」メニュー－「印刷」をクリックします。

以下の画面が表示されます。



2 プリントしたい項目にチェックをいれ、［OK］をクリックします。

■ 設定内容をコンピューターに保存する

1 をクリックします。

2 保存先を指定し、ファイル名を入力します。

3 ［保存］をクリックします。

> **ひとこと**
> 「ファイル」メニュー－「上書き保存」をクリックしても保存できます。

■ 設定内容を本機に保存する

1 をクリックし、本機に設定内容を送信します。

> **ひとこと**
> 「マシン」メニュー－「アップロード」をクリックしても本機にデータを保存できます。

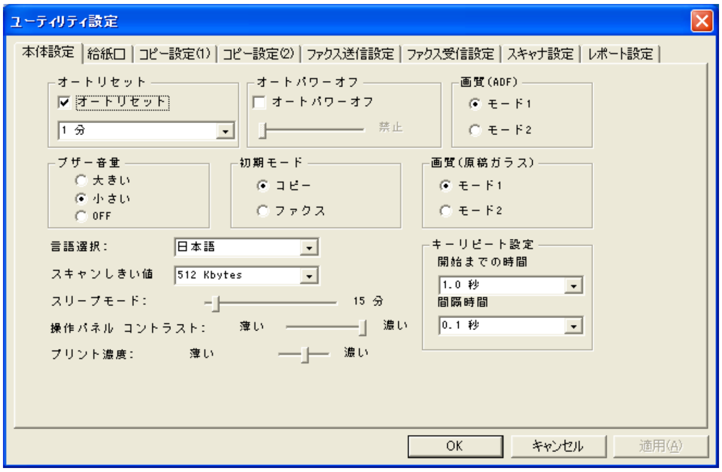
13

■ 設定メニューの設定をする

本機操作パネルで設定する設定メニューを LSD のユーティリティ設定画面から設定できます。

1  をクリックします。

ユーティリティ設定画面が表示されます。



LSD から設定できる項目は以下のとおりです。

説明	項目
本体設定	オートリセット
	オートパワーオフ
	画質（ADF）
	ブザー音量
	初期モード
	画質（原稿ガラス）
	スリープモード
	操作パネルコントラスト
	プリント濃度
	言語選択
	キーリピート設定
	スキャンしきい値

ひとこと

LSD で操作しているときは、本機操作パネルから操作できません。

ひとこと

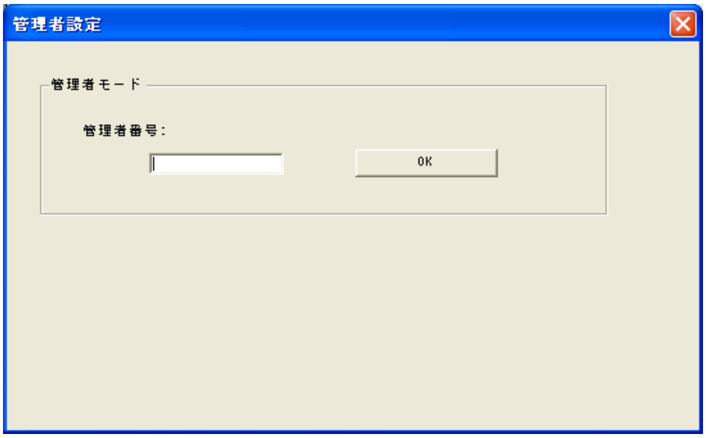
「マシン」メニュー－「ユーティリティ設定」をクリックしても表示できます。

説明	項目
給紙口設定	用紙単位設定
	特殊紙
	トレイ 1 用紙種類
コピー設定（1）	優先トレイ
	優先画質
	優先濃度
	濃度レベル（自動）
	濃度レベル（手動）
	とじ代設定
	小サイズ原稿許可
	ブックとじ位置
	枠消し設定
コピー設定（2）	優先原稿混載
	優先 APS/AMS
	優先ソート
	4in1 ページ順
	交互排紙
ファクス送信設定	濃度レベル
	優先画質
	優先送信モード
	ヘッダー
ファクス受信設定	メモリ受信モード
	縮小プリント
	受信プリント
	受信モード
	転送
	呼出回数
	トレイ設定
	フッター
	閉域受信
	転送受信
レポート設定	通信管理レポート
	予約レポート
	送信結果レポート
	受信結果レポート
スキャナ設定	優先画質
	ファイル形式
	圧縮符号化方式

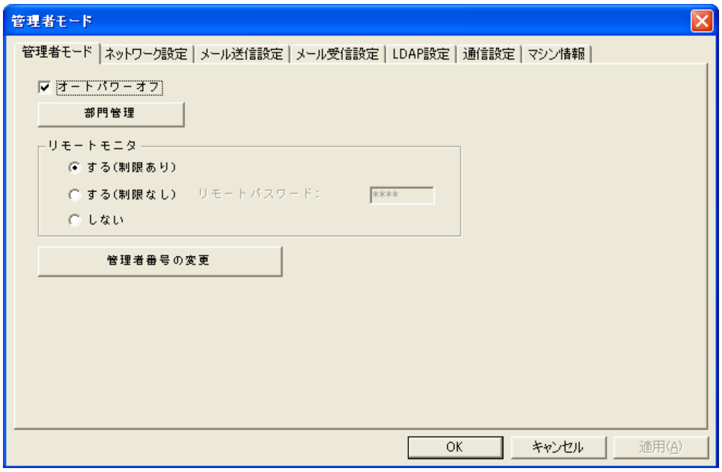
13

■ 管理者設定をする

1. 「マシン」メニュー -「管理者設定」をクリックします。
2. 管理者番号を入力します。



管理者設定画面が表示されます。



LSD から設定できる項目は次のとおりです。

説明	項目
管理者設定	オートパワーオフ
	部門管理
	リモートモニタ
	管理者番号の変更

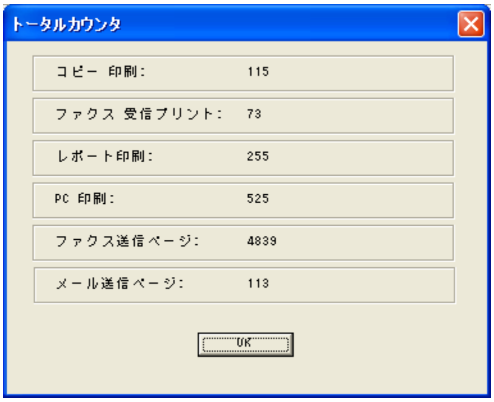
説明	項目
ネットワーク設定	自動設定
	IP アドレス
	サブネットマスク
	ゲートウェイ
	DNS 設定
	ゲートウェイ送信
	WEB 送信
	LPD 設定
	SLP 設定
	SNMP 設定
メール送信設定	送信者名
	メールアドレス
	SMTP サーバーアドレス
	SMTP ポート番号
	SMTP タイムアウト
	テキスト挿入
	件名
	POP BEFORE SMTP
	メールモード
メール受信設定	POP3 サーバーアドレス
	POP3 アカウント
	POP3 パスワード
	POP3 ポート番号
	POP3 タイムアウト
	自動受信
	転送アドレス
	ヘッダープリント
LDAP 設定	LDAP サーバ
	LDAP ポート番号
	検索ベース
	検索方法
	LDAP タイムアウト
	最大検索数
	LDAP アカウント
	LDAP パスワード
	ドメイン名
	検索属性
	SSL 設定
	認証方式

説明	項目
通信設定	ダイアル方法
	モニタ音量
	回線設定
	TEL/FAX 自動切換
	電話呼出し時間
	留守番電話接続
マシン情報	名前
	電話番号

■ トータルカウンタを確認する

1 「マシン」メニュー－「トータルカウンタ」をクリックします。

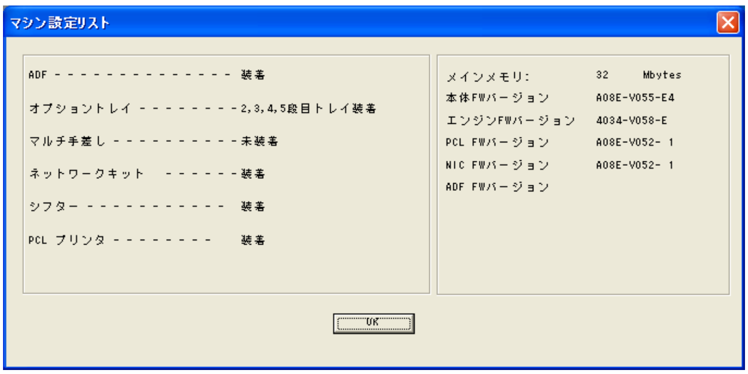
トータルカウンタが表示されます。



■ コンフィギュレーションページを確認する

1 「マシン」メニュー－「コンフィギュレーション」をクリックします。

マシン設定リストが表示されます。



■ LSD のアンインストール

1. ［スタート］－［プログラム］－［KONICA MINOLTA 163］－［Uninstall］をクリックします。

2. 表示される画面のメッセージにしたがって操作します。

3. 以下の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。



13.8 用語一覧

用語の説明

用語	説明
オートリダイアル	相手先が使用中などで通信できなかった場合に、自動的に再呼び出しを行います。メモリ内に送信待ちの原稿が複数ある場合は、再呼び出しする時間がくるまで、順次繰り上げて送信します。
ブック原稿	本やカタログなどの綴じられた原稿のことです。
F コード	ITU-T（国際電気通信連合）の G3 規格で制定された「SUB（サブアドレス）」、「SEP（セレクティブポーリング）」、「SID」「PWD（パスワード）」などを使用したメールボックス機能です。F コード対応機種同士で親展通信や中継指示送信が可能です。
G3 通信	G3 規格（ファクシミリの国際規格）で通信します。アナログ回線（一般加入電話回線）を使用してファクス通信します。
インターネットファクス	電話回線ではなく、インターネットやイントラネットを利用してファクス通信を行うことです。 相手先とは、ファクス番号ではなく E メールアドレスを指定して通信を行い、読み取った画像（TIFF 形式）を E メール書類としてコンピューターやインターネットファクスに送信できます。また、コンピューターからの E メールを画像として受信できます。
一般加入回線	NTT 東日本・NTT 西日本・NTT コミュニケーションズや NCC が提供するアナログ電話回線（公衆網）のことです。
JBIG 符号化方式	ITU-T（国際電気通信連合）の一部である Joint Bi-level Image Expert Working Group（ジョイント・バイレヴェル・イメージ・エキスパート・ワーキング・グループ）で決められた、新しいデータ圧縮伸長方式のことです。ハーフトーンなどの大量データ・高解像度データの通信の際に威力を発揮します。
手動受信	相手と電話で話したあとに、そのまま原稿を受信することができます。
手動送信	相手と電話で話したあとに、そのまま原稿を送ることができます。
メモリー	ファクスやコピーの画像データを記憶します。メモリーを増設することにより、より多くの画像データをメモリーに蓄積できるようになります。
ネットワークスキャナー	読み取った画像をネットワーク経由でコンピューターに送る機能です。E メール書類として送信したり、FTP サーバーにアップロードしたりできます。
オンフック	受話器を置いたままダイアルすることができます。 【オンフック】を使用します。
PBX（構内交換機）	Private Branch Exchange の略。 会社や工場などで、数本の局線に多数の電話機を接続したり、これらの電話機の間を内線として自由に接続できるようにした交換機のことです。

用語	説明
プッシュ信号	電話回線で使用される電気信号の一つで、プッシュ回線（PB）をお使いの場合に聞こえる「ピッ、ポッ、パッ」という音の信号のことです。プッシュ回線で電話をかける場合や、プッシュホンサービスを利用する場合などに使われます。 テンキーの【＊】を押すと、ダイアル回線でもプッシュ信号を使用するサービスを利用することができます。

第 14 章
索引

14.1 索引

数字・記号

アルファベット

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

A08E-9557-11
P/N:34364C008H029

Printed in China
2007.12